

平成 27 年度
白井市
まち・ひと・しごと創生総合戦略策定基礎調査業務

平成 27 年 12 月

昭和株式会社

目 次

■アンケート調査結果概要	1
1. 農業者アンケート調査	5
1) 調査の目的	7
2) 調査の方法	7
3) 回収結果	7
4) 調査結果概要	8
(1) 後継者・担い手について	8
(2) 今後の農業経営について	8
(3) 白井市の農業施策に期待すること	9
5) 単純集計結果	10
6) クロス集計結果	20
2. 農業に関する消費者アンケート調査	43
1) 調査の目的	45
2) 調査の方法	45
3) 回収結果	45
4) 調査結果概要	46
(1) 消費行動について	46
(2) 農業との関わりについて	46
(3) 今後の取り組みについて	47
5) 単純集計結果	48
6) クロス集計結果	55
3. 商業者アンケート調査	139
1) 調査の目的	141
2) 調査の方法	141
3) 回収結果	141
4) 調査結果概要	142
(1) 雇用について	142
(2) 今後の取り組みについて	142
5) 単純集計結果	143
6) クロス集計結果	153
4. 記述回答	195
1) 農業者	197
2) 消費者	201
3) 商業者	230
5. アンケート調査票	231
1) 農業者	233
2) 消費者	237
3) 商業者	241

■報告書の見方

- ①比率は全て百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このため、百分比の合計が100%にならないことがある。
- ②1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- ③図表・本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。

■アンケート調査結果概要

1) 基幹産業としての農業振興

白井市の基幹産業である「農業」の振興は、白井市の発展を支える上で、重要な位置づけにあります。

農業者アンケート調査では、今後の農業経営の方針について、「縮小したい」と回答した人が少なからずいます。こうした方達への新たな事業展開の提案や融資制度などによる支援などを積極的に行う必要があります。

また、農業を取り巻く情勢は、FTA や TPP などの経済のグローバル化、単価の下落など多くの問題を抱えており、今後、より効率的で高い収益を上げるための生産基盤の整備や、安定した農業経営に向けた農業経営体の整備などについても検討していく必要があります。

さらに、農業を持続可能な産業として維持・発展させていくためには、付加価値を高める取組も重要となります。白井市の農産物に対する認知度の向上やイメージアップを図るため、他都市でのイベント開催やメディアの活用、販路の開拓、流通体系の構築など、ブランド力を高める取組を検討する必要があります。

2) 農業の後継者・担い手の確保

農業者アンケート調査では、後継者・担い手は「いない」と回答した人が半数近くに上り、高齢化も進んでいます。

一方で、消費者アンケート調査では、「農業に携わりたいと思いますか」の問いに対し、年齢が上がるほど「携わりたいと思わない」と回答し、20 歳代から 50 歳代では何らかの形で「携わりたい」と回答しています。

今後、これらの意欲ある世代をいかに就農やボランティアなどに結びつけていくか、また、いかに就農やボランティアの場をつくるかなど、農業者と行政が一体となって検討を進める必要があります。

さらに、農業の安定した生産基盤を構築するため、若い世代の就農支援を強化し、研修会や専門技術を学ぶ場の整備など、新規就農者を受け入れる環境整備を行う必要があります。

3) 消費者と生産者・販売者の交流について

農業者アンケート調査では、白井市の農業施策に期待することについて、「農業の必要性・重要性に対する市民の理解の醸成」と回答した人が最も多くなっています。

一方で、消費者アンケート調査では、白井市の農業を守るために取り組みたいことについて、「農業への参加」や「農家との定期的な情報交換」と回答した人は少なく、「白井産の農産物等を積極的に購入」のように購入機会の増加を望む人の方が多くなっています。

また、商業者アンケート調査では、消費者等との交流に関わる「イベント等の交流事業に対する支援」への期待も、少なからずあります。

こうしたことから、やおばあくの拠点性の強化、市内各地への農産物販売所の設置など、市内のどこでも白井産の農産物が買える状態をつくり、これと併せた市民との交流イベントを農業者・商業者・消費者が一体となって行うなど、生産現場の実態や地域農業の重要性などについて情報共有できる取組を行う必要があります。

また、農業者が他の産業と情報交換ができる場の整備や新たな事業展開ができる機会の創出を図る必要があります。

1. 農業者アンケート調査

1) 調査の目的

白井市内で営農する農業者等の、現在の農業の状況、将来営農意向等について把握し、「白井市ひと・まち・しごと創生総合戦略」策定のための基礎資料を作成する。

2) 調査の方法

- (1) 調査地域・・・白井市全域
- (2) 調査対象・・・白井市内で営農する農業者等
- (3) 抽出方法・・・無作為抽出
- (4) 調査方法・・・郵送による配布、回収
- (5) 調査期間・・・平成 27 年 7 月 11 日～平成 27 年 7 月 24 日
- (6) 調査機関・・・昭和株式会社

3) 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
500	237	49.0%

4) 調査結果概要

(1) 後継者・担い手について

「質問10 農業の後継者・担い手」は、「いない」と回答した人が43.5%に上り、「いる」と回答した人は28.7%にとどまっています。

また、「質問3 回答者の年齢」は、50歳代以上が9割弱で、高齢化が懸念されます。

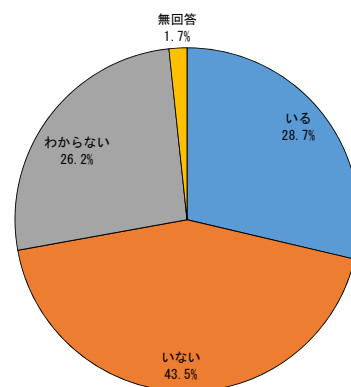
一方で、「質問15 10年後の農業経営についての問題や不安」については、「固定資産税や相続税」と回答した人が最も多く、「後継者・担い手の確保」と回答した人は1割程度にとどまっていることから、農業経営者にとって、後継者・担い手の確保は大きな問題となっていないと言えます。

「質問13 今後の農業経営の方向」は、「現状のまま」と回答した人が6割強であり、後継者・担い手の確保を含めた、新たな展開が難しい状況にあるとも言えます。

近年の農業を取り巻く社会・経済情勢や高齢化が進展している現状を踏まえると、担い手の絶対数が不足していくことが予想されます。

白井市の基幹産業である農業の振興を図るためには、若い世代の活力が必要であり、いかに農業従事者を確保するかを考えていく必要があります。

また、新たな職としての農業の可能性が注目されつつある中で、就農を希望する人や農業とのふれあいを求める人など、様々なニーズに応えられるサポート体制と、就農や農地に関する情報提供などを行う仕組みづくりを検討し、雇用の促進、担い手の育成に結びつけていく必要があります。



質問10 農業の後継者・担い手がいらっしゃるかどうか。

(2) 今後の農業経営について

「質問13 今後の農業経営の方向」は、「現状のまま」と回答した人が62.4%、「縮小したい」と回答した人が26.6%となっています。

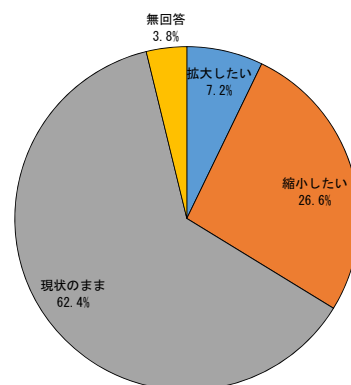
「質問5 農地の利用形態と面積」は、「1～100a未満」と回答した人が多く、小規模農地が多いことがうかがえます。

また、「質問8 所有している農地で、耕作していない農地」について、「ある」と回答した人が7割を超え、このうち「売りたい」と回答した人が2割半ばとなっています。

「質問15 10年後の農業経営についての問題や不安」については、「固定資産税や相続税」、「農業収入や農産物販売先の確保」と回答した人が多くなっています。

税金や収入に関する不安を抱えている農業者が多くなっていますが、それ以前に、6次産業化などを含めた、新たな販売展開の方法など、収益を上げるためにどのようなことに取り組むべきかを検討していく必要があります。

また、より安定的で高い生産力を生み出すための方策や法人化、販路拡大など新たな経営方策についても検討していく必要があります。



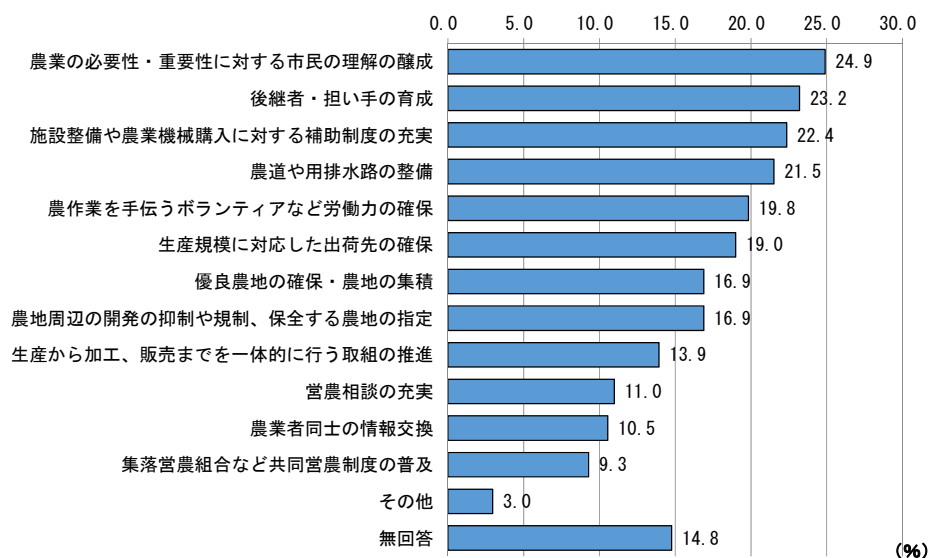
質問13 今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。

(3) 白井市の農業施策に期待すること

「質問１６ 白井市の農業施策に期待すること」は、「農業の必要性・重要性に対する市民の理解の醸成」、「後継者・担い手の育成」、「施設整備や農業機械購入に対する補助制度の充実」が多くなっています。

特に、「市民の理解の醸成」については、どのような白井産の農産物が作られているか・売られているかなどを周知するとともに、販売イベントの開催など生産者と消費者の交流の機会を創出する必要があります。

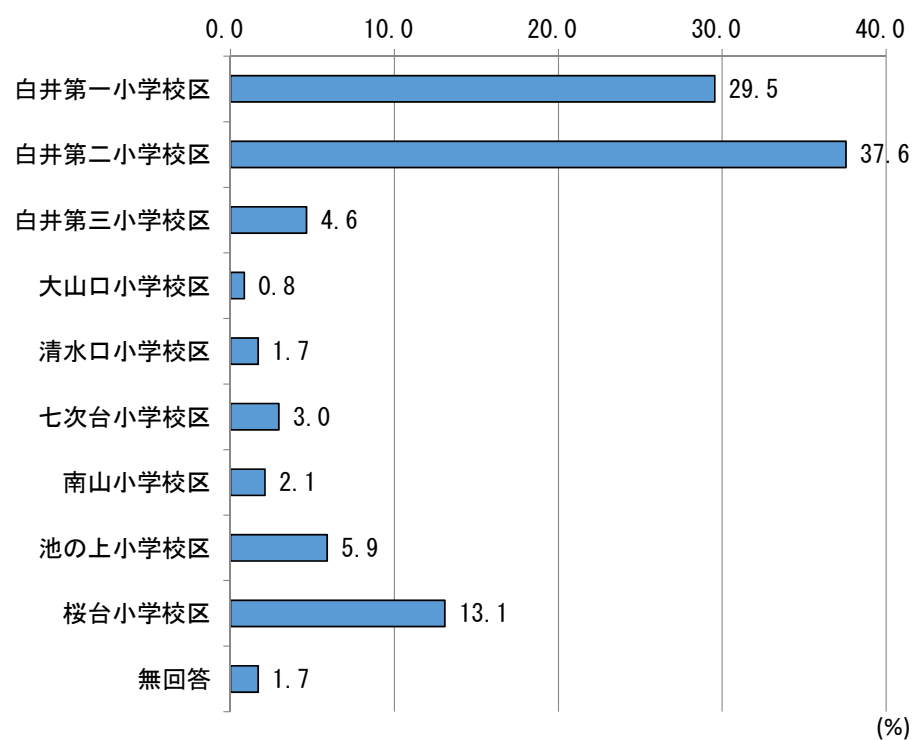
また、補助制度などについては、各種制度についての説明会の開催やパンフレットの作成などにより、周知を進める必要があります。



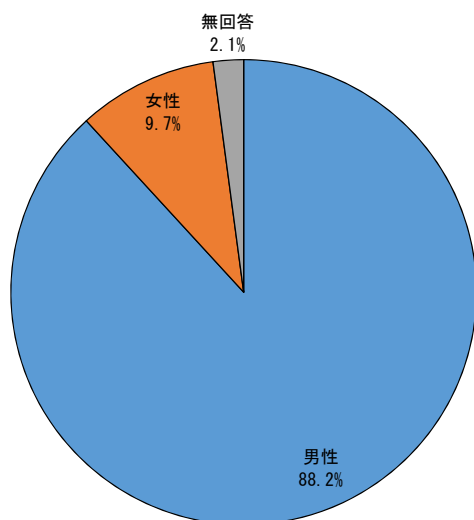
質問１６ 白井市の農業施策に期待することは何ですか。

5) 単純集計結果

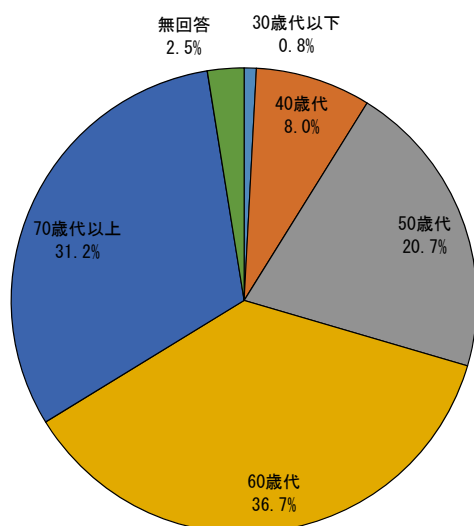
質問 1 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校に○をつけてください)



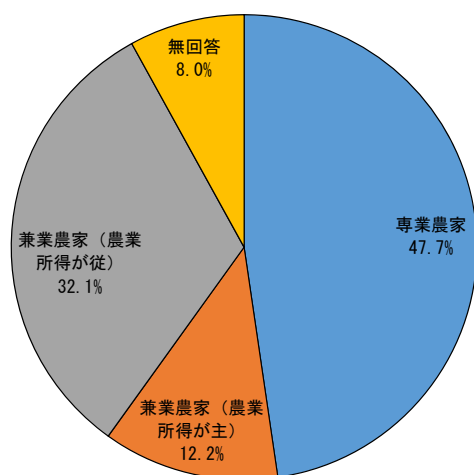
質問 2 あなたの性別はどちらですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。



質問3 あなたの年齢は何歳ですか。 () 歳

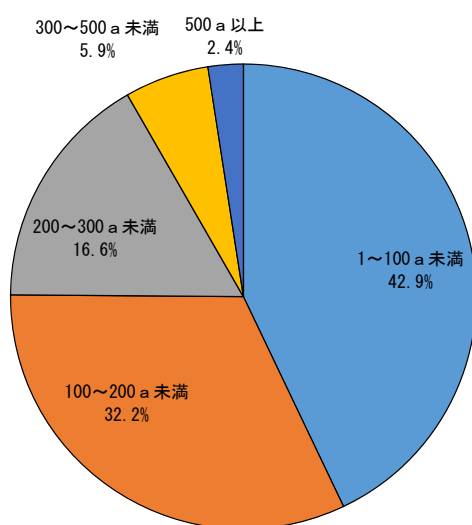


質問4 あなたの農業経営の形態は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

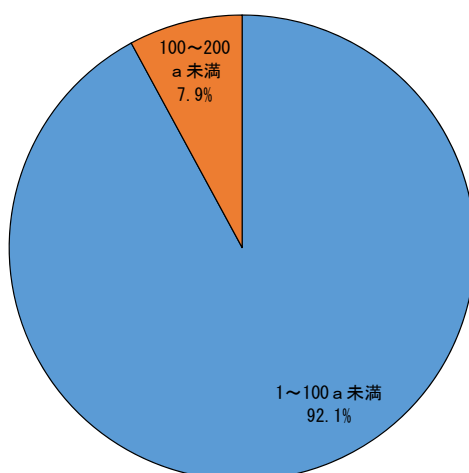


質問5 あなたの農地の利用形態と面積についてお伺いします。

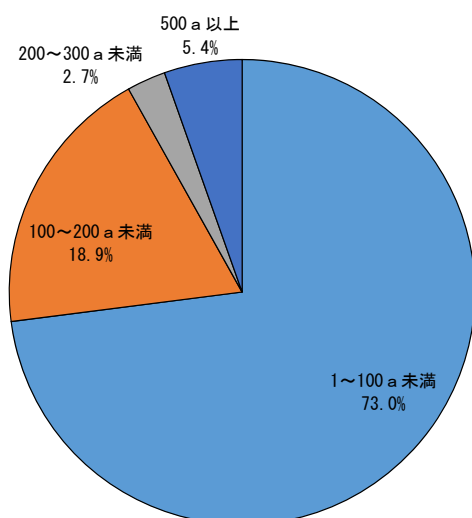
1 自己利用



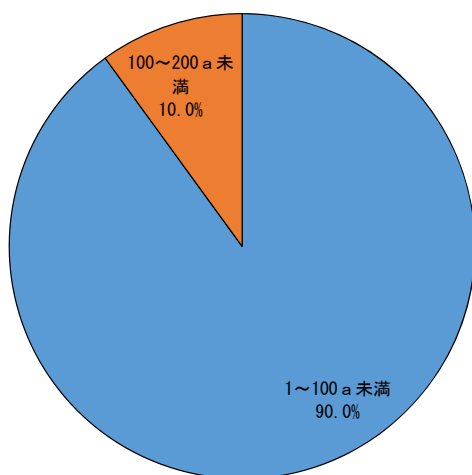
2 貸している



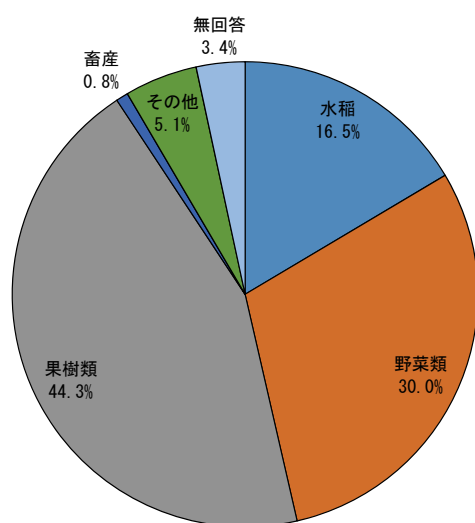
3 借りている



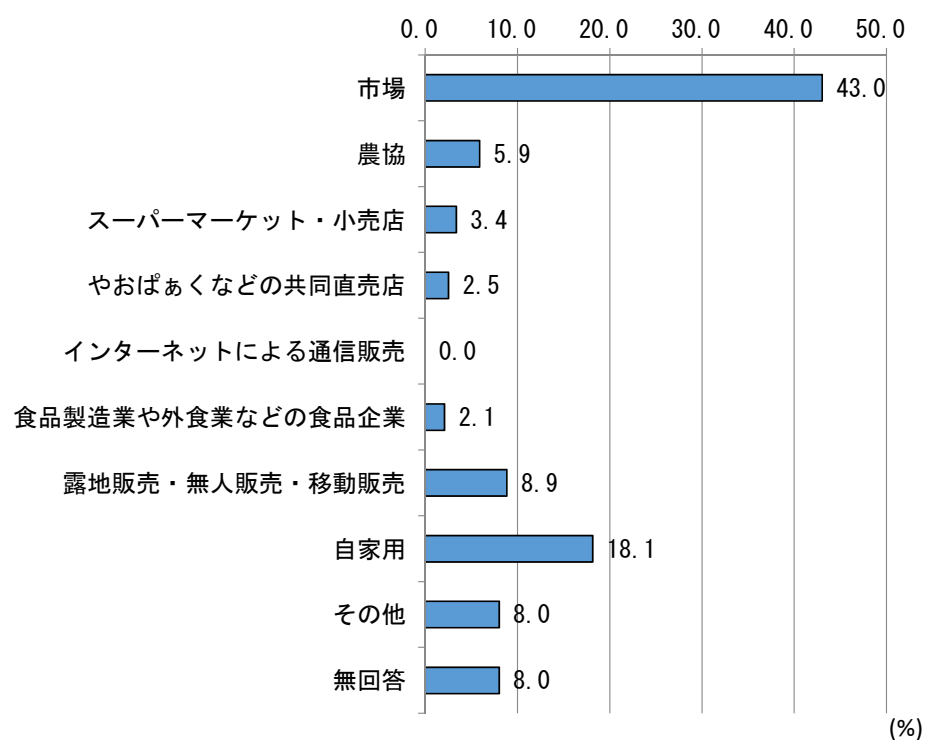
4 その他



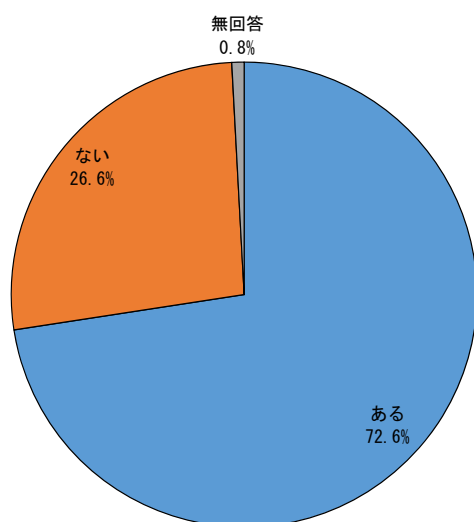
質問6 あなたが現在耕作している農産物のうち、主なものは何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



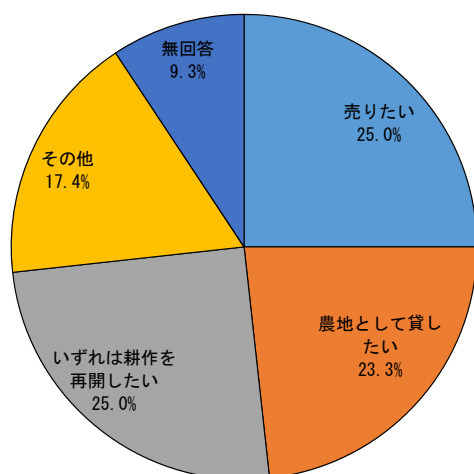
質問7 質問6で選んだ農産物の主要出荷先はどこですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



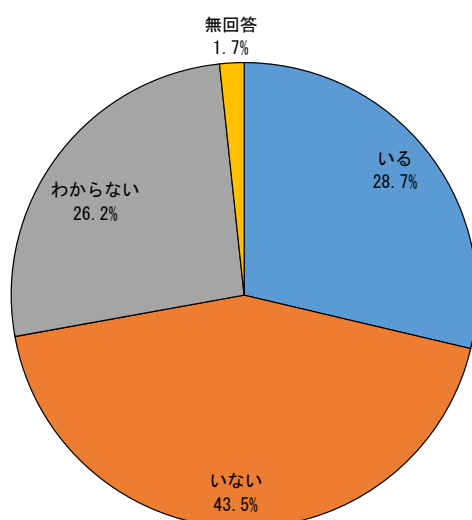
質問 8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。



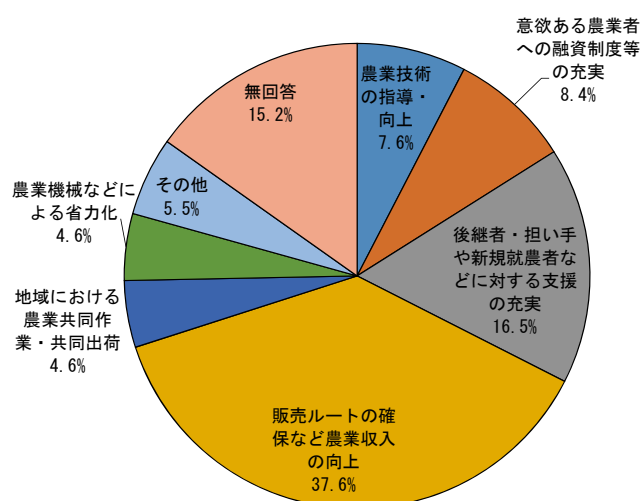
質問 9 「質問 8」で「1 ある」と回答された方にお伺いします。あなたは、耕作していない農地についてどうお考えですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。



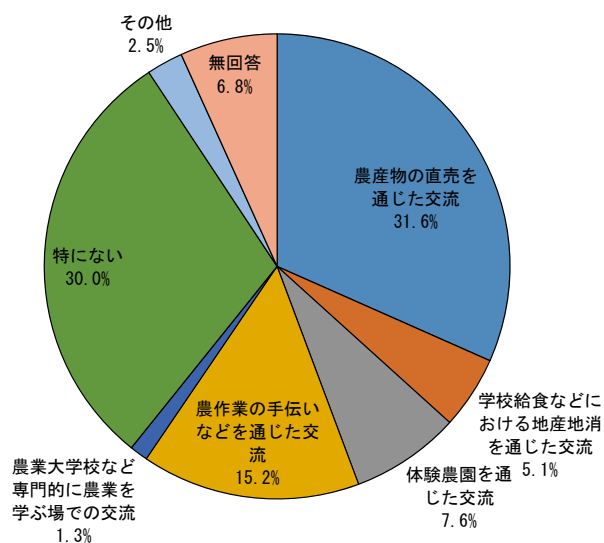
質問１０ あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



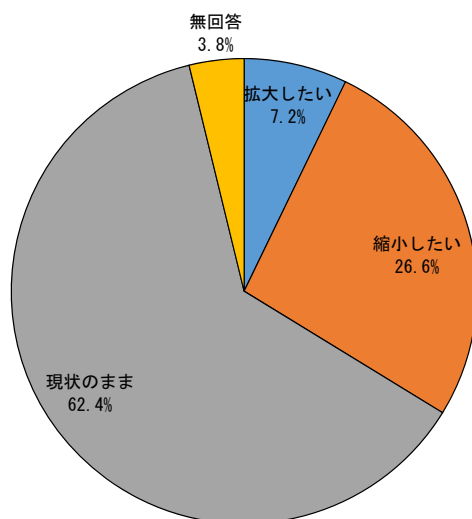
質問１１ あなたは、後継者・担い手を確保・育成するためには何が必要だと思いますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



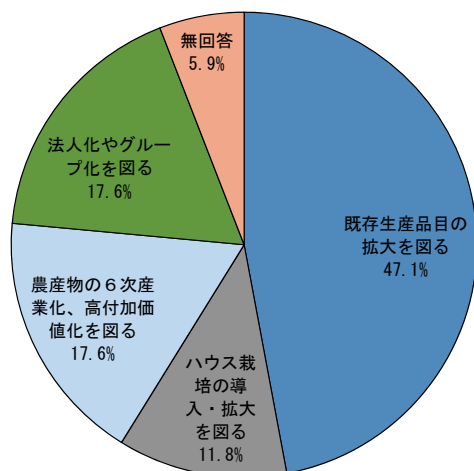
質問１２ あなたは、農業を通じた市民との交流について、どのような交流を望んでいますか。
次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



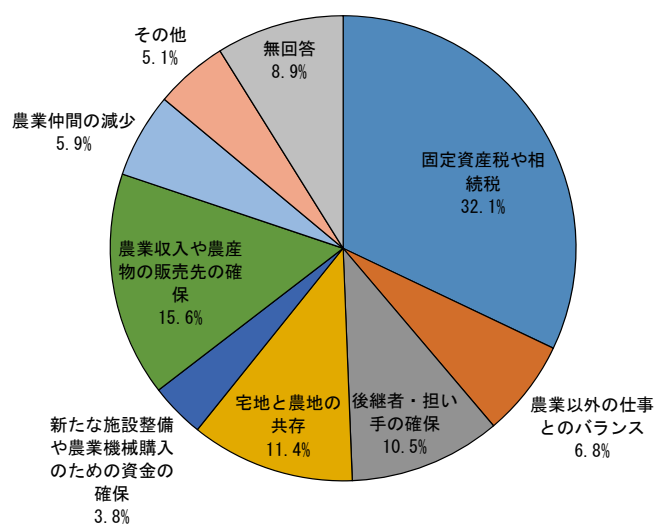
質問１３ あなたは、今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



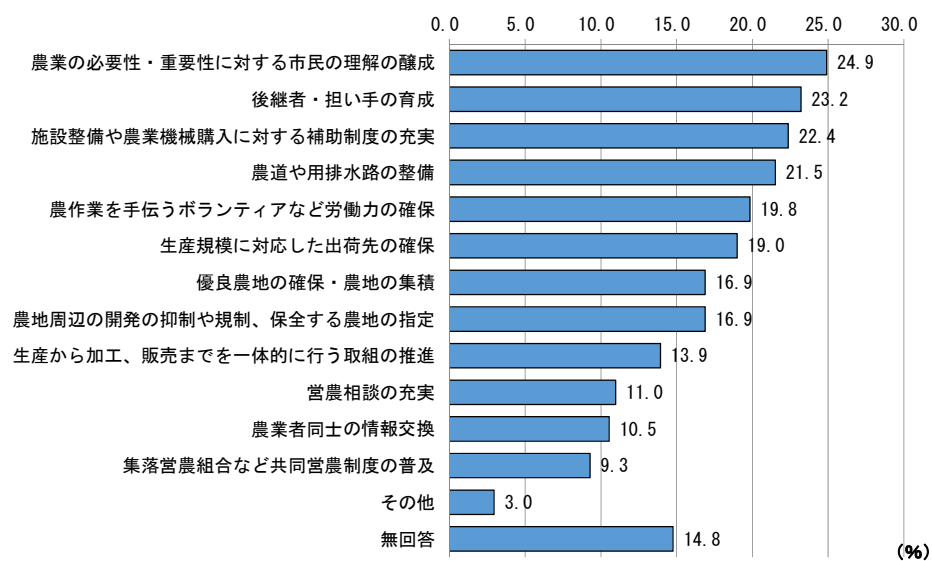
質問１４ 「質問１３」で「１ 拡大したい」と回答された方にお伺いします。あなたは、今後、どのようなことに取り組みたいと思いますか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



質問１５ あなたが、１０年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。



質問１６ あなたが、白井市の農業施策に期待することは何ですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

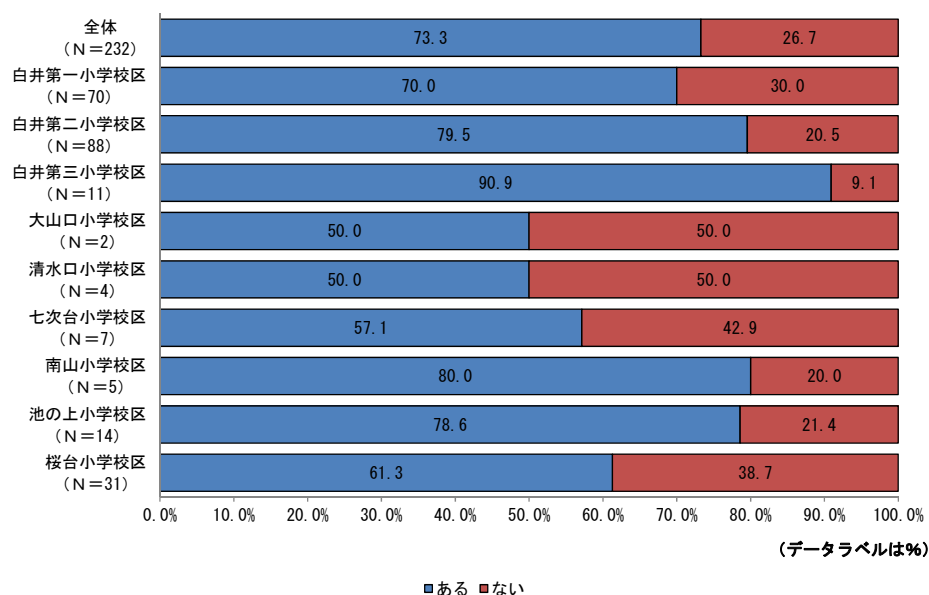


質問１７ １０年後、市内で生産される様々な農産物を広く消費者に提供していくためには、今後の農業はどうあるべきだとお考えですか。ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

6) クロス集計結果

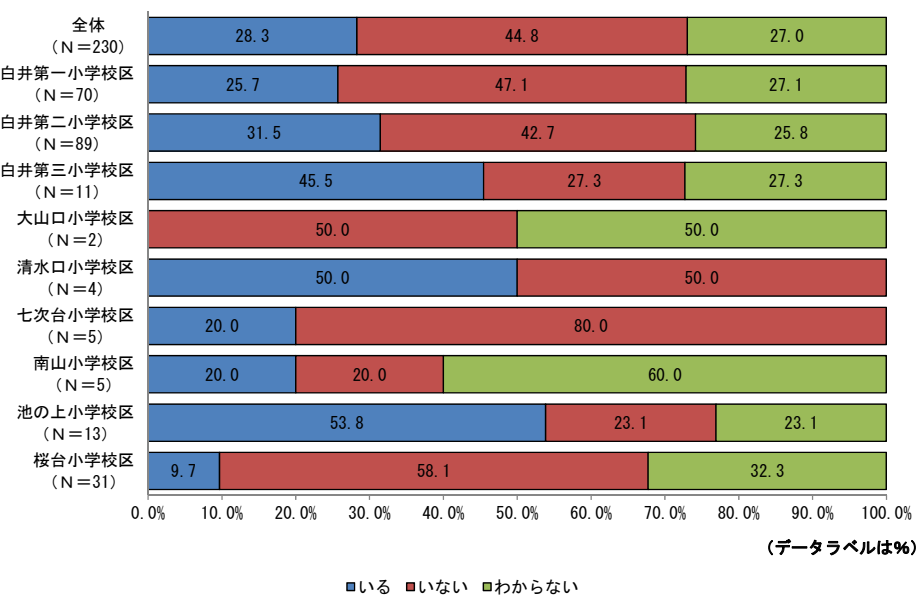
質問 1 居住地区

× 質問 8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。



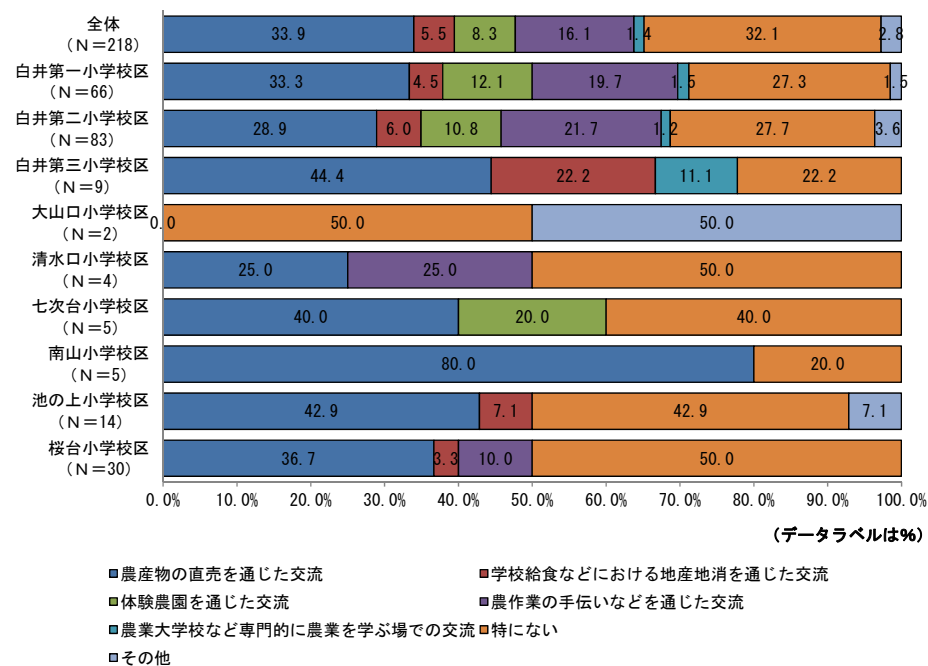
質問 1 居住地区

× 質問 10 あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。



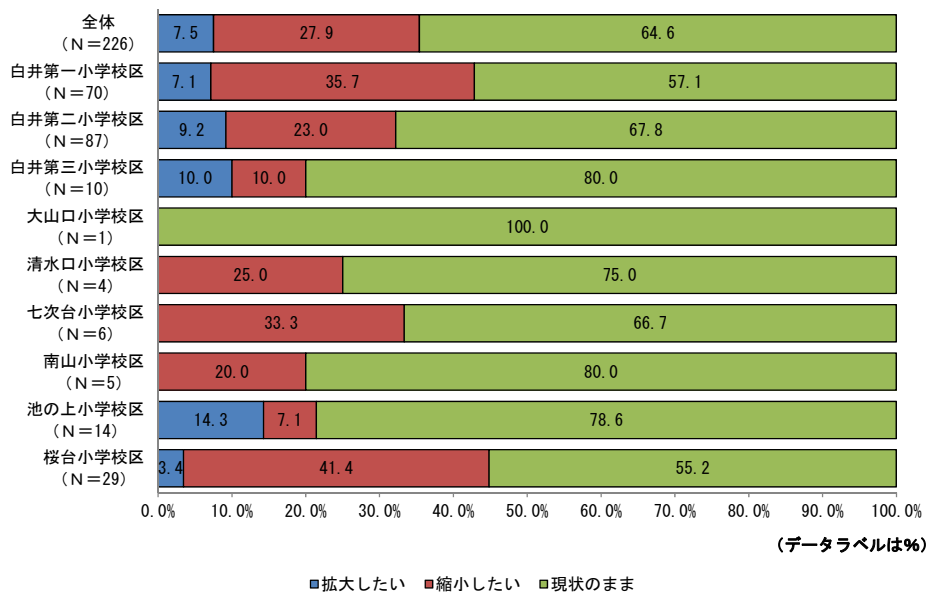
質問 1 居住地区

× 質問 1 2 あなたは、農業を通じた市民との交流について、どのような交流を望んでいますか。



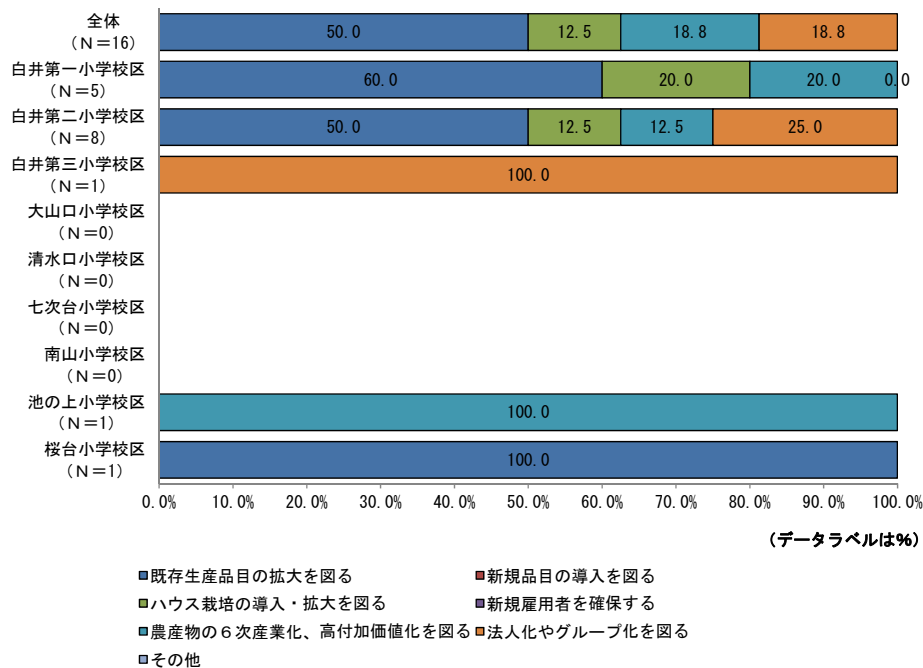
質問 1 居住地区

× 質問 1 3 あなたは、今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。



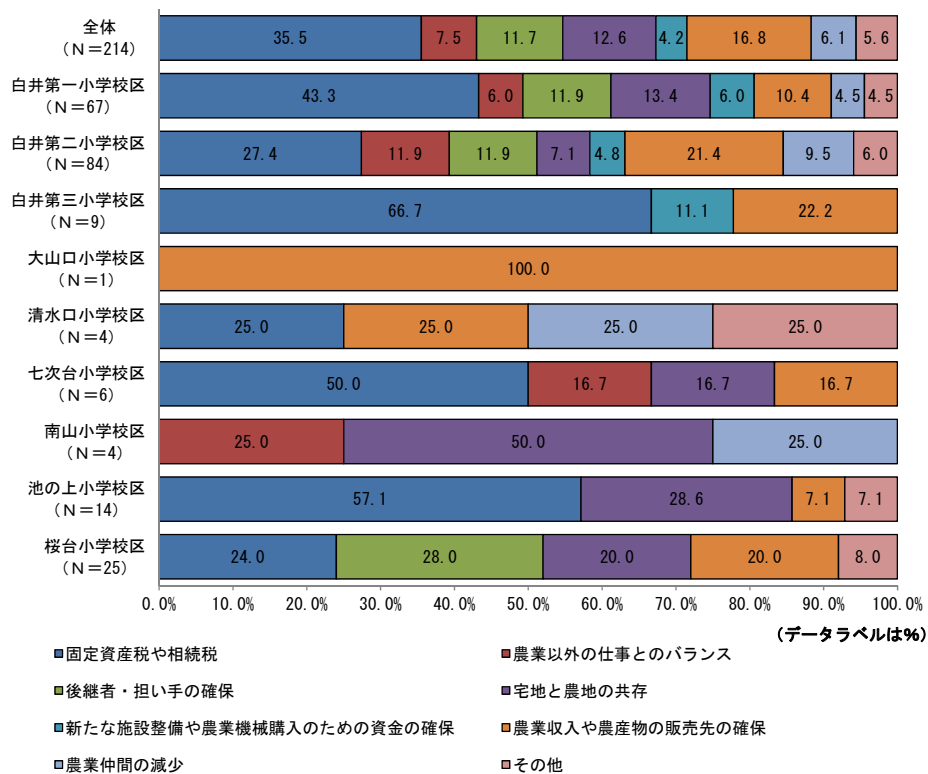
質問 1 居住地区

× 質問 1 4 あなたは、今後、どのようなことに取り組みたいと思いますか。



質問 1 居住地区

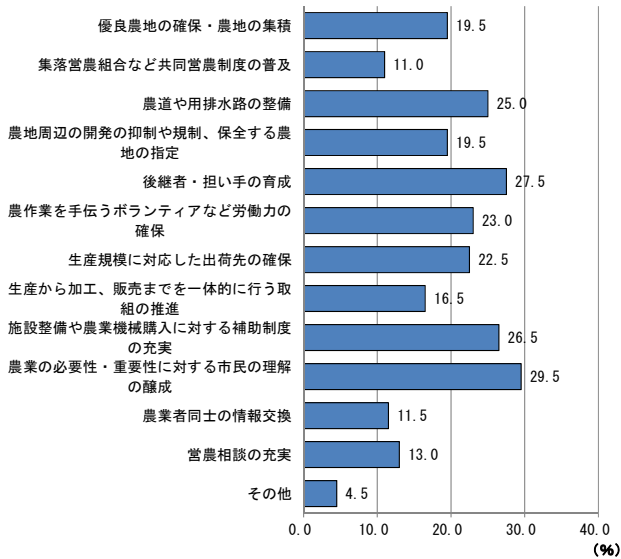
× 質問 1 5 あなたが10年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。



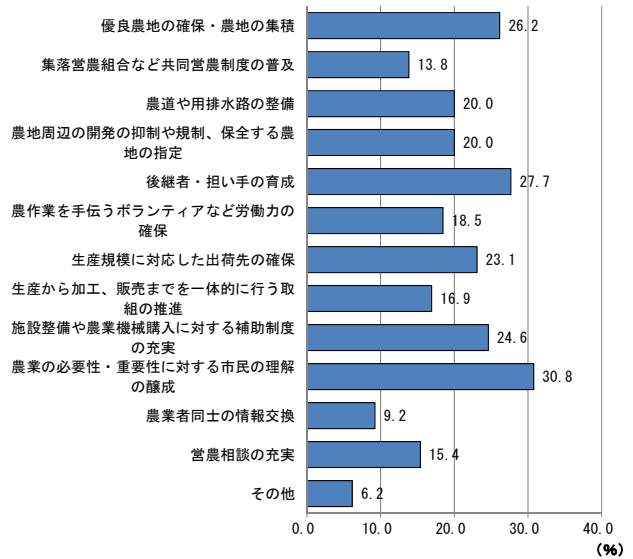
質問 1 居住地区

× 質問 1 6 あなたが、白井市の農業施策に期待することは何か。

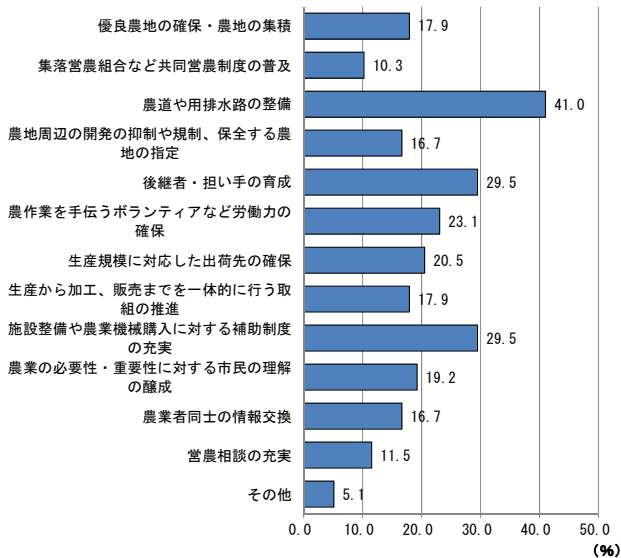
全体 (N=200)



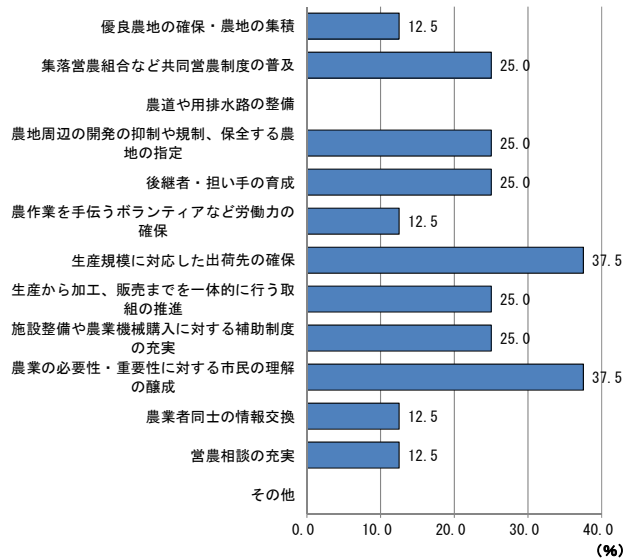
白井第一小学校区 (N=65)



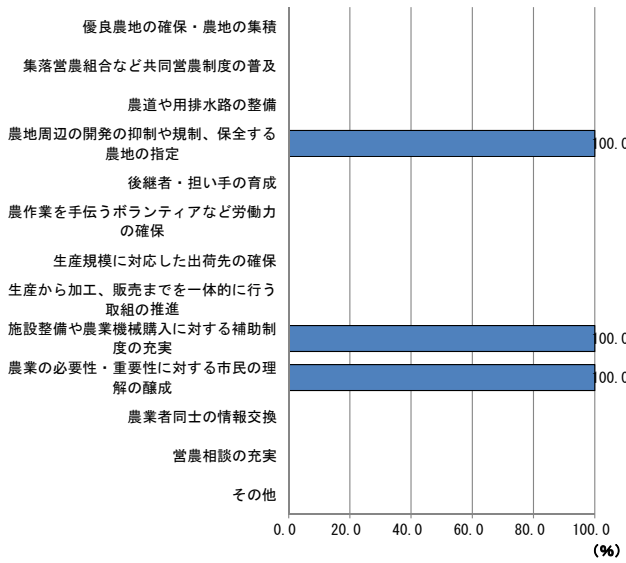
白井第二小学校区 (N=78)



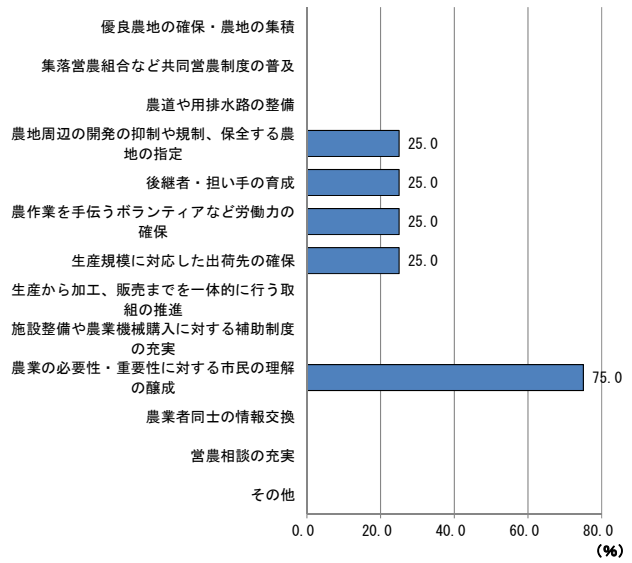
白井第三小学校区 (N=8)



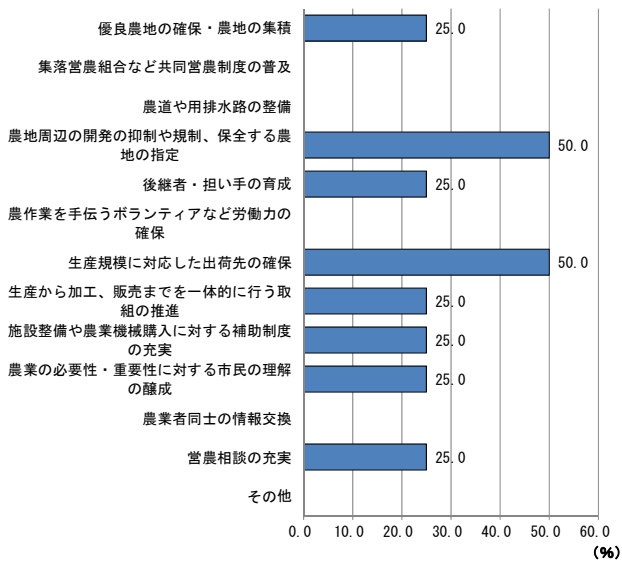
大山口小学校区（N=1）



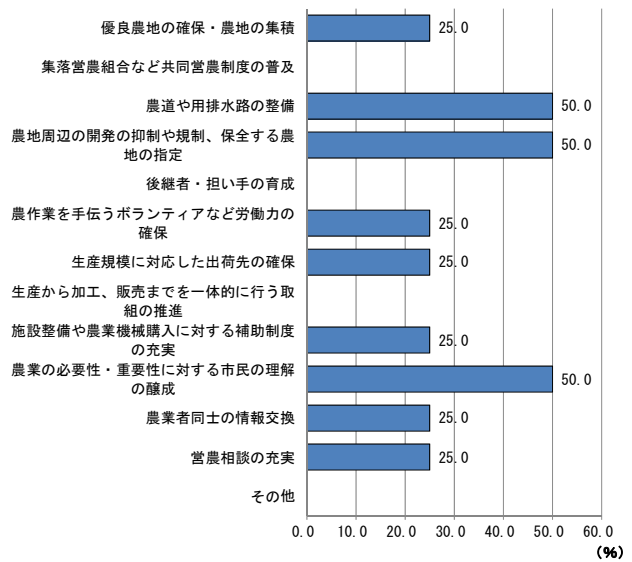
清水口小学校区（N=4）



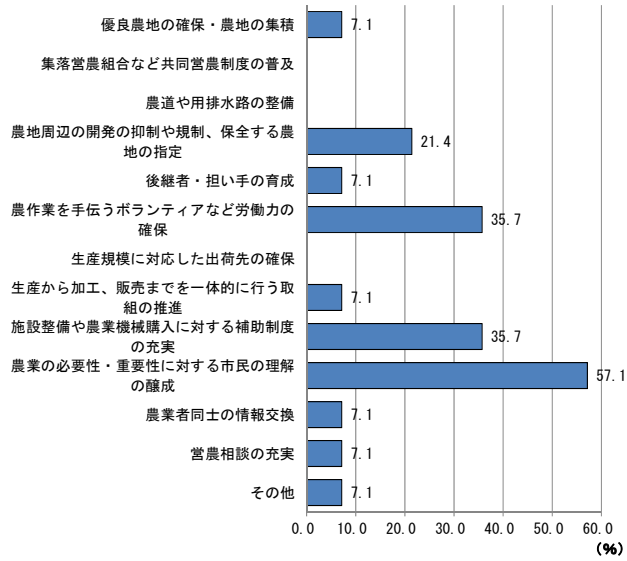
七次台小学校区（N=4）



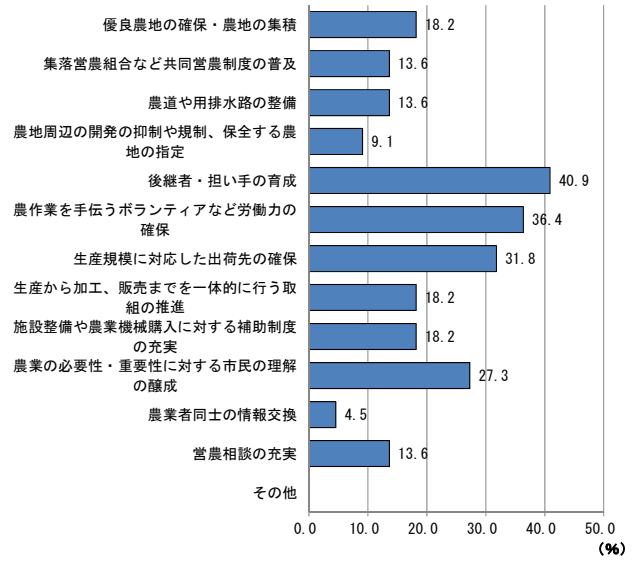
南山小学校区（N=4）



池の上小学校区 (N=14)

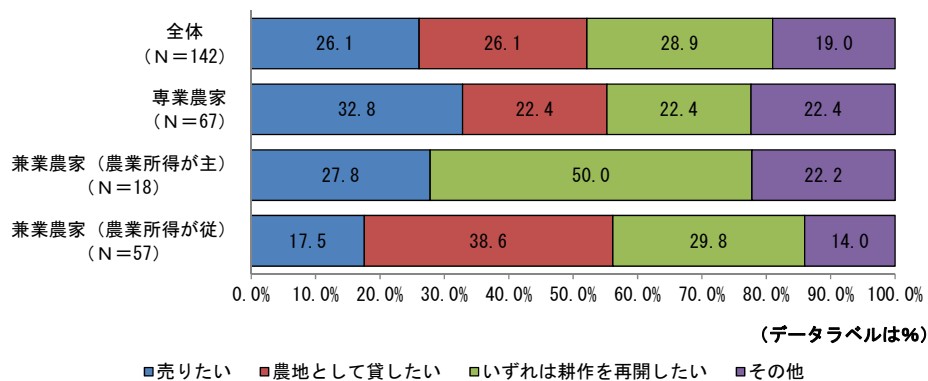


桜台小学校区 (N=22)



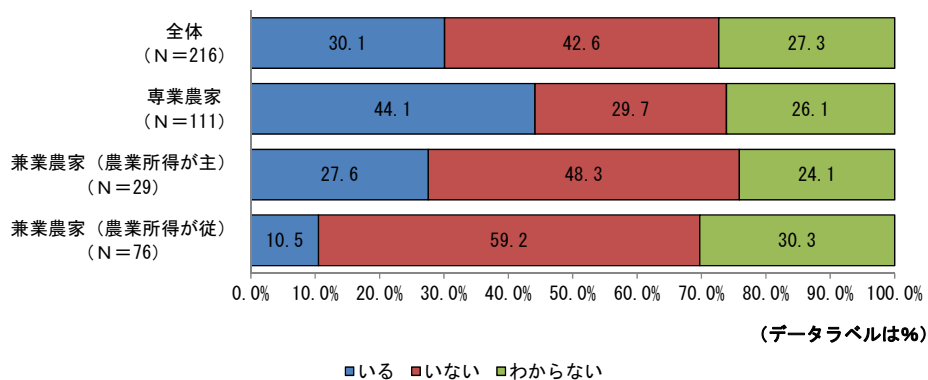
質問4 あなたの農業経営の形態は何ですか。

× 質問9 あなたは、耕作していない農地についてどうお考えですか。



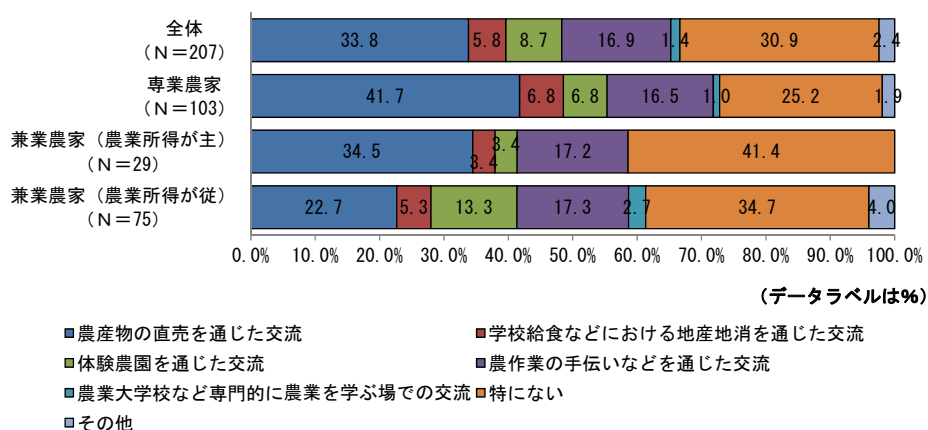
質問4 あなたの農業形態は何ですか。

× 質問10 あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。



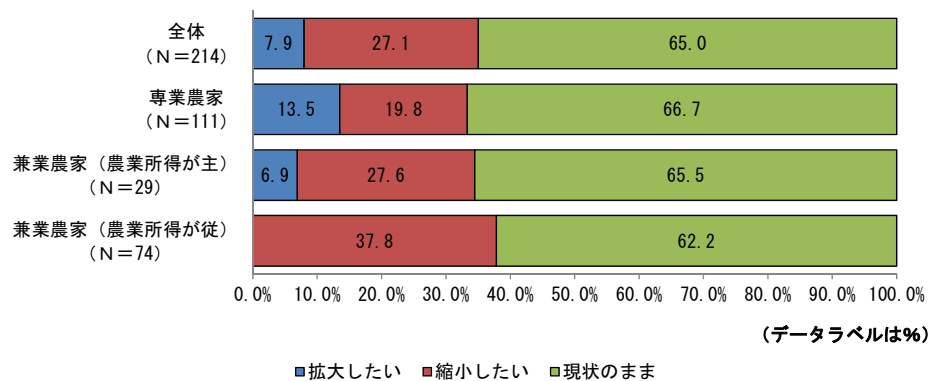
質問4 あなたの農業形態は何ですか。

× 質問12 あなたは、農業を通じた市民との交流について、どのような交流を望んでいますか。



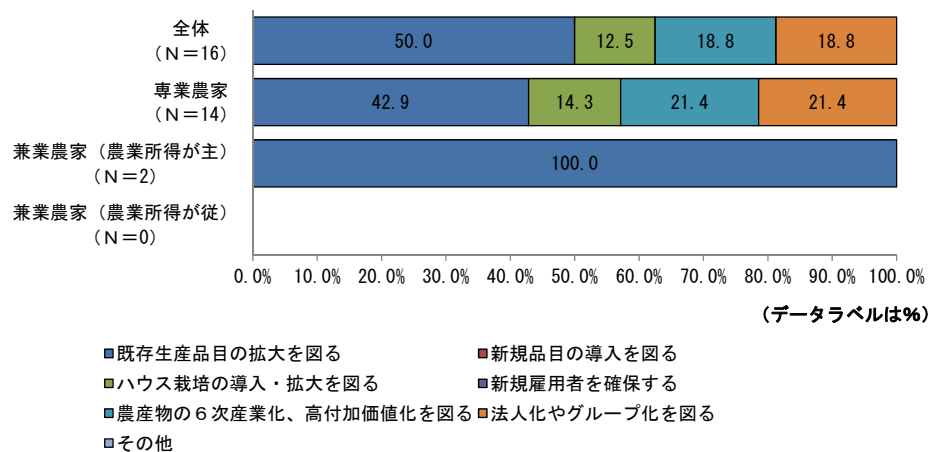
質問4 あなたの農業形態は何ですか。

× 質問13 あなたは、今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。



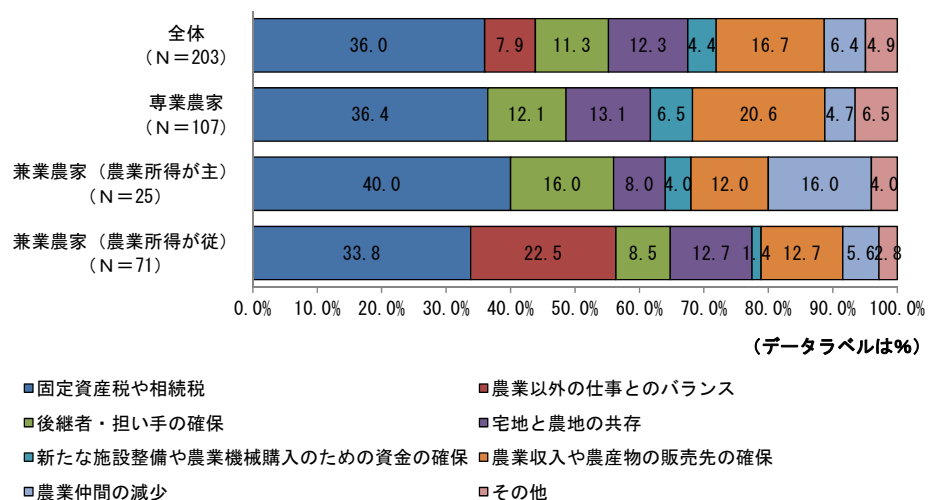
質問4 あなたの農業形態は何ですか。

× 質問14 あなたは、今後、どのようなことに取り組みたいと思いますか。



質問4 あなたの農業形態は何ですか。

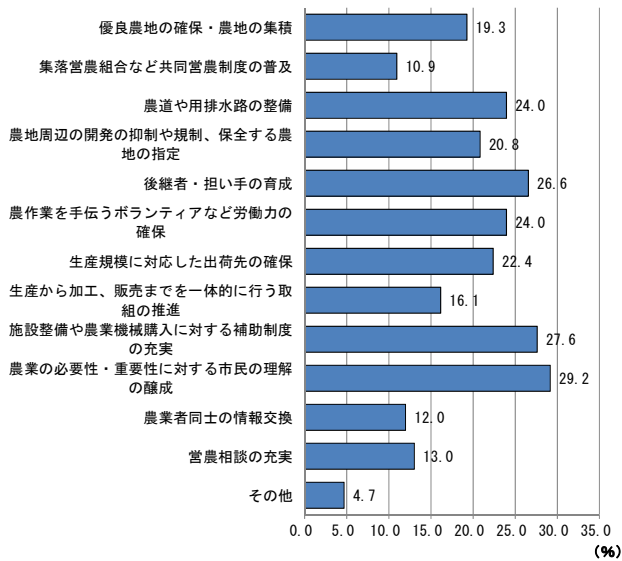
× 質問15 あなたが10年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。



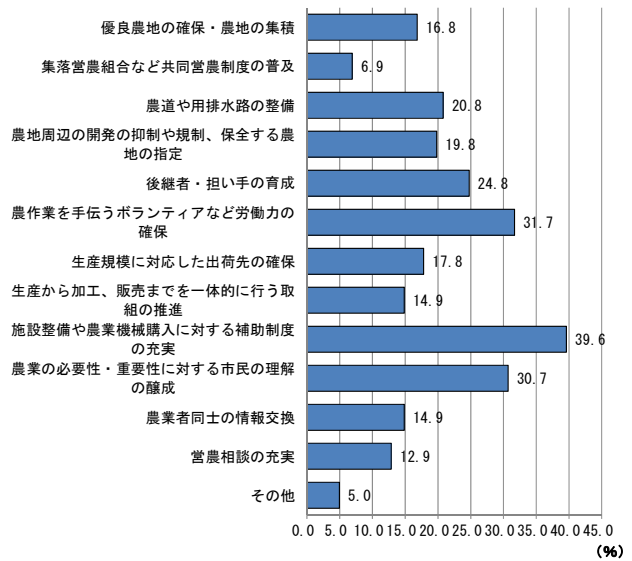
質問 4 あなたの農業形態は何ですか。

× 質問 16 あなたが、白井市の農業施策に期待することは何ですか。

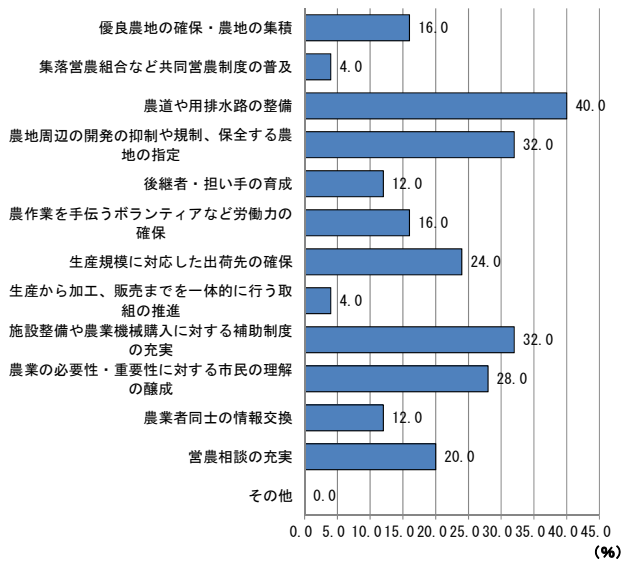
全体 (N=192)



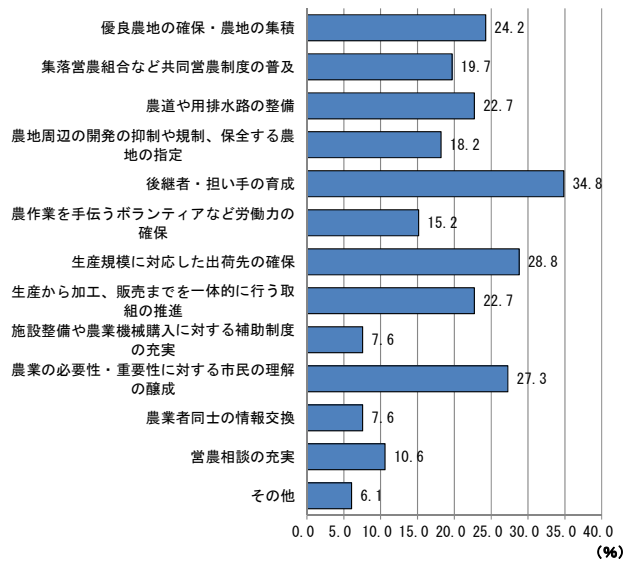
専業農家 (N=101)



兼業農家 (農業所得が主) (N=25)

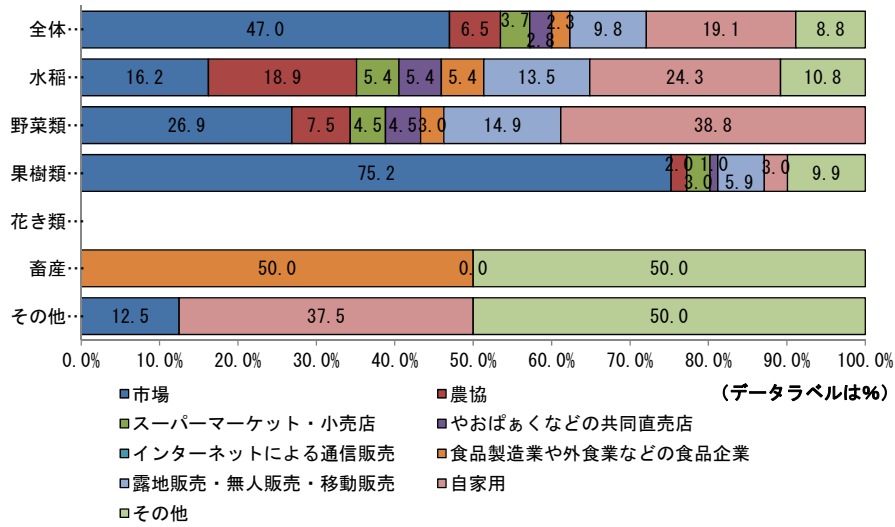


兼業農家 (農業所得が従) (N=66)



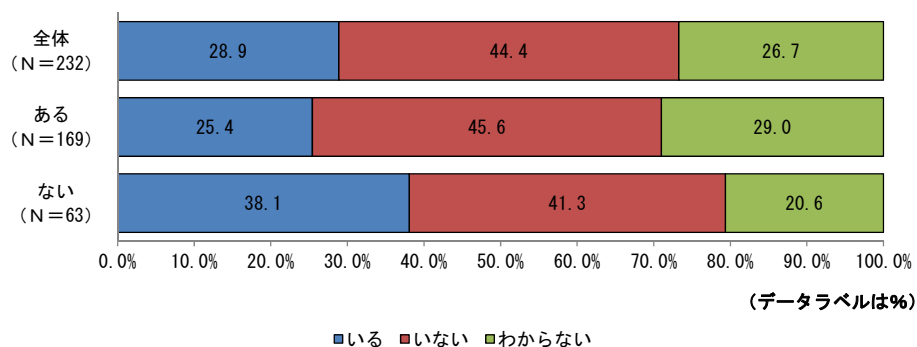
質問6 あなたが現在耕作している農産物のうち、主なものは何ですか。

× 質問7 質問6で選んだ農産物の主要出荷先はどこですか。



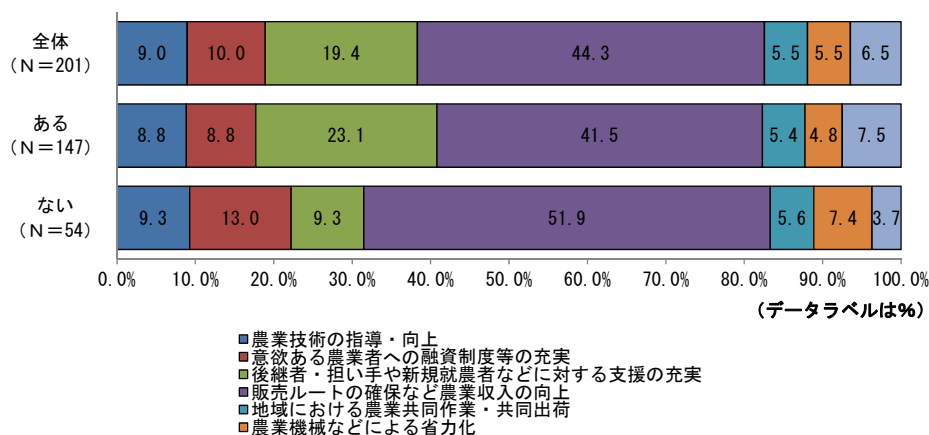
質問8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。

× 質問10 あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。



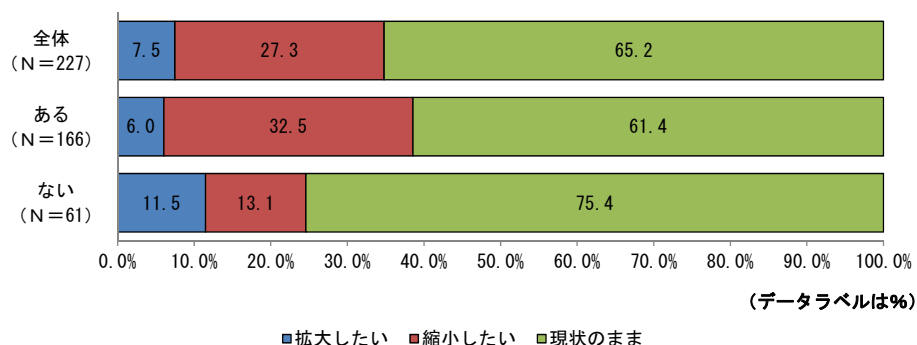
質問8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。

× 質問11 あなたは、後継者・担い手を確保・育成するためには何が必要だと思いますか。



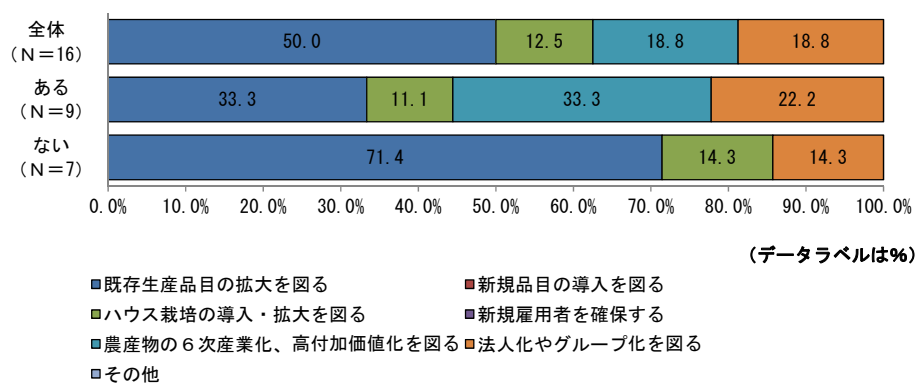
質問8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。

× 質問13 あなたは、今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。



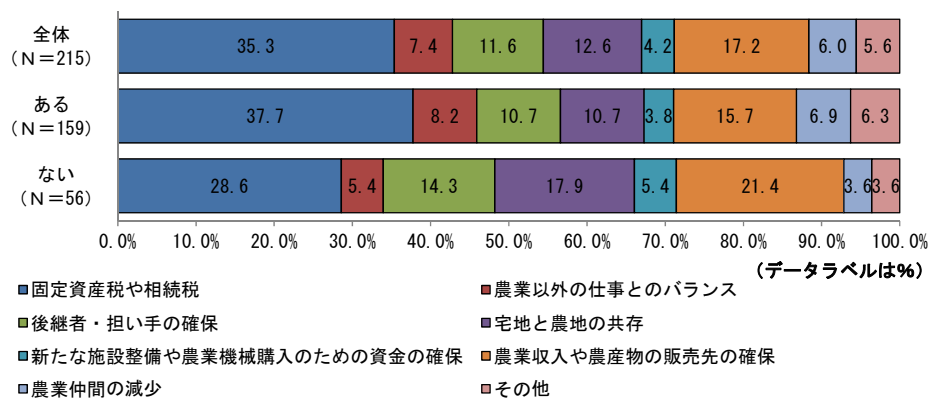
質問8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。

× 質問14 あなたは、今後、どのようなことに取り組みたいと思いますか。



質問8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。

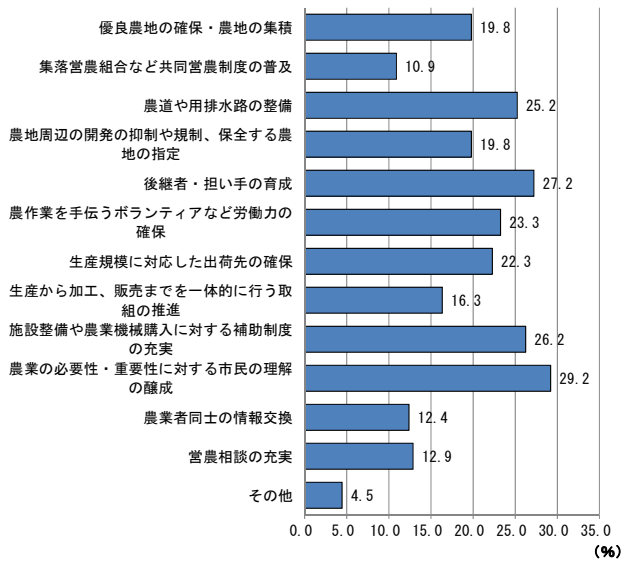
× 質問15 あなたが10年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。



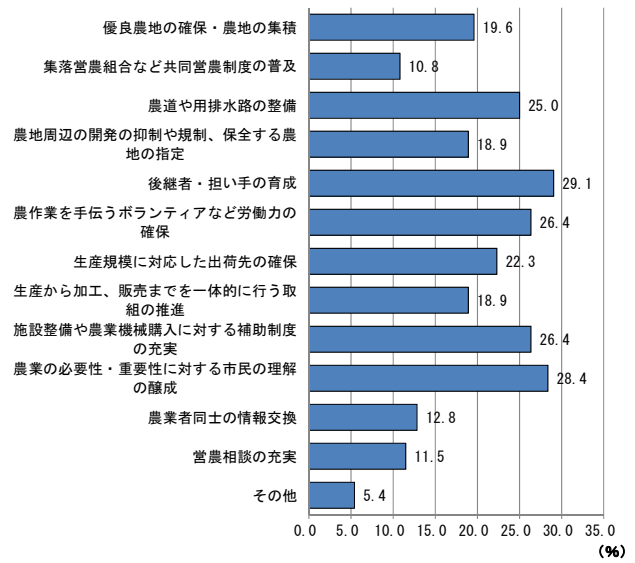
質問 8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。

× 質問 16 あなたが、白井市の農業施策に期待することは何ですか。

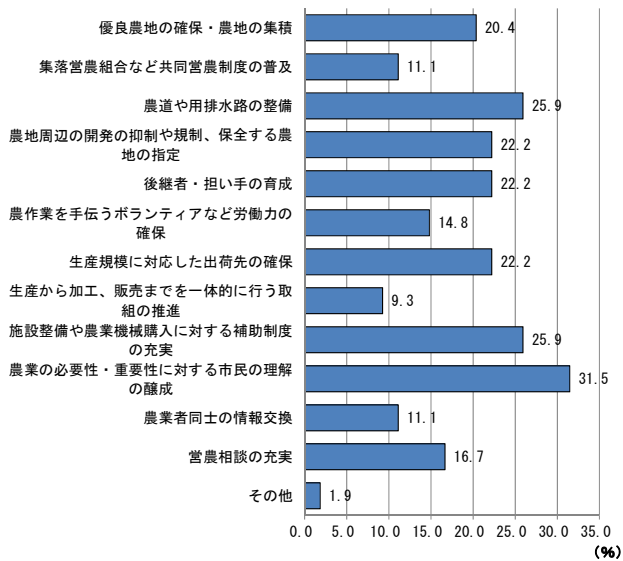
全体 (N=202)



ある (N=148)

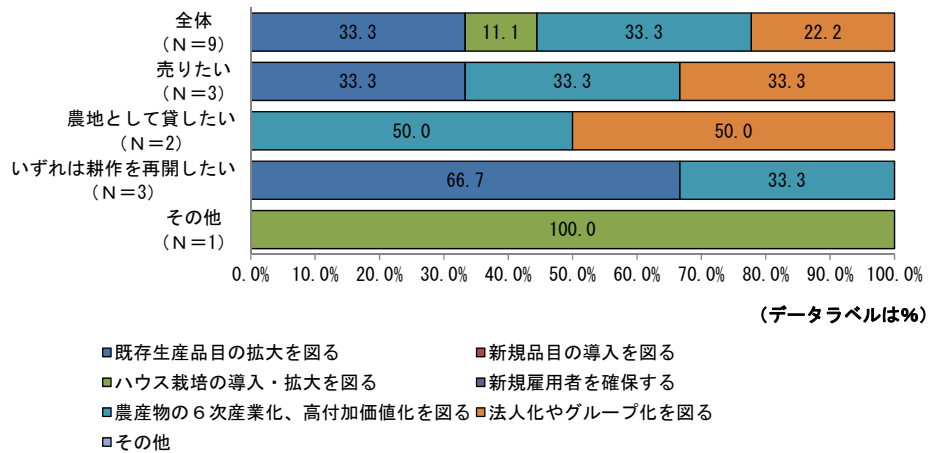


ない (N=54)



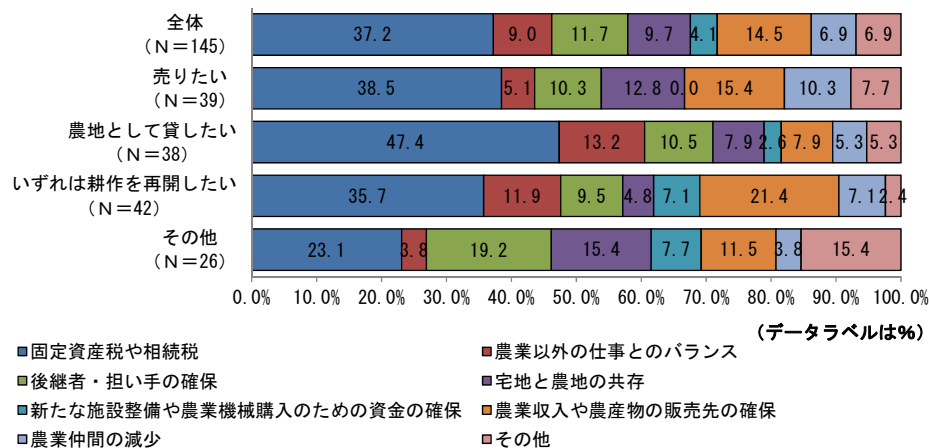
質問9 「質問8」で「1 ある」と回答された方にお伺いします。あなたは、耕作していない農地についてどうお考えですか。

× 質問14 あなたは、今後、どのようなことに取り組みたいと思いますか。



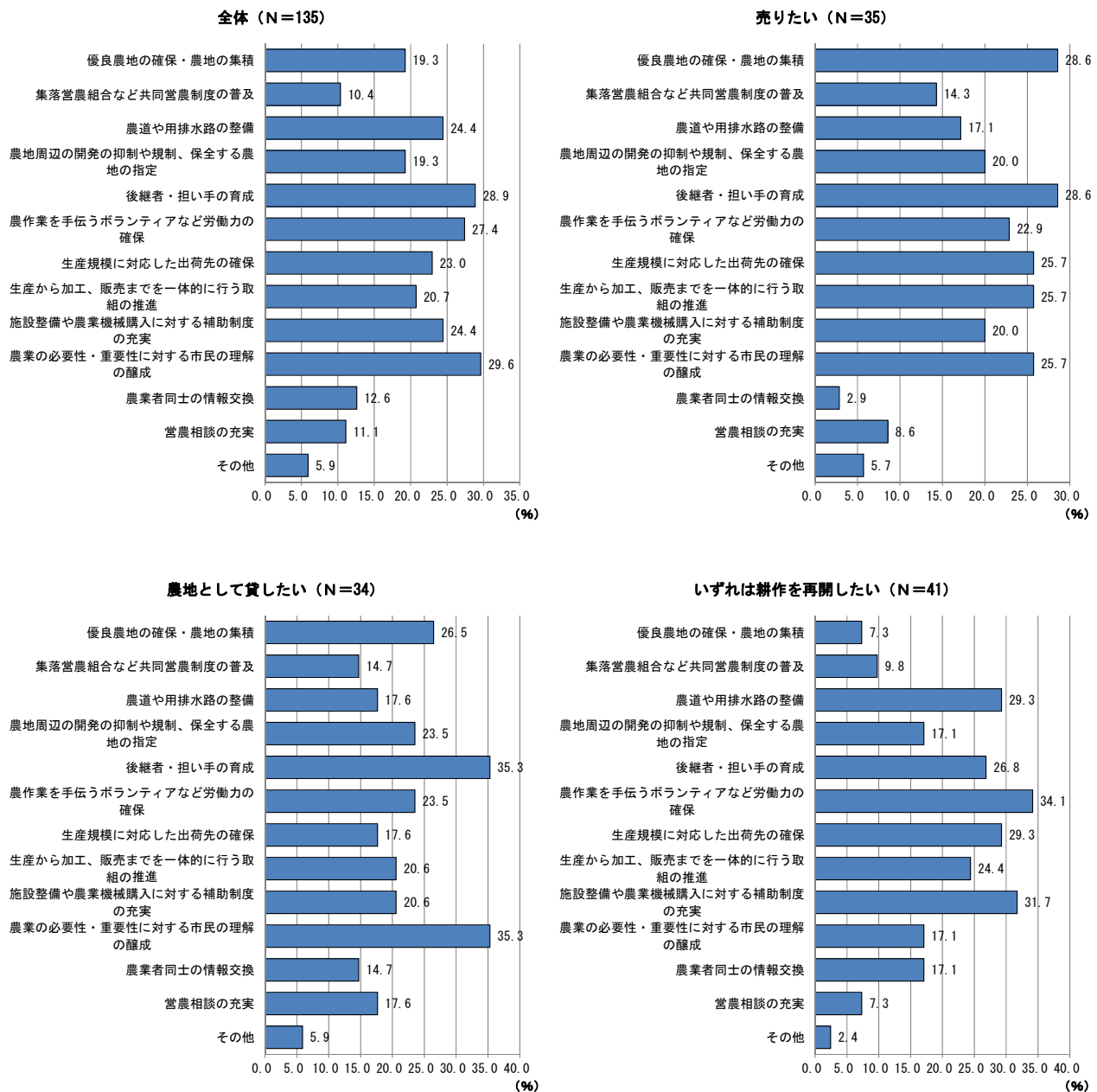
質問9 「質問8」で「1 ある」と回答された方にお伺いします。あなたは、耕作していない農地についてどうお考えですか。

× 質問15 あなたが10年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。

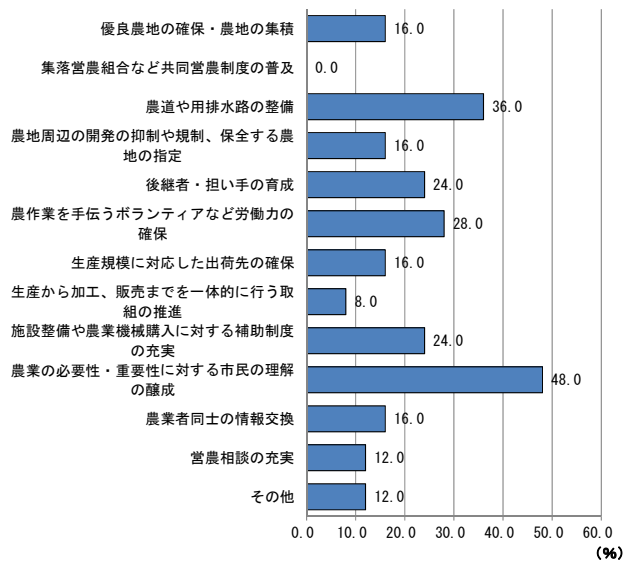


質問9 「質問8」で「1 ある」と回答された方にお伺いします。あなたは、耕作していない農地についてどうお考えですか。

× 質問16 あなたが、白井市の農業施策に期待することは何ですか。

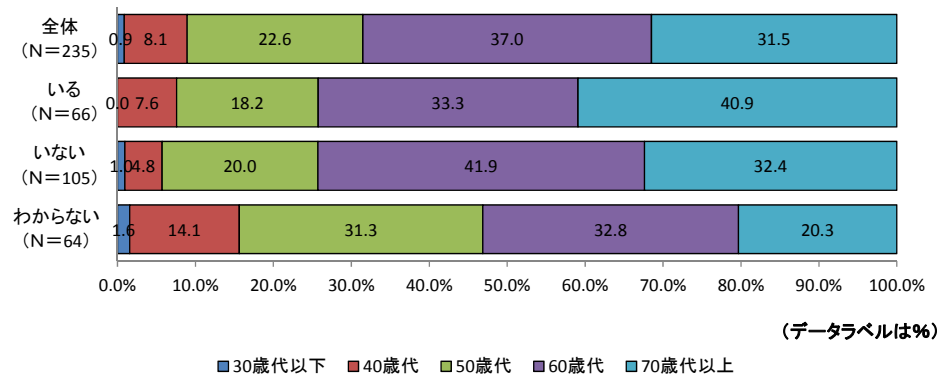


その他（N=25）



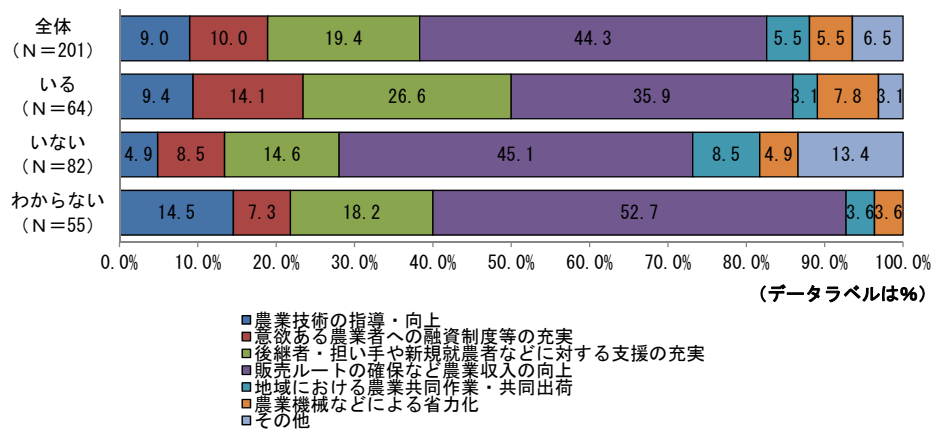
質問１０ あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。

× 質問３ あなたの年齢は何歳ですか。



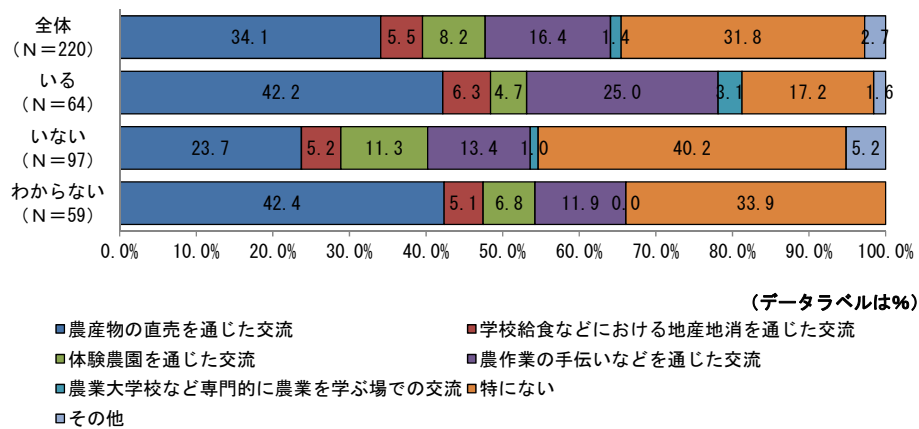
質問１０ あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。

× 質問１１ あなたは、後継者・担い手を確保・育成するためには何が必要だと思いますか。



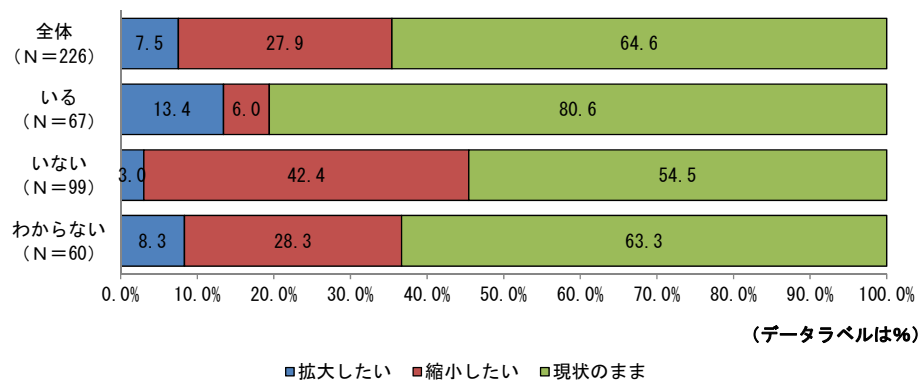
質問１０ あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。

× 質問１２ あなたは、農業を通じた市民との交流について、どのような交流を望んでいますか。



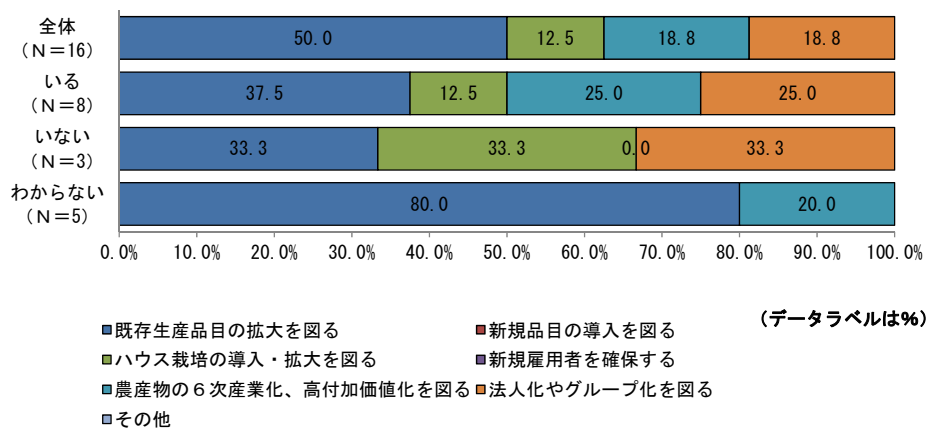
質問 10 あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。

× 質問 13 あなたは、今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。



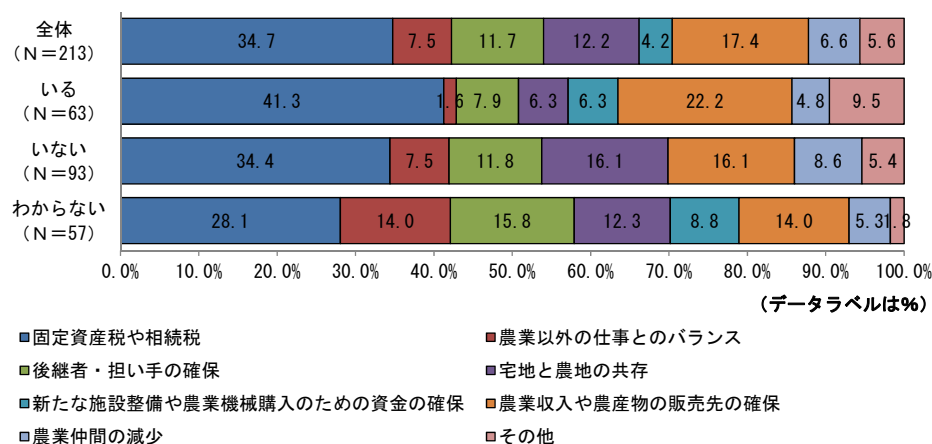
質問 10 あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。

× 質問 14 あなたは、今後、どのようなことに取り組みたいと思いますか。



質問 10 あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。

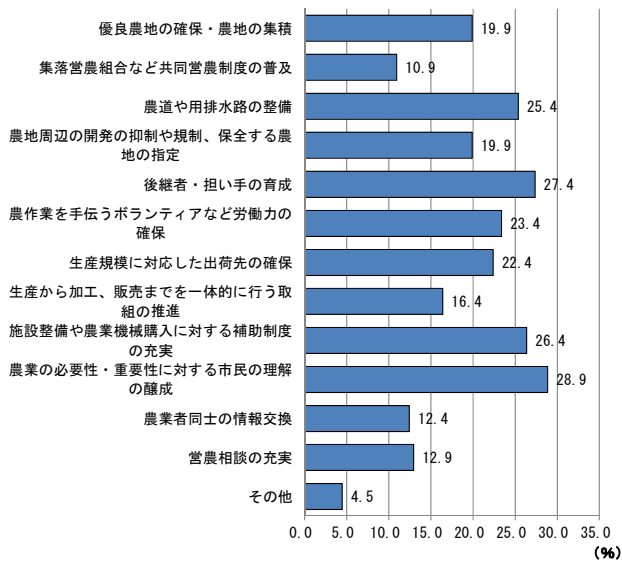
× 質問 15 あなたが10年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。



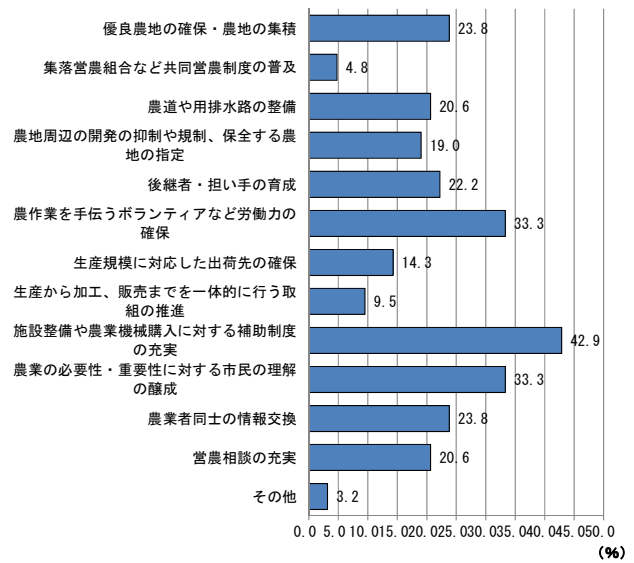
質問１０ あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。

× 質問１６ あなたが、白井市の農業施策に期待することは何ですか。

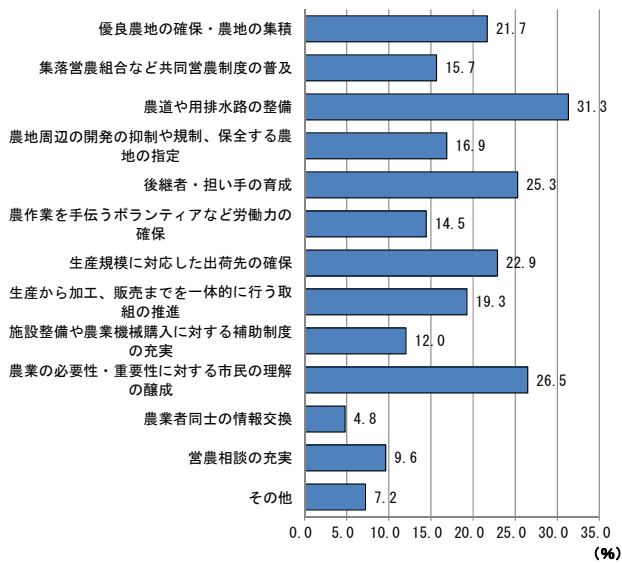
全体（N=201）



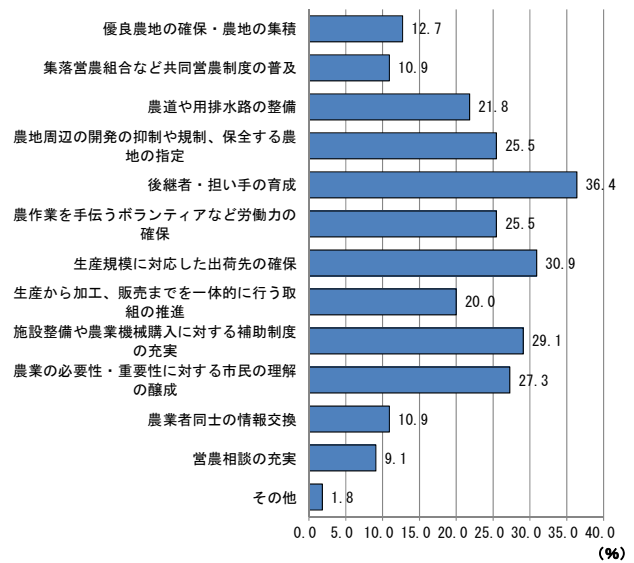
いる（N=63）



いない（N=83）

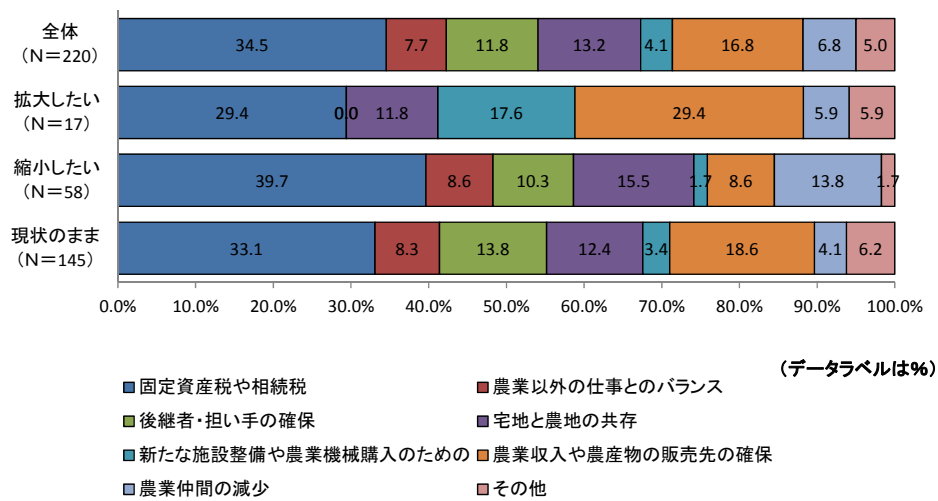


わからない（N=55）



質問 1 3 あなたは、今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。

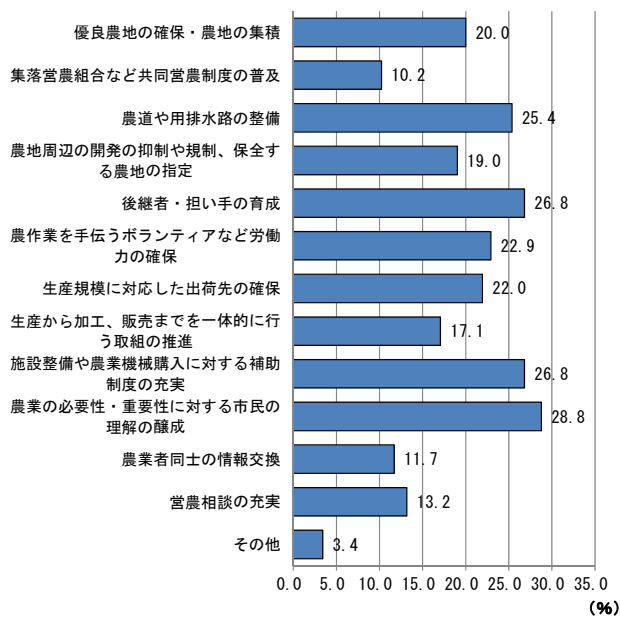
× 質問 1 5 あなたが 1 0 年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。



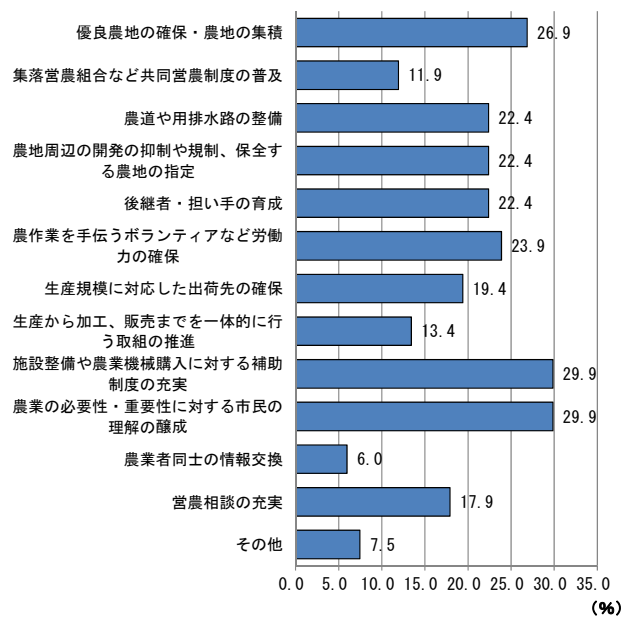
質問 15 あなたが10年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。

× 質問 16 あなたが、白井市の農業施策に期待することは何ですか。

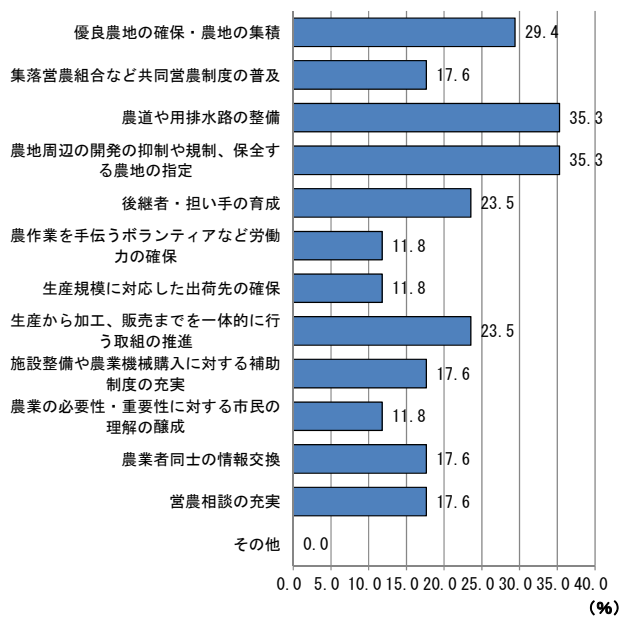
全体 (N=205)



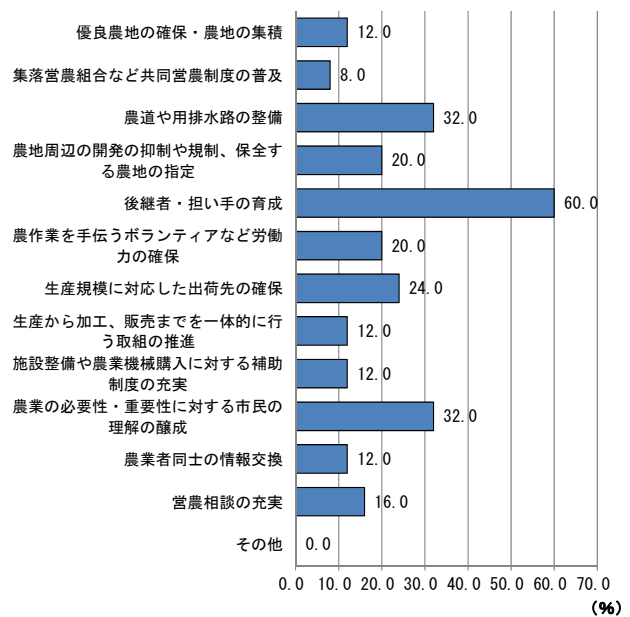
固定資産税や相続税 (N=67)



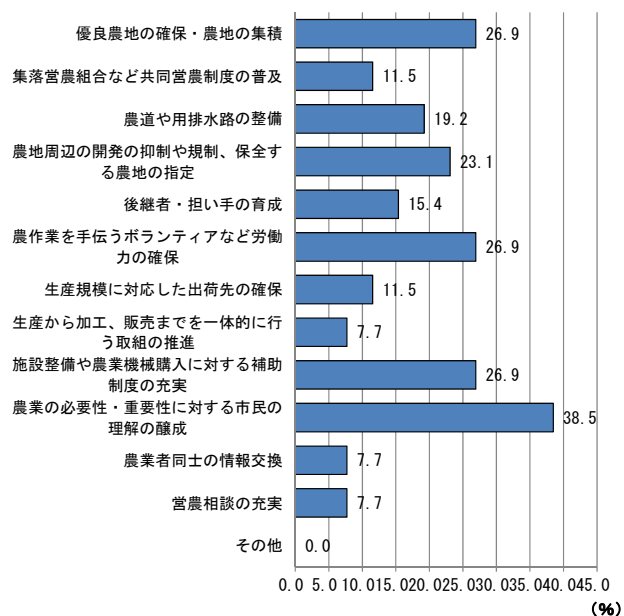
農業以外の仕事とのバランス (N=17)



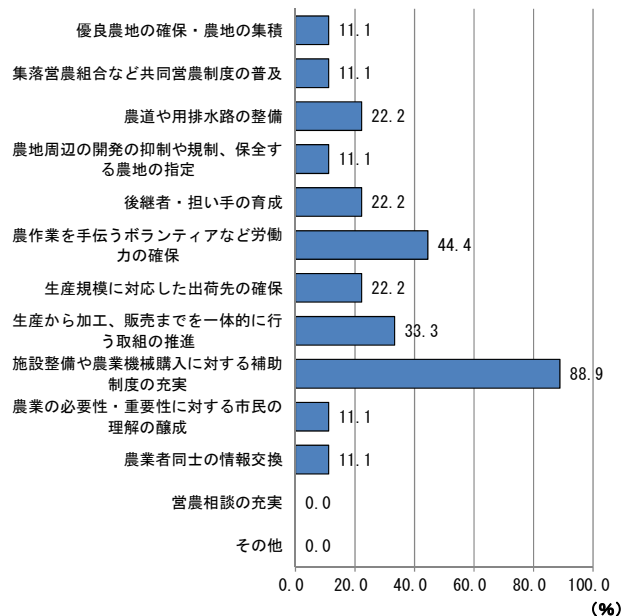
後継者・担い手の確保 (N=25)



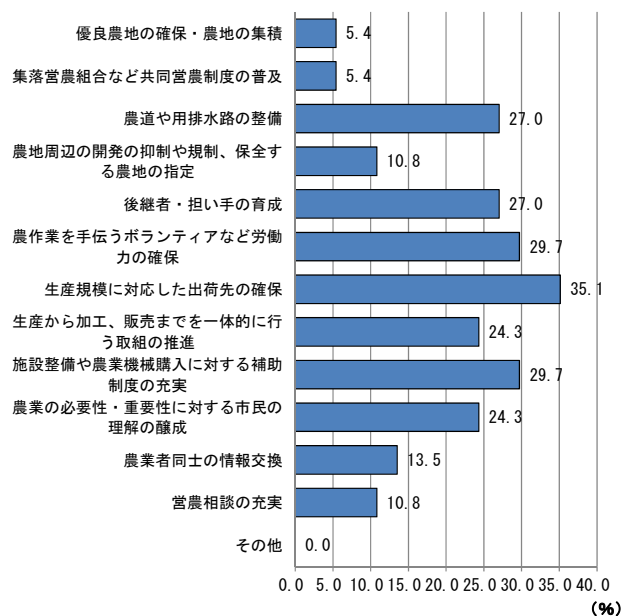
宅地と農地の共存（N=26）



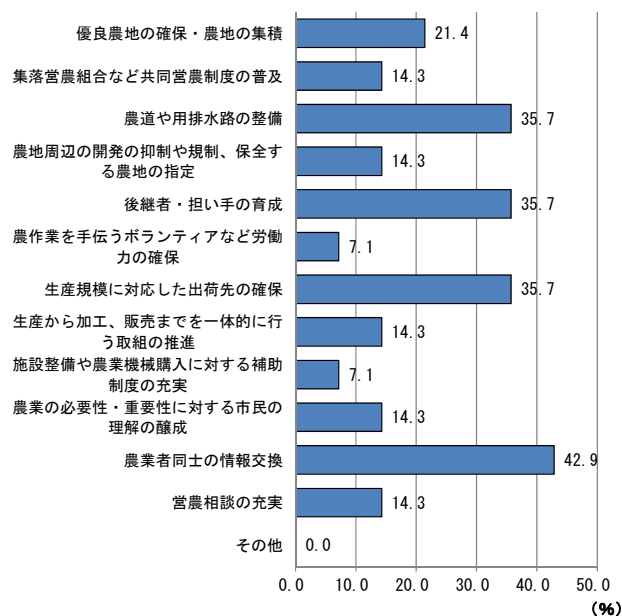
新たな施設整備や農業機械購入のための資金の確保（N=9）



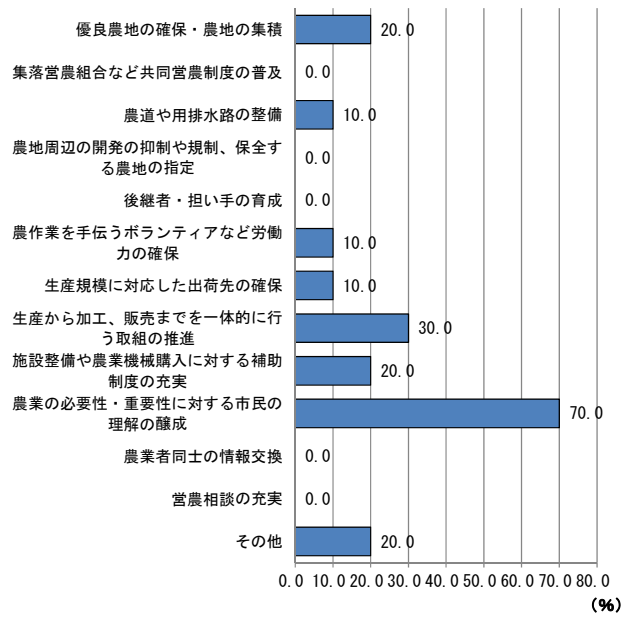
農業収入や農産物の販売先の確保（N=37）



農業仲間の減少（N=14）



その他（N=10）



2. 農業に関する消費者アンケート調査

1) 調査の目的

白井市内の居住者に対し、農産物の購入状況や農業に対する考えなどを聞き、「白井市ひと・まち・しごと創生総合戦略」策定のための基礎資料を作成する。

2) 調査の方法

- (1) 調査地域・・・白井市全域
- (2) 調査対象・・・18才以上の白井市民
- (3) 抽出方法・・・無作為抽出
- (4) 調査方法・・・郵送による配布、回収
- (5) 調査期間・・・平成27年7月11日～平成27年7月24日
- (6) 調査機関・・・昭和株式会社

3) 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
2,000	944	47.2%

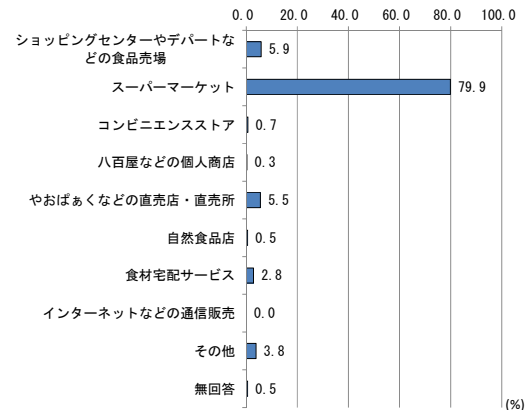
4) 調査結果概要

(1) 消費行動について

「質問6 野菜などを買う時のポイント」は、「国産である」や「価格が安い」と回答した人が多く、「白井産など地場産品である」と回答した人は1割程度にとどまっています。

「質問5 食材を主に購入する場所」は、「スーパーマーケット」が79.9%と突出していますが、「質問7 地元農産物販売コーナーの利用頻度」は、あまり高くありません。

今後も消費者のニーズが多様化する中で、「白井産の地場産品」をいかに購入してもらうか、周知活動やイベントなどを展開し、消費者の購買意欲をかき立てる方策を検討する必要があります。



質問5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。

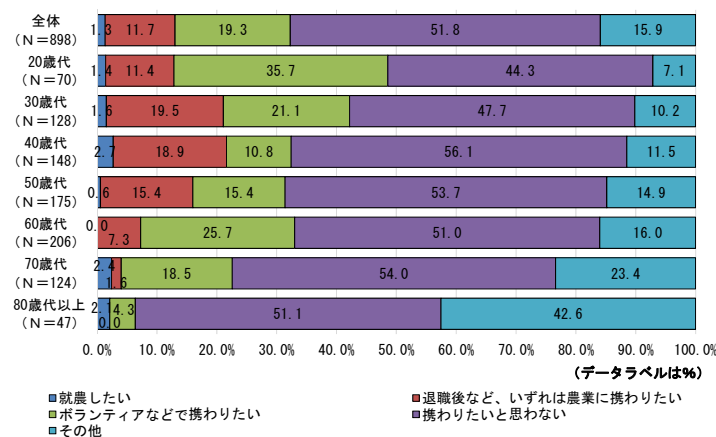
(2) 農業との関わりについて

「質問10 農業に携わりたいと思いますか」では、「就農したい」と回答した人は1.3%にとどまり、「携わりたいと思わない」と回答した人が50.2%で半数を超えています。

年齢別に見ると、全ての年代で「携わりたいと思わない」と回答した人が50%前後いる一方で、「退職後など、いずれは農業に携わりたい」と回答した人は、50歳代で15.4%、40歳代で18.9%、30歳代で19.5%と、若年層になるほど多くなっています。さらに、20歳代では、「ボランティアなどで携わりたい」と回答した人が35.7%に上っています。

これは、「質問9 農業に対するイメージ」で、「重労働そうである」と回答した人が4割弱に上っていることから、年齢が上がるほど体力的に不安を感じる事が一因と考えられます。

比較的若い世代が農業に関心を持っていることから、この世代をいかに就農につなげていくかを検討していく必要があります。



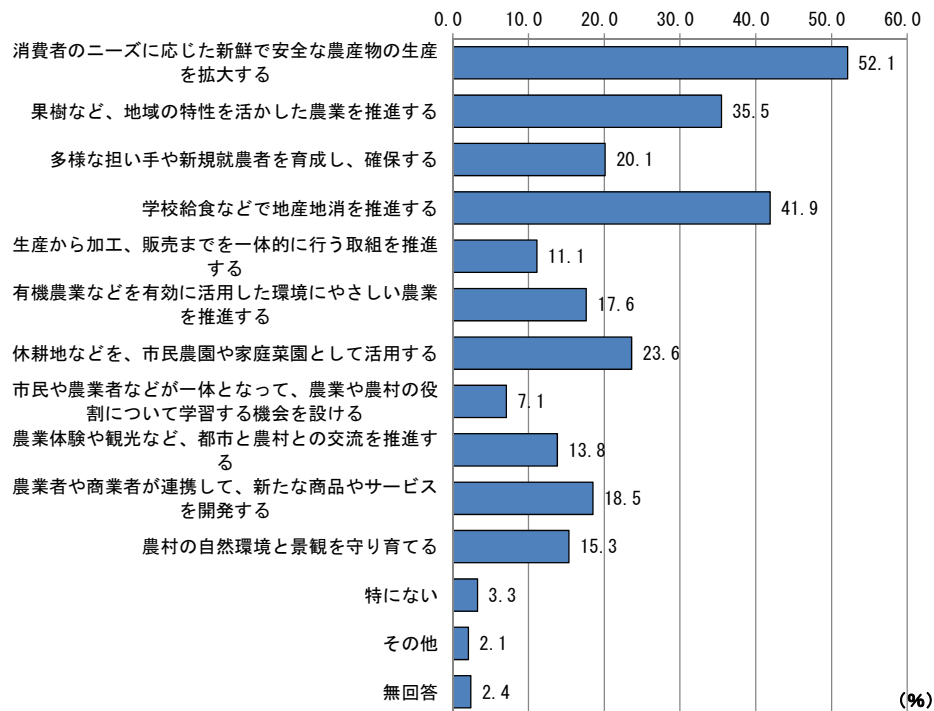
質問3 あなたの年齢は何歳ですか × 質問10 あなたは、農業に携わりたいと思いますか。

(3) 今後の取り組みについて

「質問１２ 白井市の農業を守るために取り組んでみたいこと」は、「白井産の農産物等を積極的に購入」と回答した人が５割半ばで最も多くなっています。

また、「質問１３ 白井市の農業施策に期待すること」は、「消費者ニーズに応じた新鮮で安全な農産物の生産を拡大する」と回答した人が５２.１％で最も多く、次いで「学校給食などで地産地消を推進する」と回答した人が４１.９％となっています。

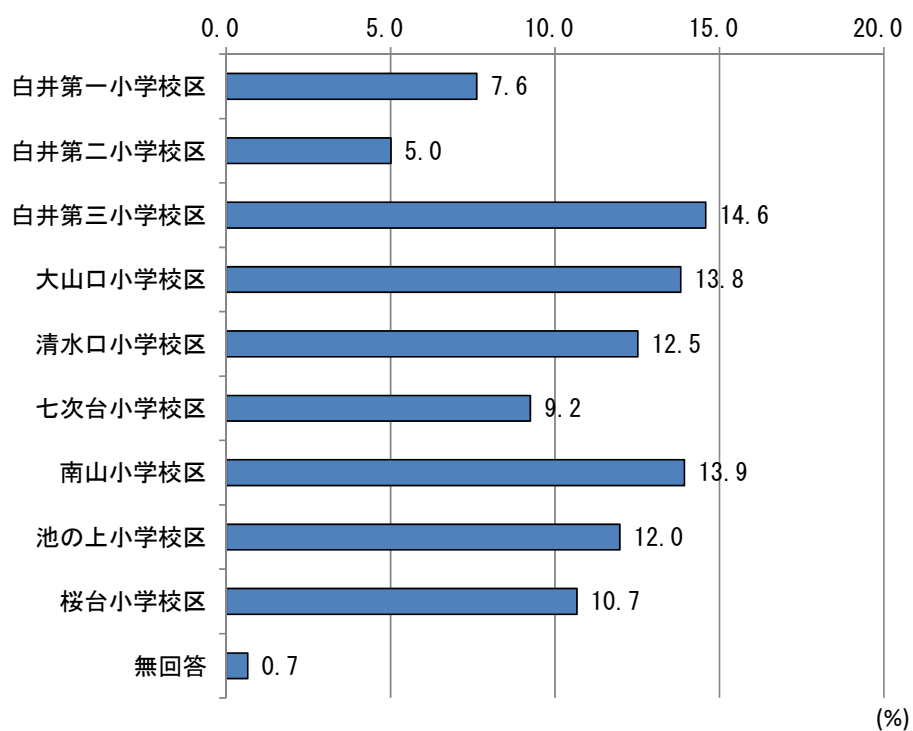
「質問５ 食材を主に購入する場所」は「スーパーマーケット」と回答した人が多いことから考えると、スーパーマーケットでの白井産の地場産品売場の確保や白井産の農産物のＰＲ活動などによる販売促進方策などを検討する必要があります。



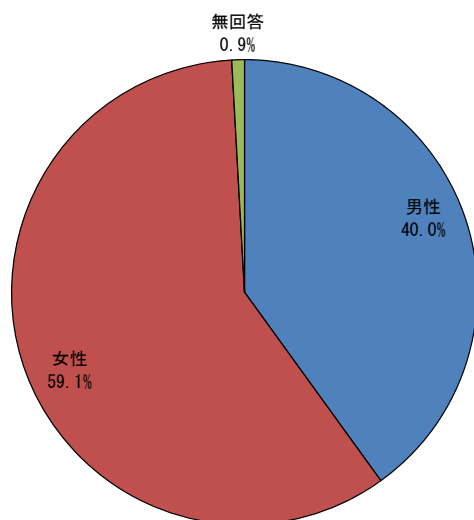
質問１３ あなたは、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。

5) 単純集計結果

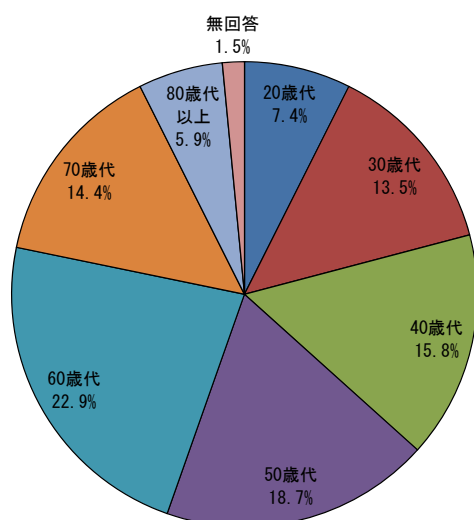
質問1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校に○をつけてください)



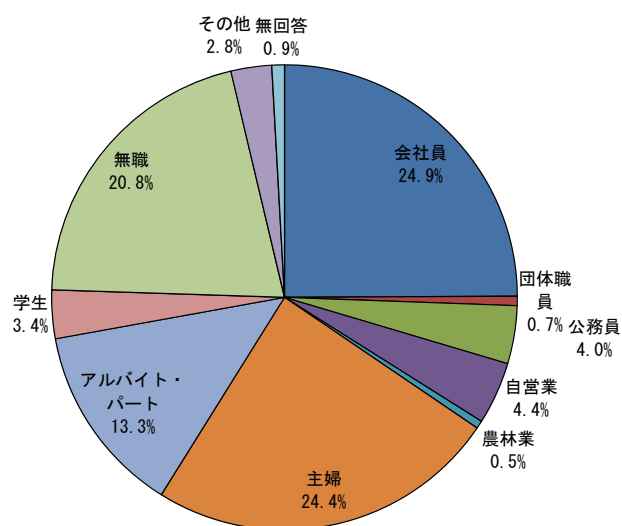
質問2 あなたの性別はどちらですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



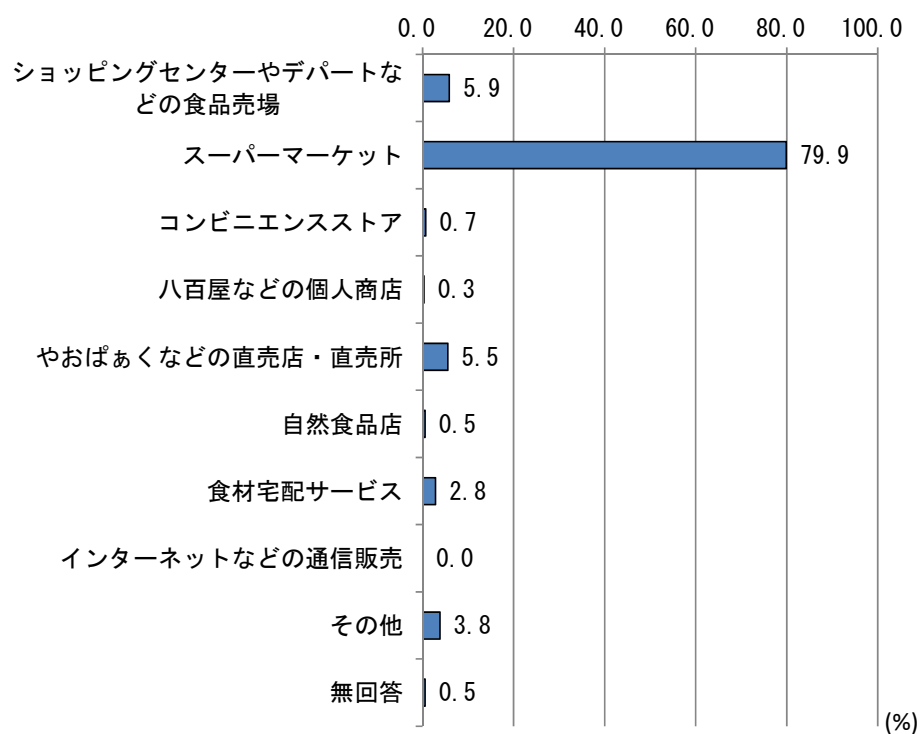
質問3 あなたの年齢は何歳ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



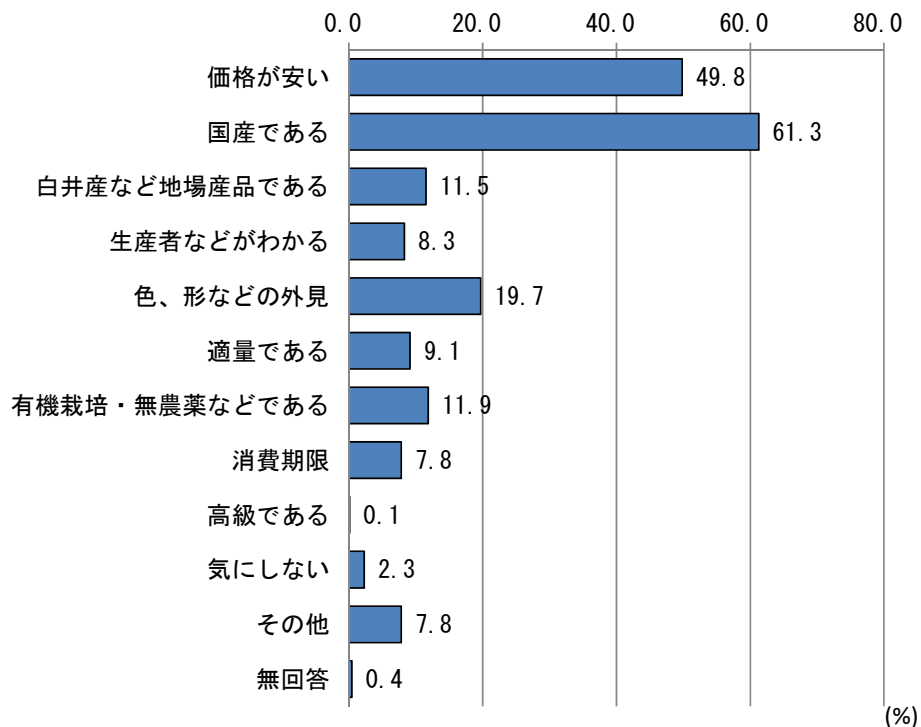
質問4 あなたの職業は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



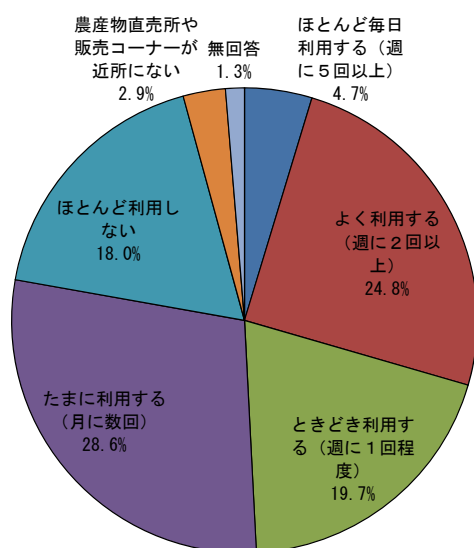
質問5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



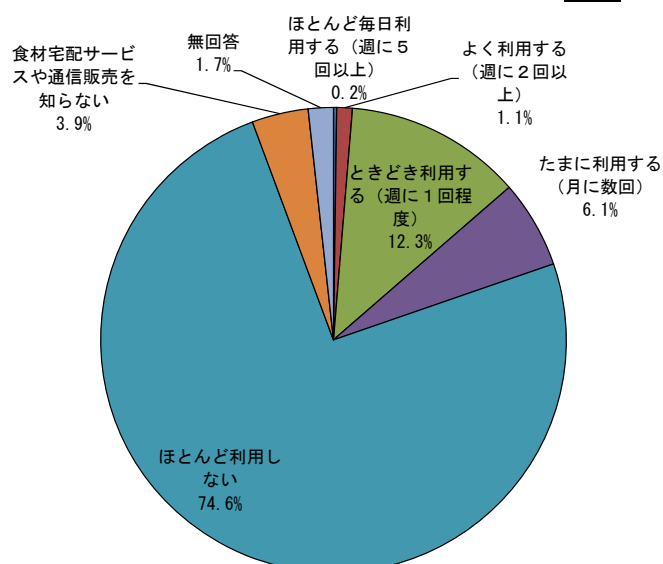
質問6 あなたは、野菜などを買う時にポイントにしていることは何ですか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。



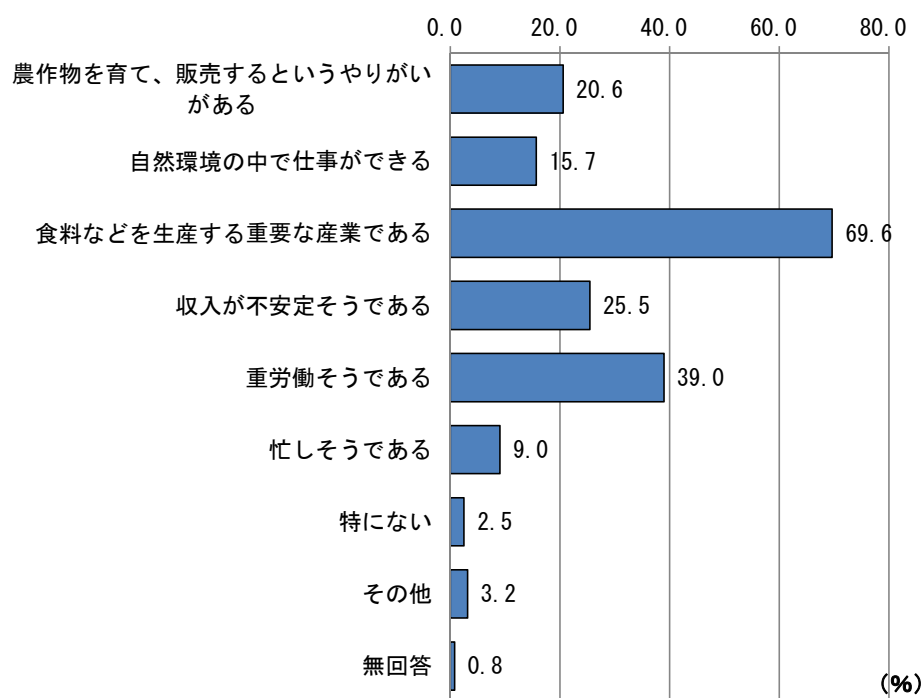
質問7 あなたは、農産物直売所やスーパーマーケットの地元農産物販売コーナーなどをどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



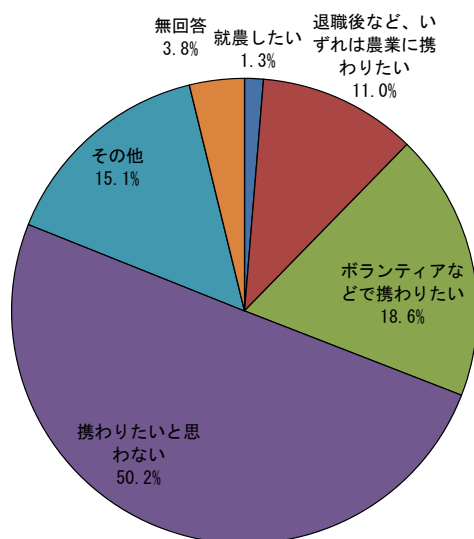
質問8 あなたは、食材宅配サービスやインターネットなどの農産物の通信販売をどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



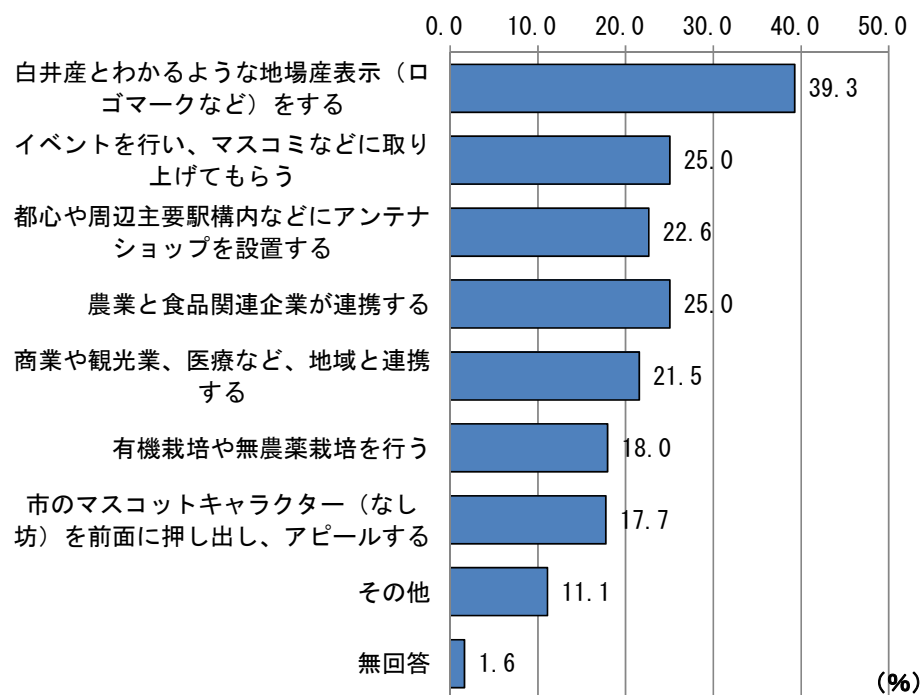
質問 9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。



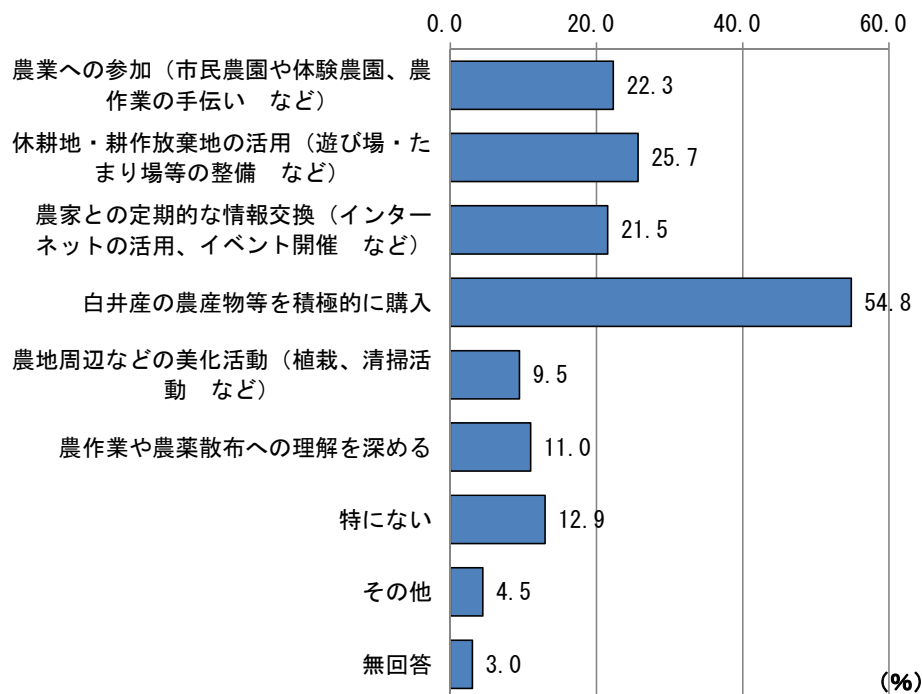
質問 10 あなたは、農業に携わりたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



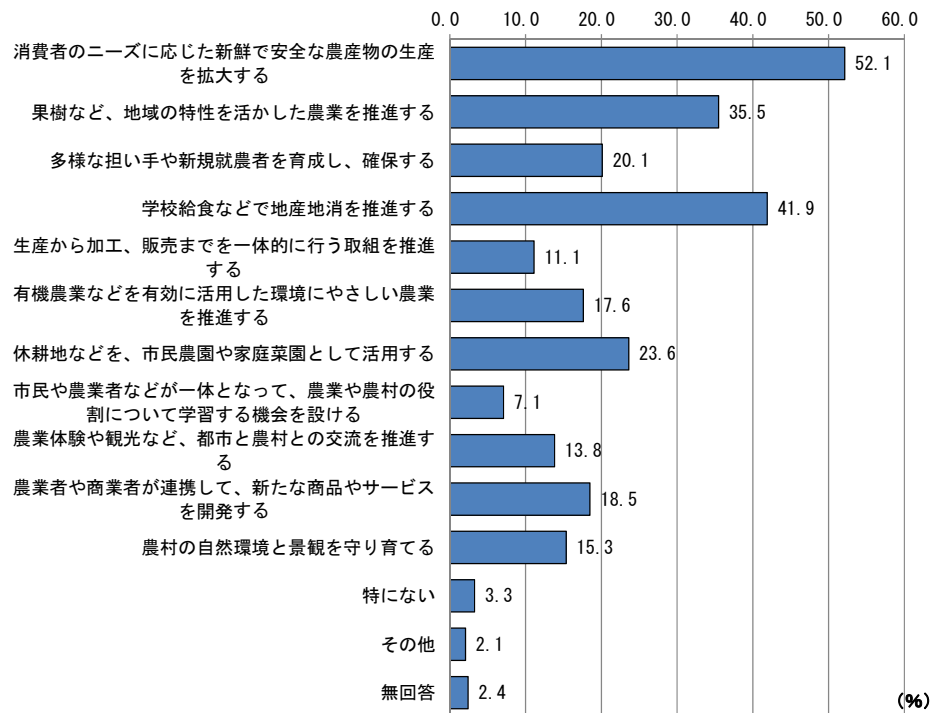
質問 1 1 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。



質問 1 2 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。



質問１３ あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。

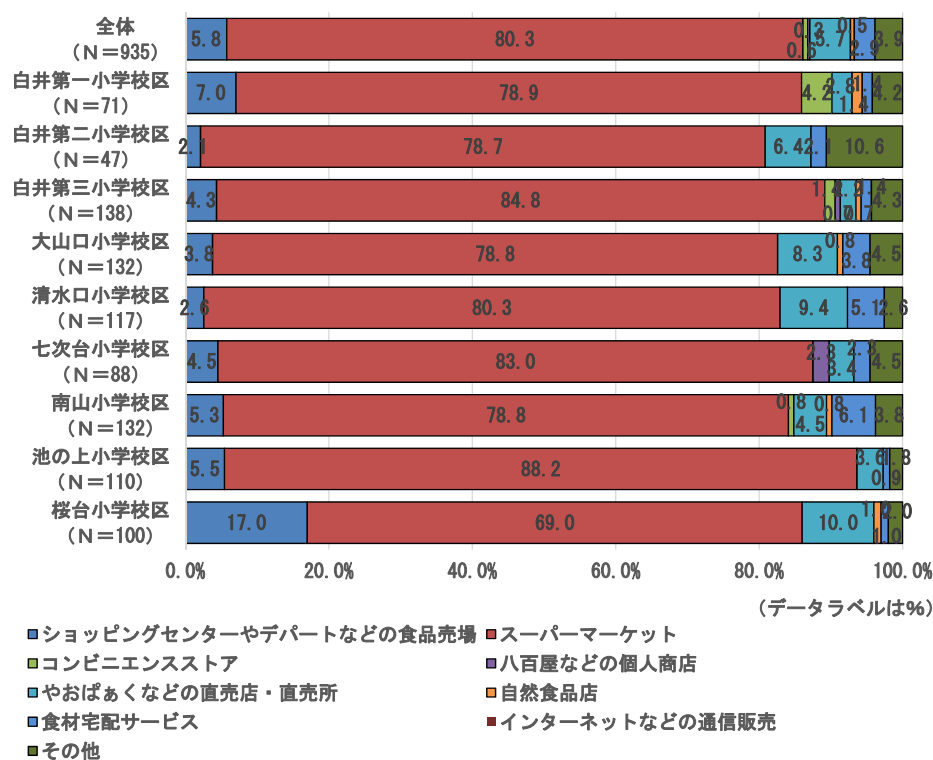


質問１４ あなたは、１０年後の白井市の農業がどうあって欲しいですか。ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

6) クロス集計結果

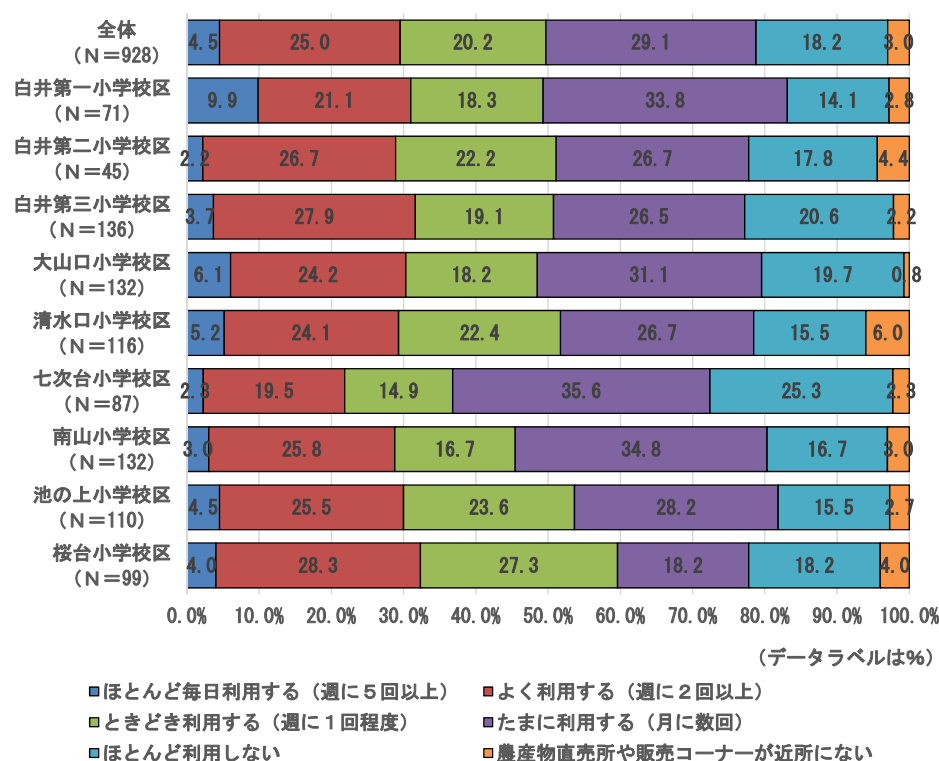
質問 1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。

× 質問 5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。



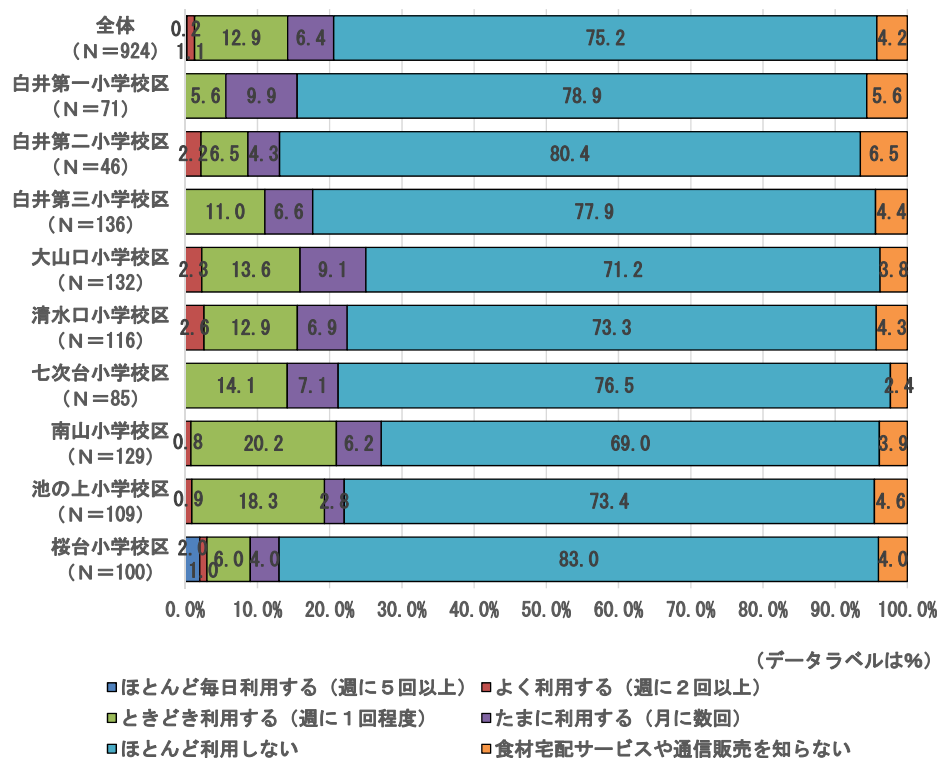
質問 1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。

× 質問 7 あなたは、農産物直売所やスーパーマーケットの地元農産物販売コーナーなどをどのくらいの頻度で利用していますか。



質問 1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。

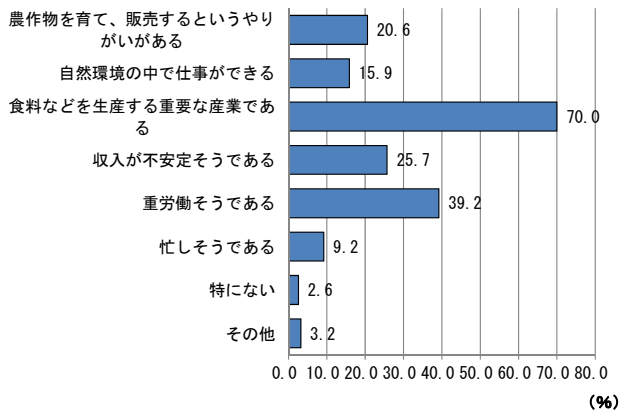
× 質問 8 あなたは、食材宅配サービスやインターネットなどの農産物の通信販売をどのくらいの頻度で利用していますか。



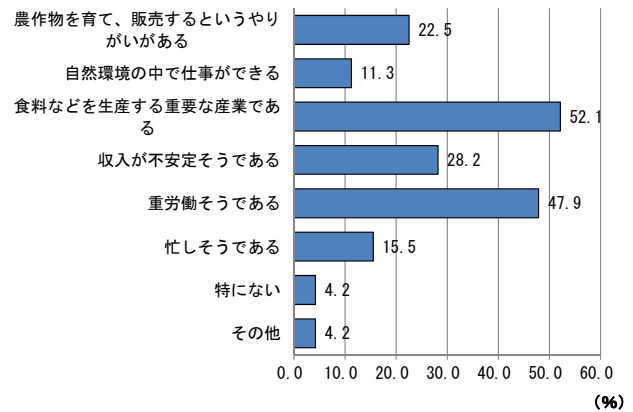
質問 1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。

× 質問 9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。

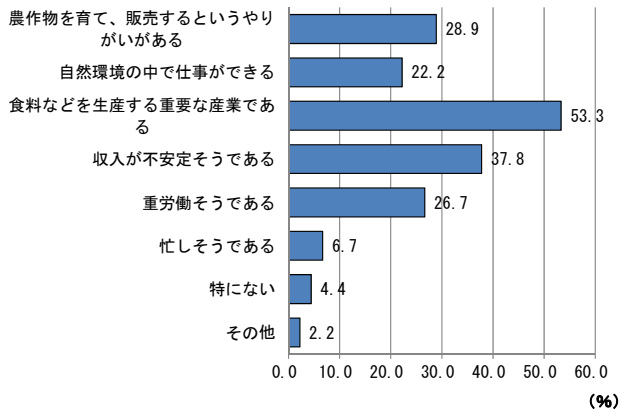
全体 (N=933)



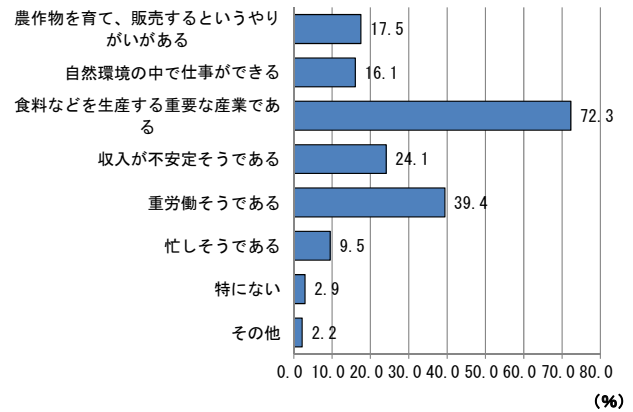
白井第一小学校区 (N=71)



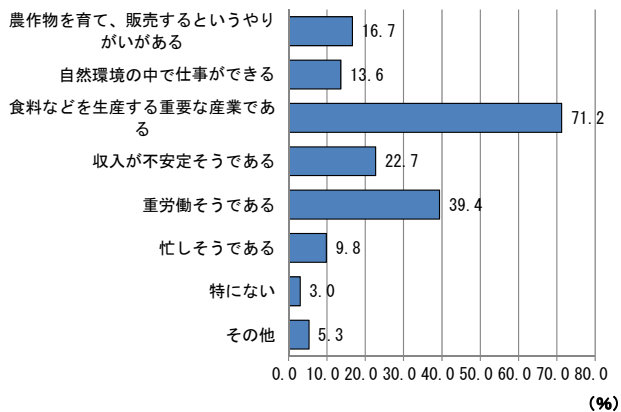
白井第二小学校区 (N=45)



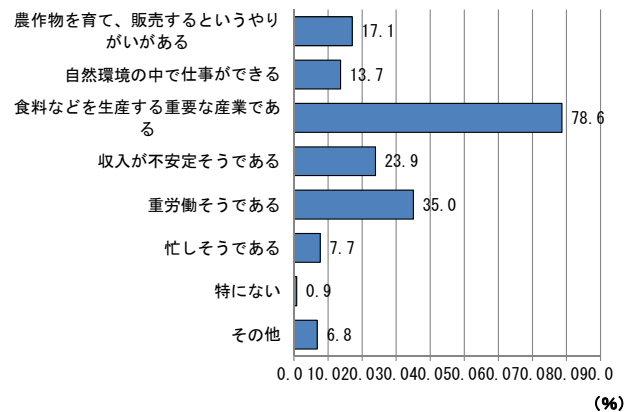
白井第三小学校区 (N=137)



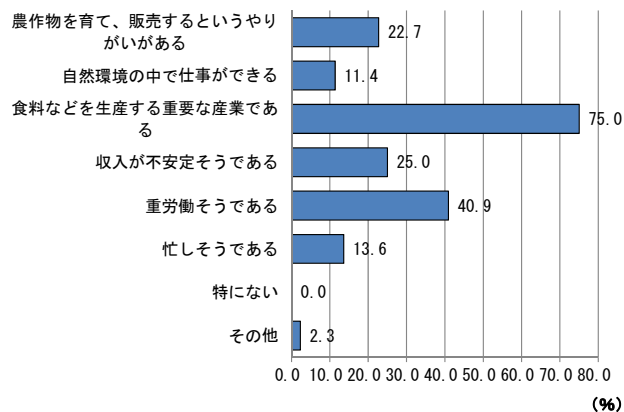
大山口小学校区 (N=132)



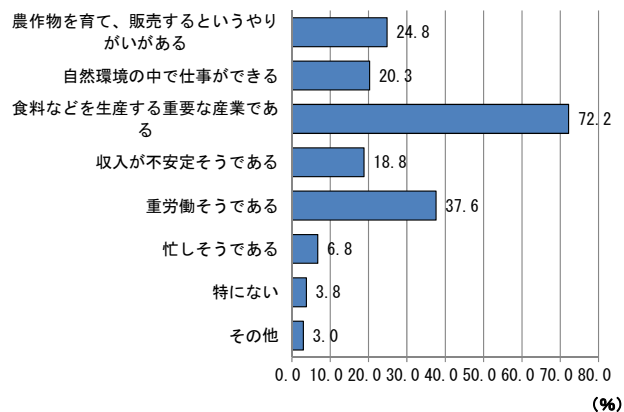
清水口小学校区 (N=117)



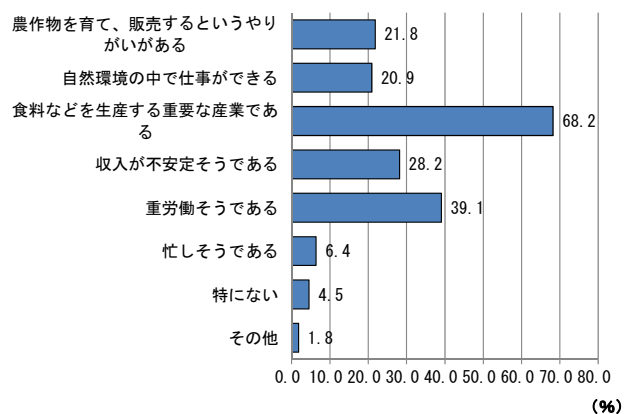
七次台小学校区 (N=88)



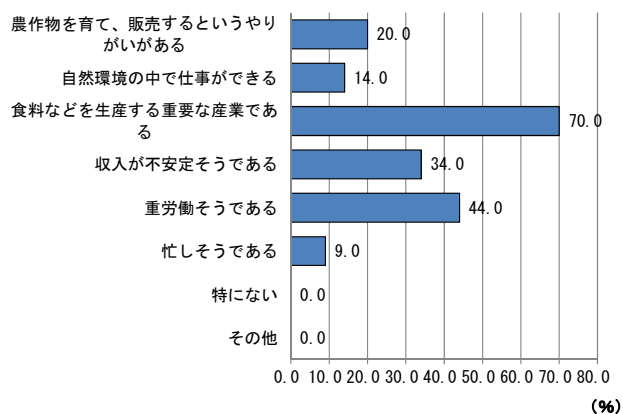
南山小学校区 (N=133)



池の上小学校区 (N=110)



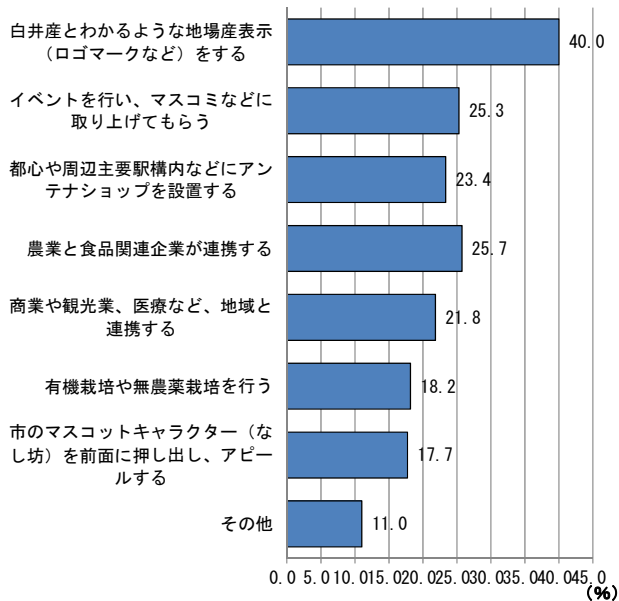
桜台小学校区 (N=100)



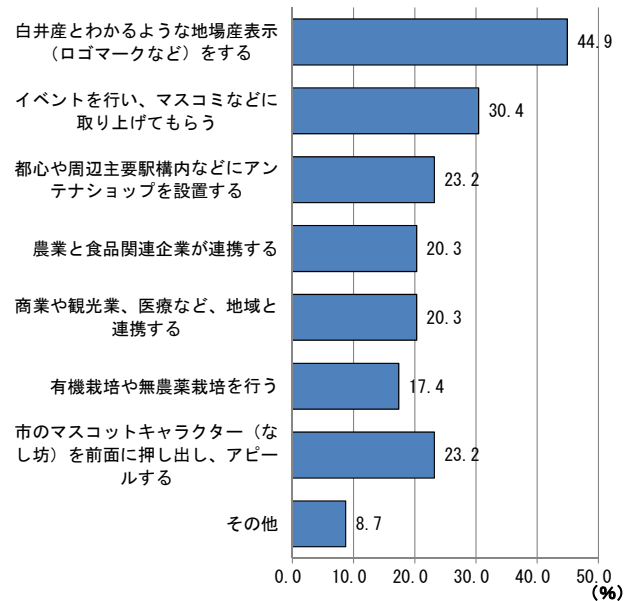
質問 1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。

× 質問 1 1 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。

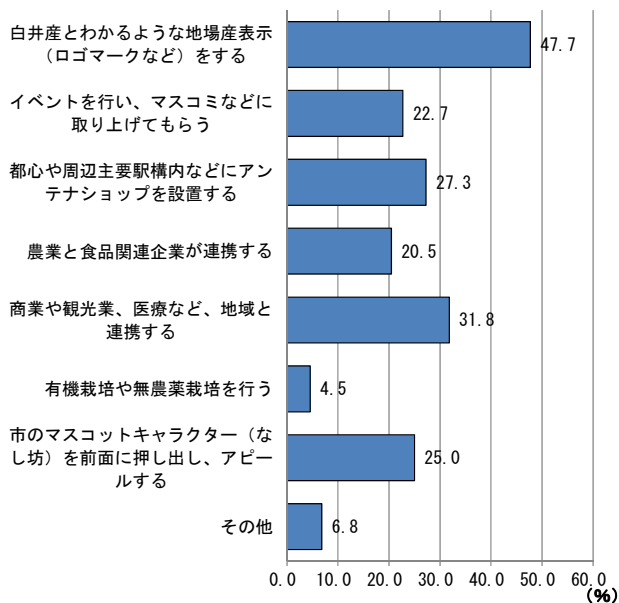
全体 (N=925)



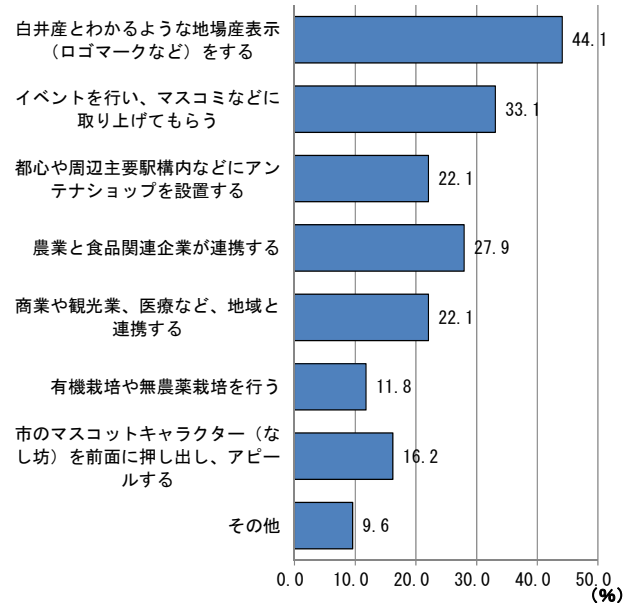
白井第一小学校区 (N=69)



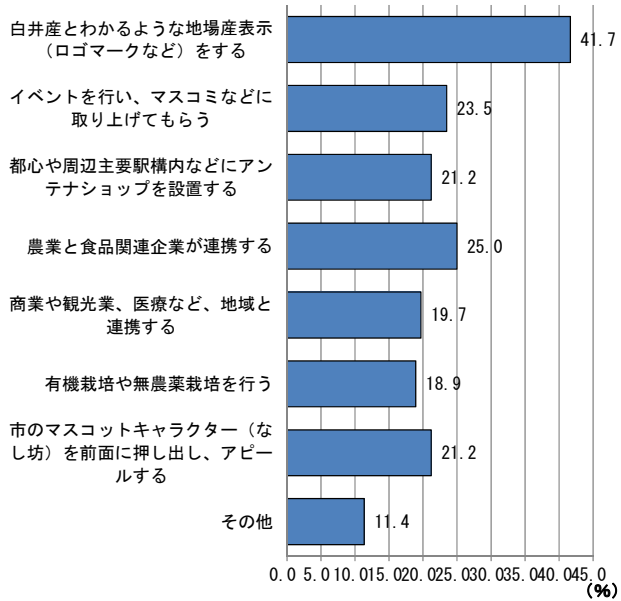
白井第二小学校区 (N=44)



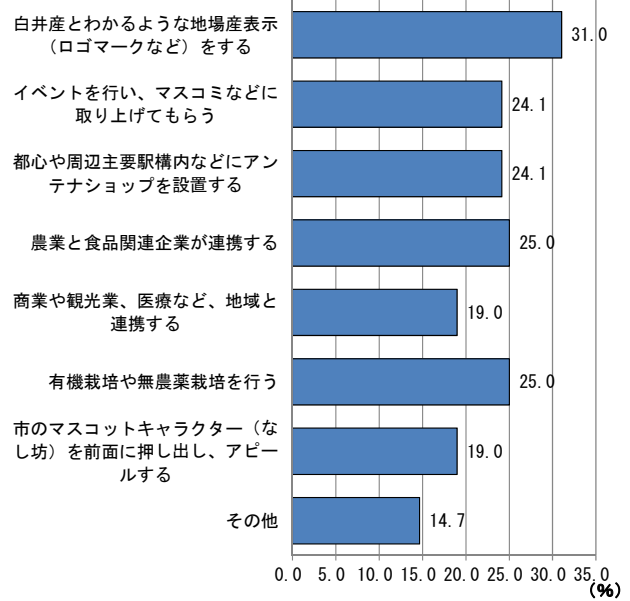
白井第三小学校区 (N=136)



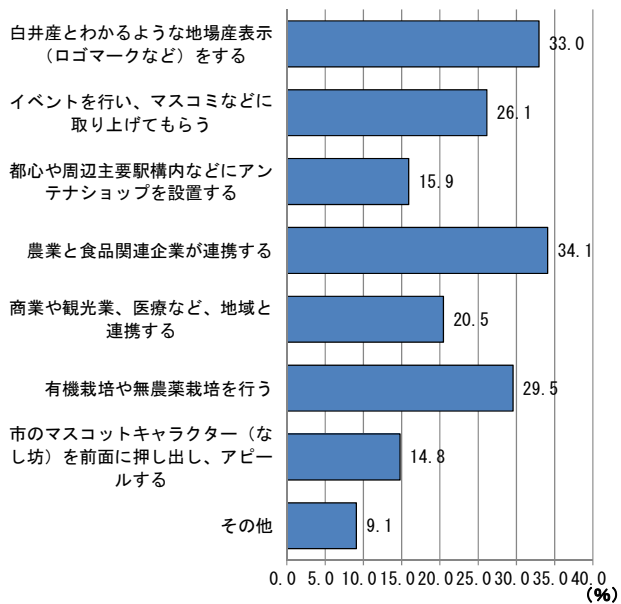
大山口小学校区（N=132）



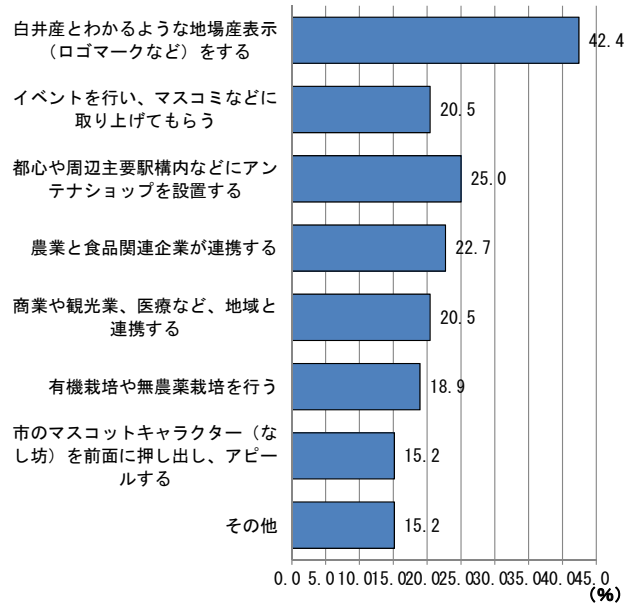
清水口小学校区（N=116）



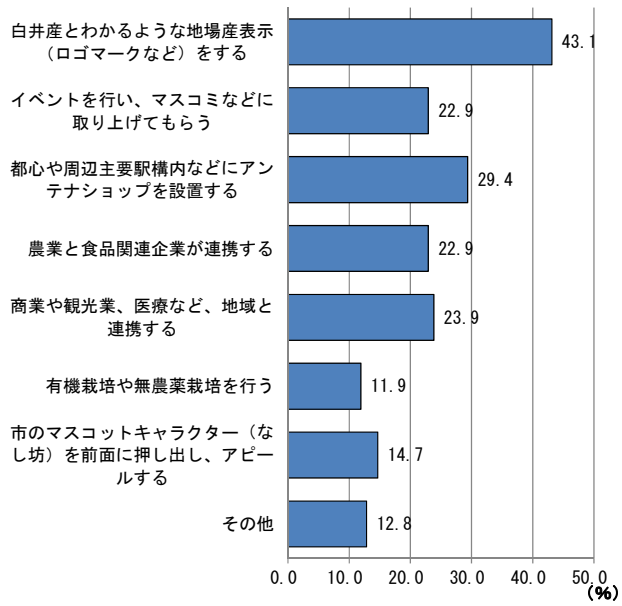
七次台小学校区（N=88）



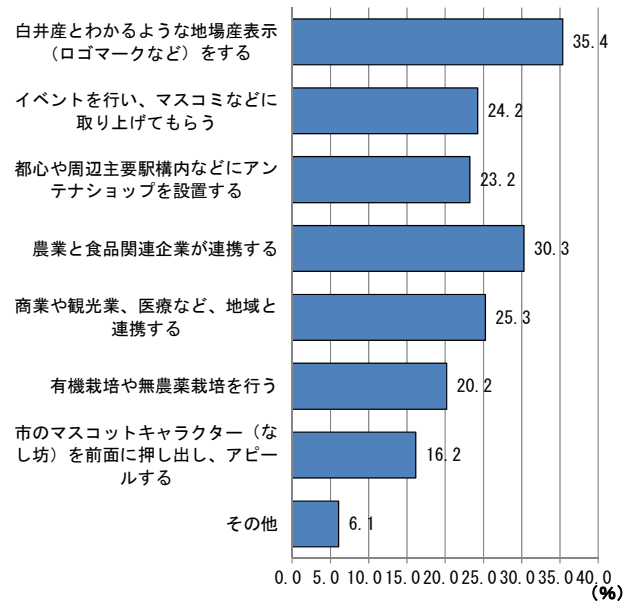
南山小学校区（N=132）



池の上小学校区（N=109）



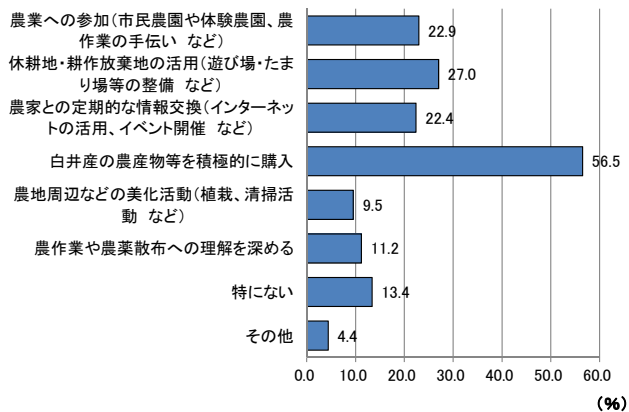
桜台小学校区（N=99）



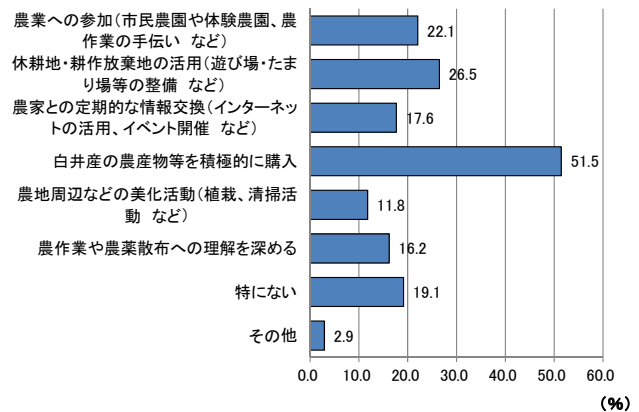
質問 1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。

× 質問 12 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。

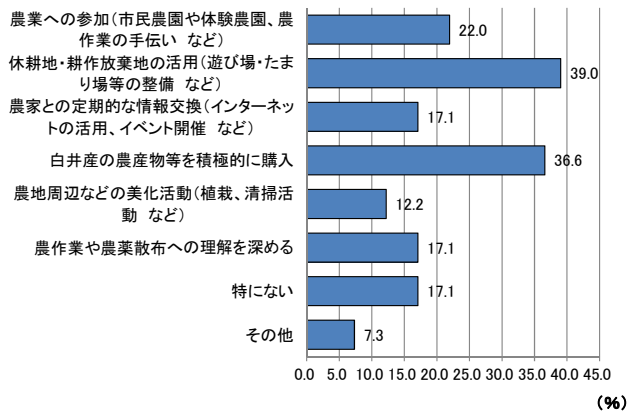
全体(N=911)



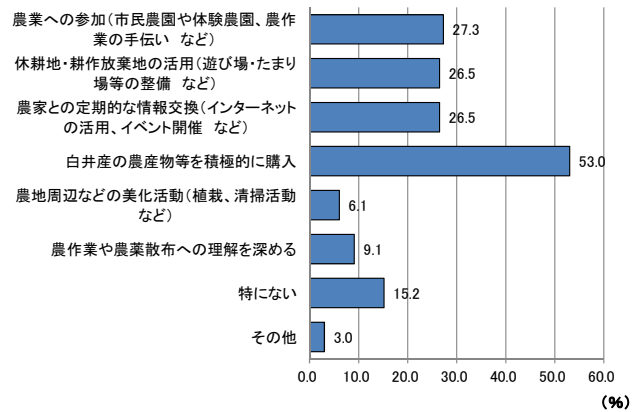
白井第一小学校区(N=68)



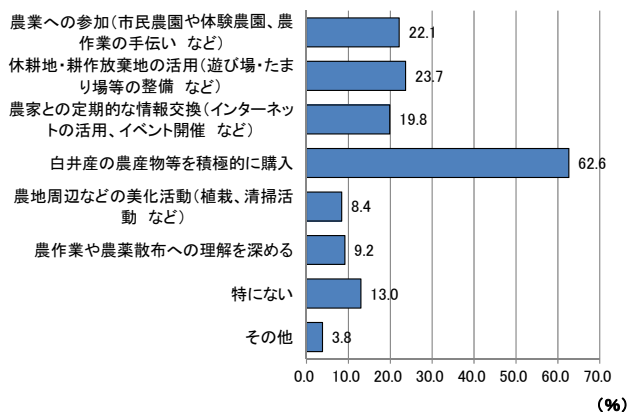
白井第二小学校区(N=41)



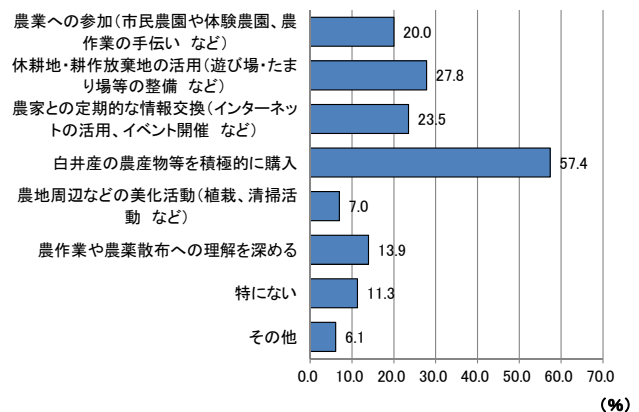
白井第三小学校区(N=132)



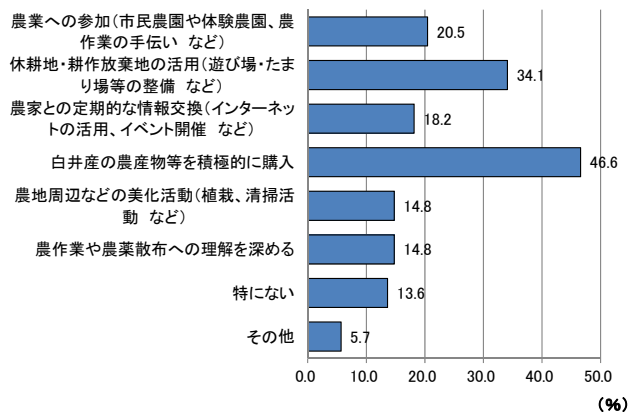
大山口小学校区(N=131)



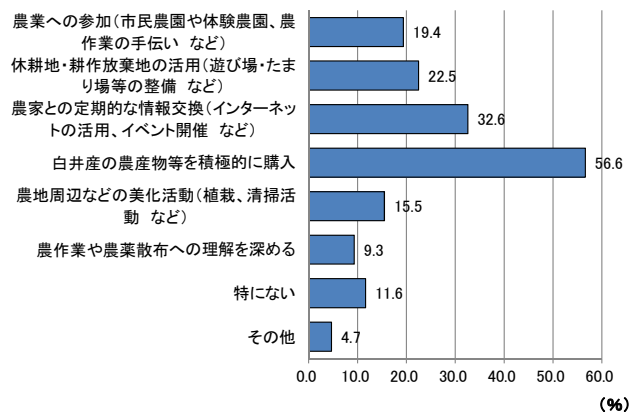
清水口小学校区(N=115)



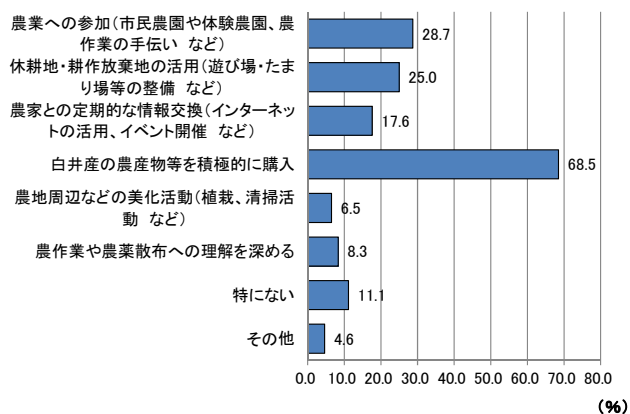
七次台小学校区(N=88)



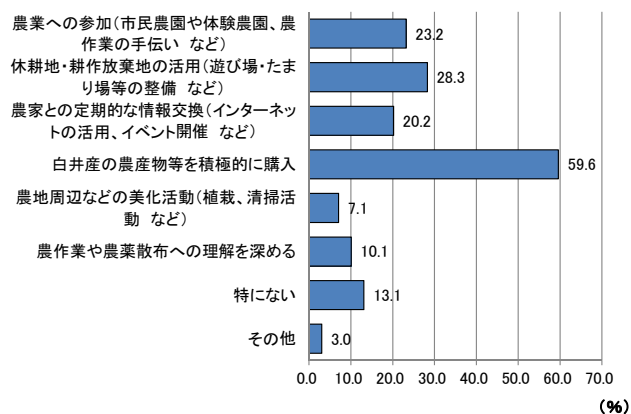
南山小学校区(N=129)



池の上小学校区(N=108)



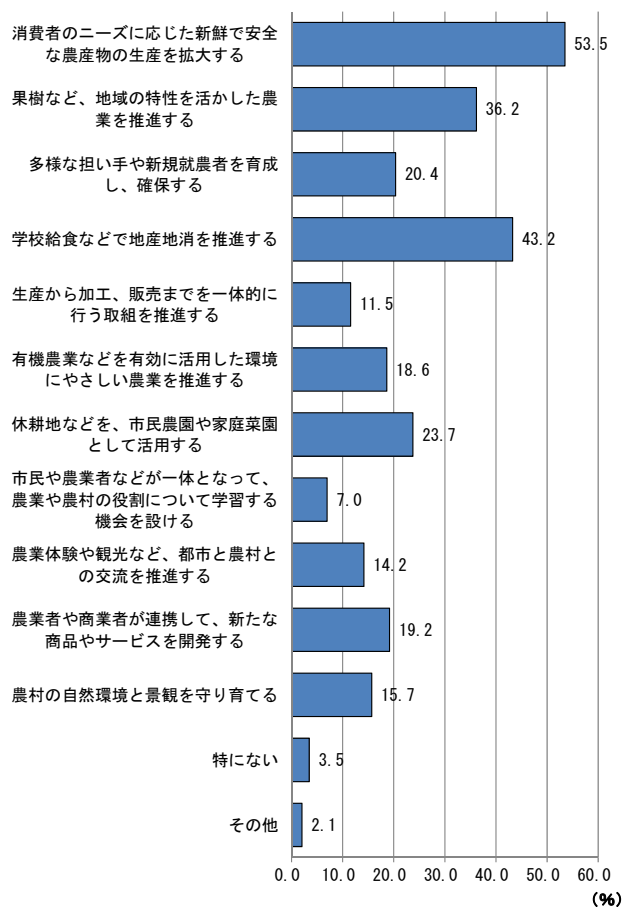
桜台小学校区(N=99)



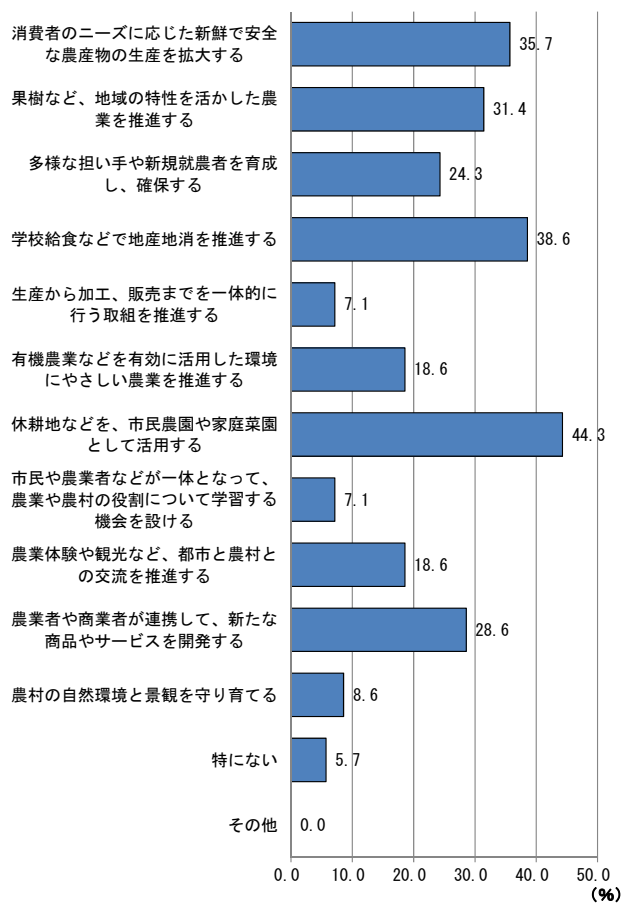
質問 1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。

× 質問 13 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。

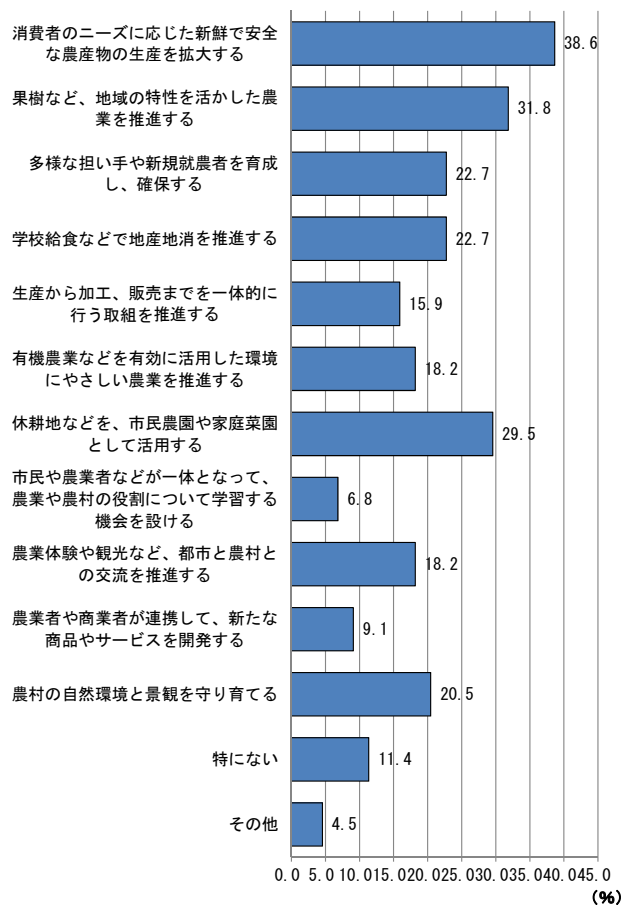
全体 (N=918)



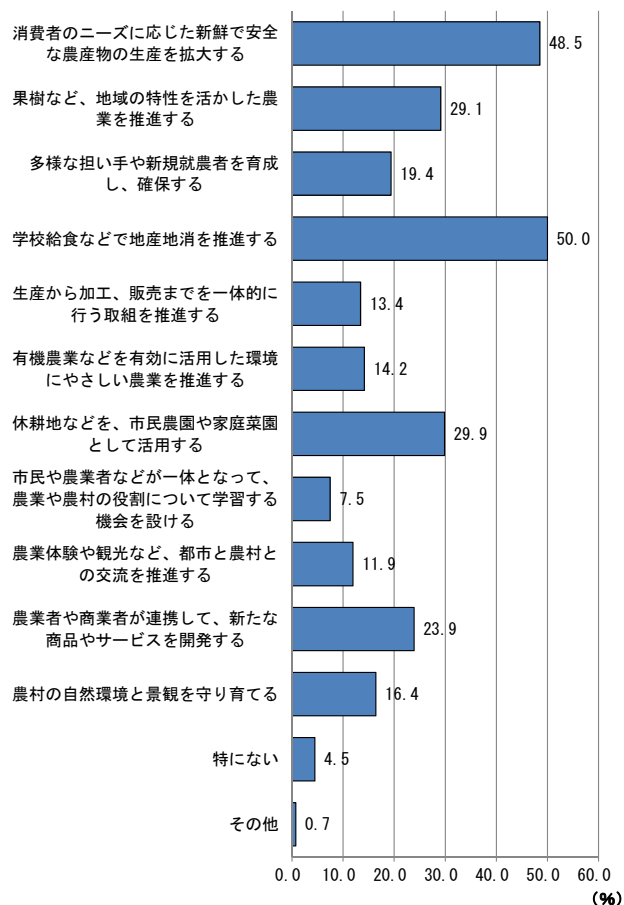
白井第一小学校区 (N=70)



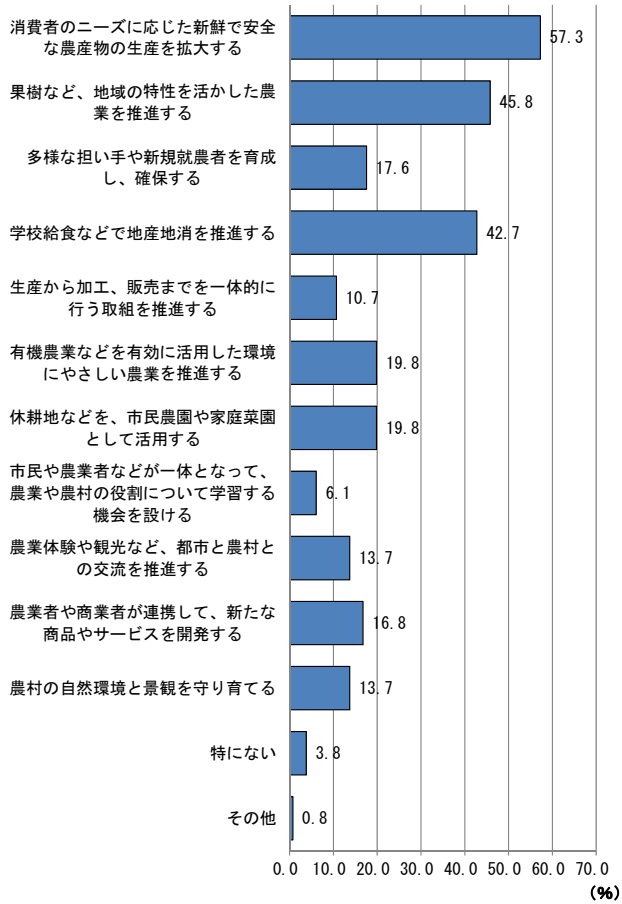
白井第二小学校区 (N=44)



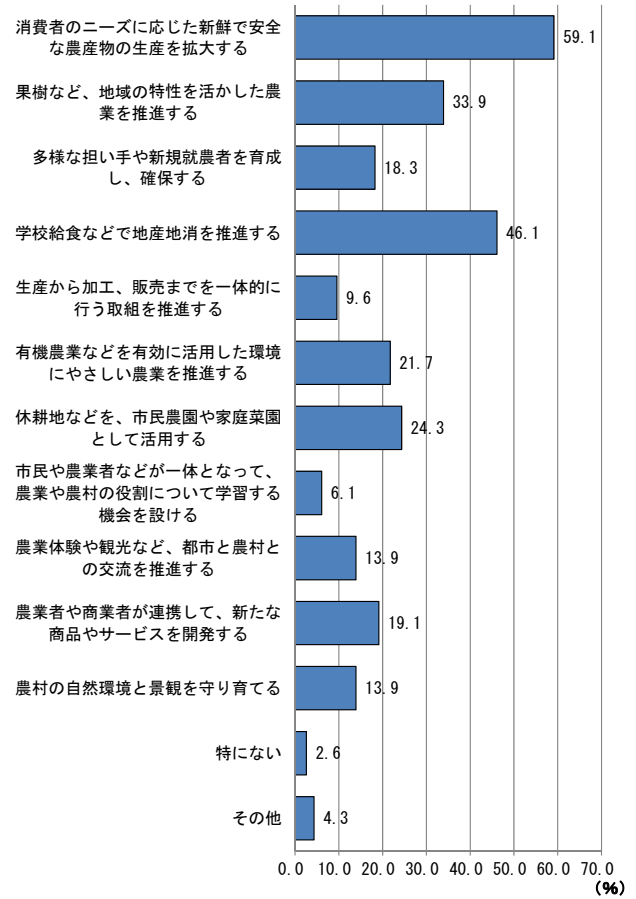
白井第三小学校区 (N=134)



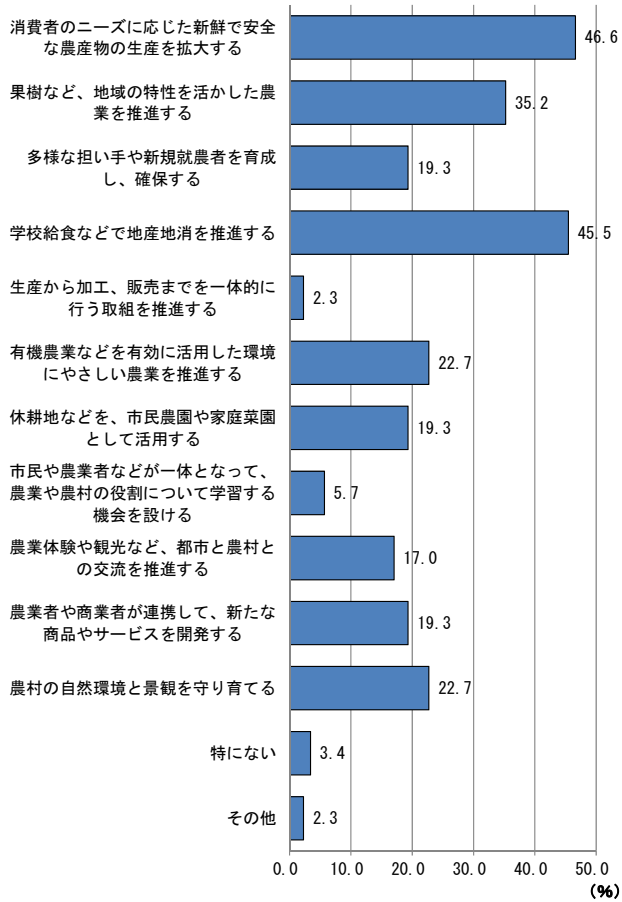
大山口小学校区 (N=131)



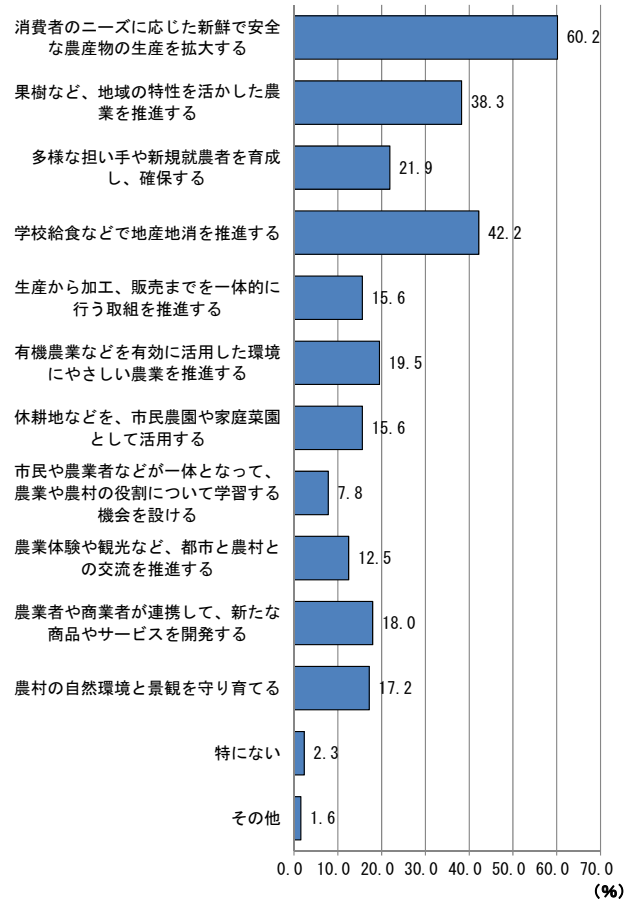
清水口小学校区 (N=115)



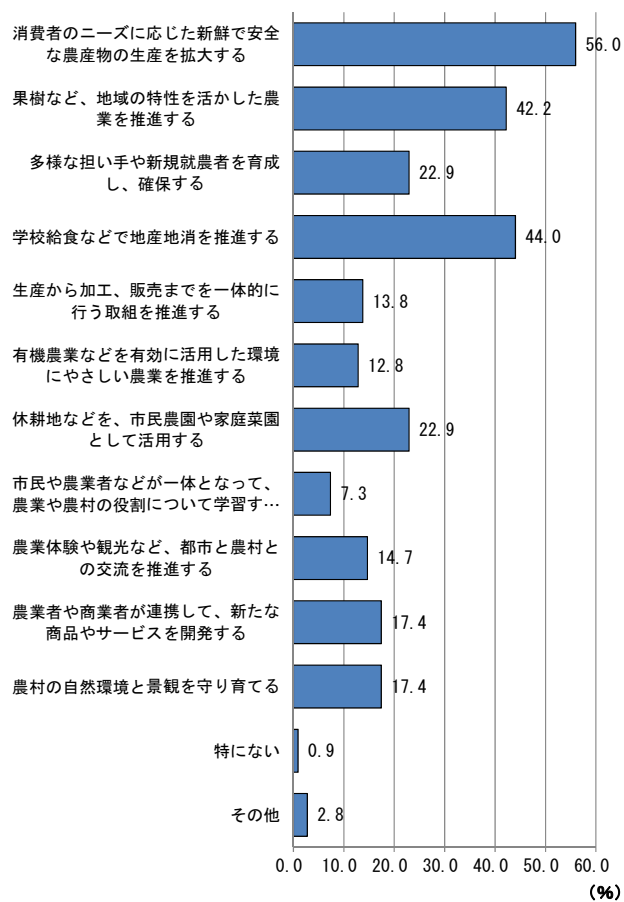
七次台小学校区 (N=88)



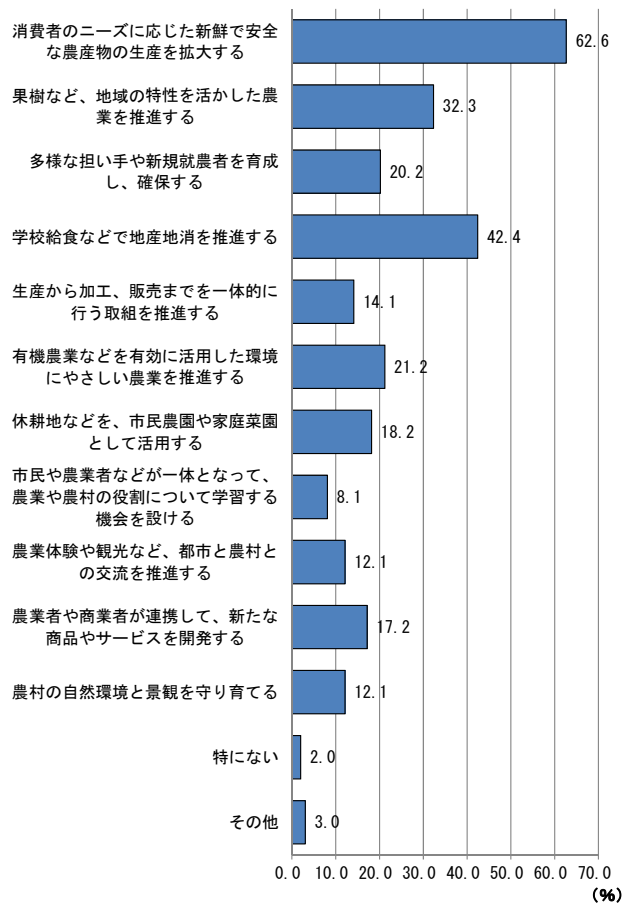
南山小学校区 (N=128)



池の上小学校区 (N=109)

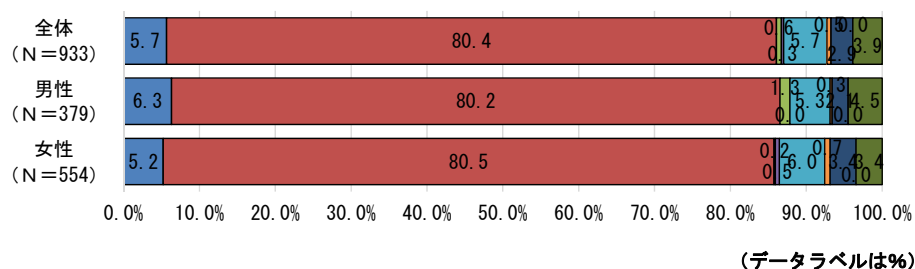


桜台小学校区 (N=99)



質問2 あなたの性別はどちらですか。

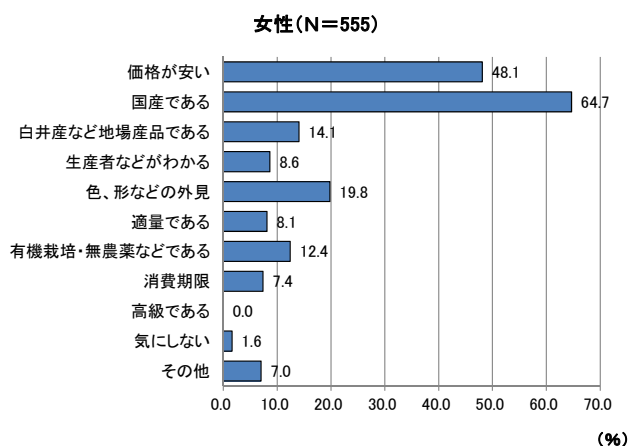
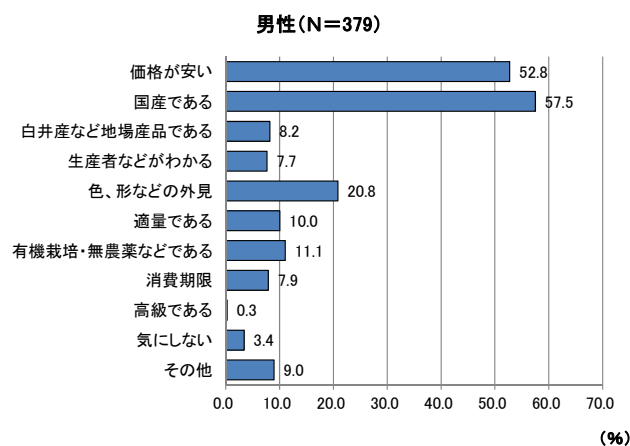
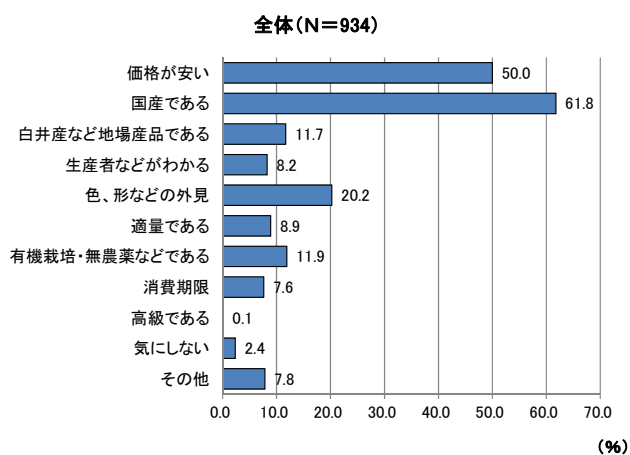
× 質問5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。



- ショッピングセンターやデパートなどの食品売場
- スーパーマーケット
- コンビニエンスストア
- 八百屋などの個人商店
- やおばあきなどの直売店・直売所
- 自然食品店
- 食材宅配サービス
- インターネットなどの通信販売
- その他

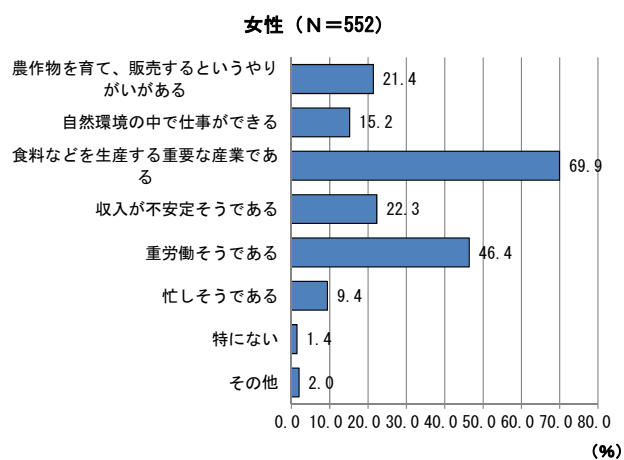
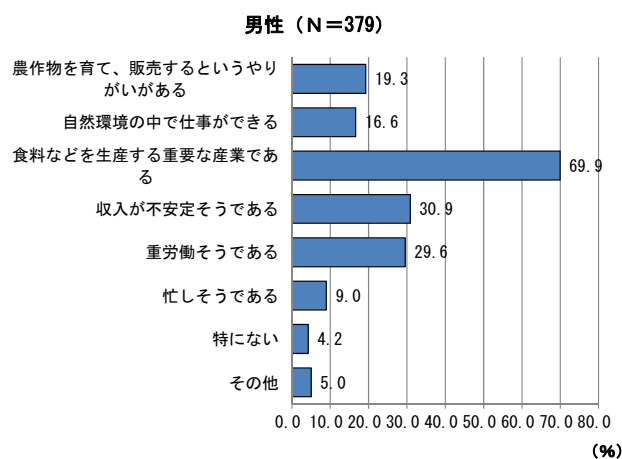
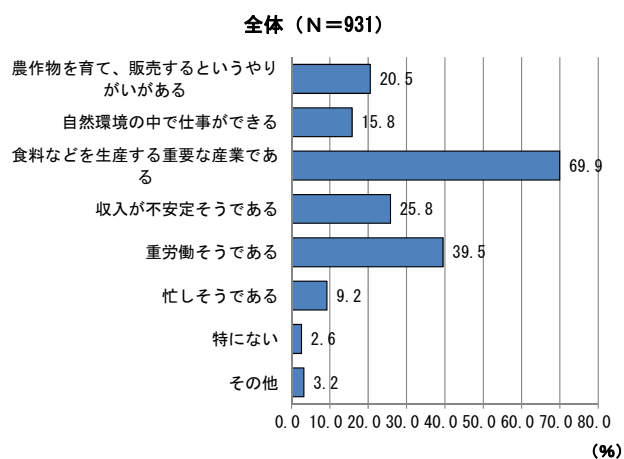
質問2 あなたの性別はどちらですか。

× 質問6 あなたは、野菜などを買う時にポイントにしていることは何ですか。



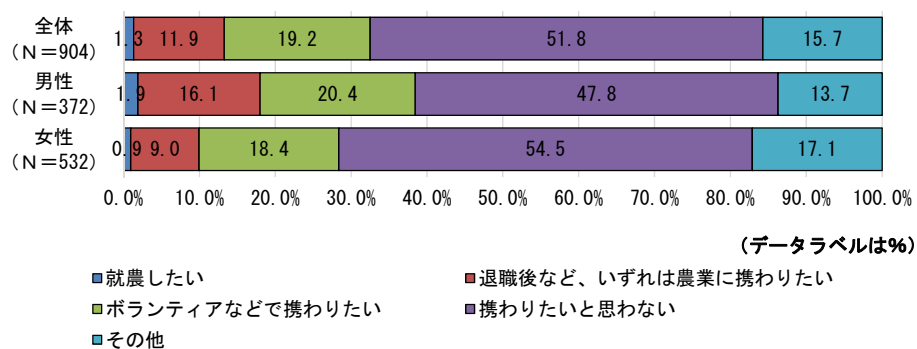
質問2 あなたの性別はどちらですか。

× 質問9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。



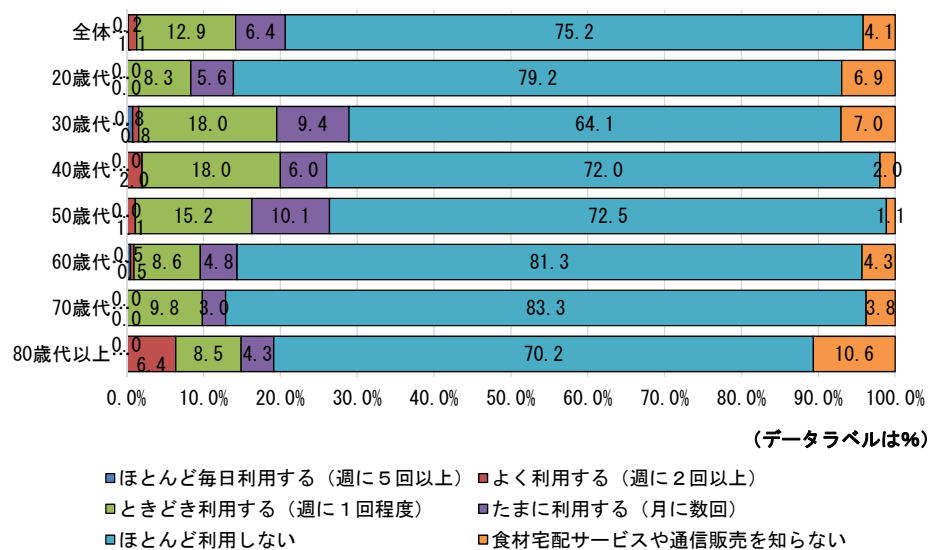
質問2 あなたの性別はどちらですか。

× 質問10 あなたは、農業に携わりたいと思いますか。



質問3 あなたの年齢は何歳ですか。

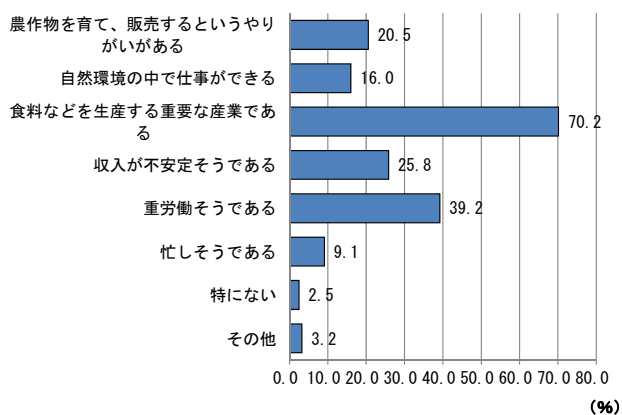
× 質問8 あなたは、食材宅配サービスやインターネットなどの農産物の通信販売をどのくらいの頻度で利用していますか。



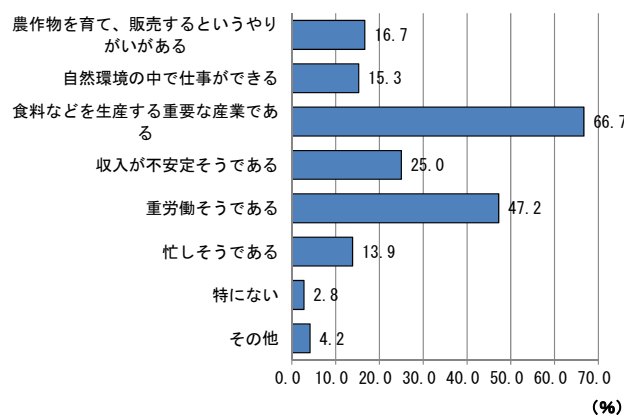
質問3 あなたの年齢は何歳ですか。

× 質問9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。

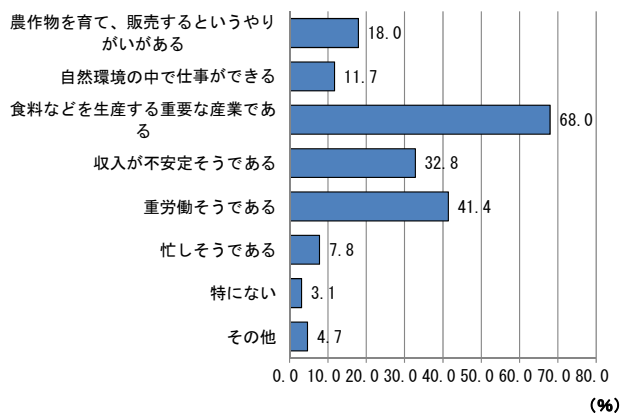
全体 (N=925)



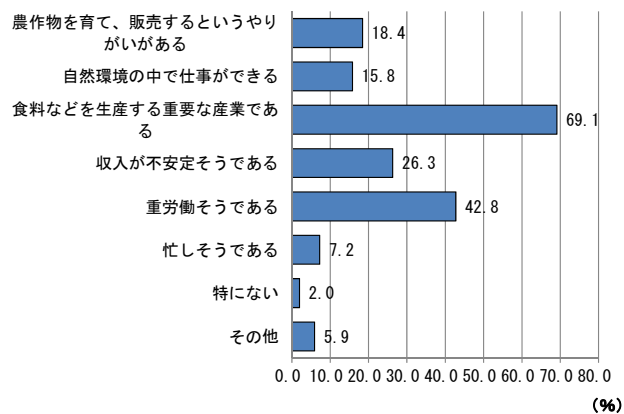
20歳代 (N=72)



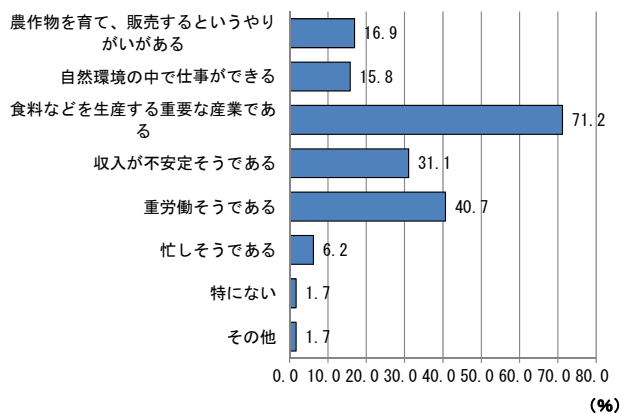
30歳代 (N=128)



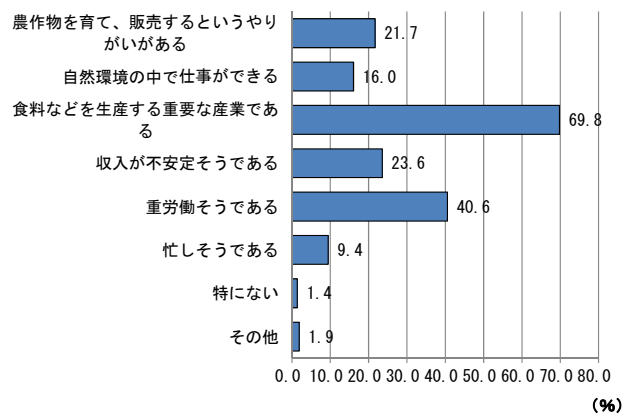
40歳代 (N=152)

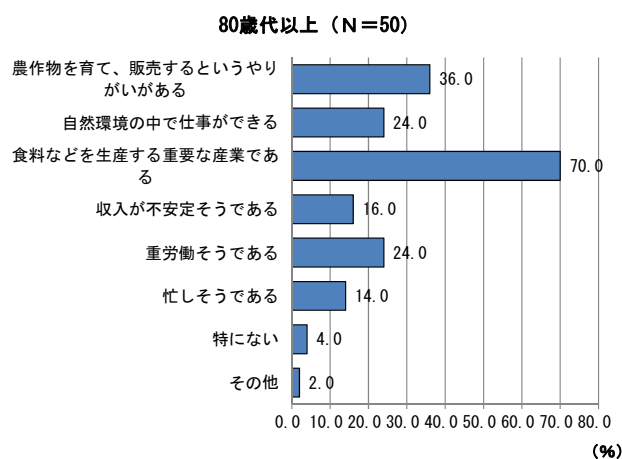
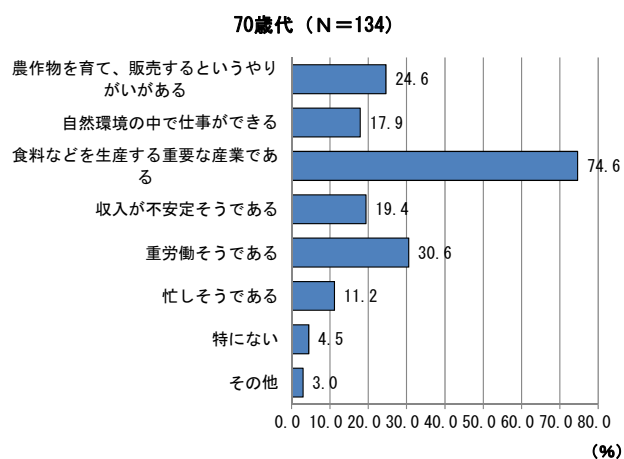


50歳代 (N=177)



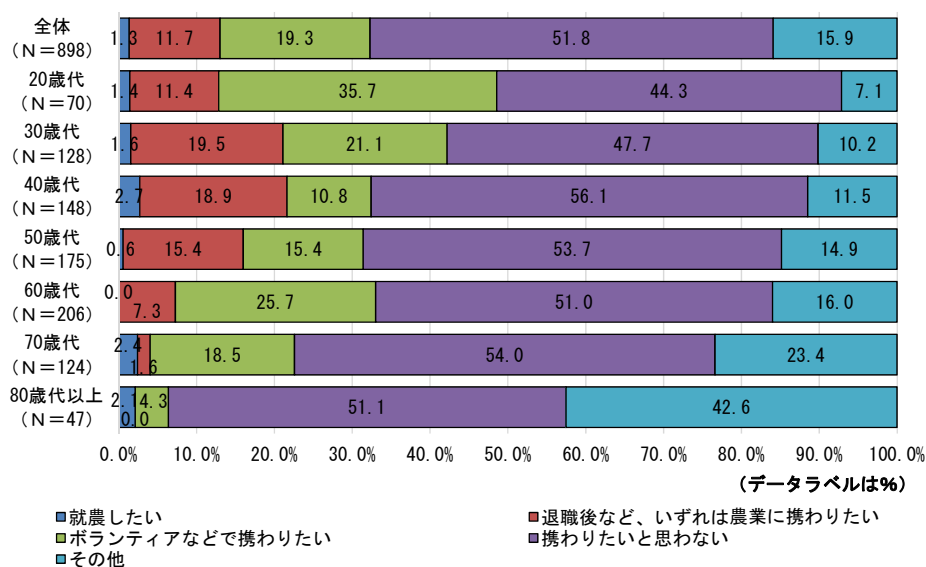
60歳代 (N=212)





質問3 あなたの年齢は何歳ですか。

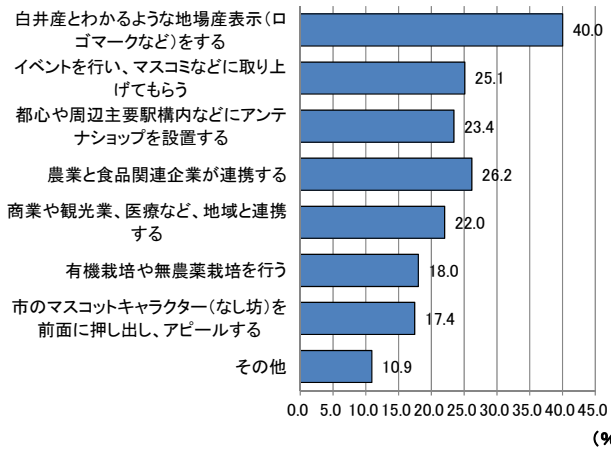
× 質問10 あなたは、農業に携わりたいと思いますか。



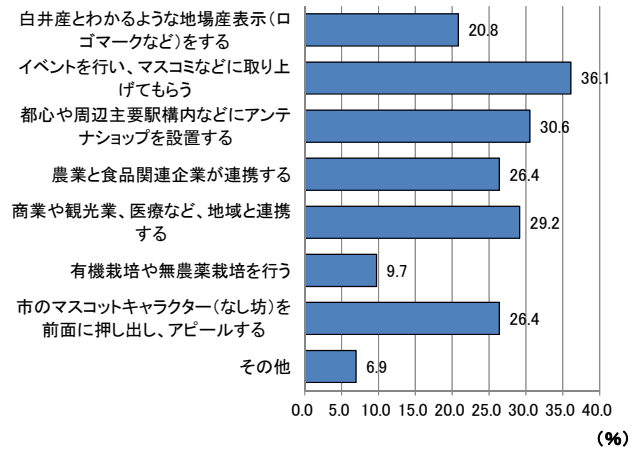
質問3 あなたの年齢は何歳ですか。

× 質問11 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。

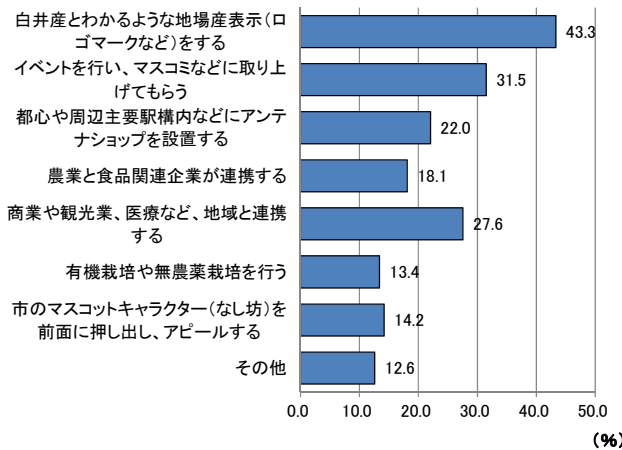
全体(N=917)



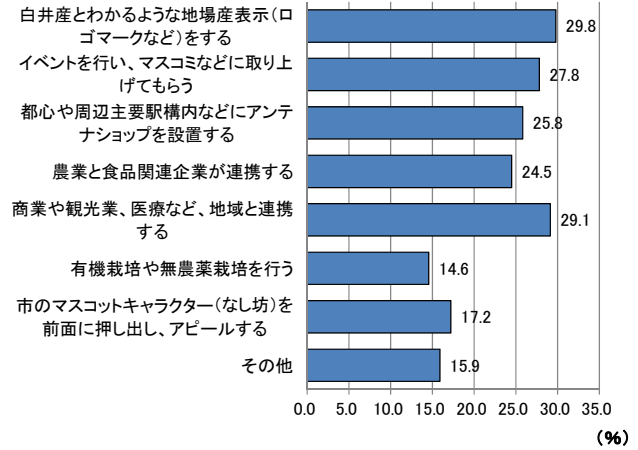
20歳代(N=72)



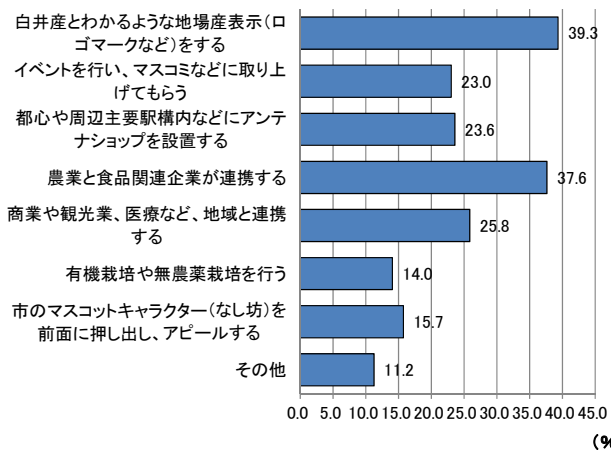
30歳代(N=127)



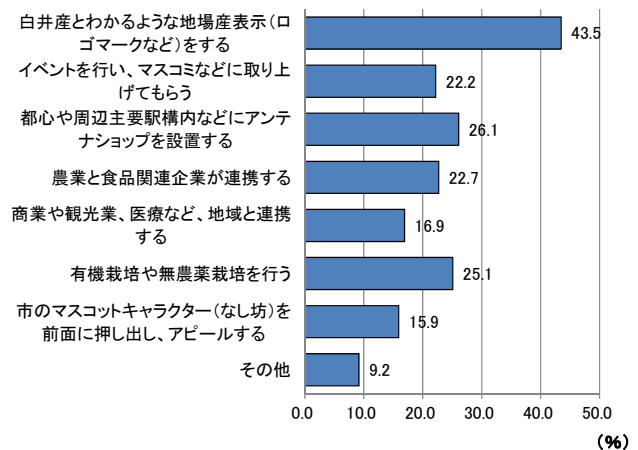
40歳代(N=151)



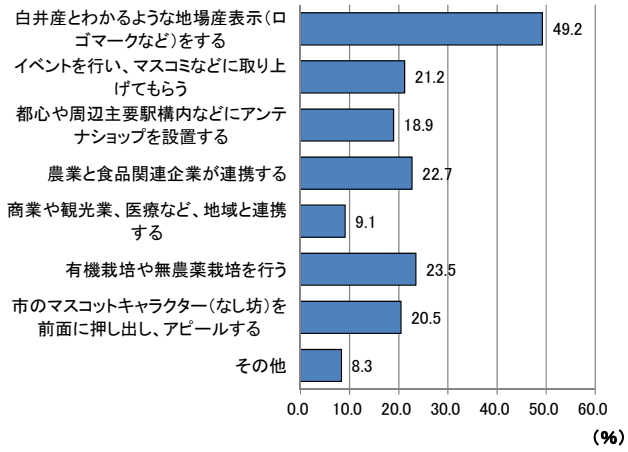
50歳代(N=178)



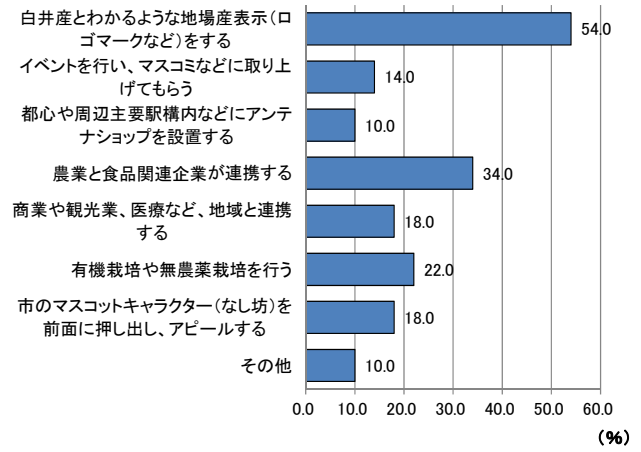
60歳代(N=207)



70歳代(N=132)

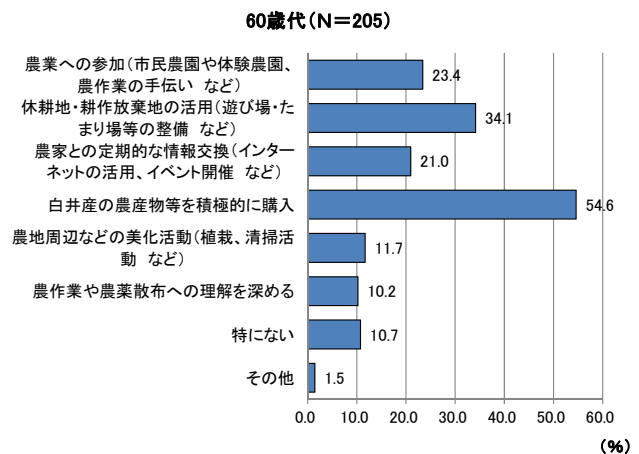
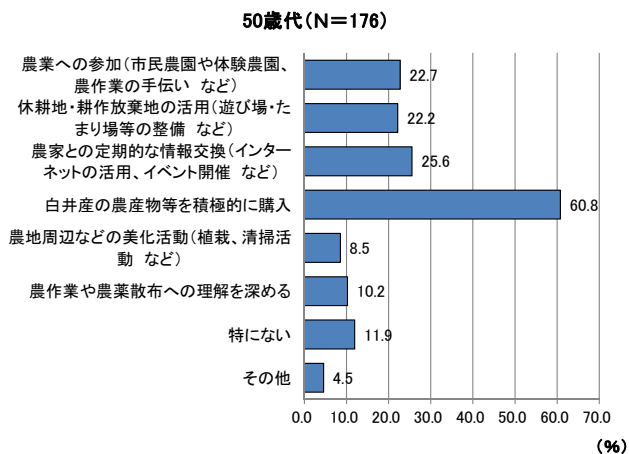
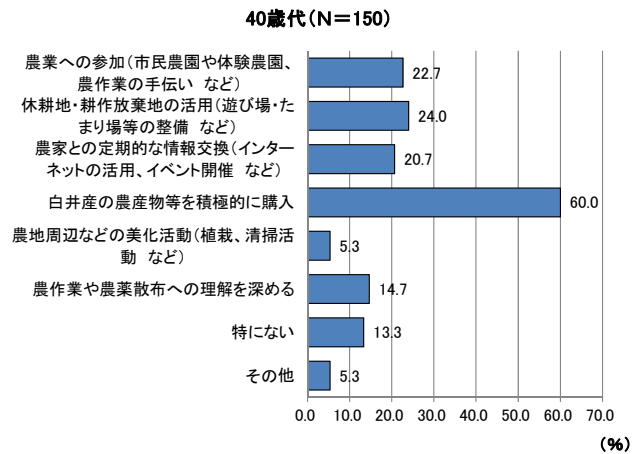
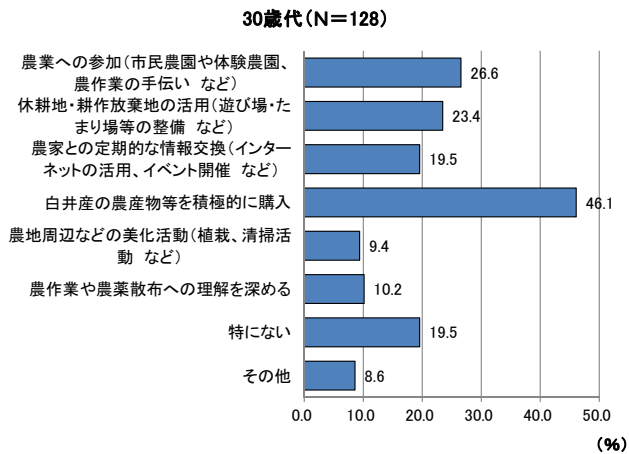
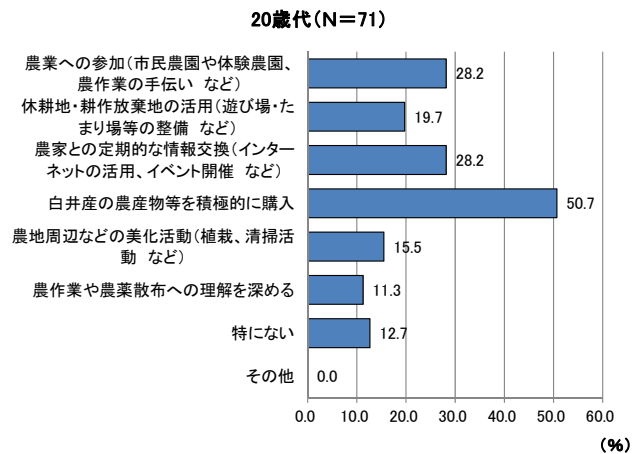
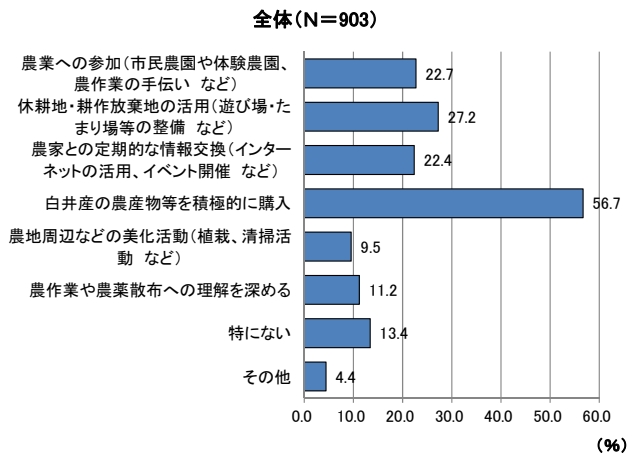


80歳代以上(N=50)

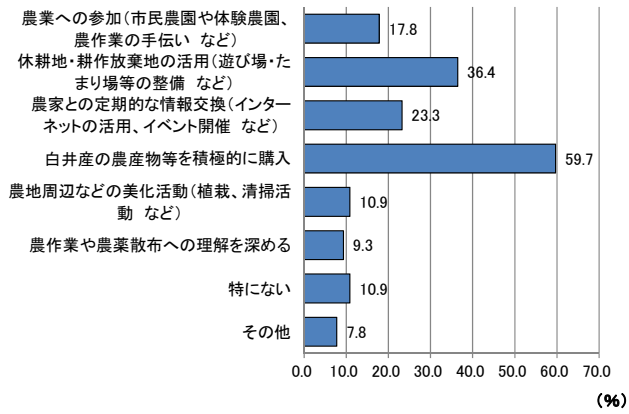


質問3 あなたの年齢は何歳ですか。

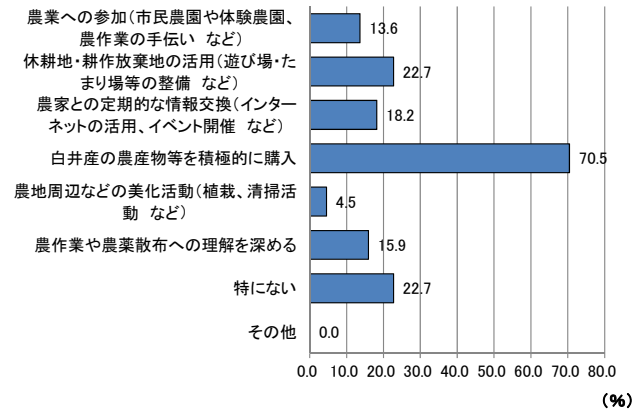
× 質問12 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。



70歳代(N=129)

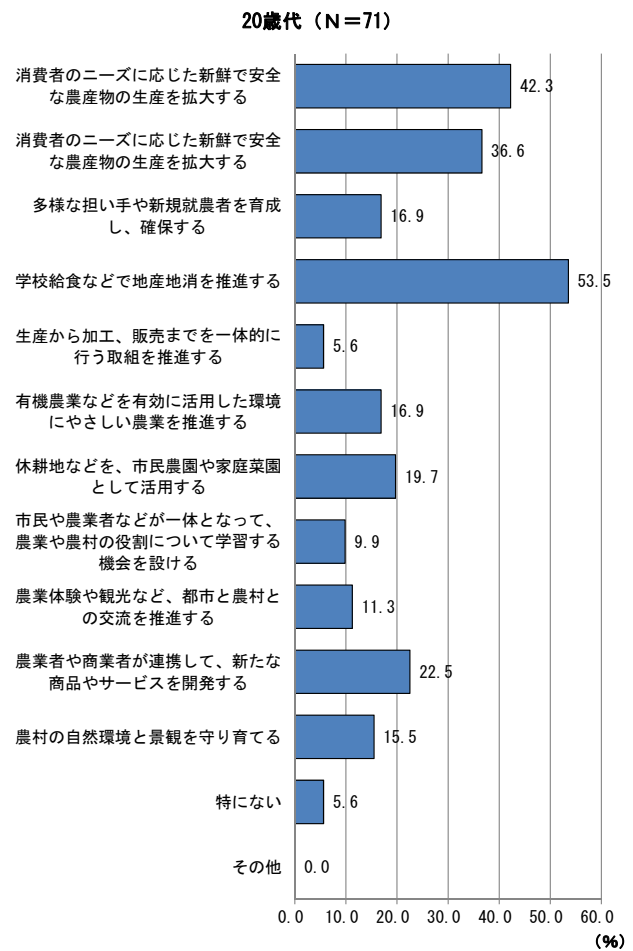
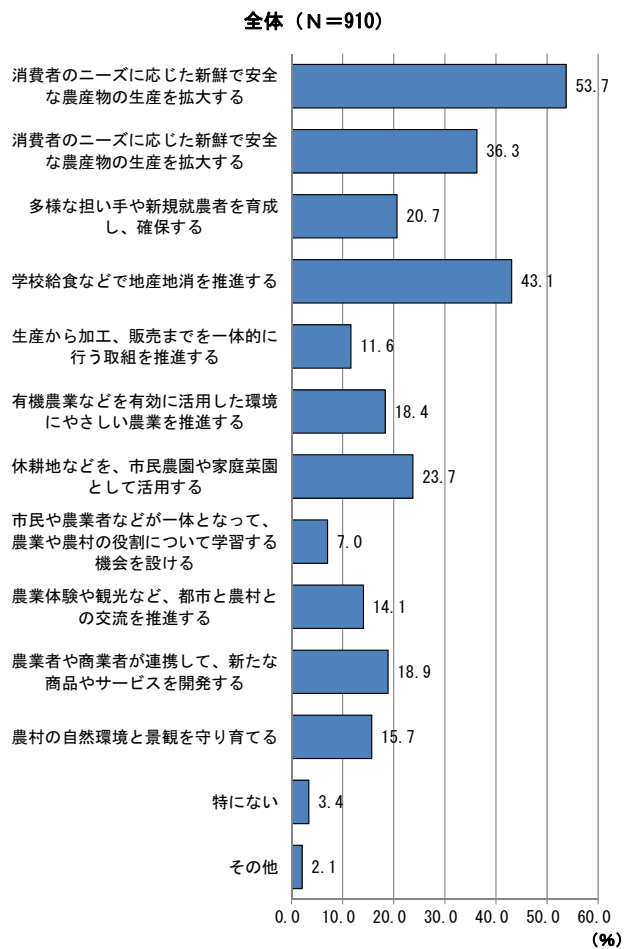


80歳代以上(N=44)

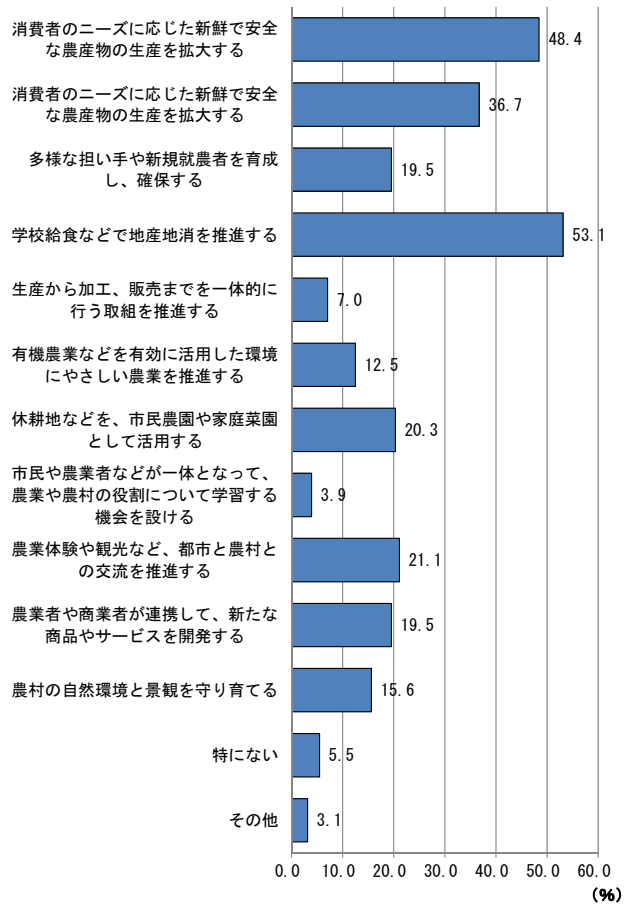


質問3 あなたの年齢は何歳ですか。

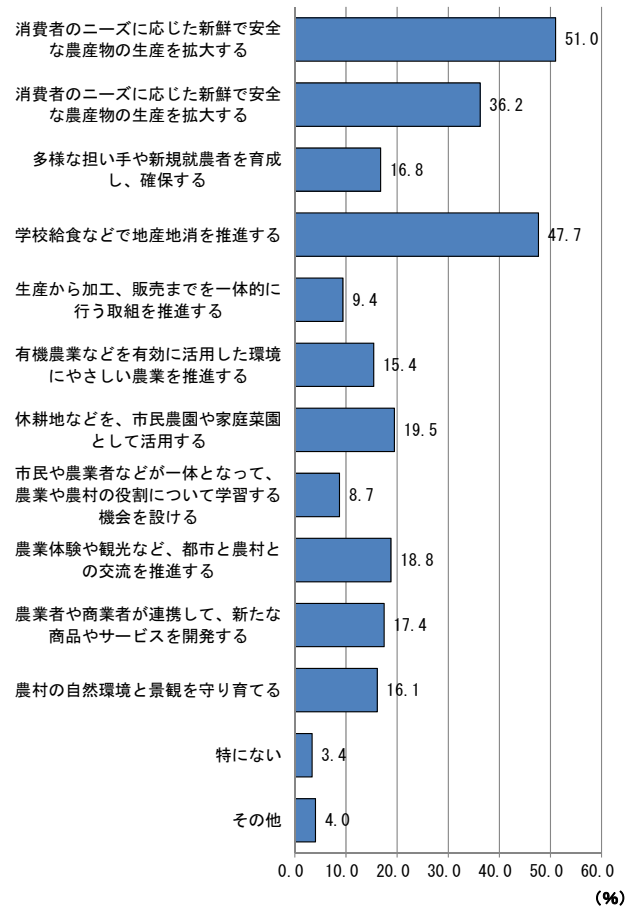
× 質問 13 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。



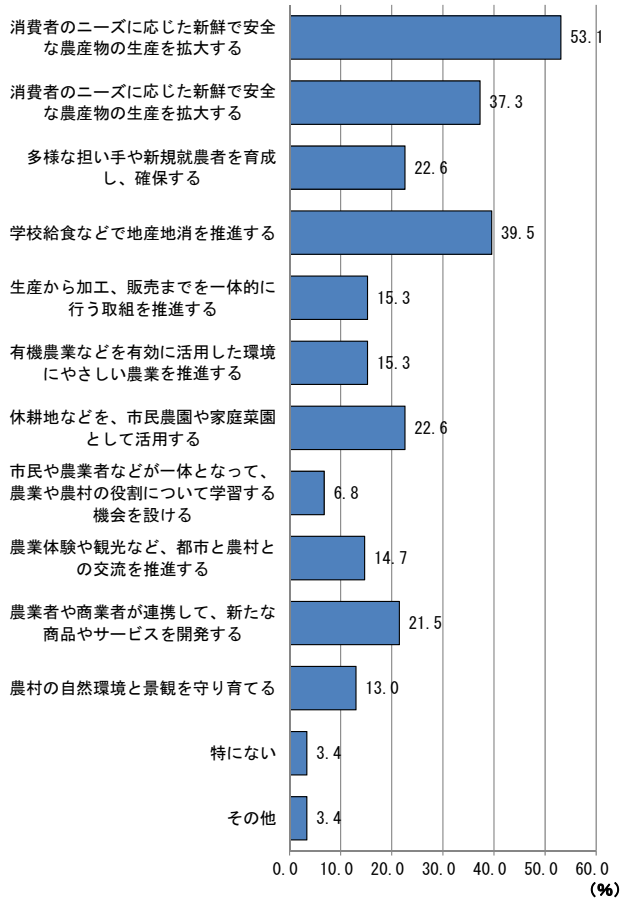
30歳代 (N=128)



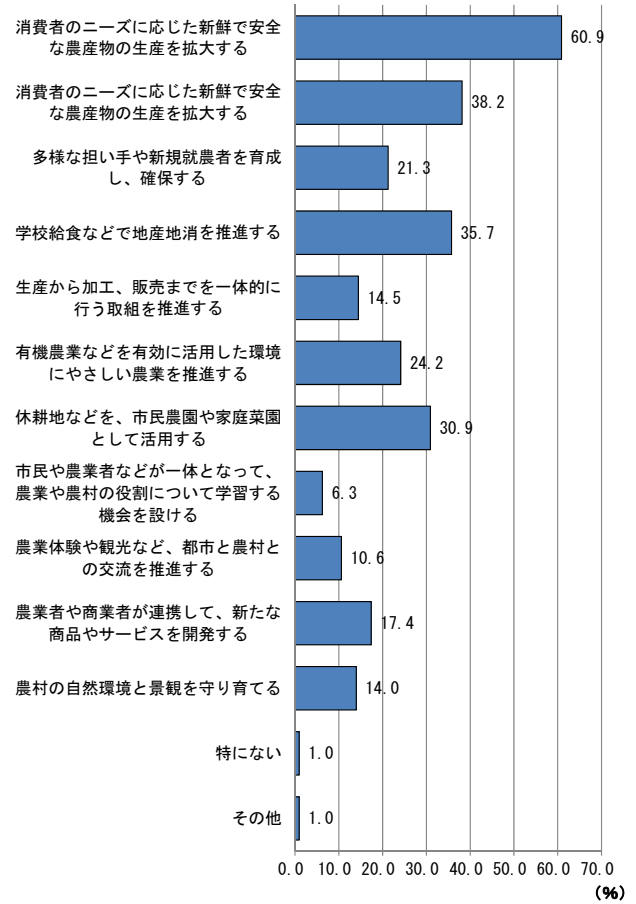
40歳代 (N=149)

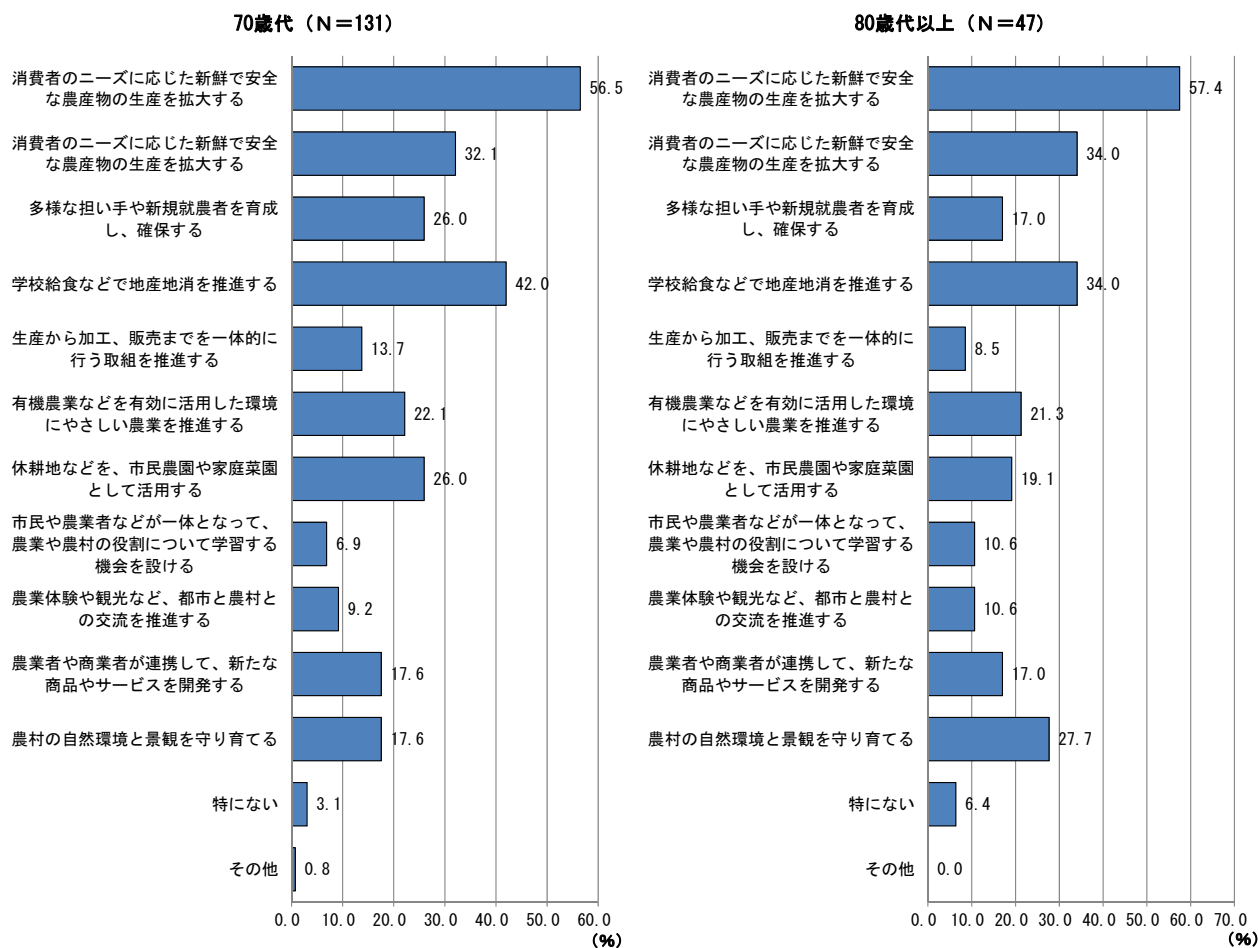


50歳代 (N=177)



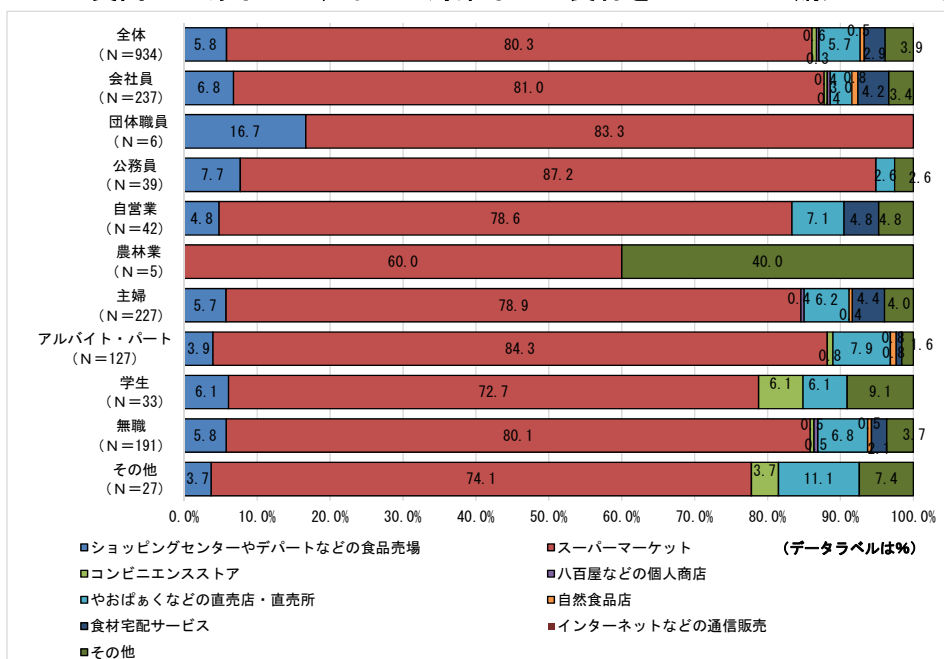
60歳代 (N=207)





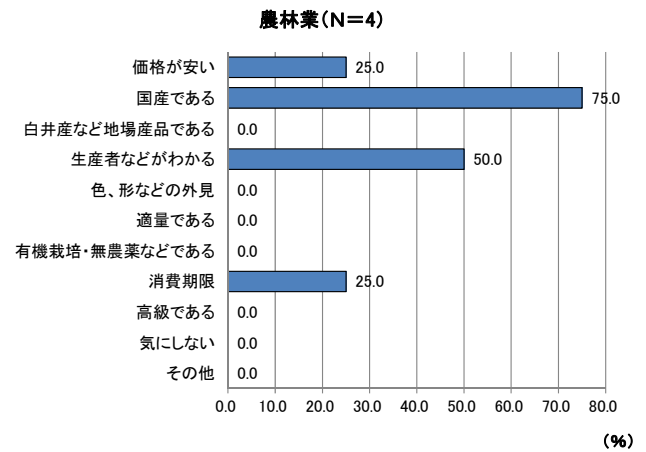
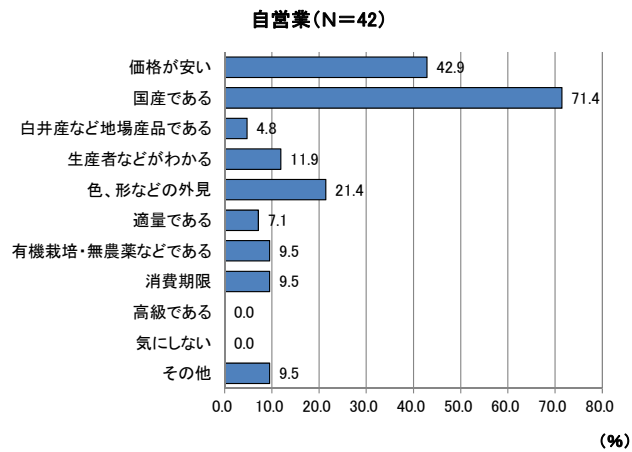
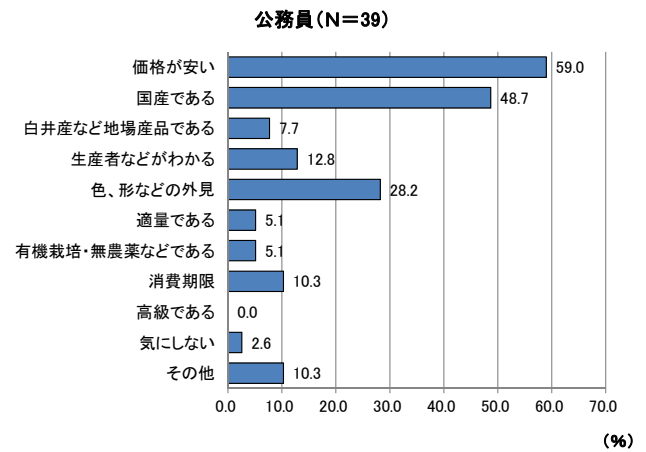
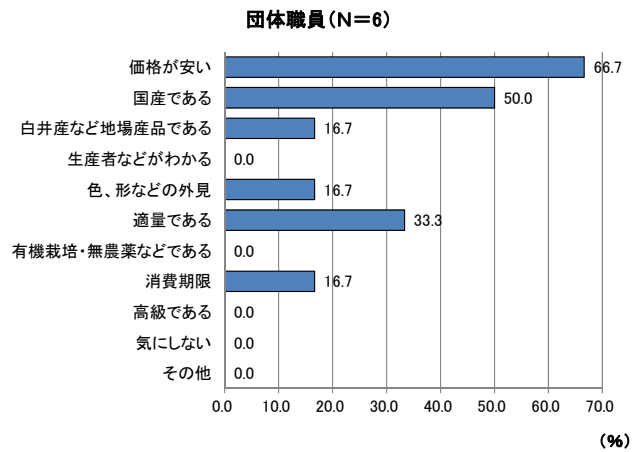
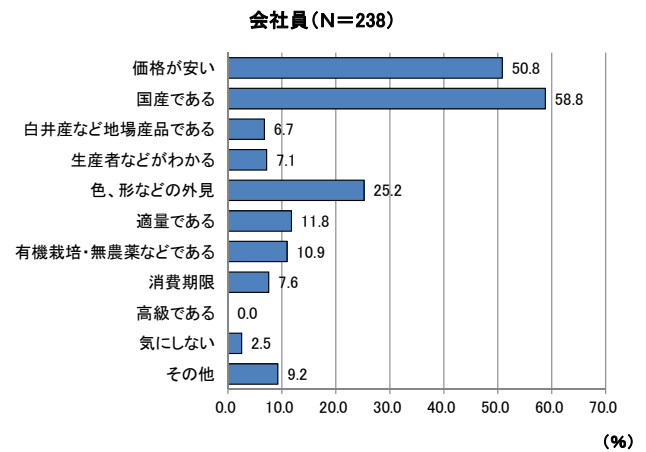
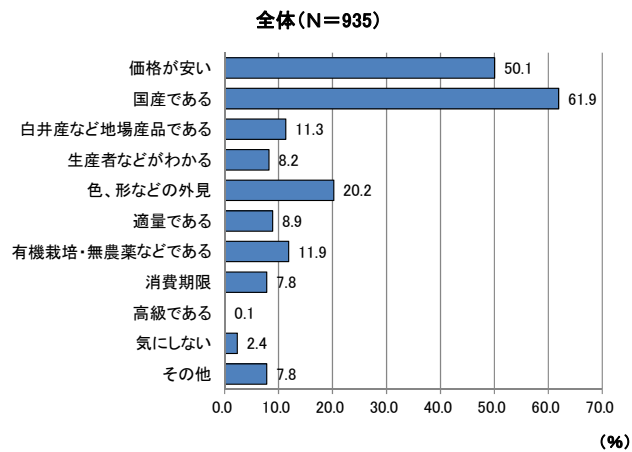
質問 4 あなたの職業は何ですか。

× 質問 5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。

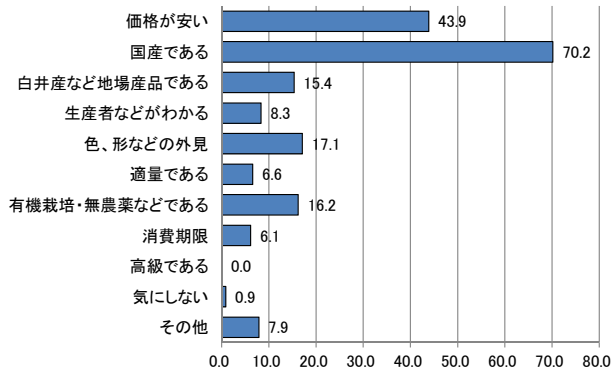


質問4 あなたの職業は何ですか。

× 質問6 あなたは、野菜などを買う時にポイントにしていることは何ですか。

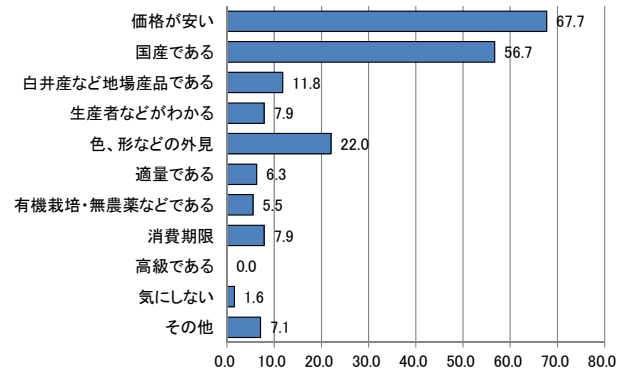


主婦(N=228)



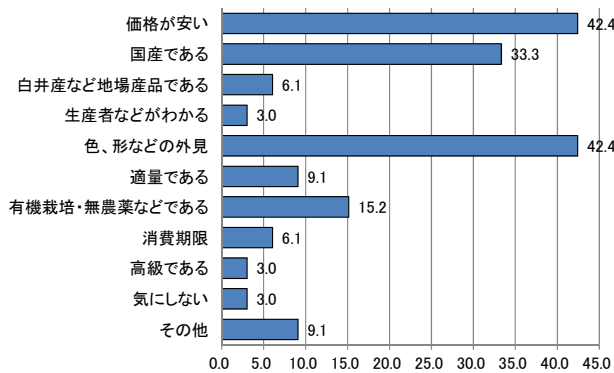
(%)

アルバイト・パート(N=127)



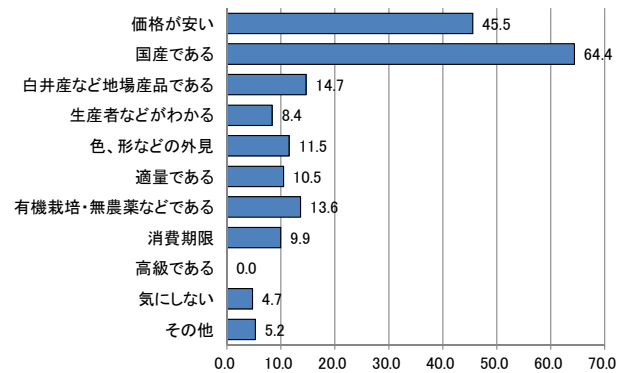
(%)

学生(N=33)



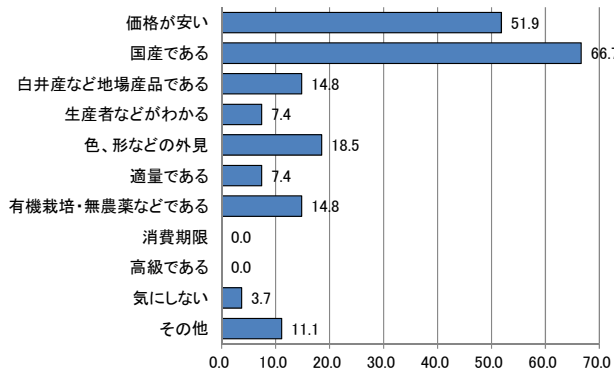
(%)

無職(N=191)



(%)

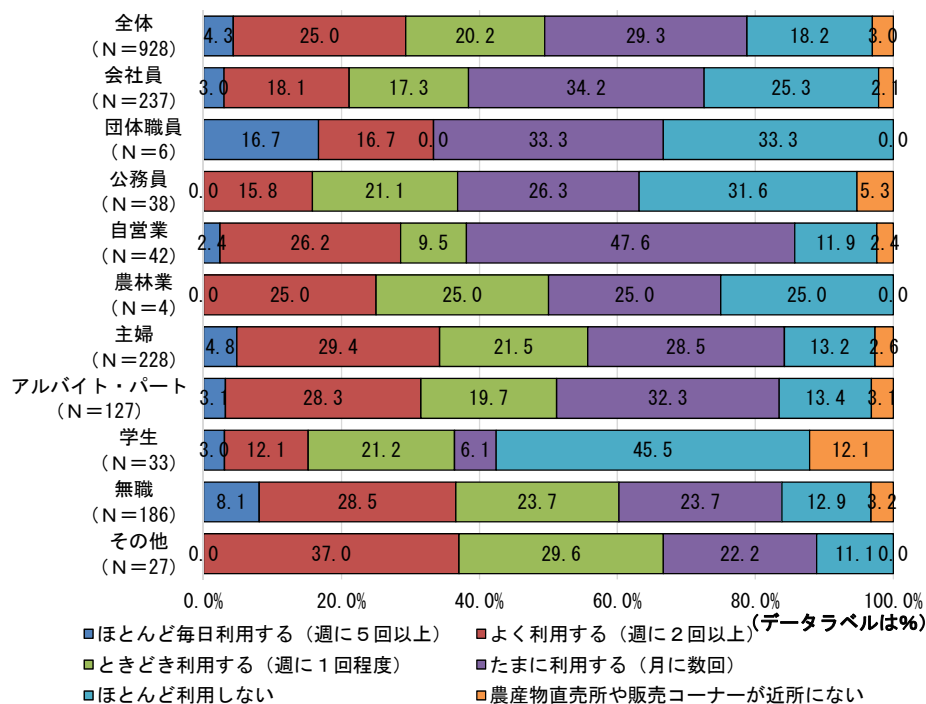
その他(N=27)



(%)

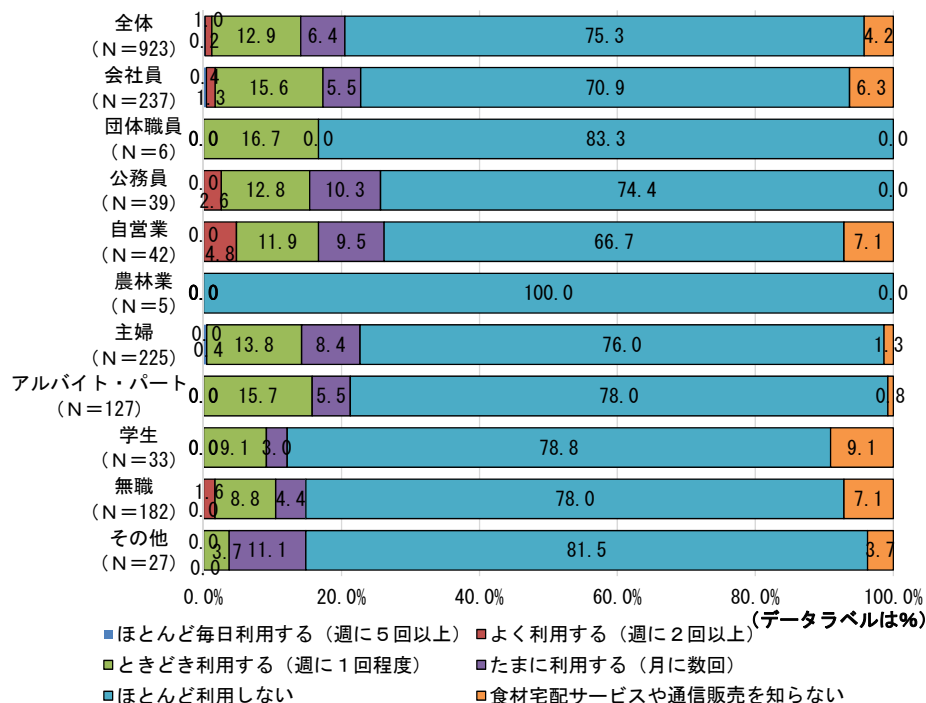
質問4 あなたの職業は何ですか。

× 質問7 あなたは、農産物直売所やスーパーマーケットの地元農産物販売コーナーなどをどのくらいの頻度で利用していますか。



質問4 あなたの職業は何ですか。

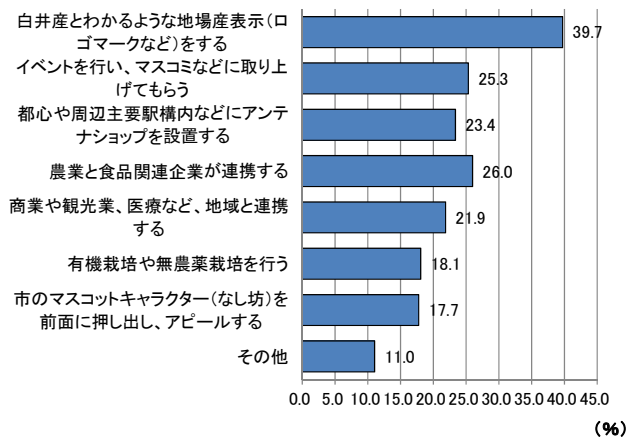
× 質問8 あなたは、食材宅配サービスやインターネットなどの農産物の通信販売をどのくらいの頻度で利用していますか。



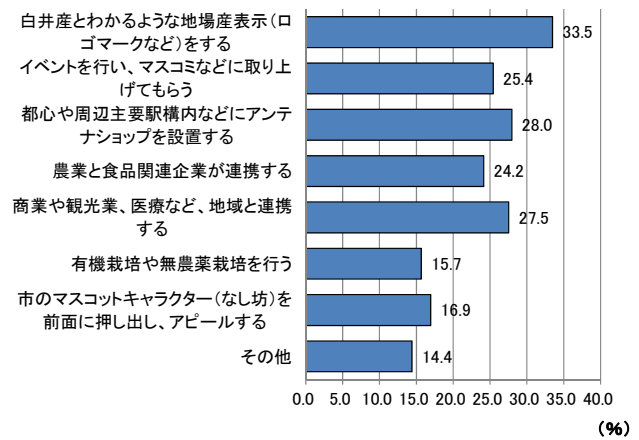
質問4 あなたの職業は何ですか。

× 質問11 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。

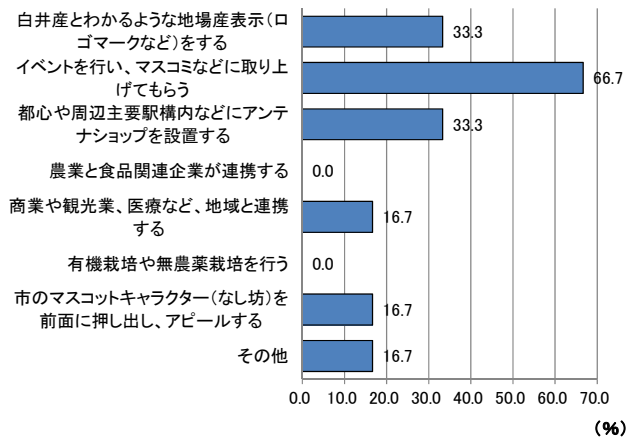
全体(N=924)



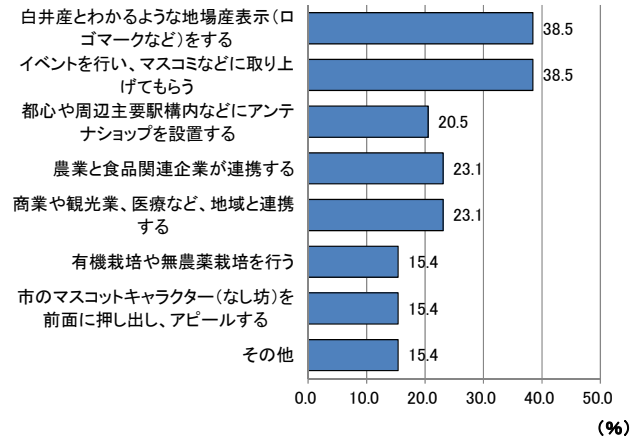
会社員(N=236)



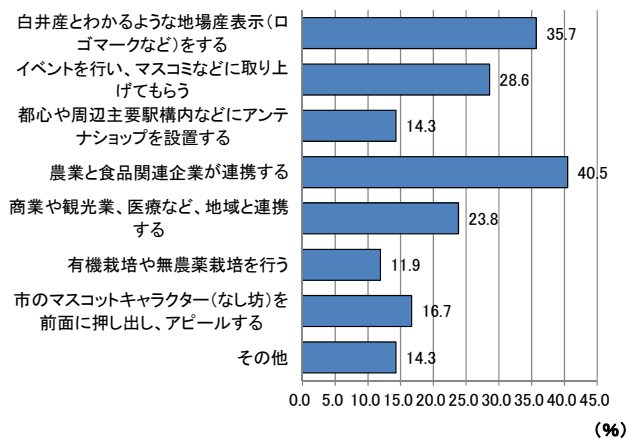
団体職員(N=6)



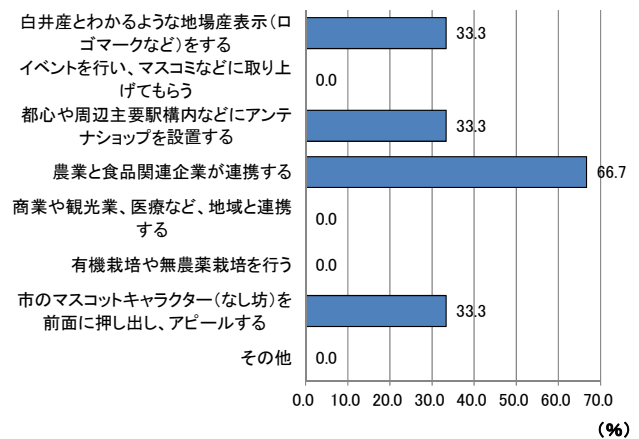
公務員(N=39)



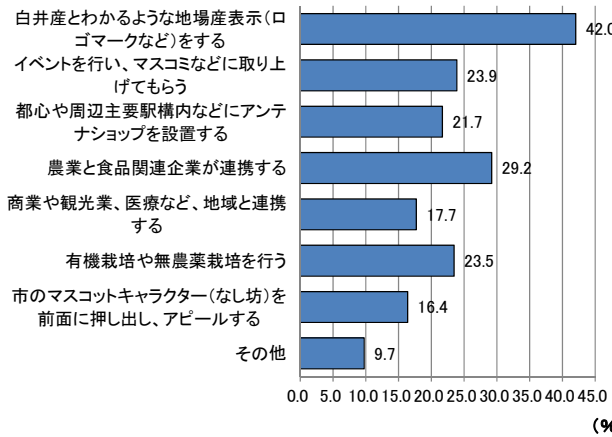
自営業(N=42)



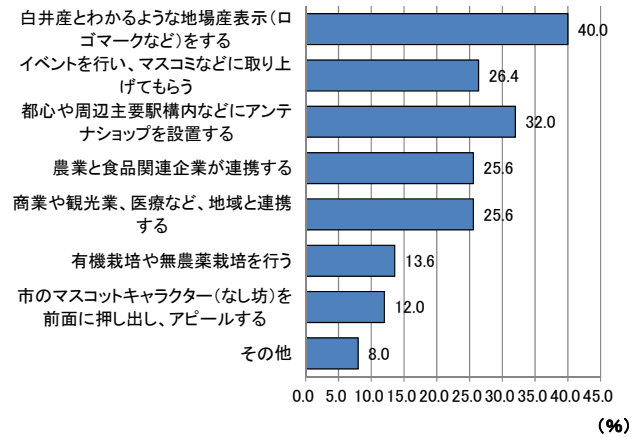
農林業(N=3)



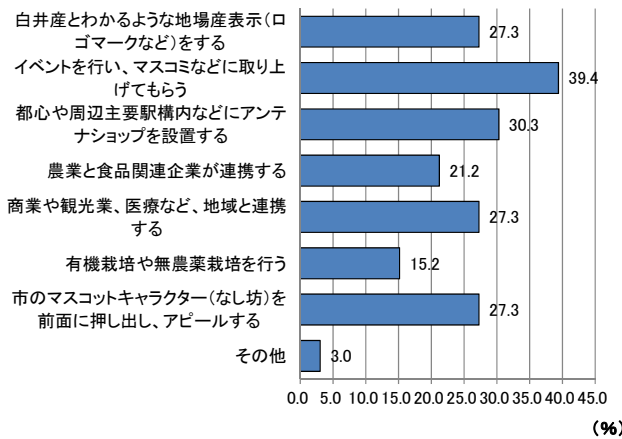
主婦(N=226)



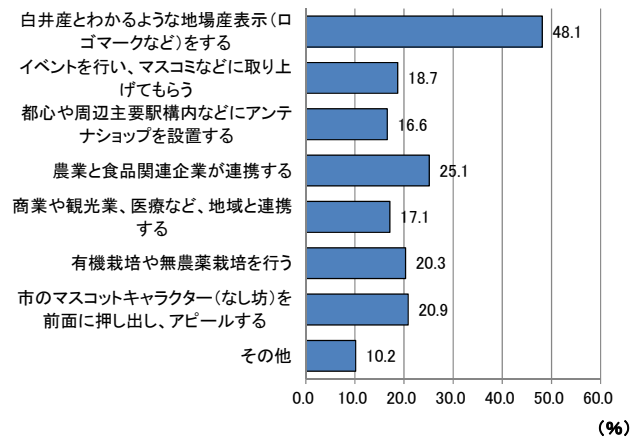
アルバイト・パート(N=125)



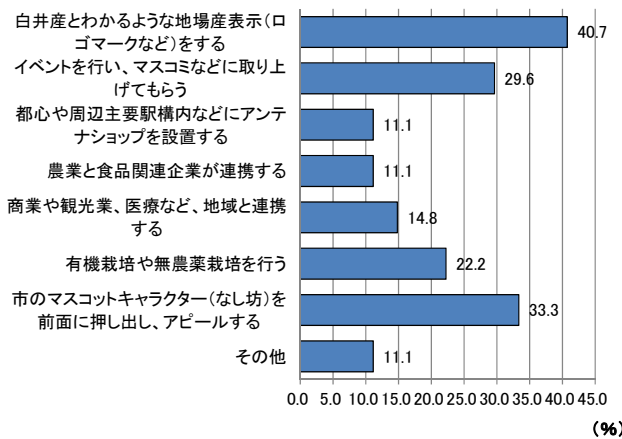
学生(N=33)



無職(N=187)



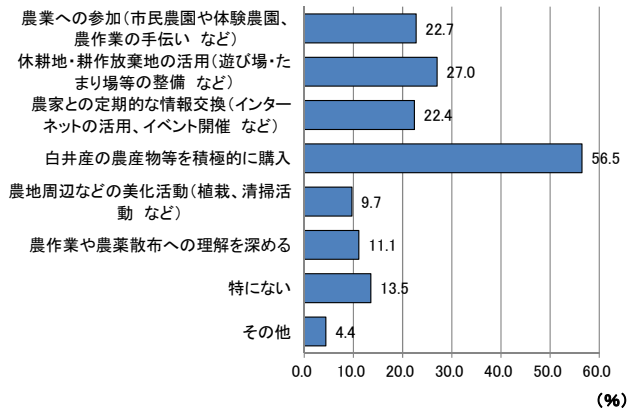
その他(N=27)



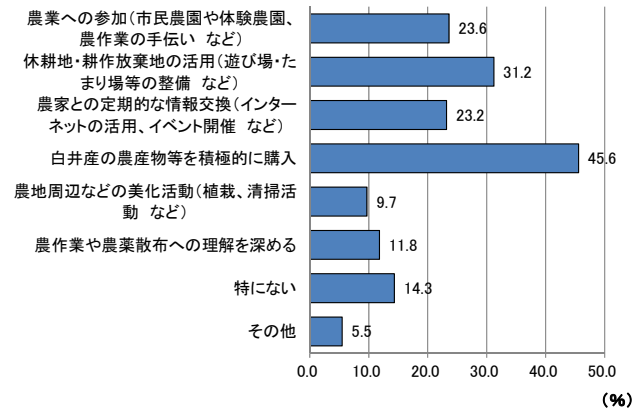
質問4 あなたの職業は何ですか。

× 質問12 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。

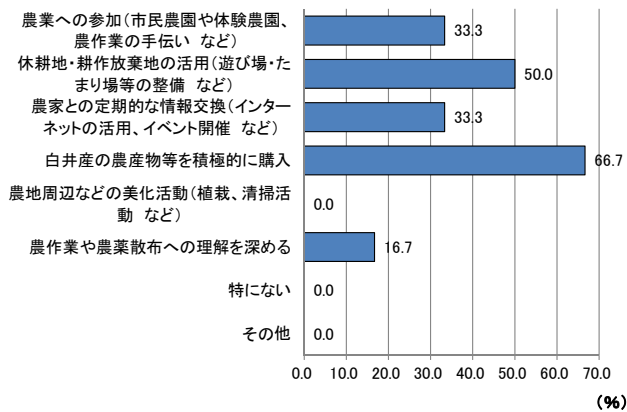
全体(N=910)



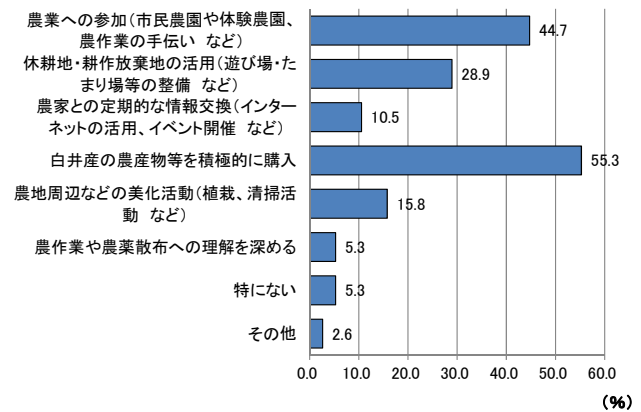
会社員(N=237)



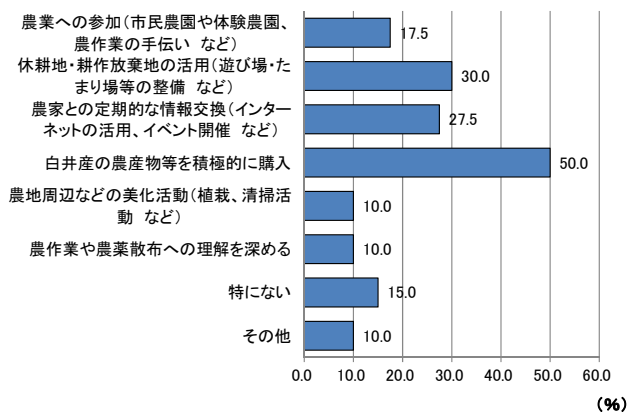
団体職員(N=6)



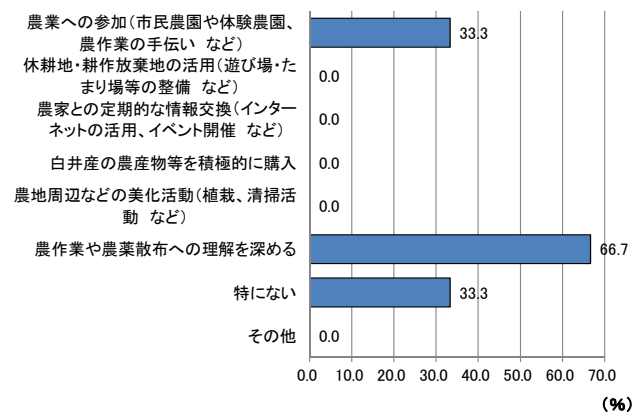
公務員(N=38)



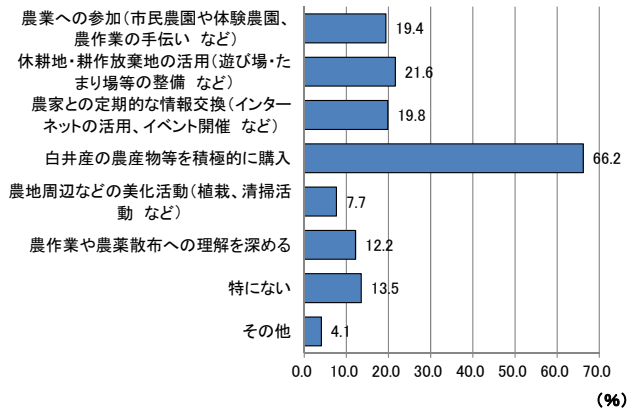
自営業(N=40)



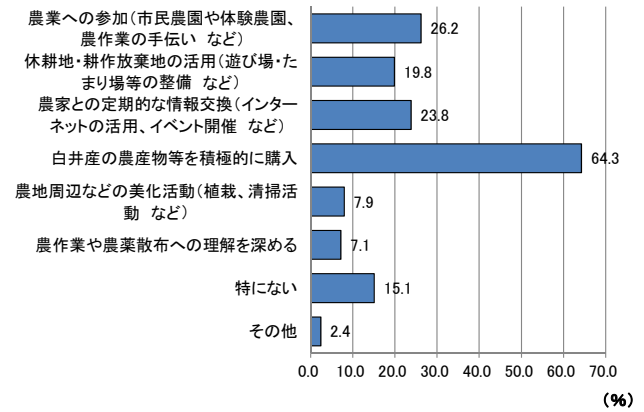
農林業(N=3)



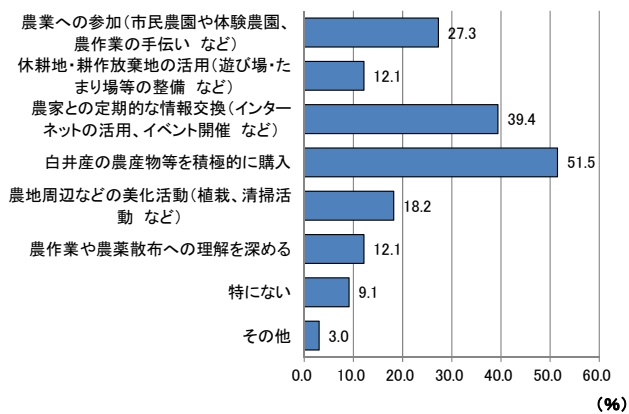
主婦(N=222)



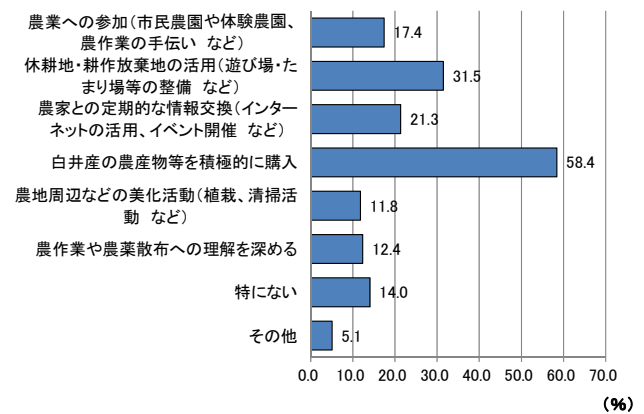
アルバイト・パート(N=126)



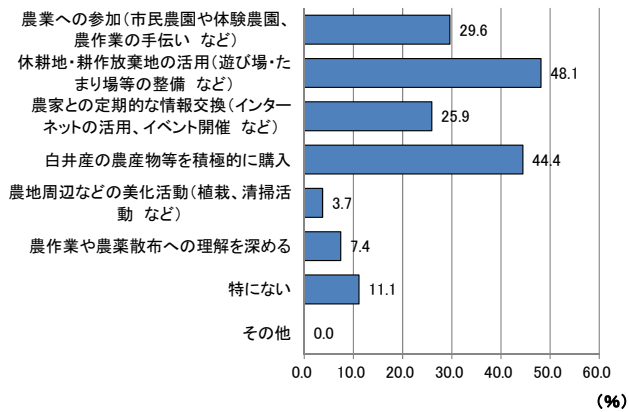
学生(N=33)



無職(N=178)



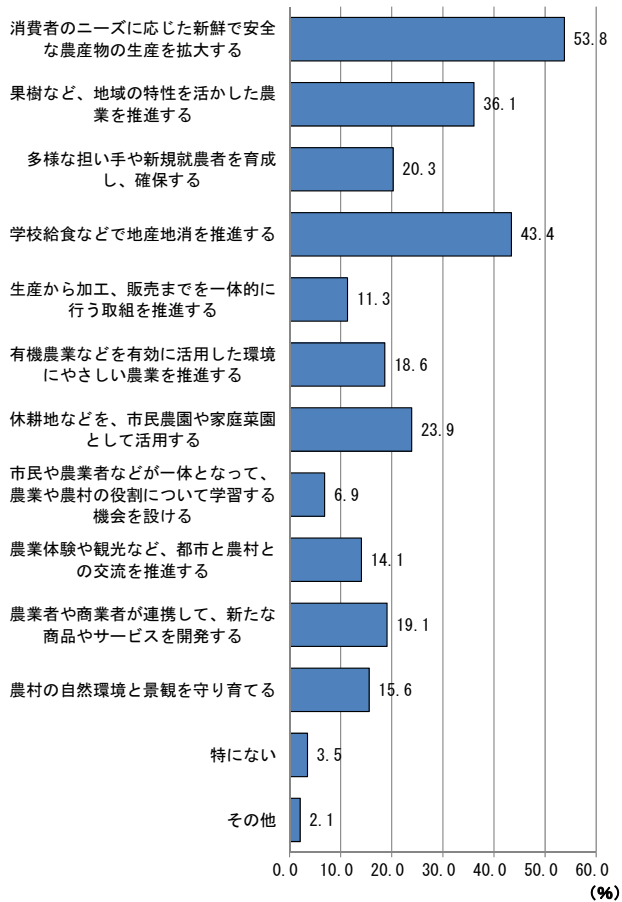
その他(N=27)



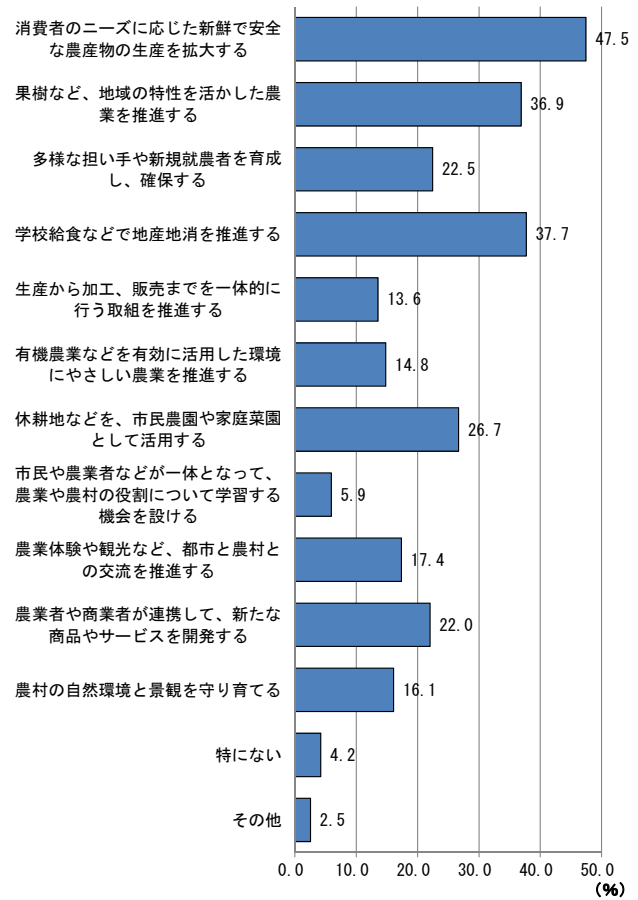
質問 4 あなたの職業は何ですか。

× 質問 13 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。

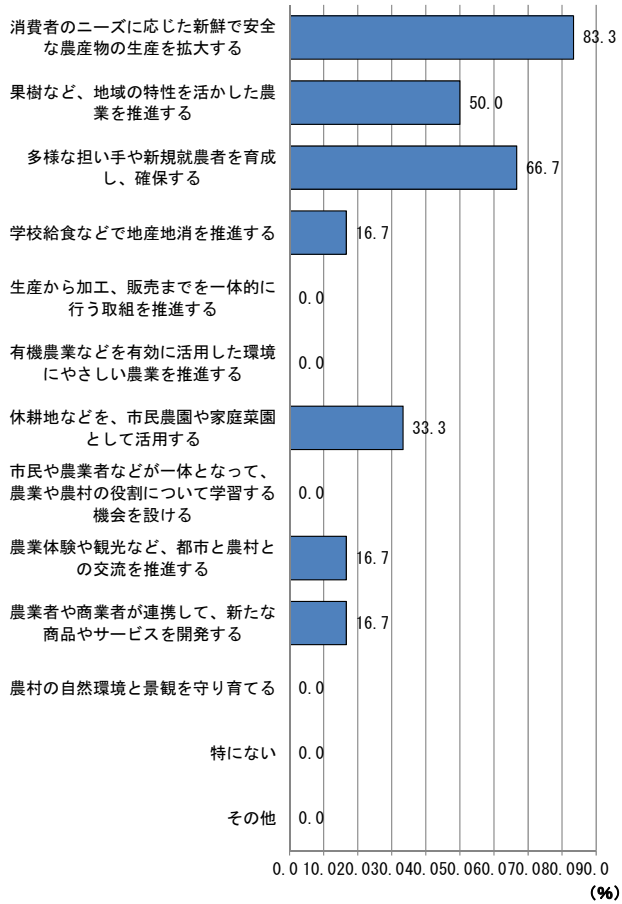
全体 (N=917)



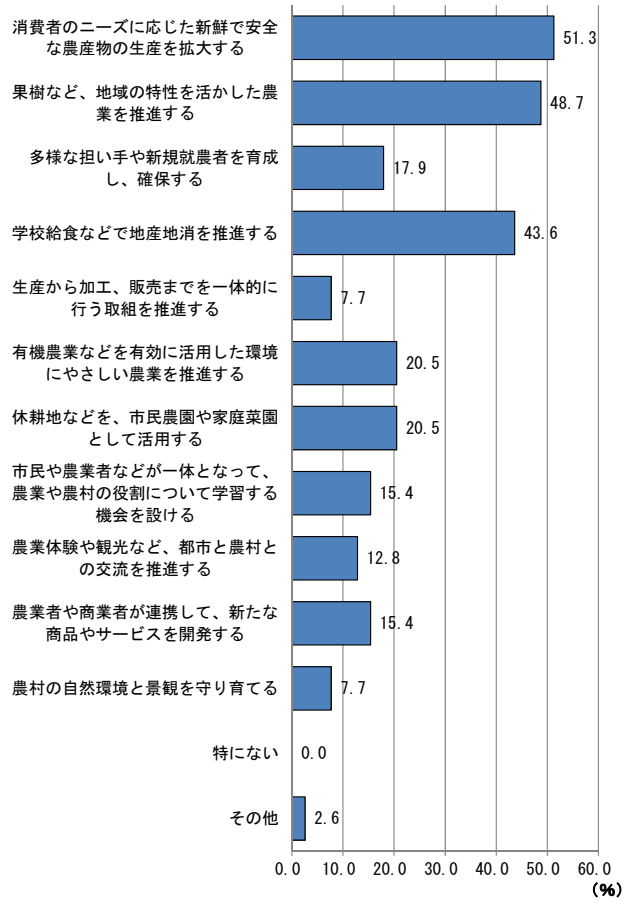
会社員 (N=236)



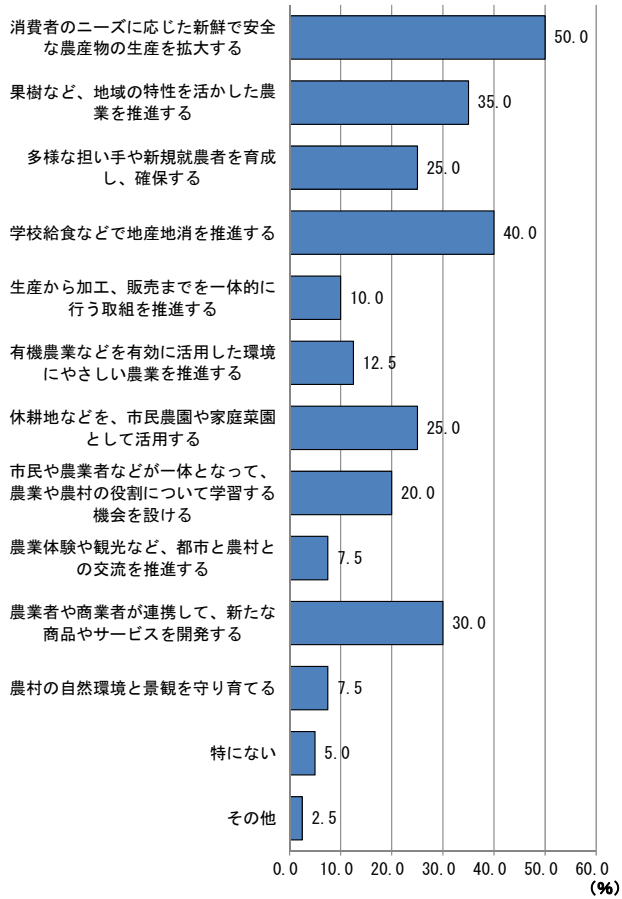
団体職員（N=6）



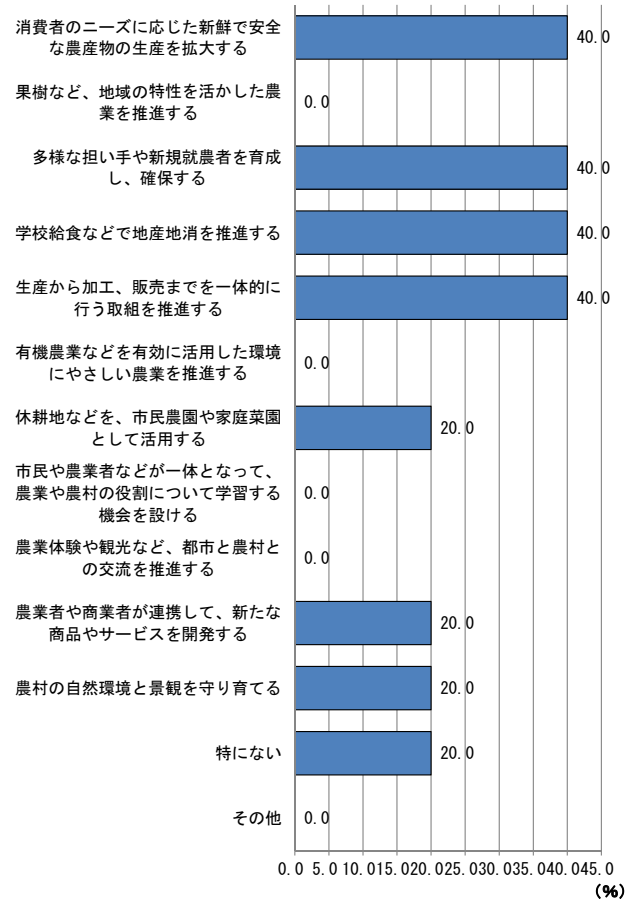
公務員（N=39）



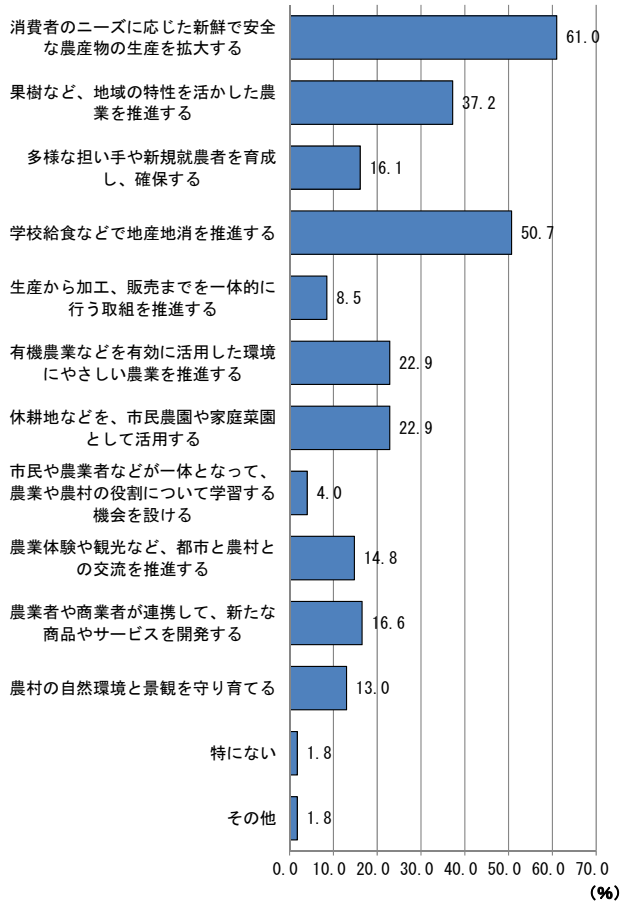
自営業 (N=40)



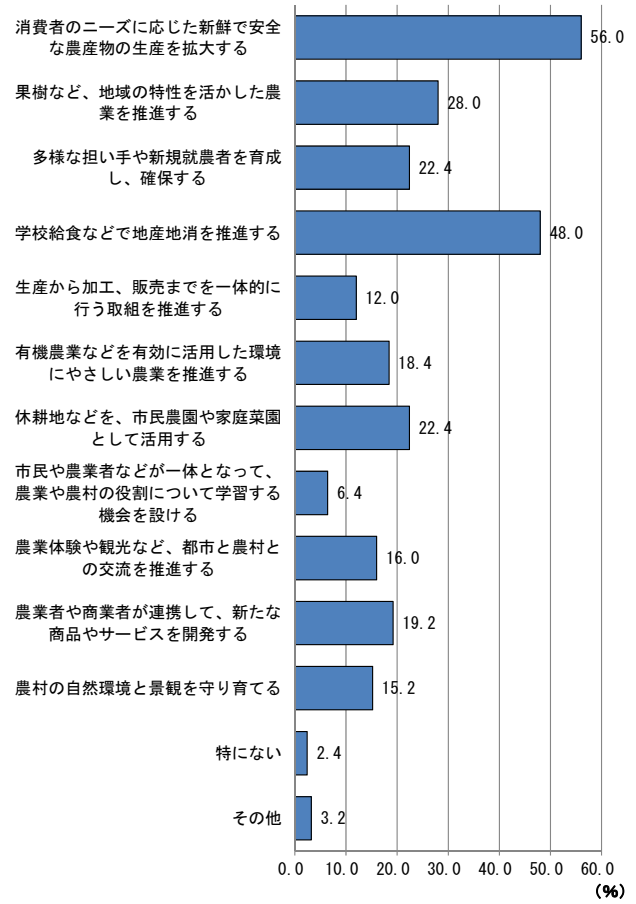
農林業 (N=5)



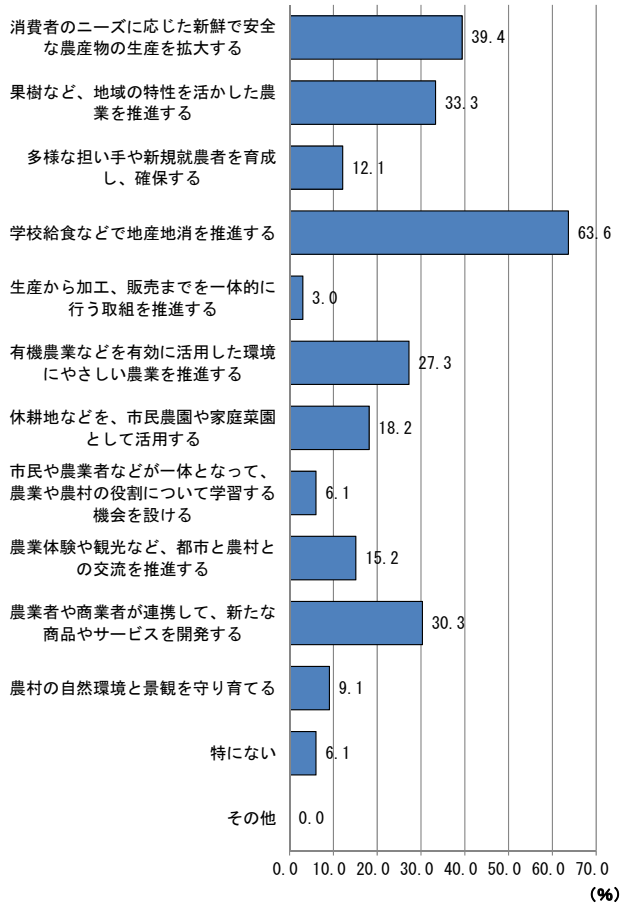
主婦（N=223）



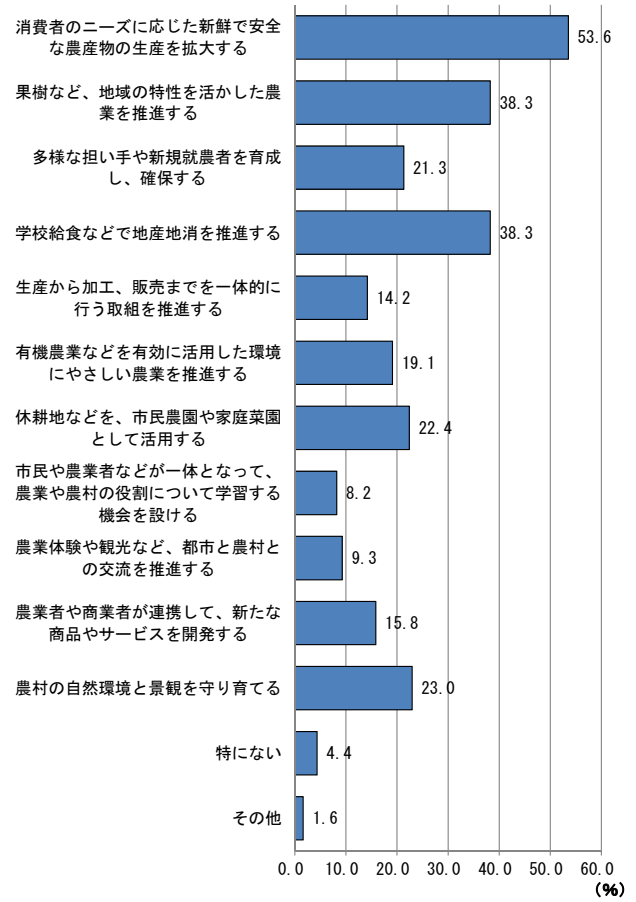
アルバイト・パート（N=125）



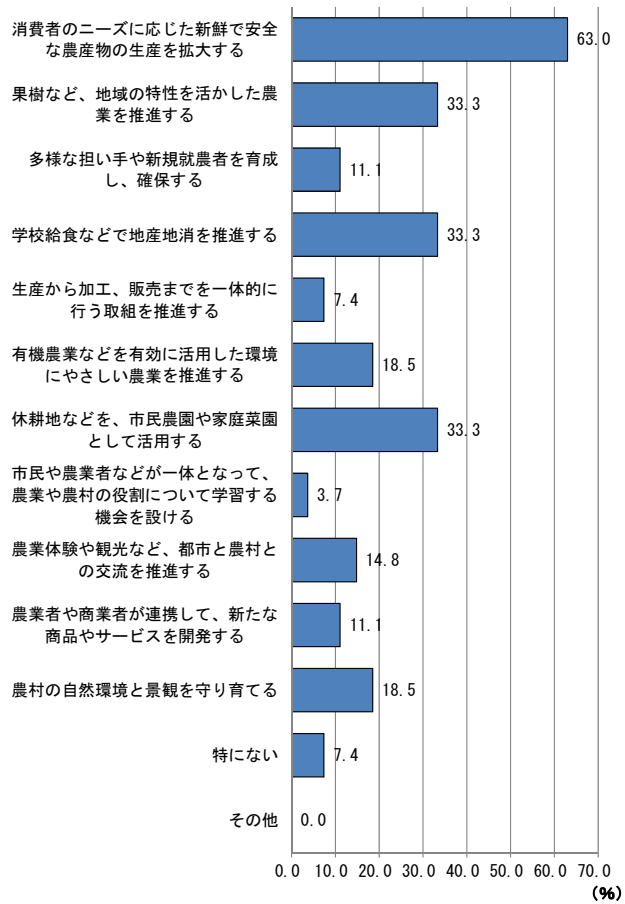
学生 (N=33)



無職 (N=183)



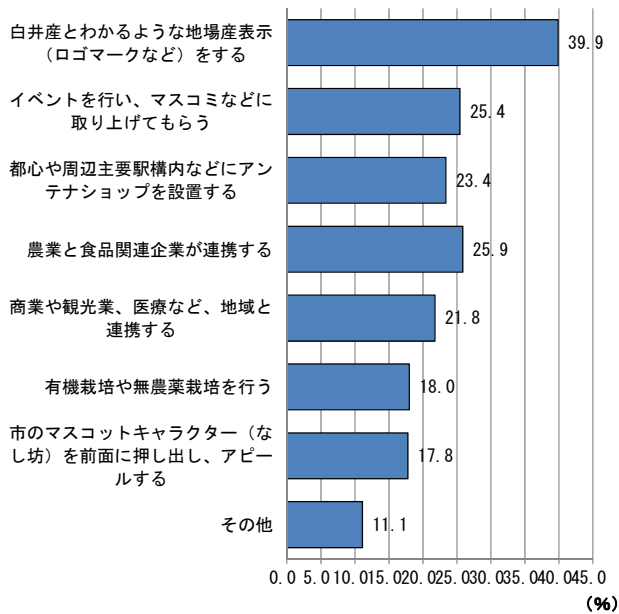
その他（N=27）



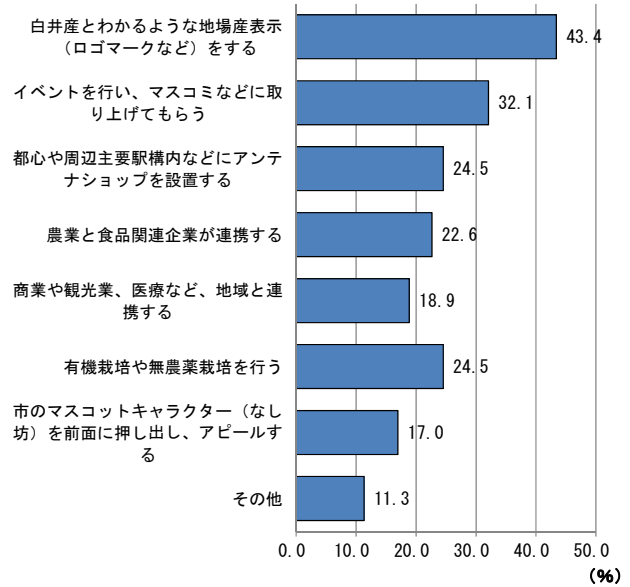
質問5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。

× 質問11 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。

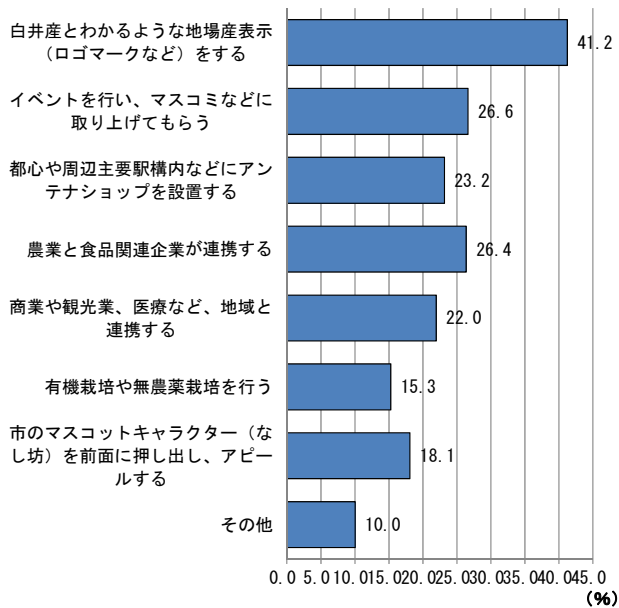
全体 (N=928)



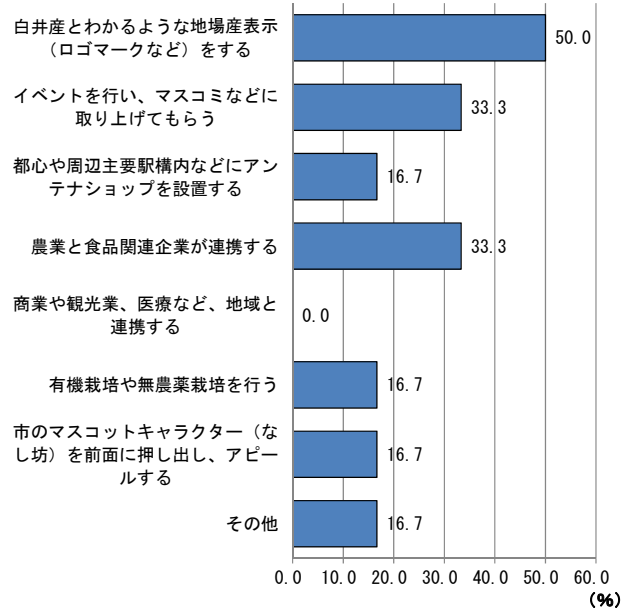
ショッピングセンターやデパートなどの食品売場 (N=53)



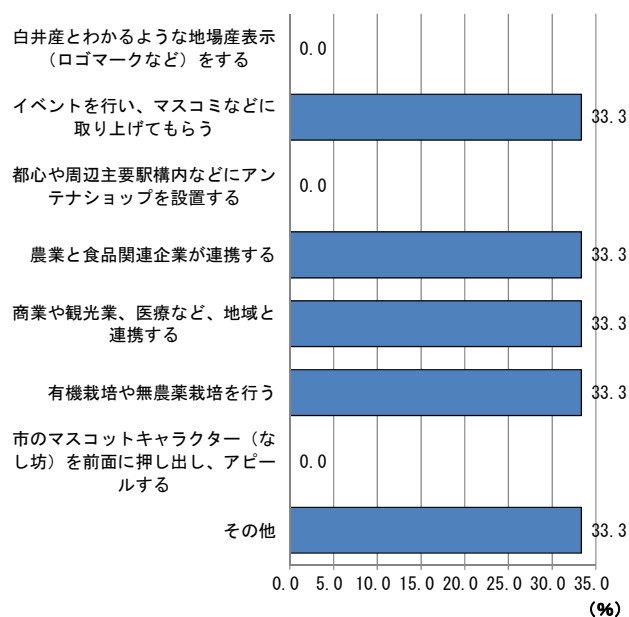
スーパーマーケット (N=747)



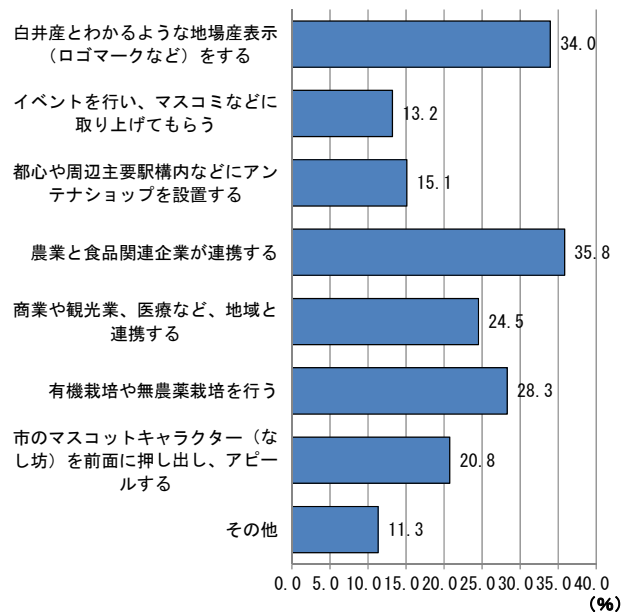
コンビニエンスストア (N=6)



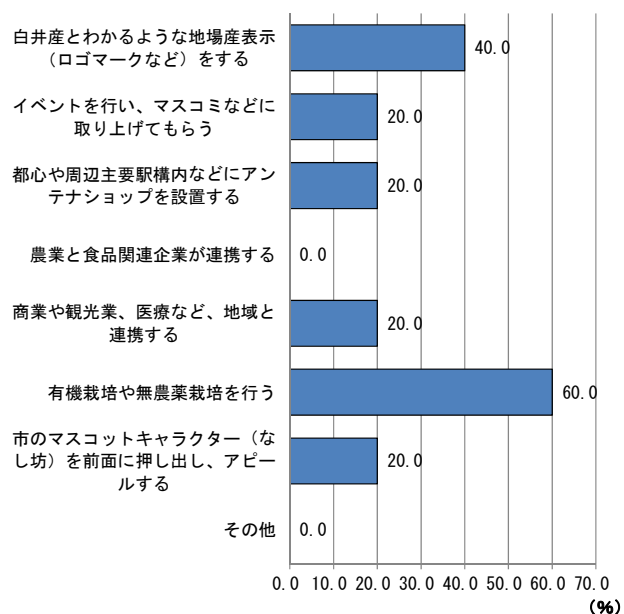
八百屋などの個人商店（N=3）



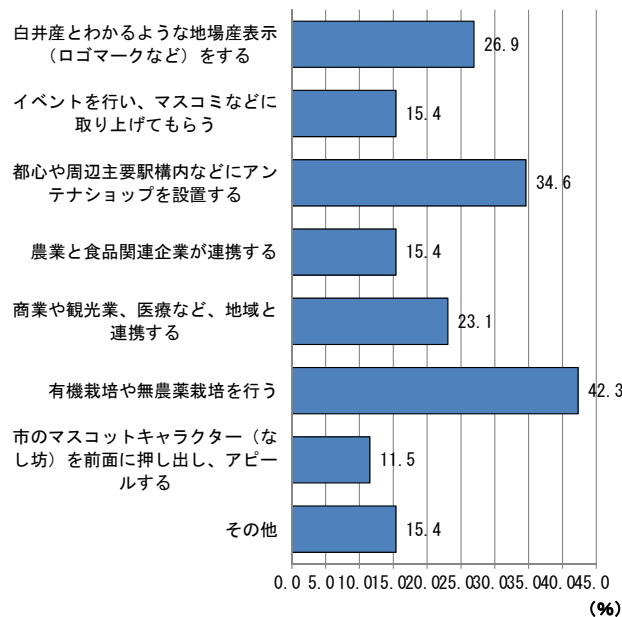
やおばあくなどの直売店・直売所（N=53）



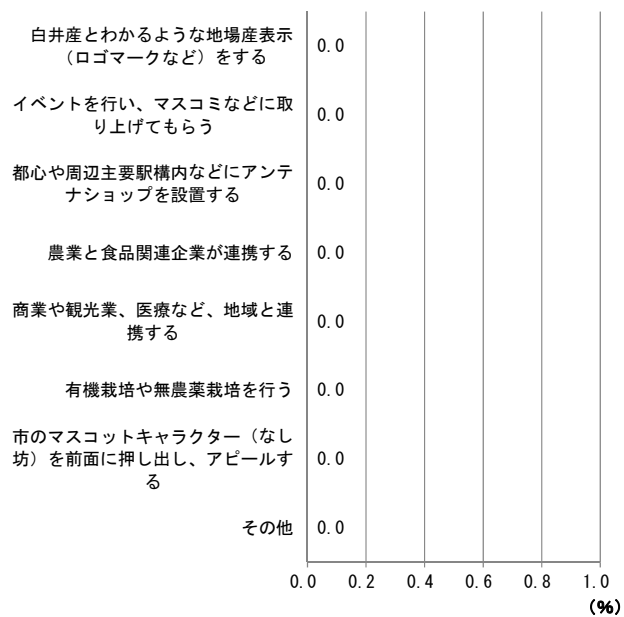
自然食品店（N=5）



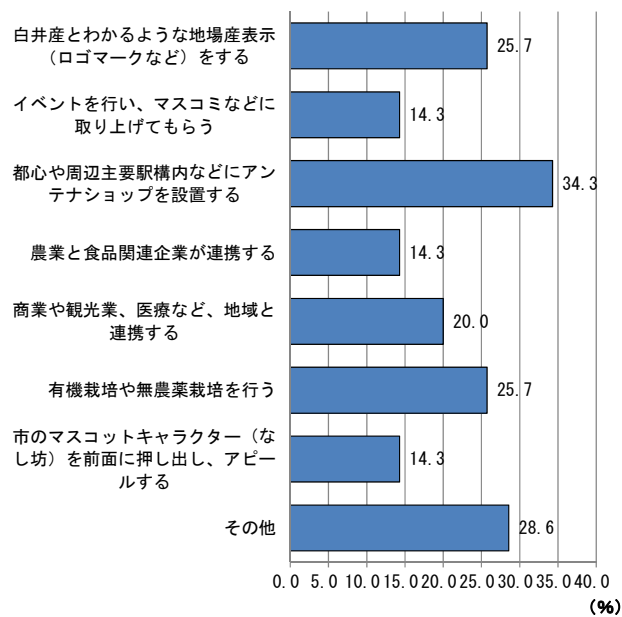
食材宅配サービス（N=26）



インターネットなどの通信販売（N=0）

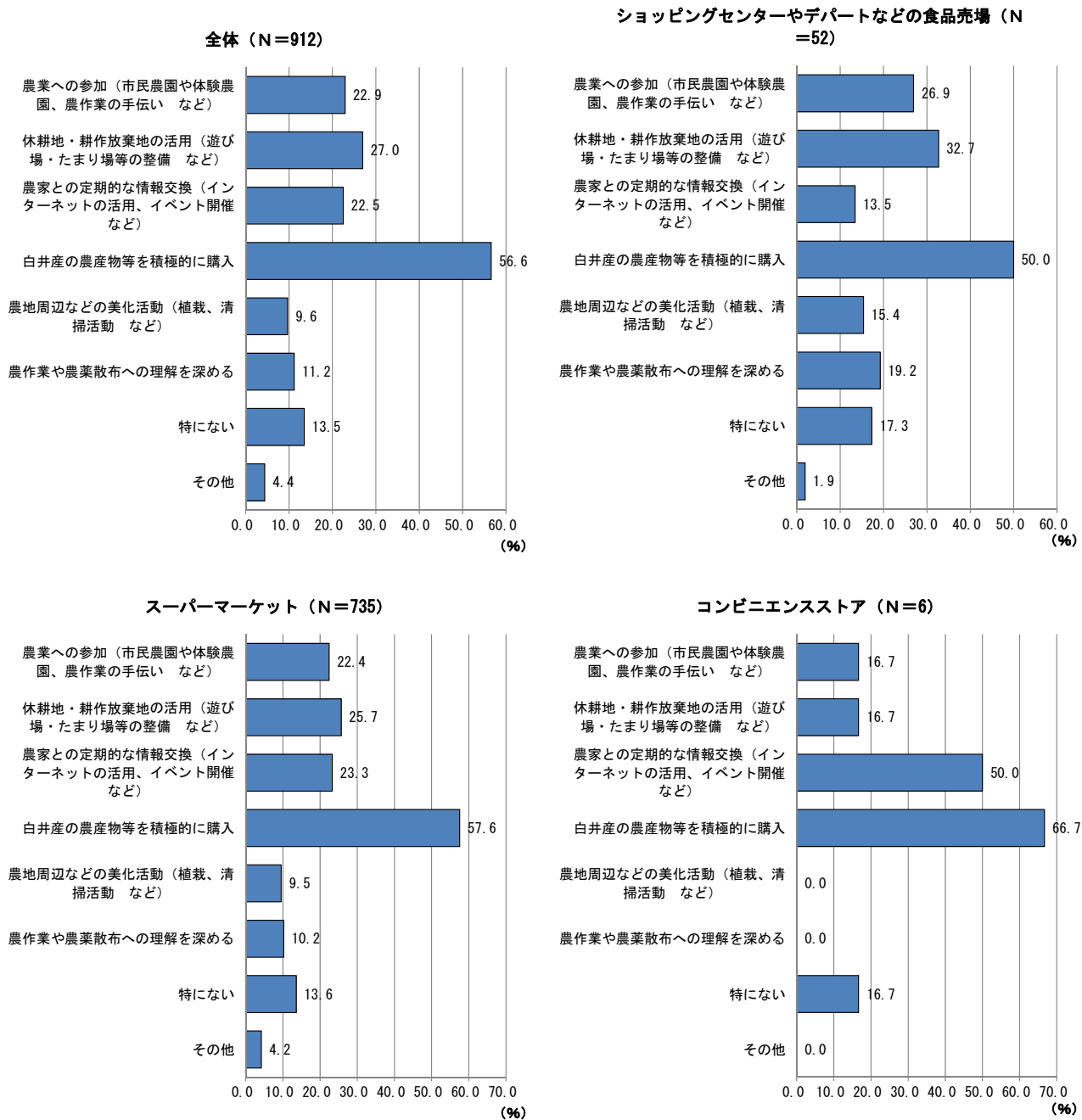


その他（N=35）

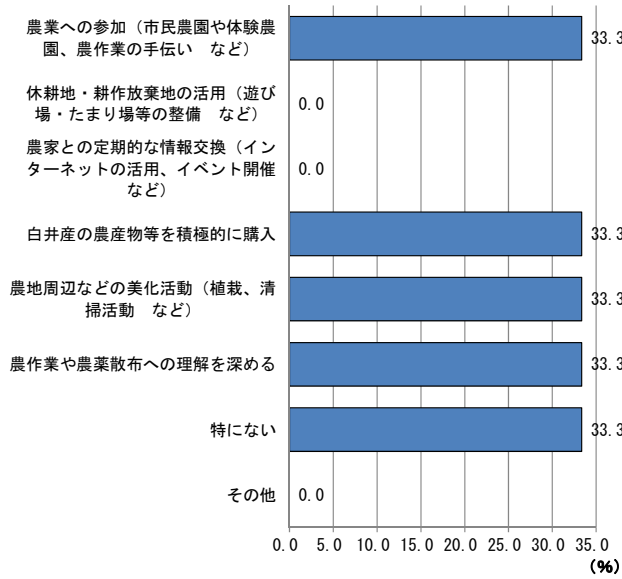


質問5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。

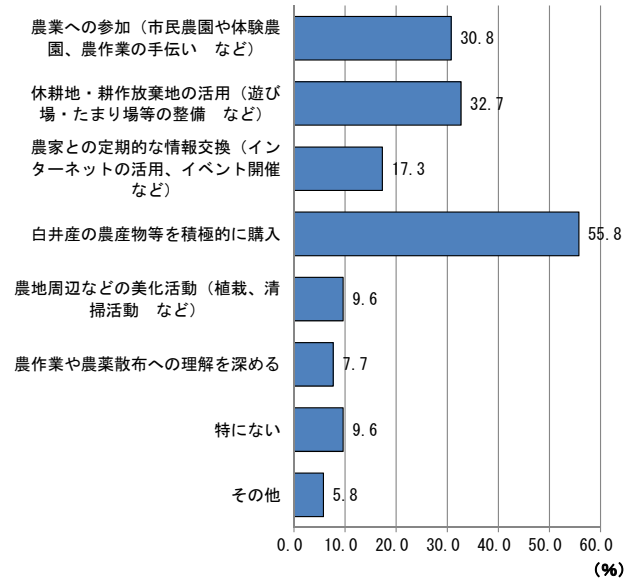
× 質問12 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。



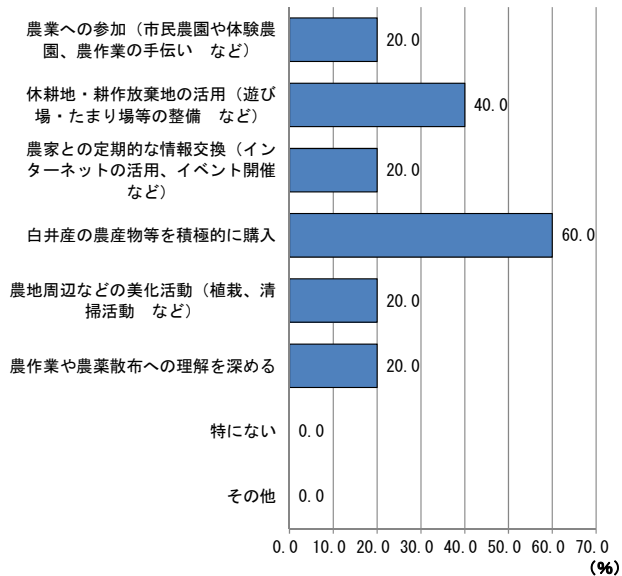
八百屋などの個人商店 (N=3)



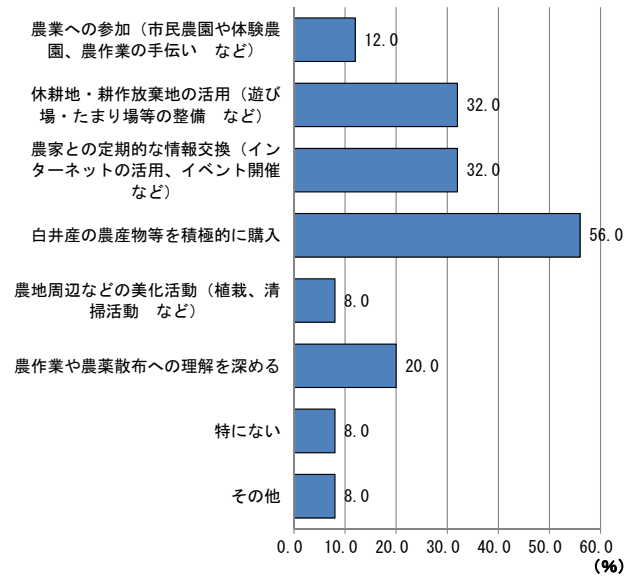
やおばあくなどの直売店・直売所 (N=52)



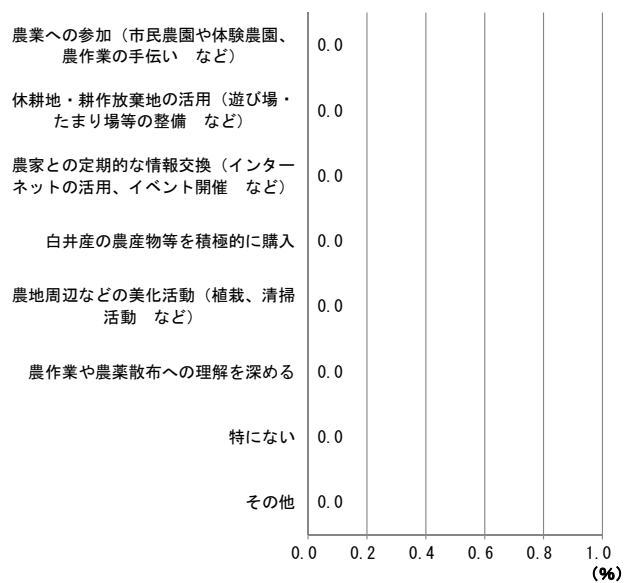
自然食品店 (N=5)



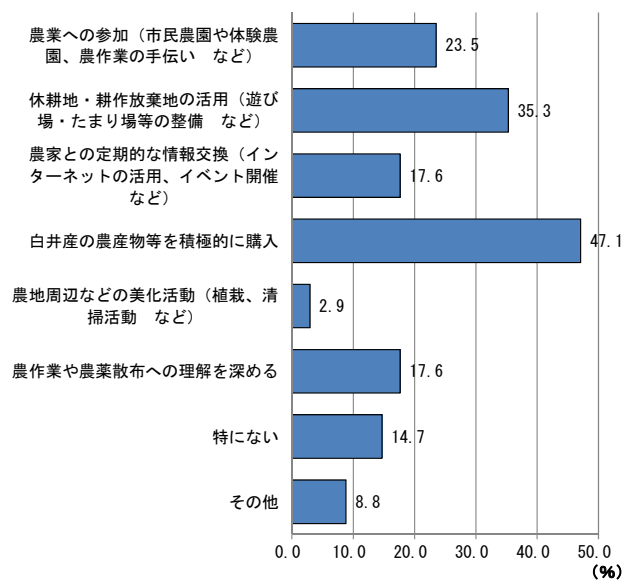
食材宅配サービス (N=25)



インターネットなどの通信販売（N=0）



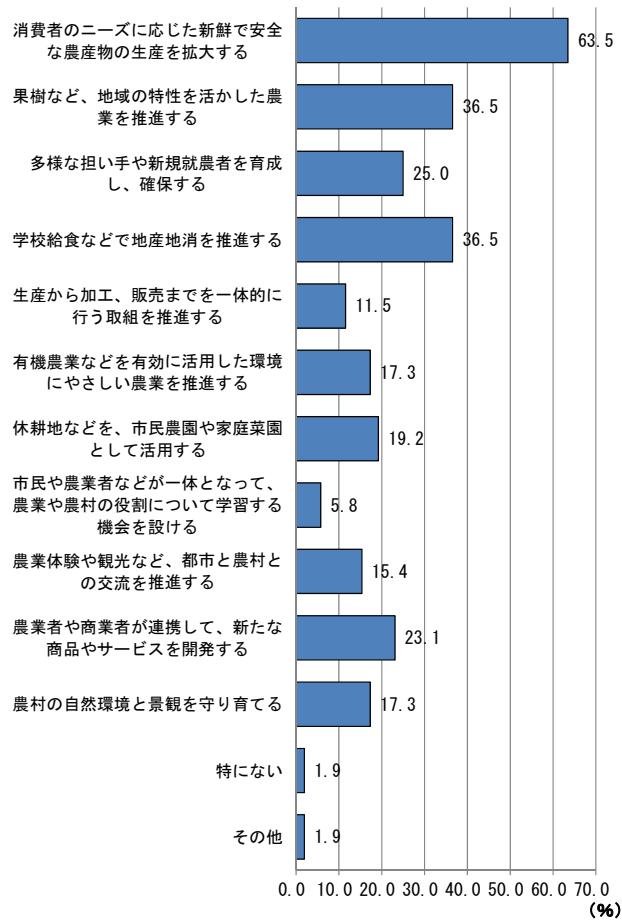
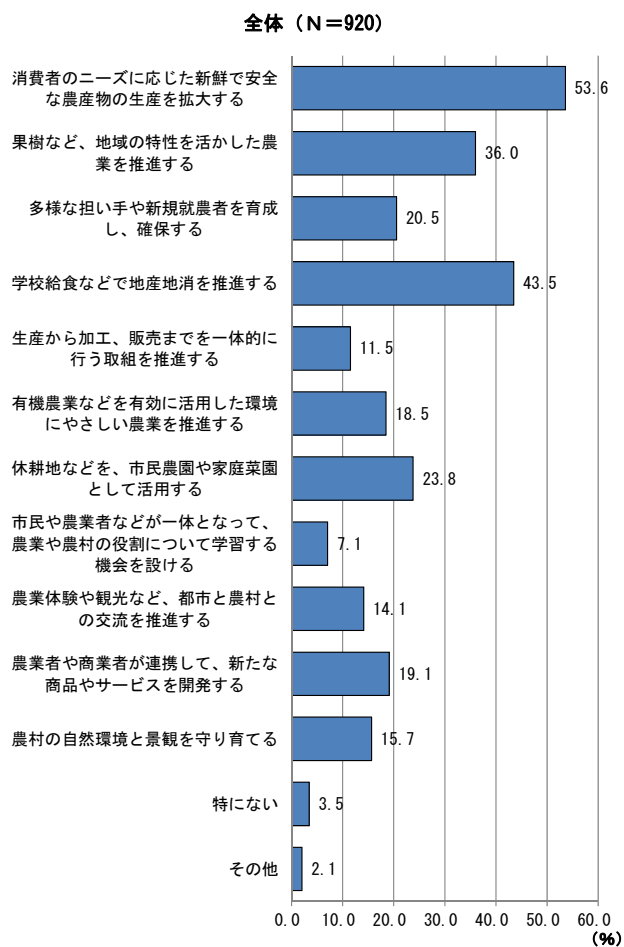
その他（N=34）

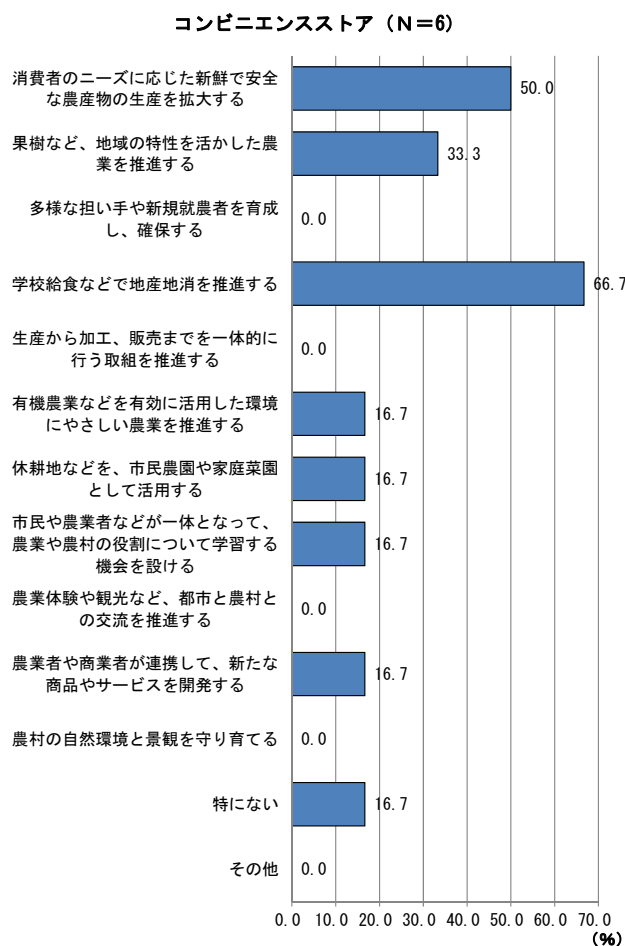
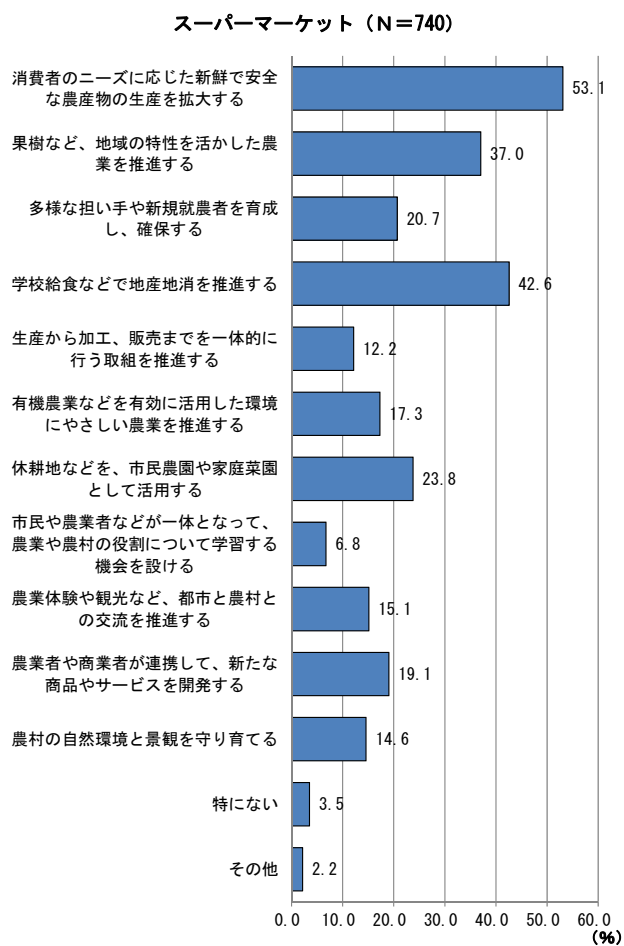


質問5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。

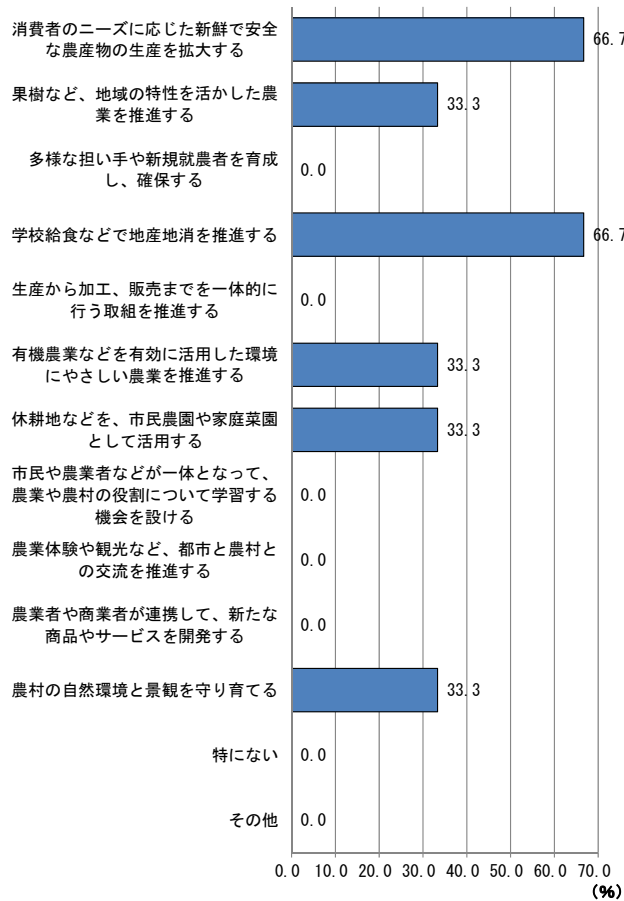
× 質問 13 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。

ショッピングセンターやデパートなどの食品売場
(N=52)

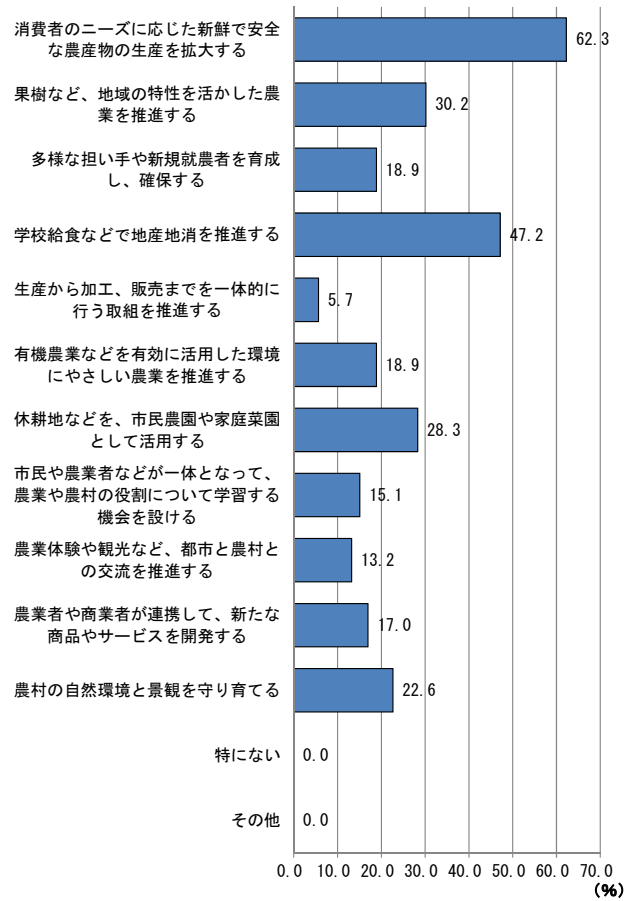




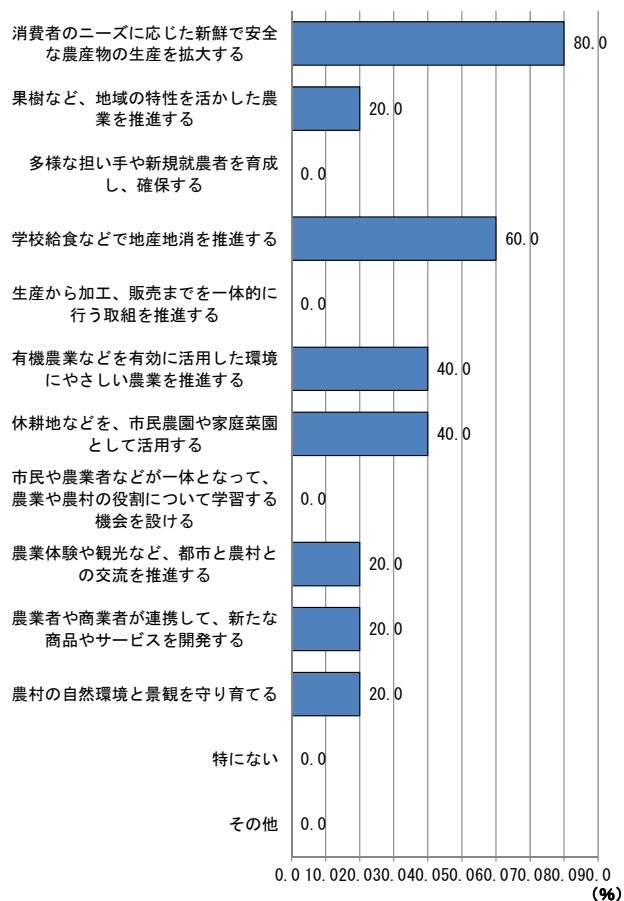
八百屋などの個人商店 (N=3)



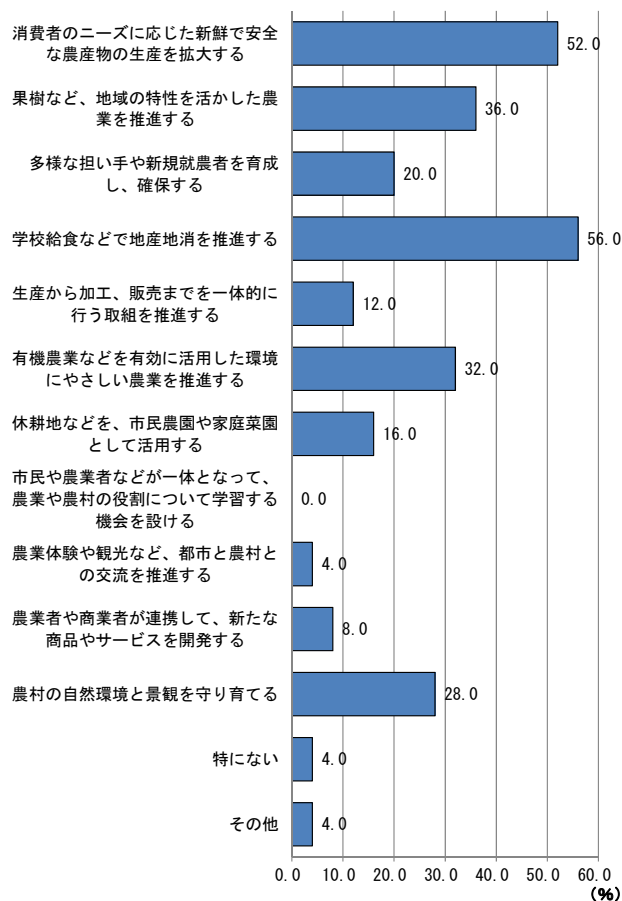
やおばあくなどの直売店・直売所 (N=53)



自然食品店（N=5）



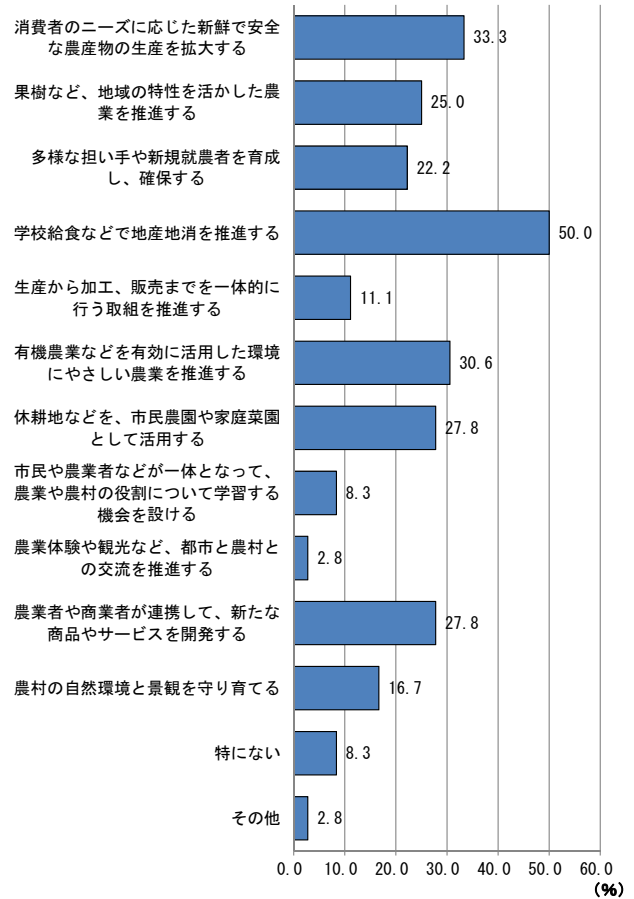
食材宅配サービス（N=25）



インターネットなどの通信販売（N=0）



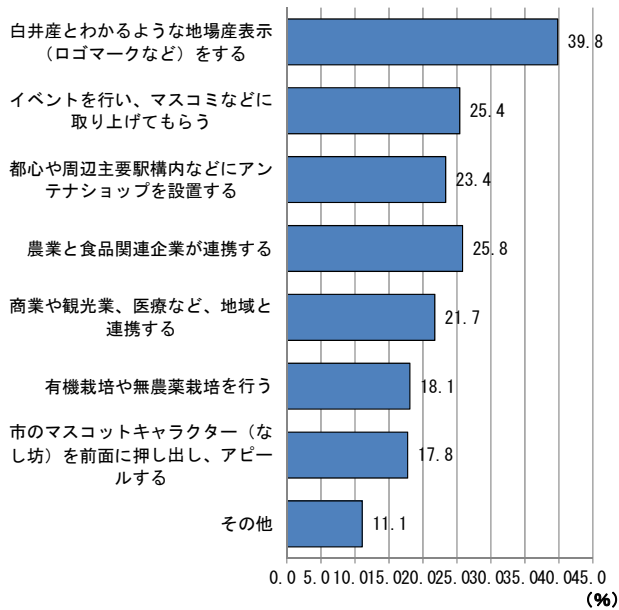
その他（N=36）



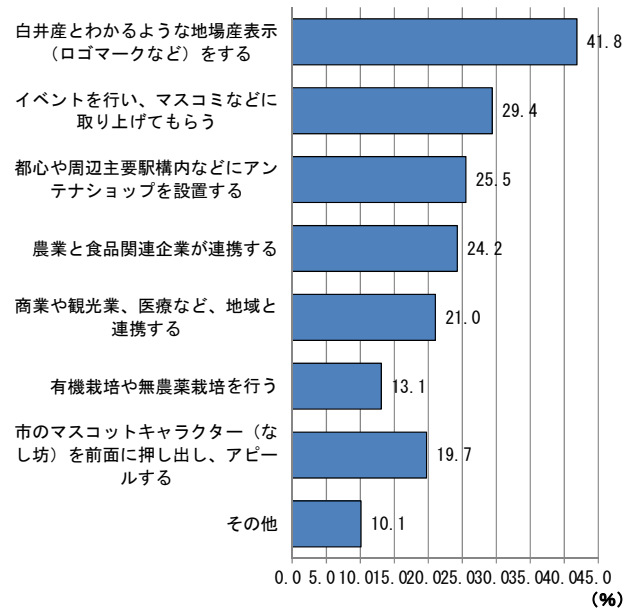
質問6 あなたは、野菜などを買う時にポイントにしていることは何ですか。

× 質問11 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。

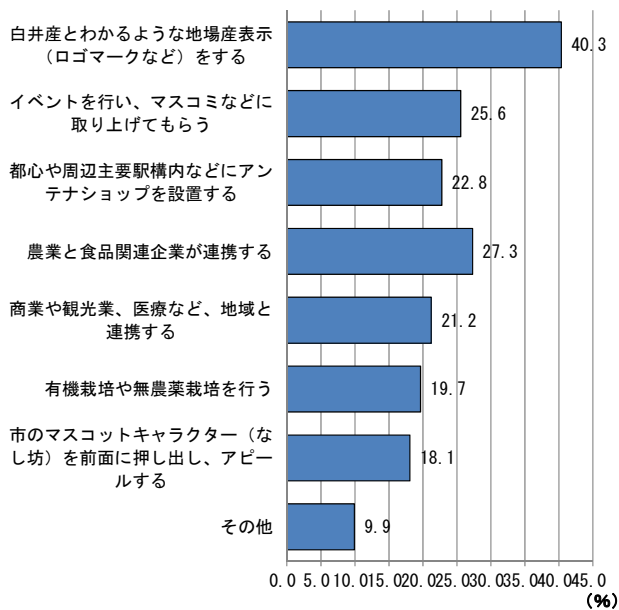
全体 (N=929)



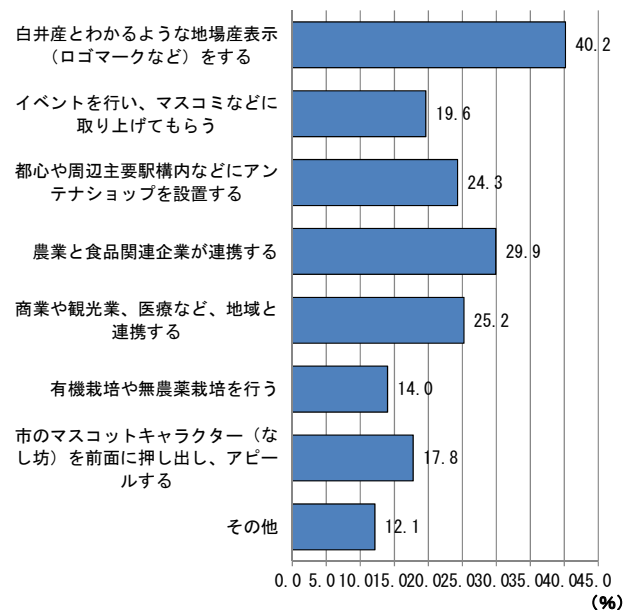
価格が安い (N=466)



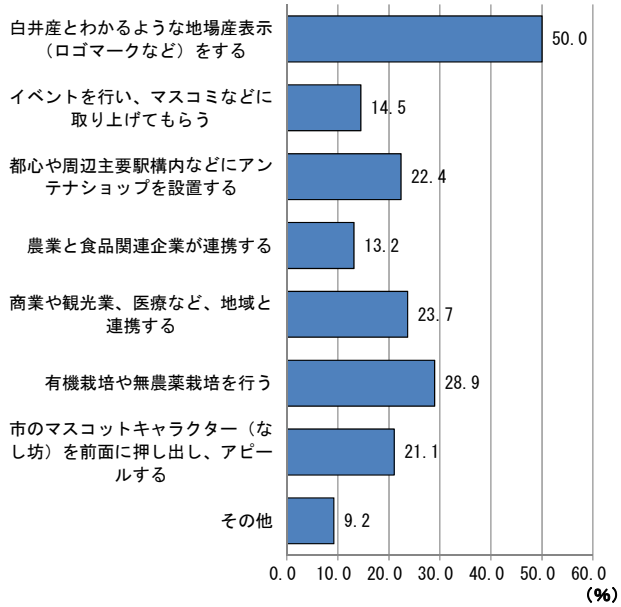
国産である (N=575)



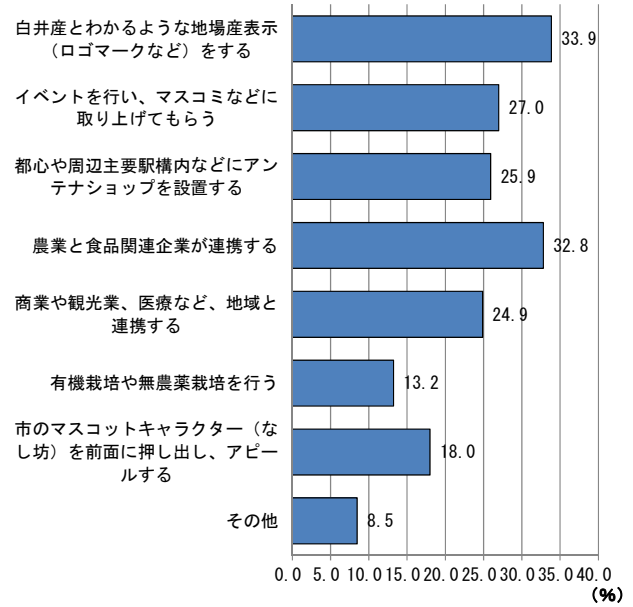
白井産など地場産品である (N=107)



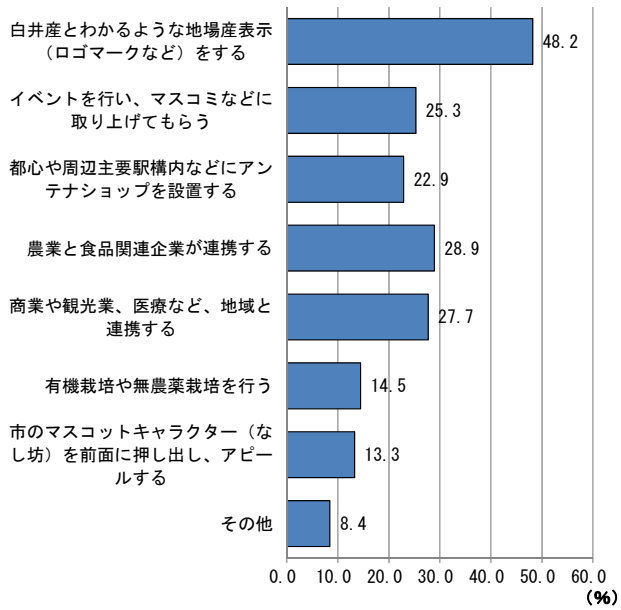
生産者などがわかる (N=76)



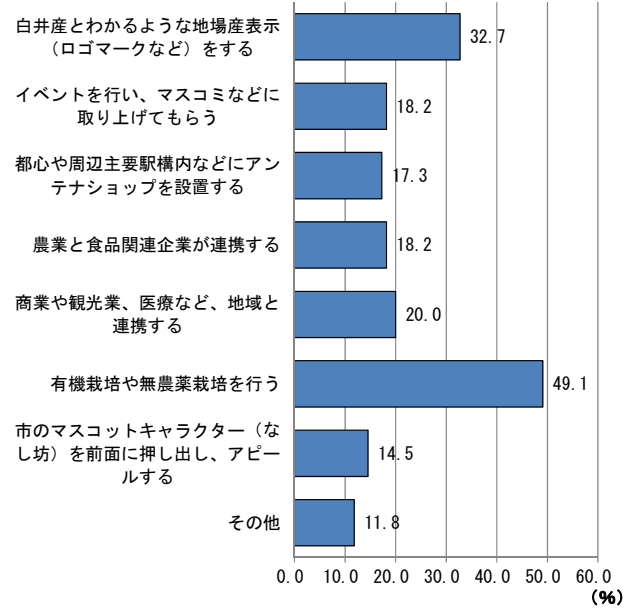
色、形などの外見 (N=189)



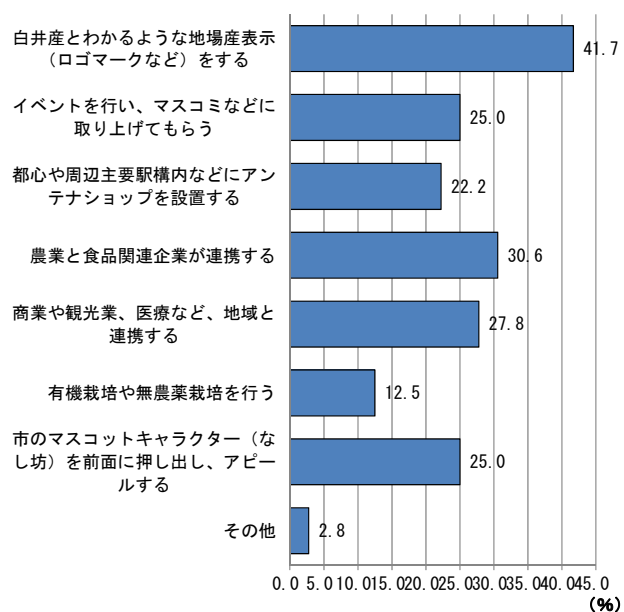
適量である (N=83)



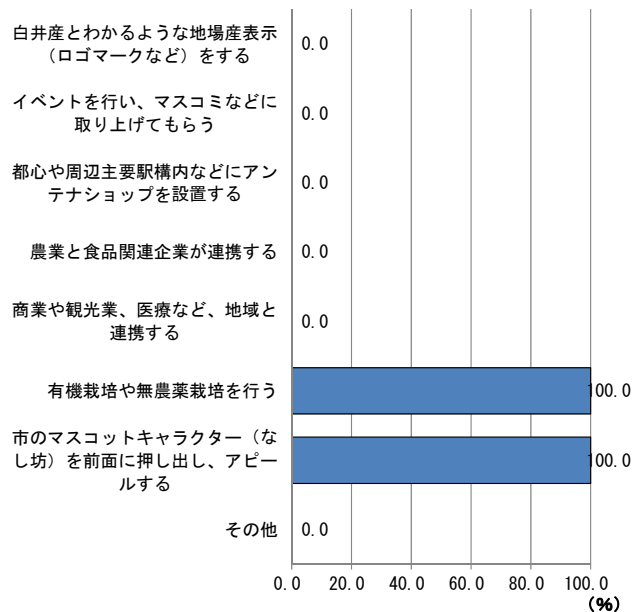
有機栽培・無農薬などである (N=110)



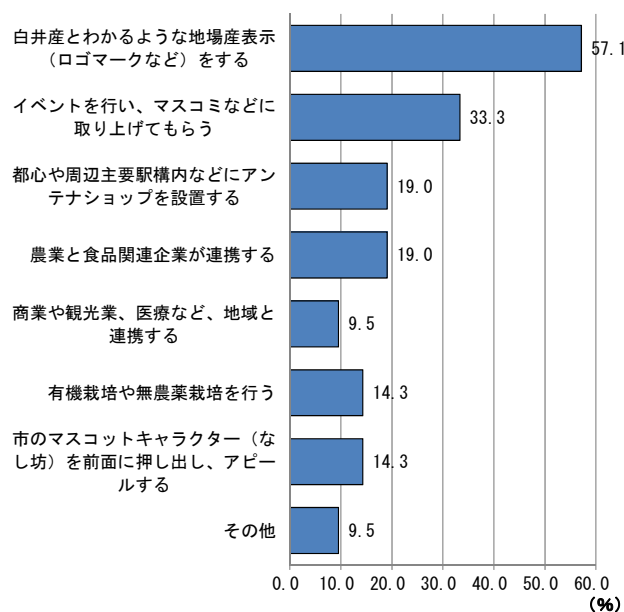
消費期限 (N=72)



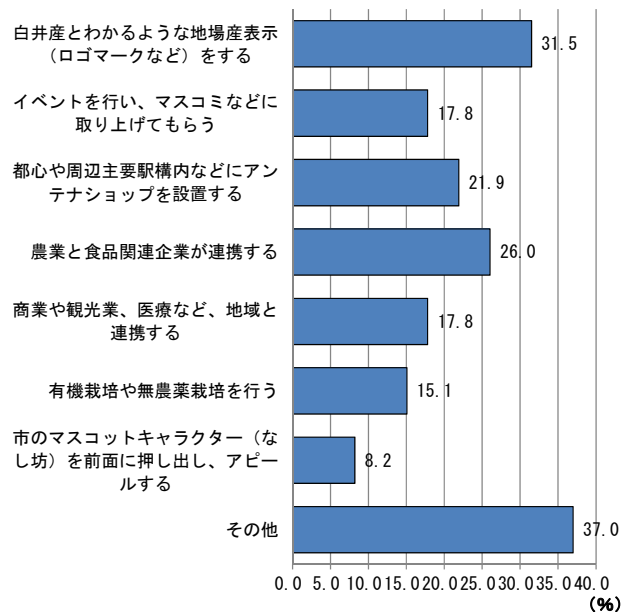
高級である (N=1)



気にしない (N=21)



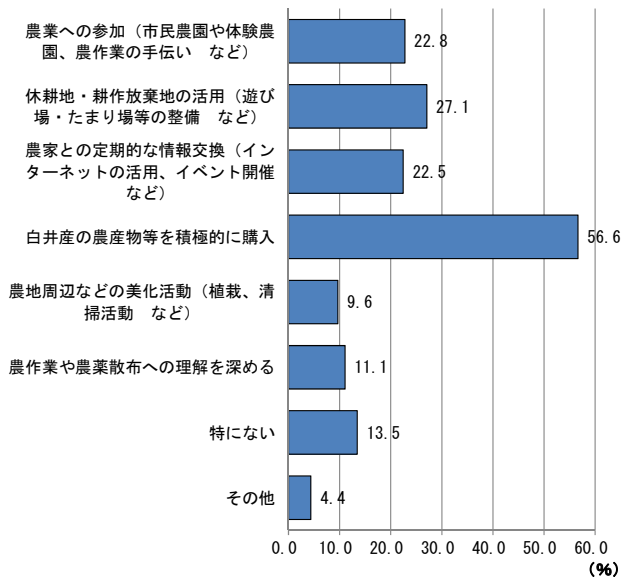
その他 (N=73)



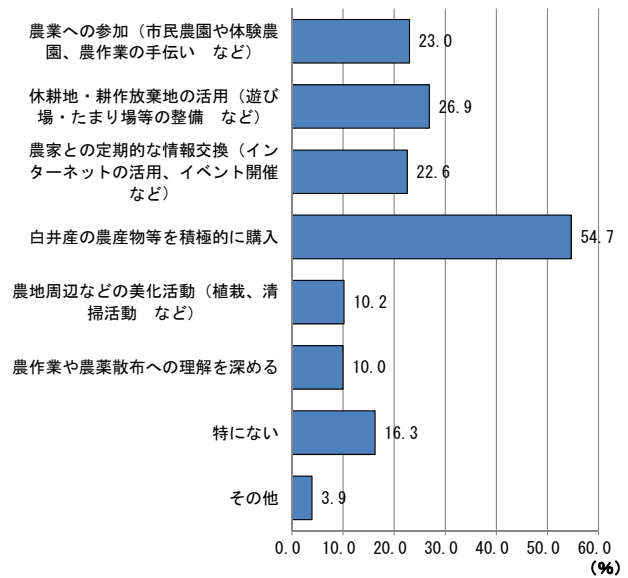
質問6 あなたは、野菜などを買う時にポイントにしていることは何ですか。

× 質問12 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。

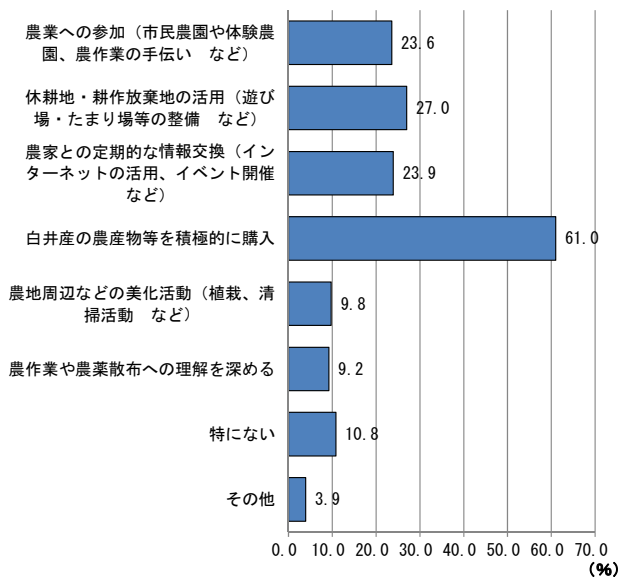
全体 (N=913)



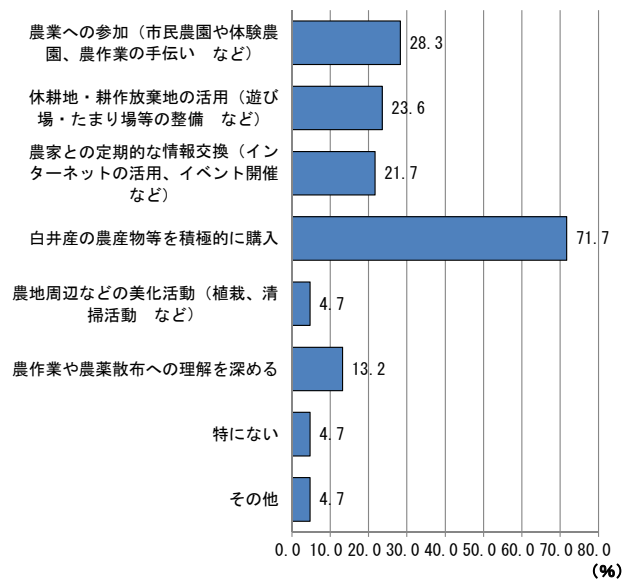
価格が安い (N=461)



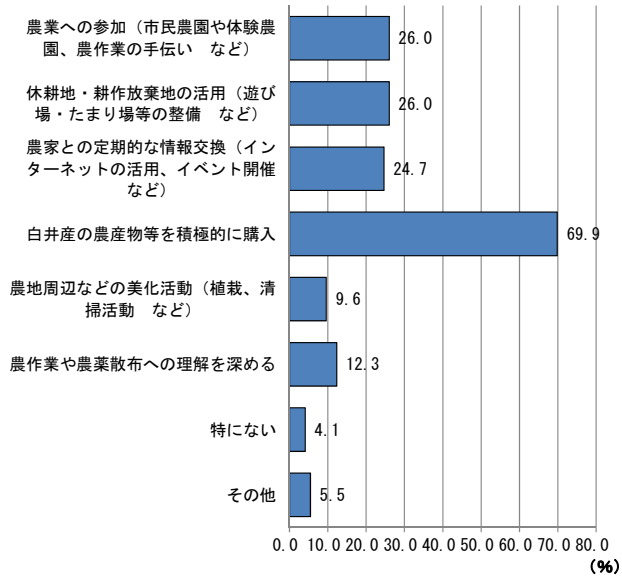
国産である (N=564)



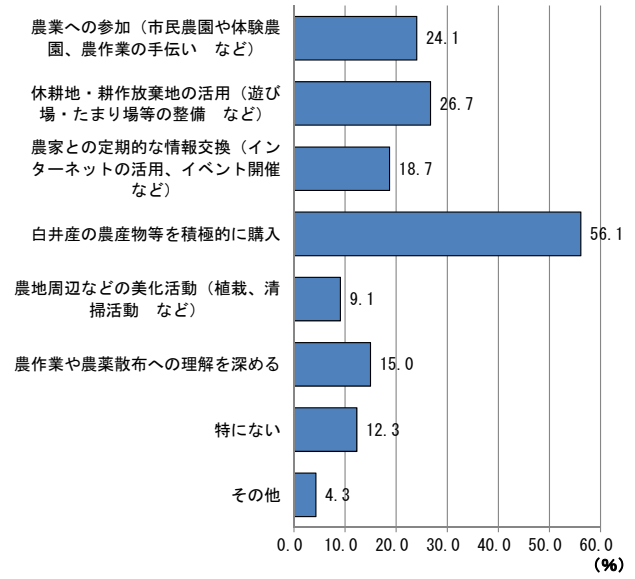
白井産など地場産品である (N=106)



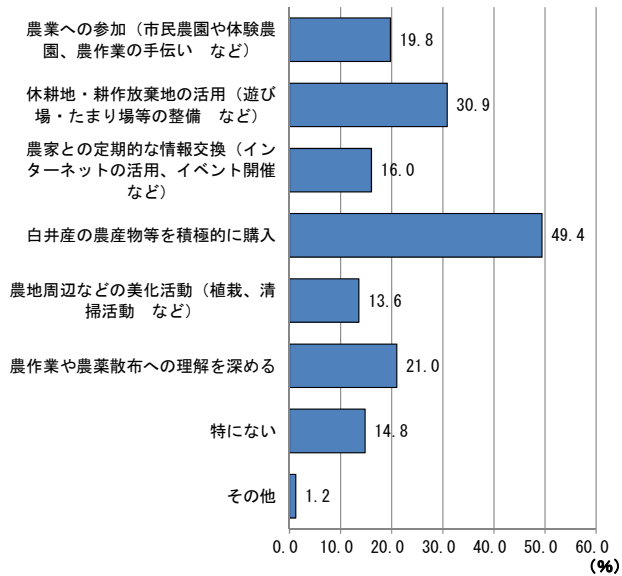
生産者などがわかる (N=73)



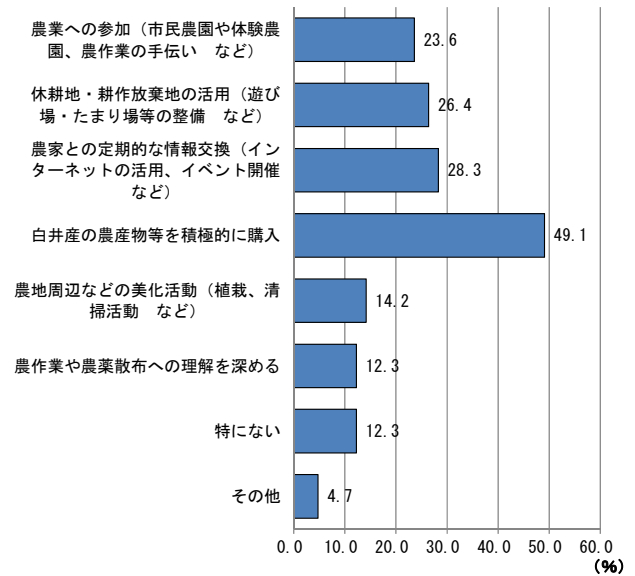
色、形などの外見 (N=187)



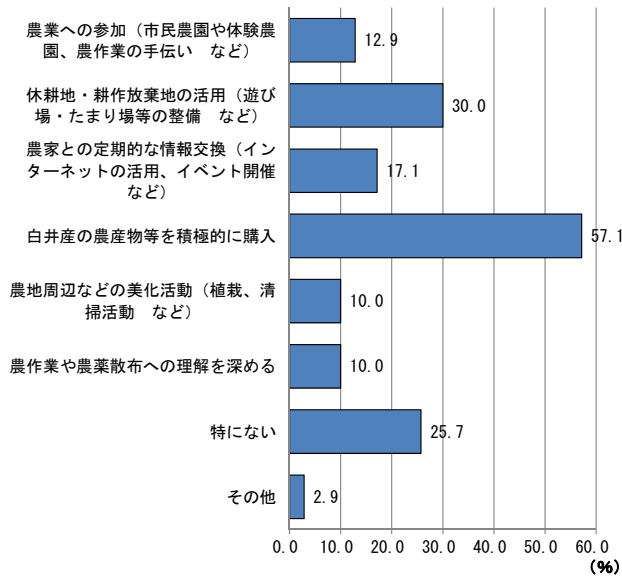
適量である (N=81)



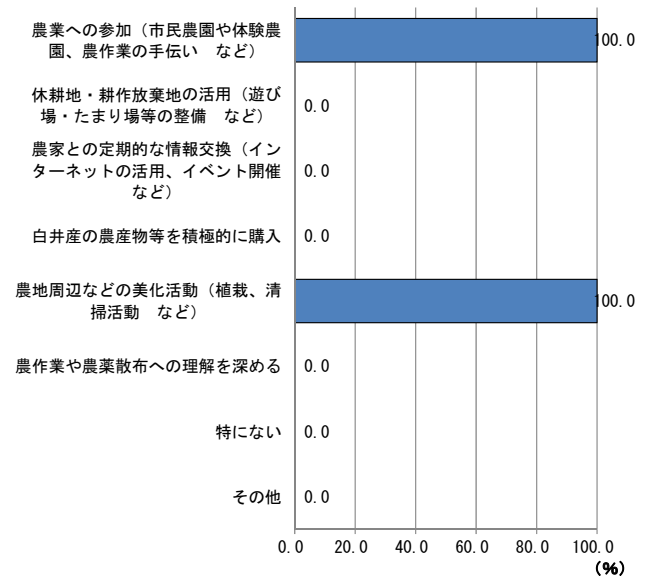
有機栽培・無農薬などである (N=106)



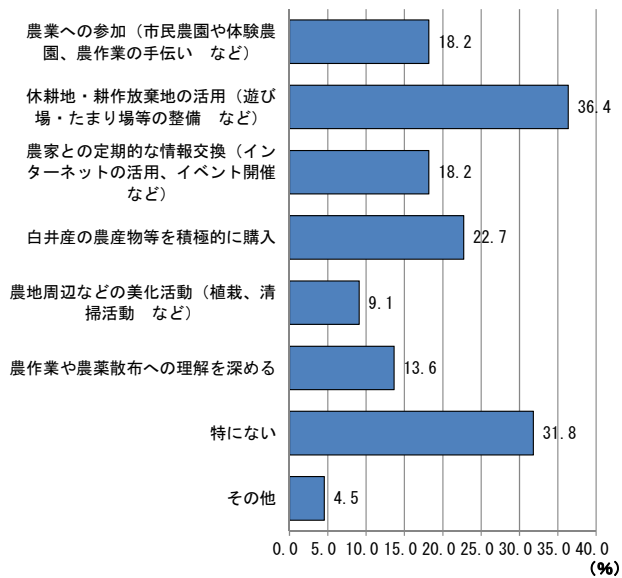
消費期限（N=70）



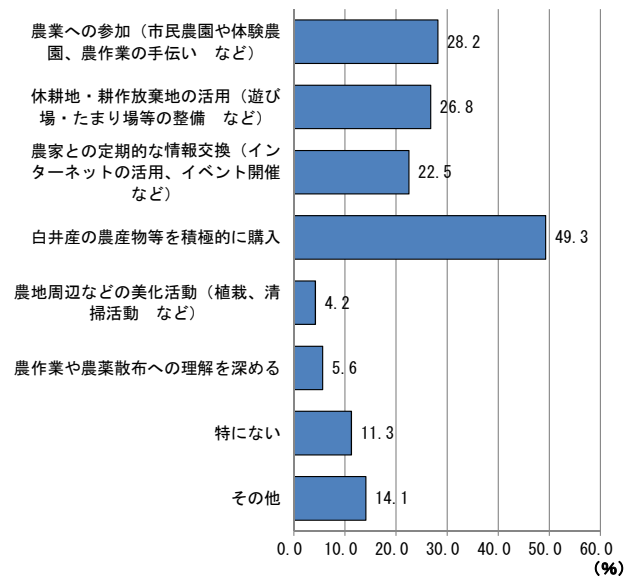
高級である（N=1）



気にしない（N=22）



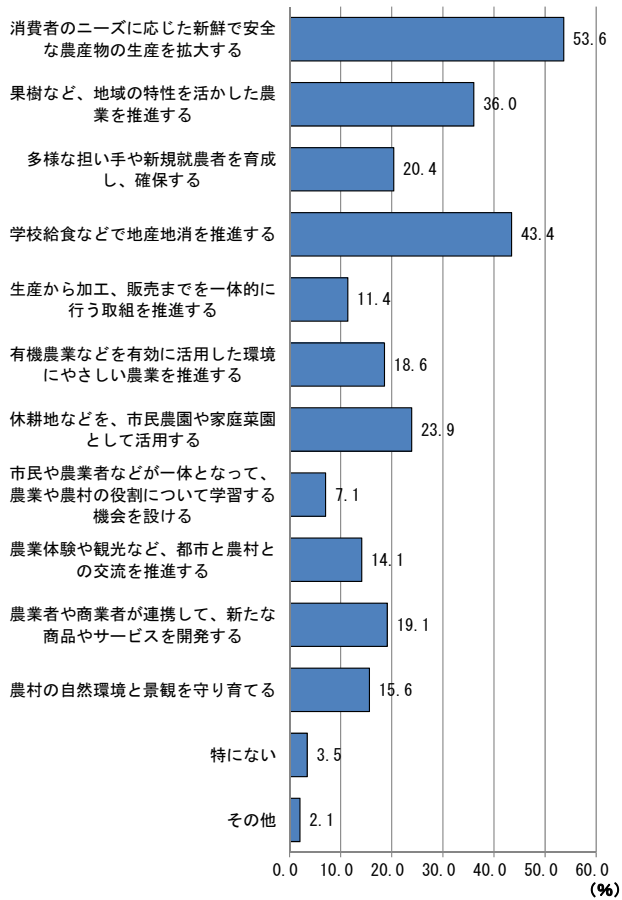
その他（N=71）



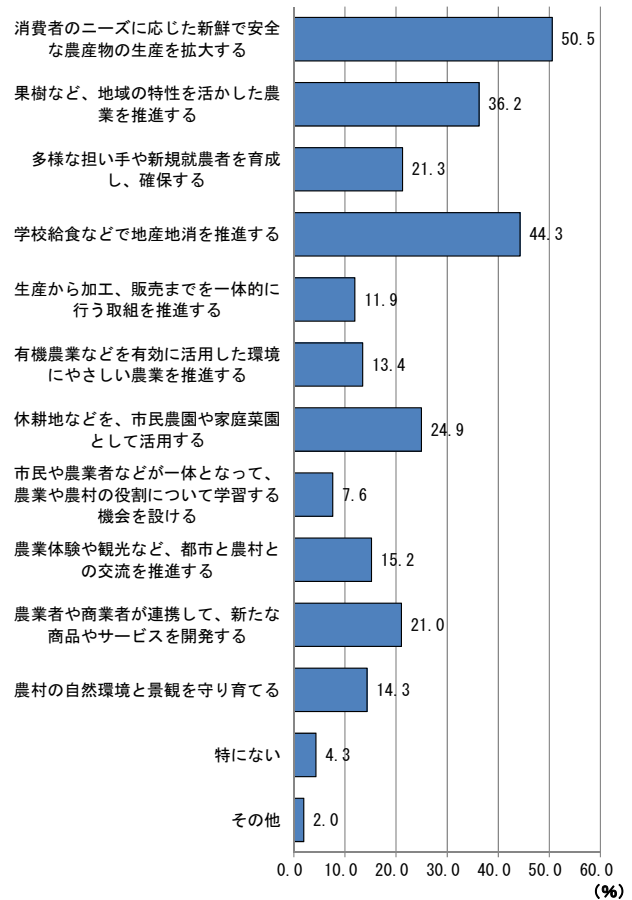
質問6 あなたは、野菜などを買う時にポイントにしていることは何ですか。

× 質問 13 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。

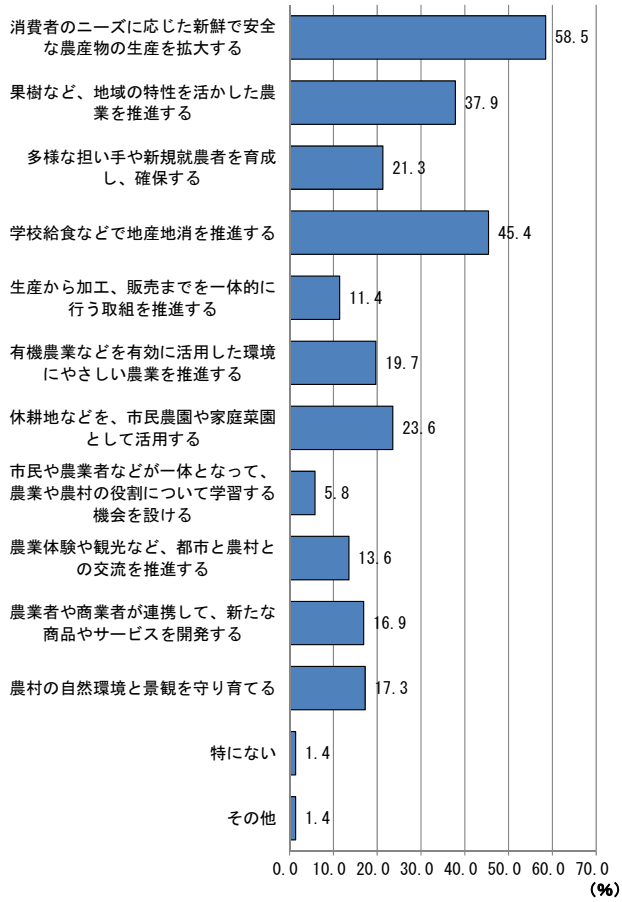
全体 (N=921)



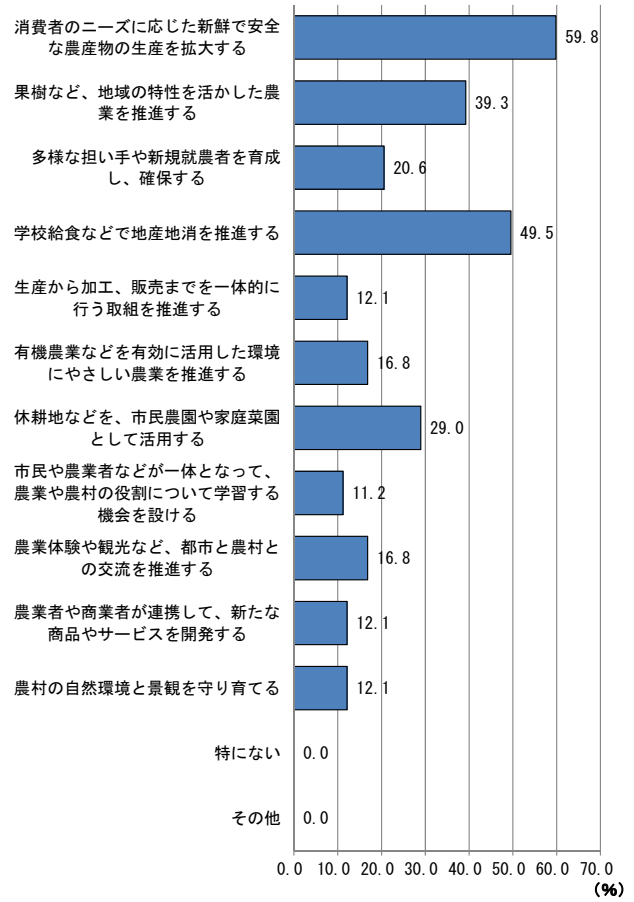
価格が安い (N=461)



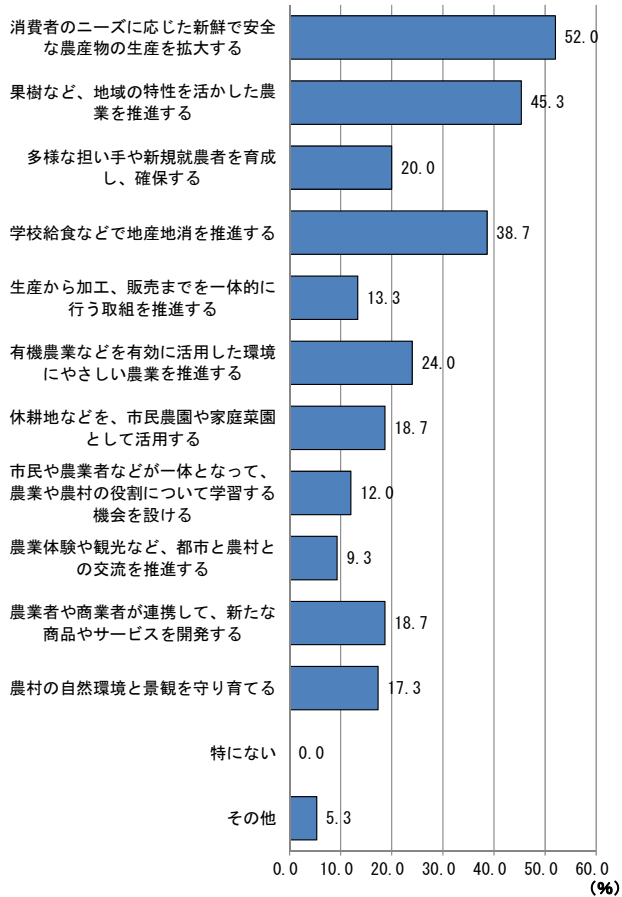
国産である（N=568）



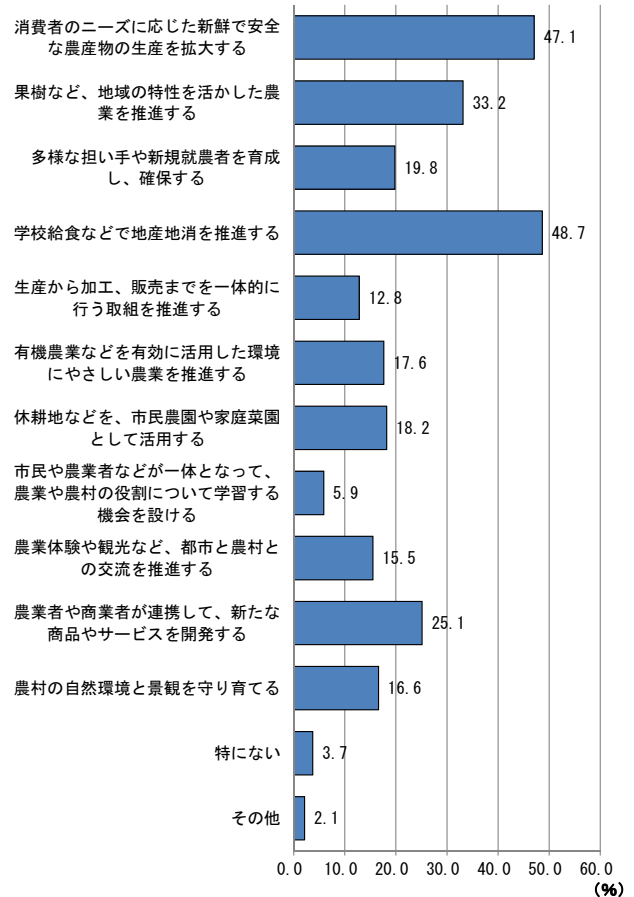
白井産など地場産品である（N=107）



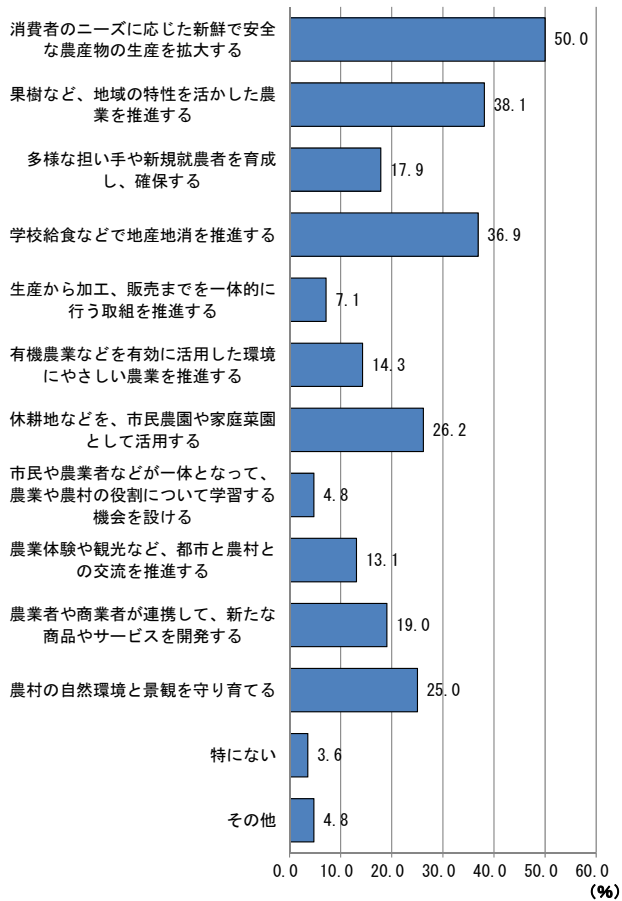
生産者などがわかる (N=75)



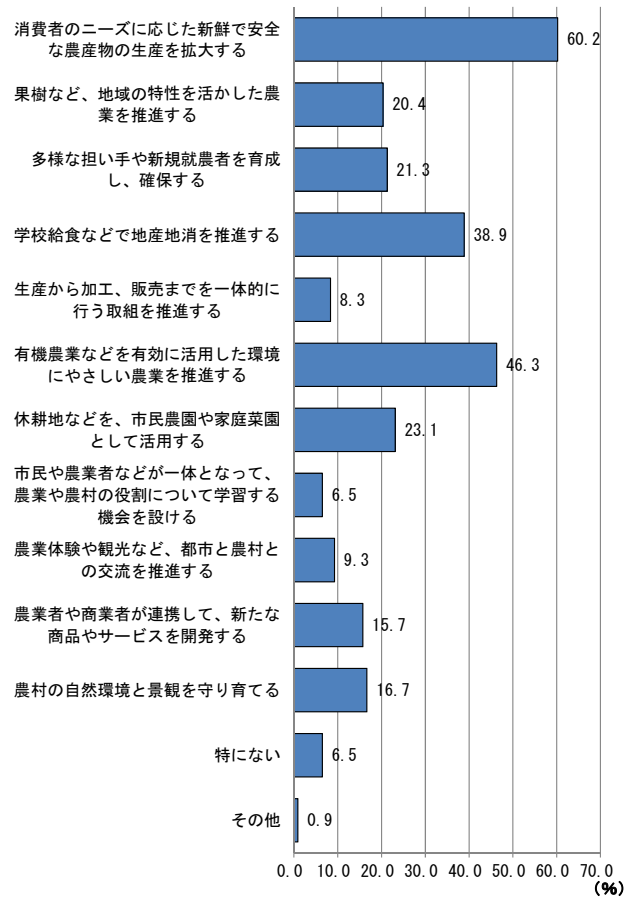
色、形などの外見 (N=187)



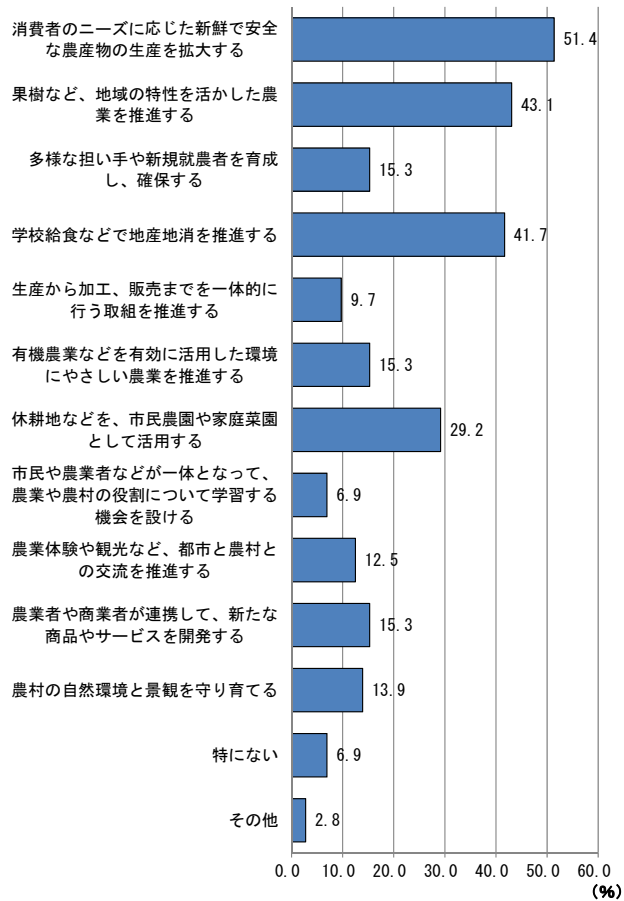
適量である（N=84）



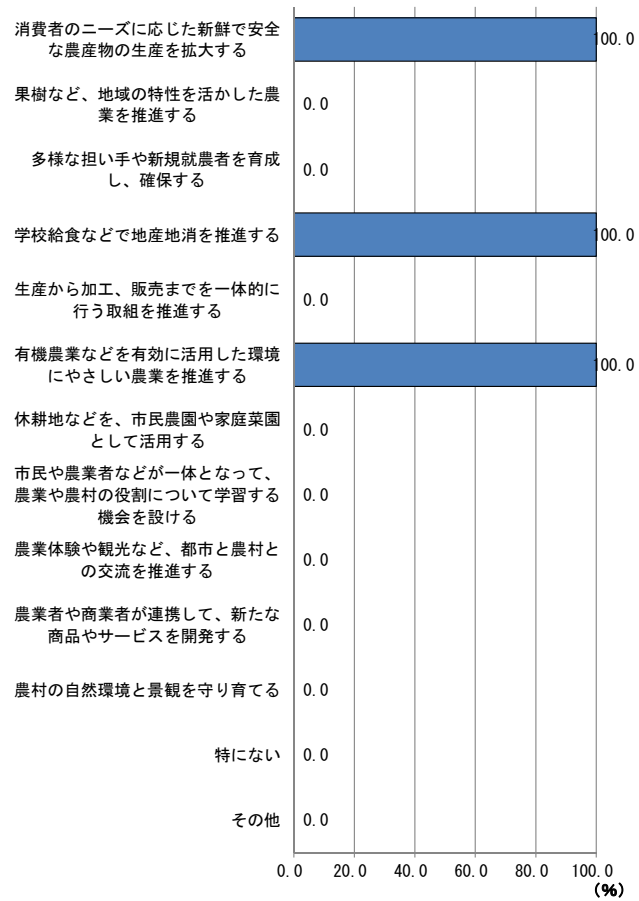
有機栽培・無農薬などである（N=108）



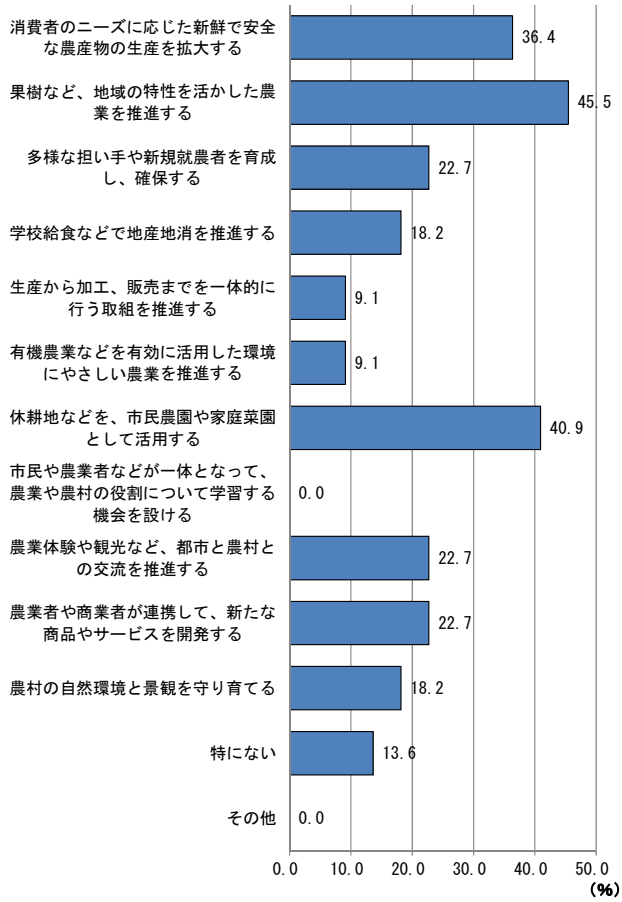
消費期限 (N=72)



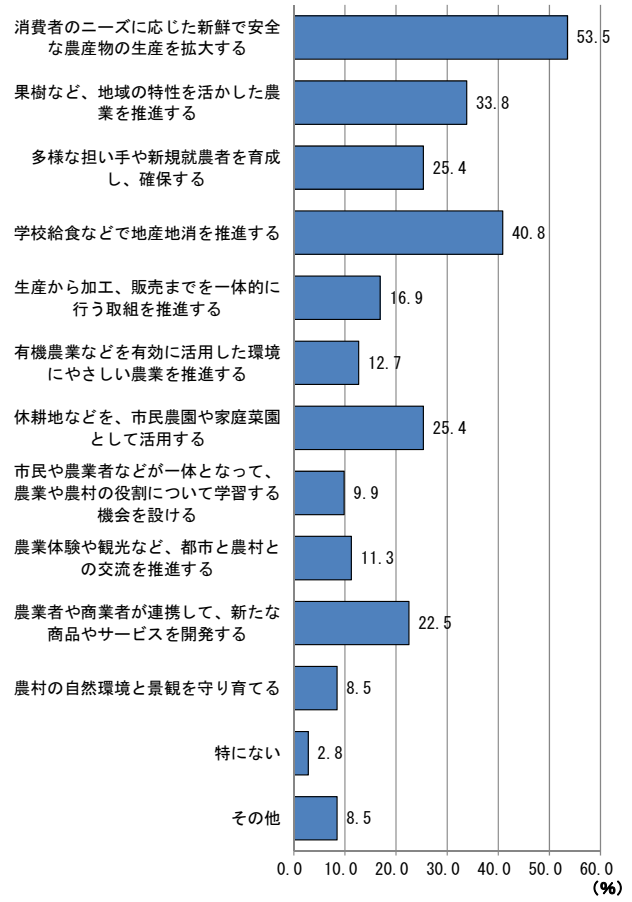
高級である (N=1)



気にしない (N=22)



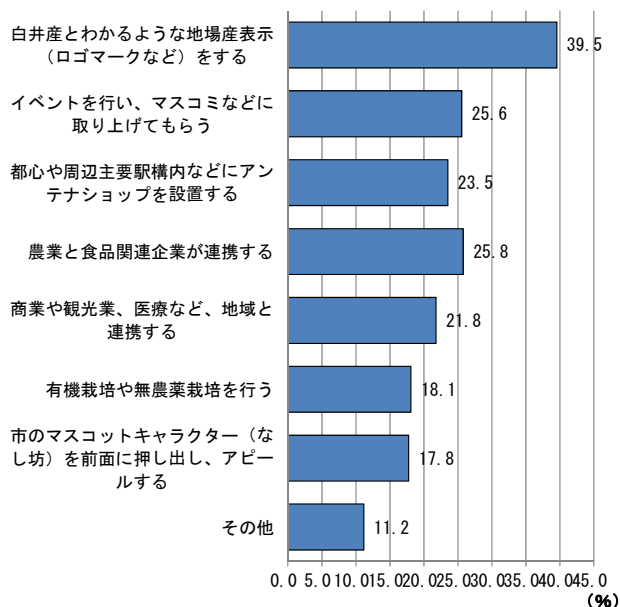
その他 (N=71)



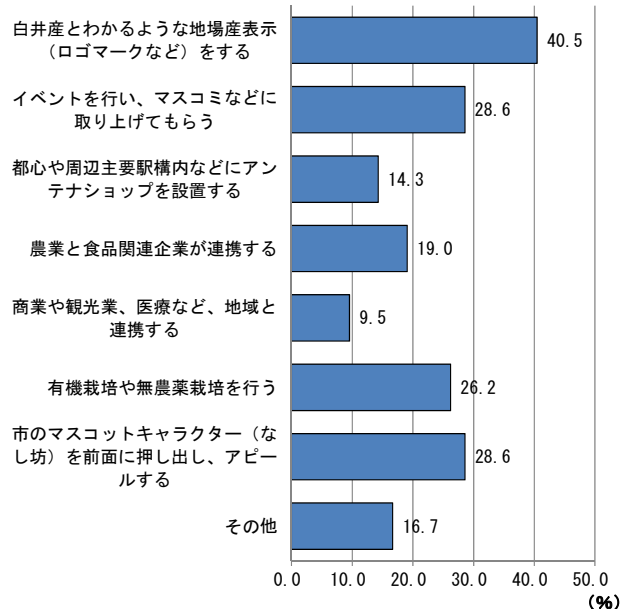
質問7 あなたは、農産物直売所やスーパーマーケットの地元農産物販売コーナーなどをどのくらいの頻度で利用していますか。

× 質問11 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。

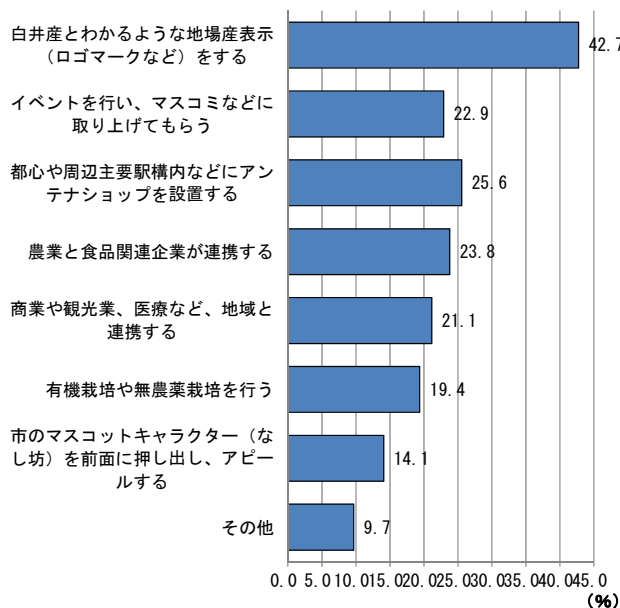
全体 (N=923)



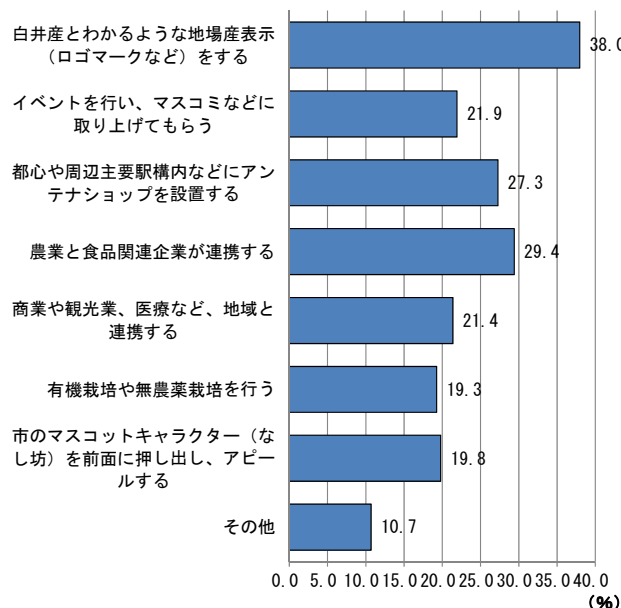
ほとんど毎日利用する (週に5回以上) (N=42)



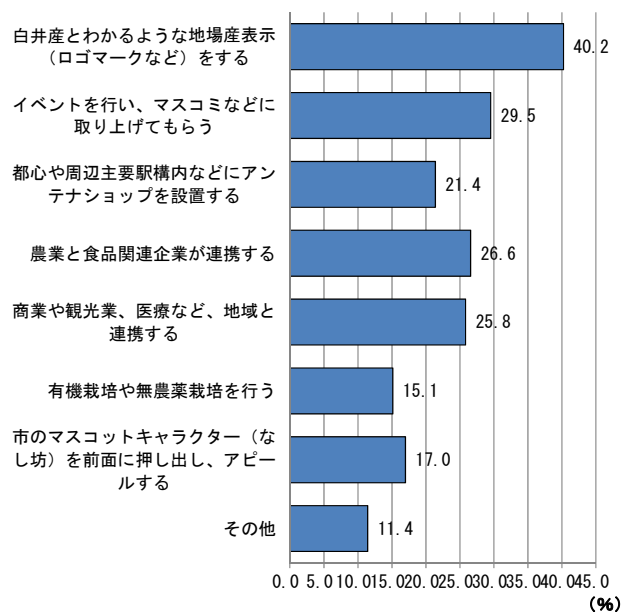
よく利用する (週に2回以上) (N=227)



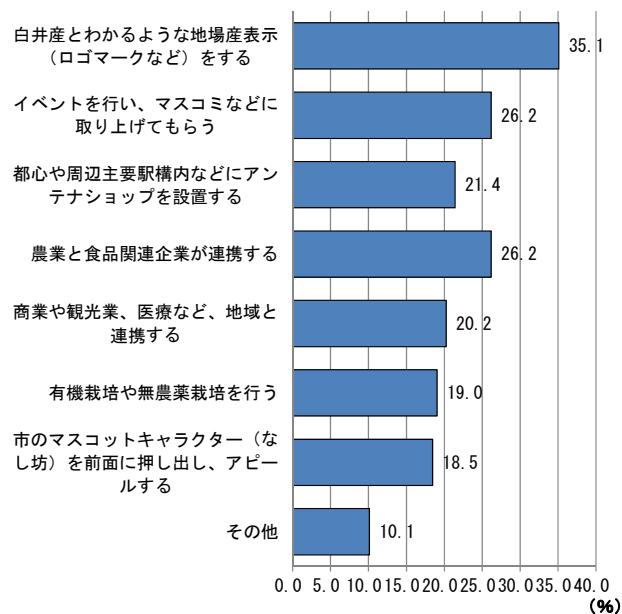
ときどき利用する (週に1回程度) (N=187)



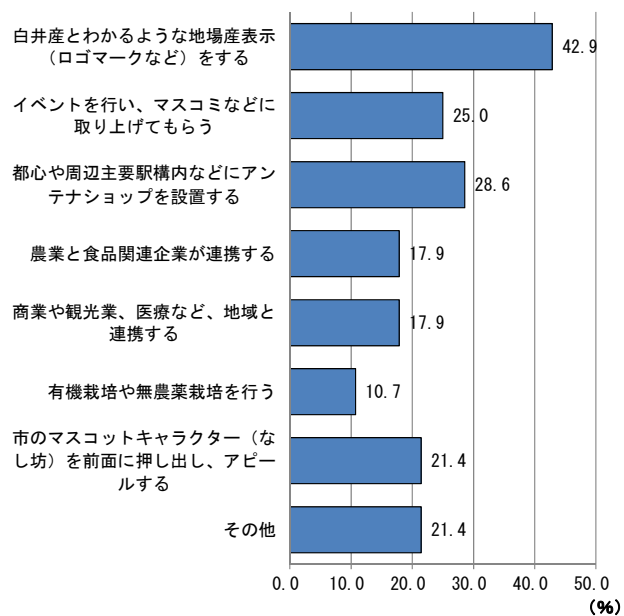
たまに利用する（月に数回）（N=271）



ほとんど利用しない（N=168）



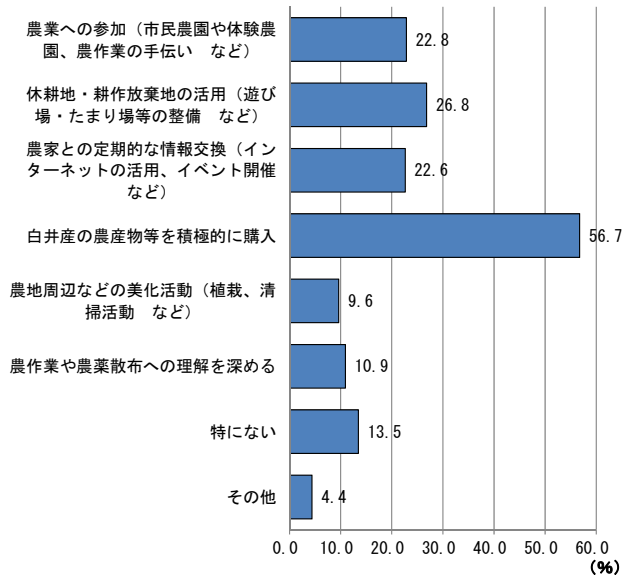
農産物直売所や販売コーナーが近所がない（N=28）



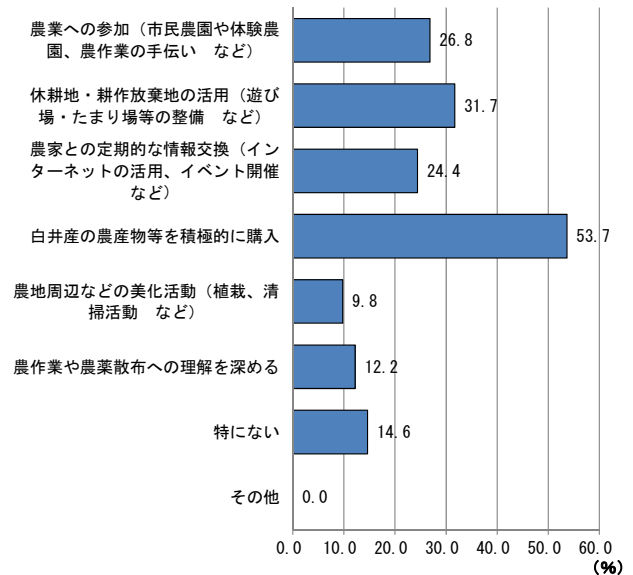
質問 7 あなたは、農産物直売所やスーパーマーケットの地元農産物販売コーナーなどをどのくらいの頻度で利用していますか。

× **質問 12 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。**

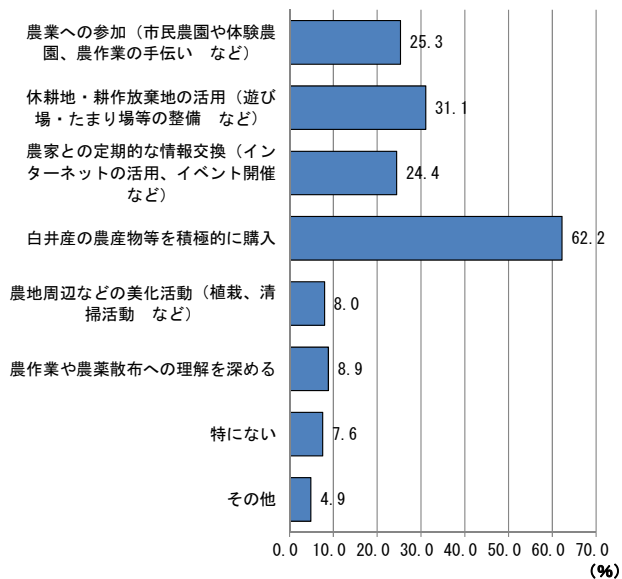
全体 (N=906)



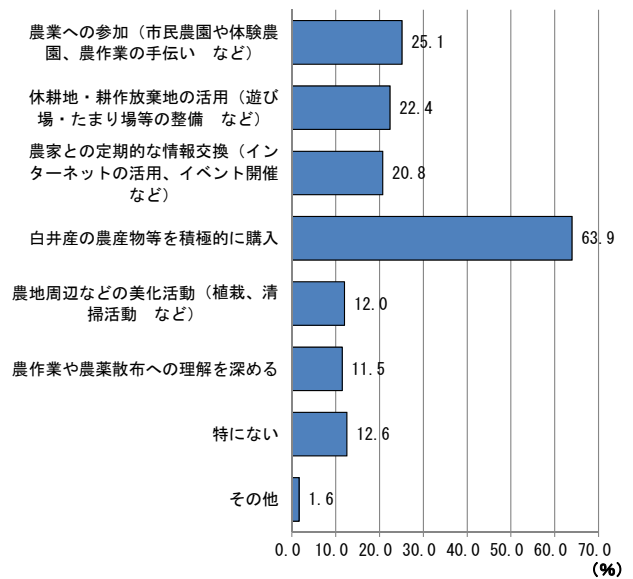
ほとんど毎日利用する (週に5回以上) (N=41)



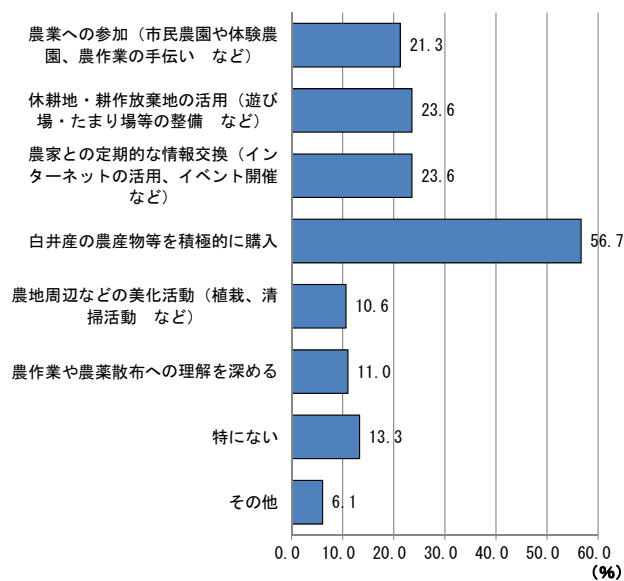
よく利用する (週に2回以上) (N=225)



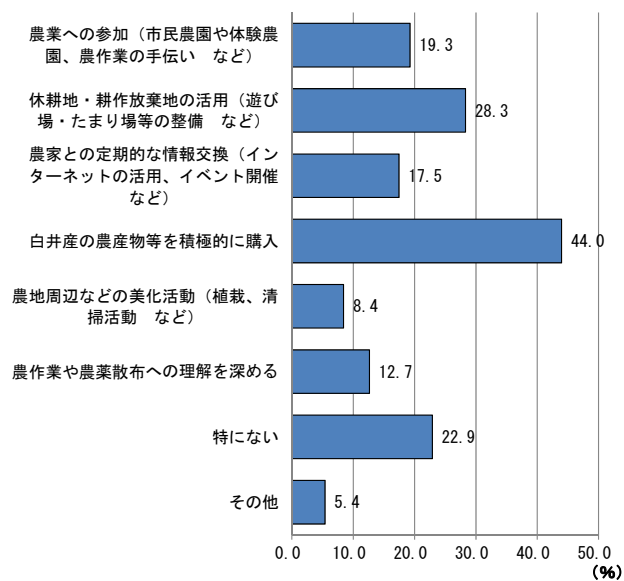
ときどき利用する (週に1回程度) (N=183)



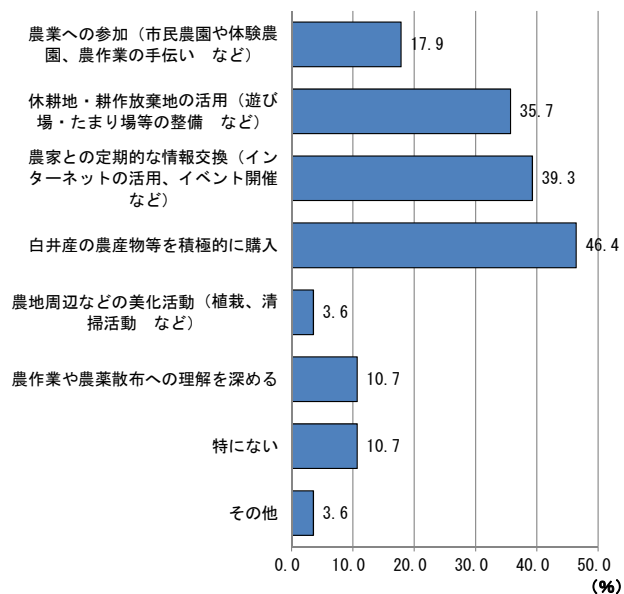
たまに利用する（月に数回）（N=263）



ほとんど利用しない（N=166）

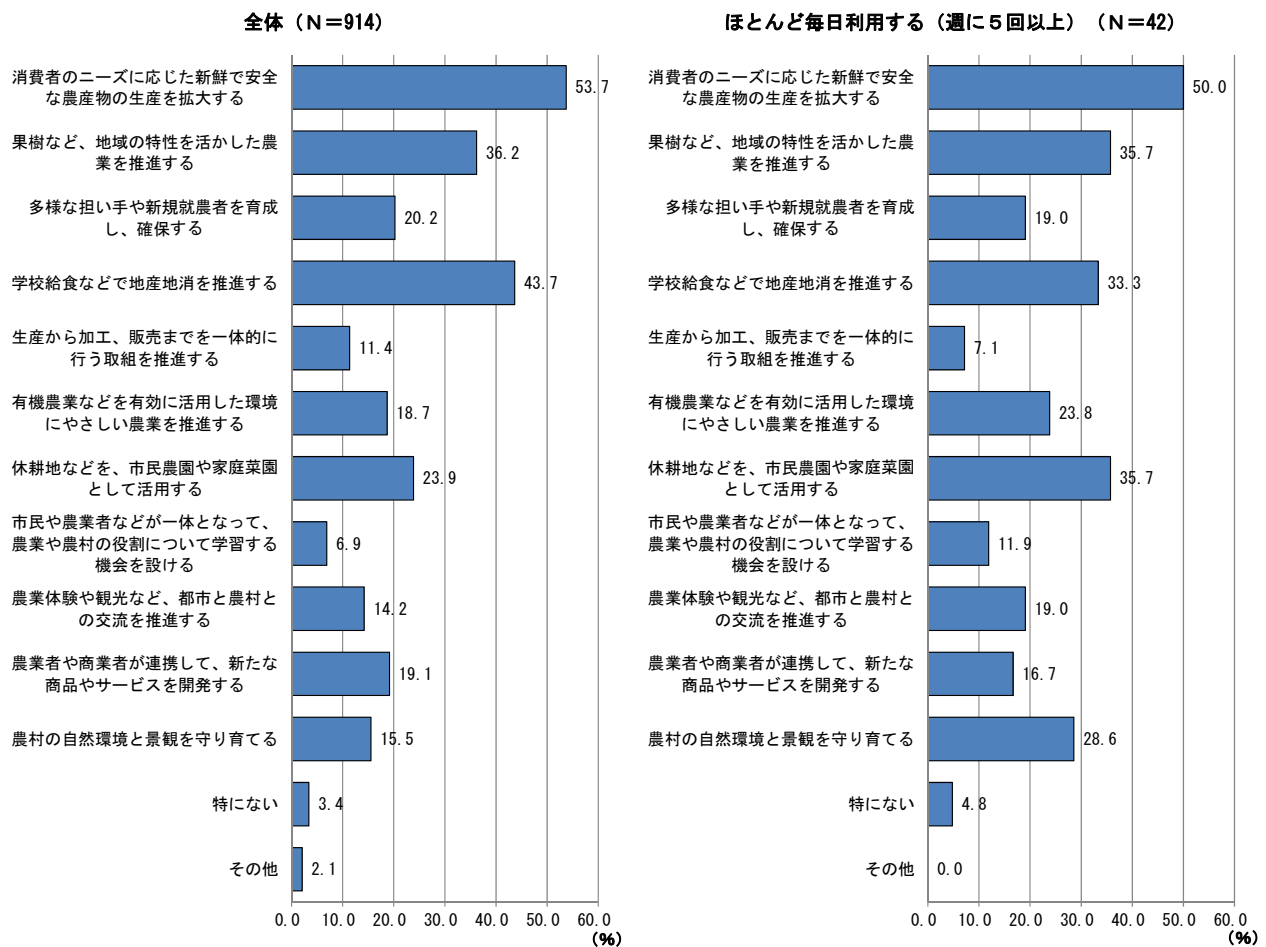


農産物直売所や販売コーナーが近所がない（N=28）

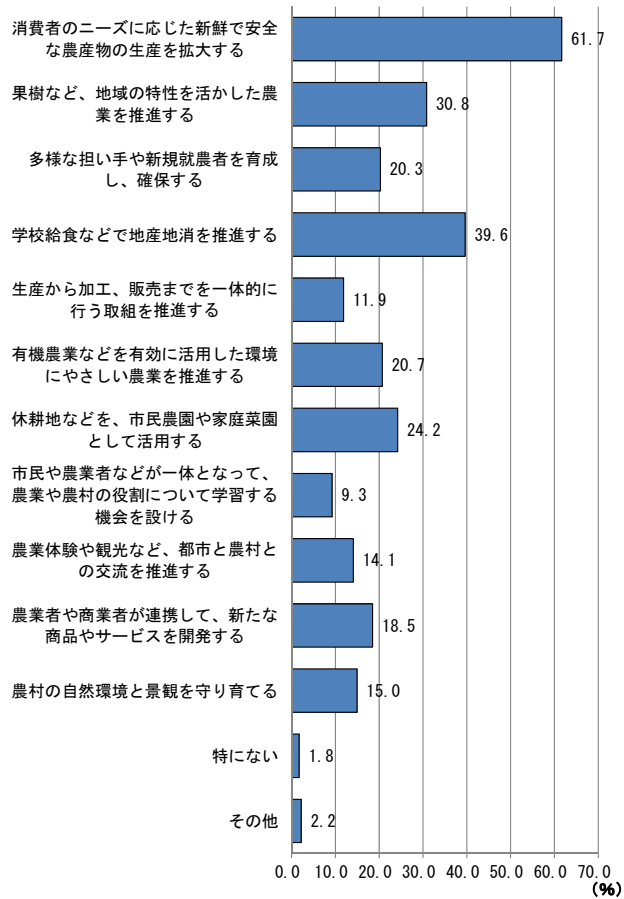


質問 7 あなたは、農産物直売所やスーパーマーケットの地元農産物販売コーナーなどをどのくらいの頻度で利用していますか。

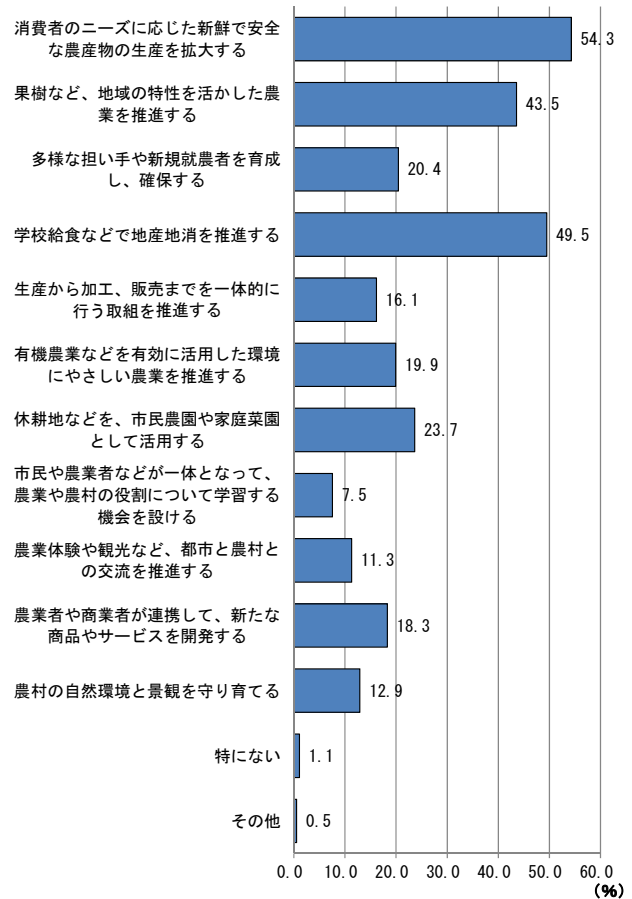
× 質問 13 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。



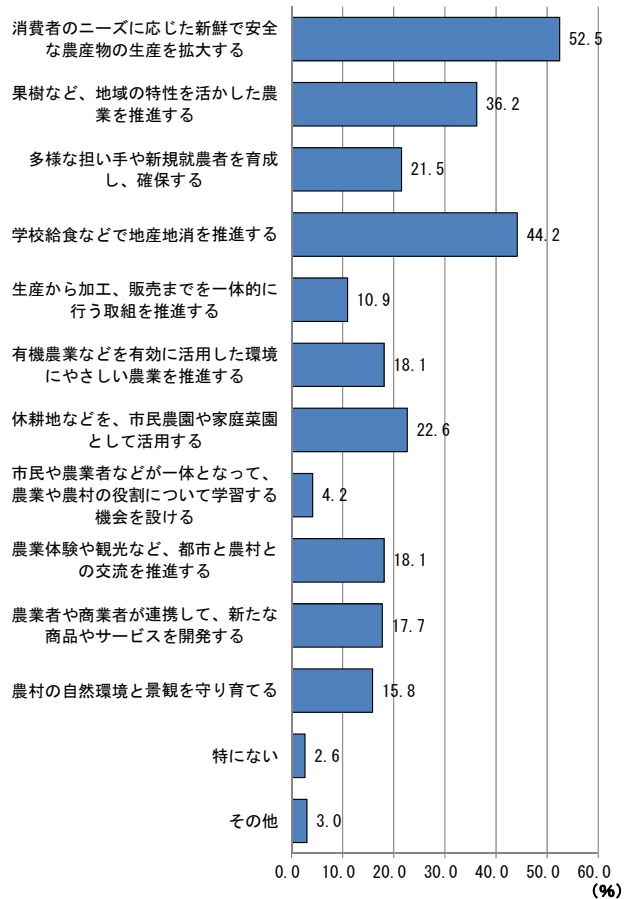
よく利用する（週に2回以上）（N=227）



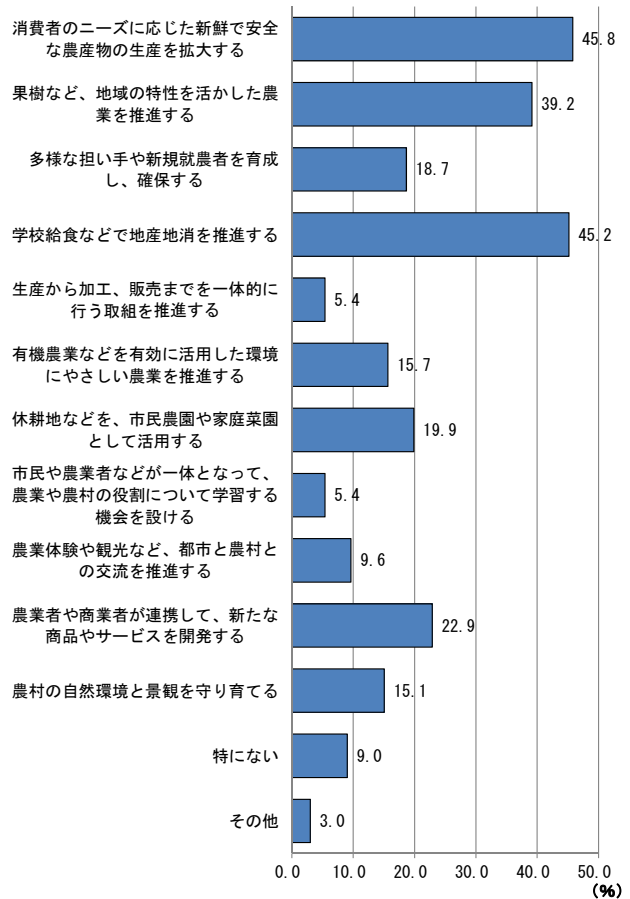
ときどき利用する（週に1回程度）（N=186）



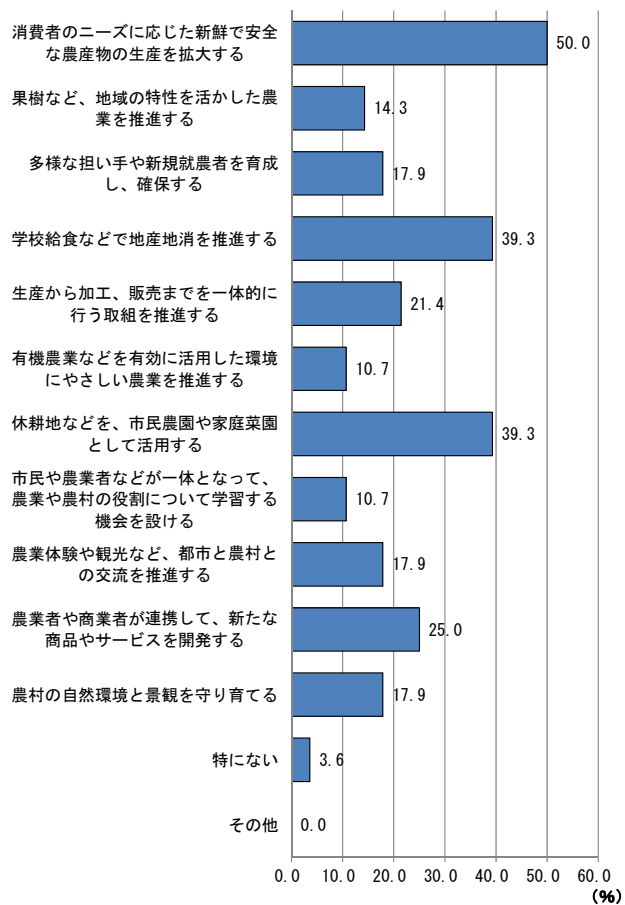
たまに利用する（月に数回）（N=265）



ほとんど利用しない（N=166）



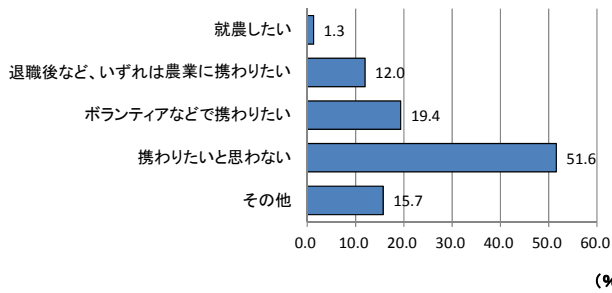
農産物直売所や販売コーナーが近所がない（N＝28）



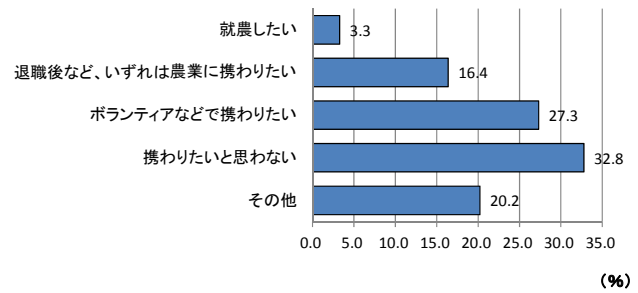
質問9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。

× 質問10 あなたは、農業に携わりたいと思いますか。

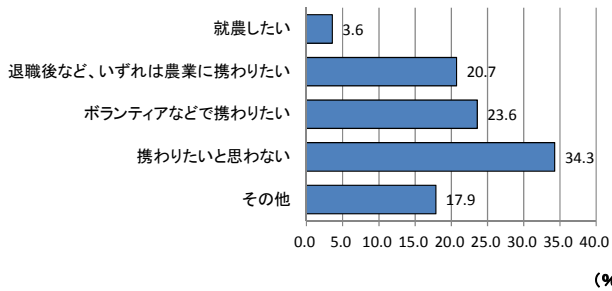
全体(N=909)



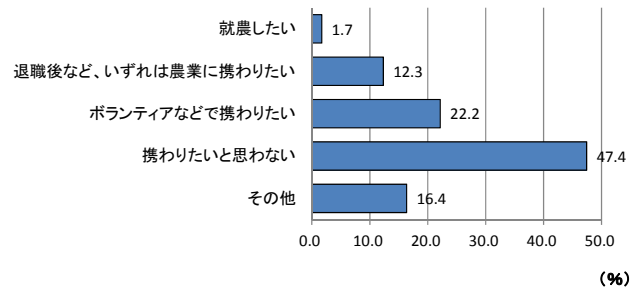
農作物を育て、販売するというやりがいがある(N=183)



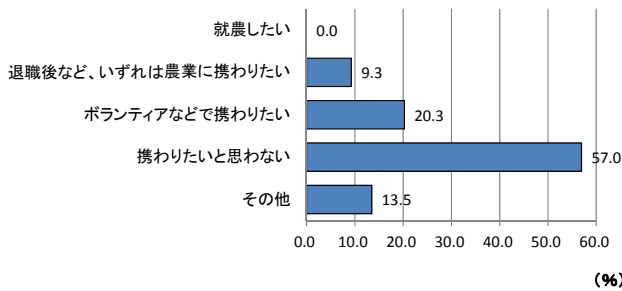
自然環境の中で仕事ができる(N=140)



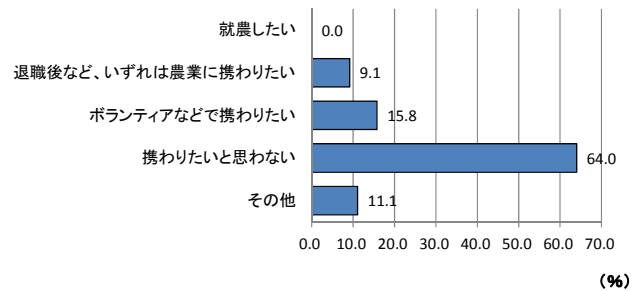
食料などを生産する重要な産業である(N=641)



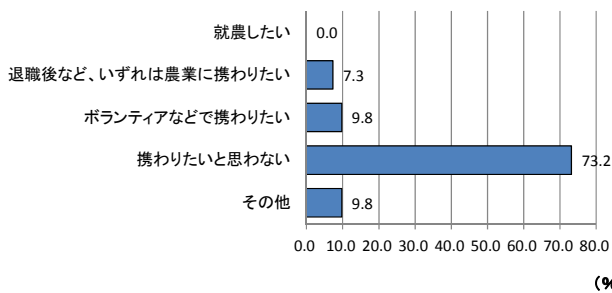
収入が不安定そうである(N=237)



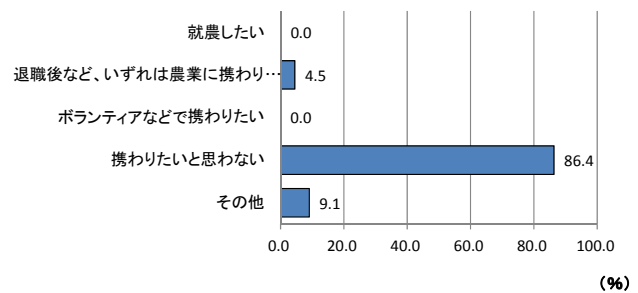
重労働そうである(N=361)



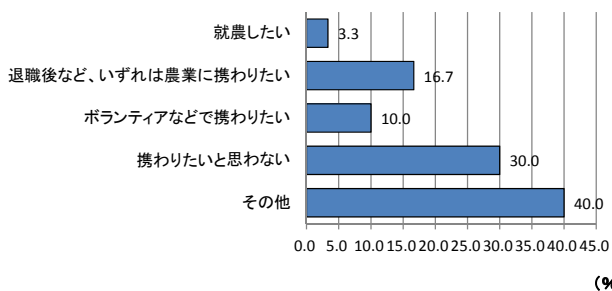
忙しいそうである(N=82)



特にない(N=22)

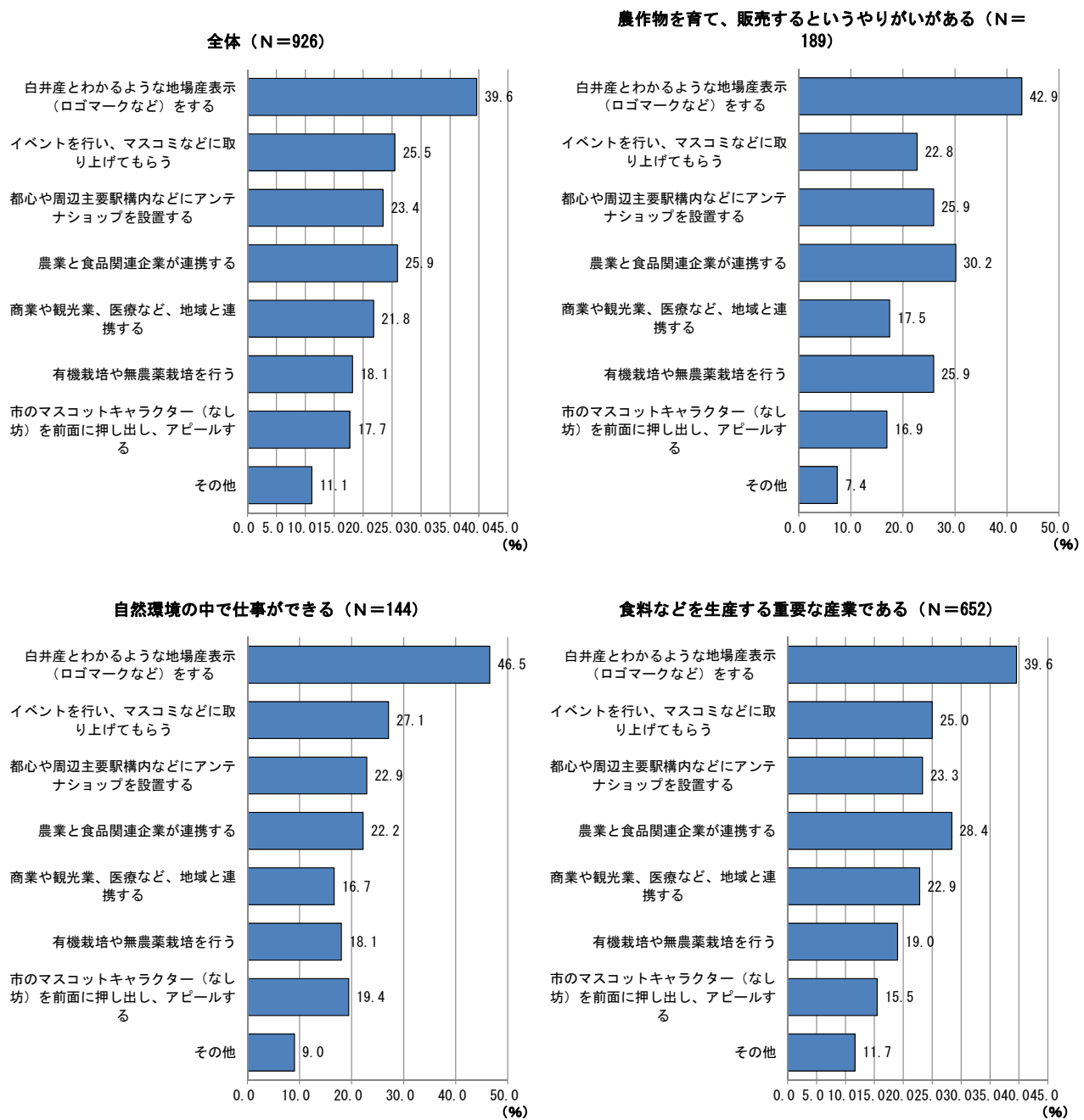


その他(N=30)

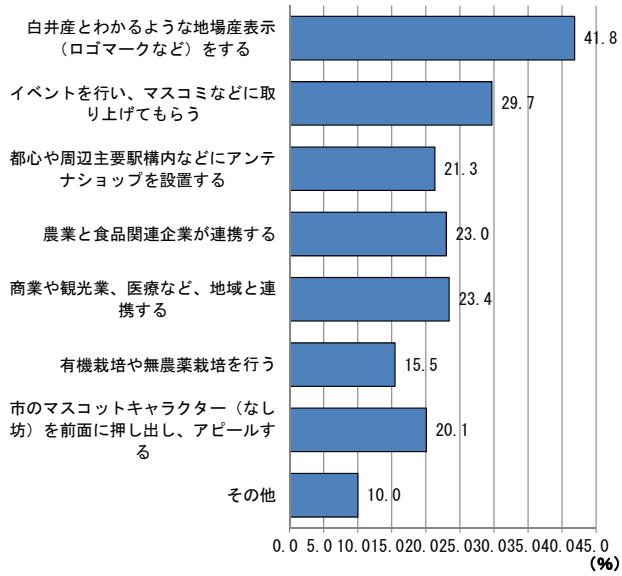


質問9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。

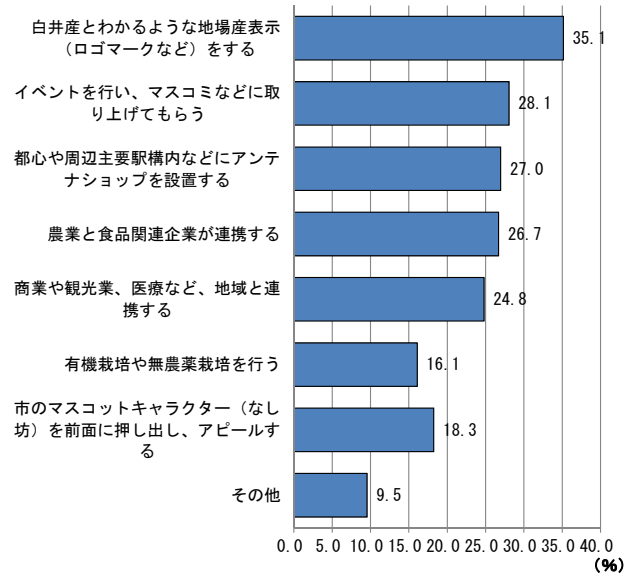
× 質問11 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。



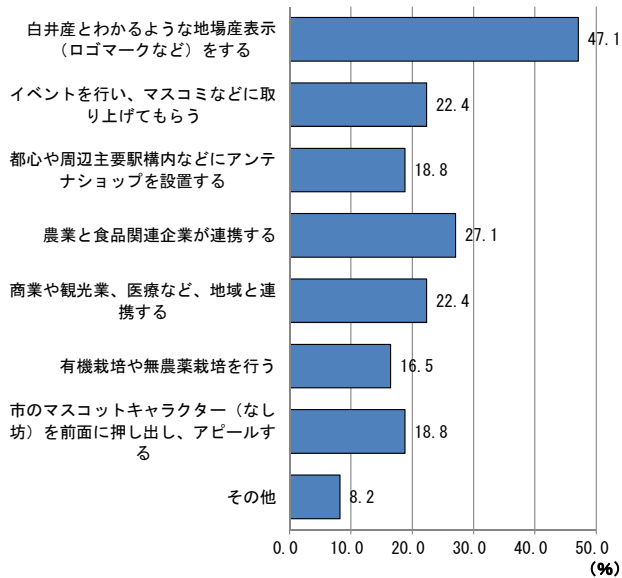
収入が不安定そうである (N=239)



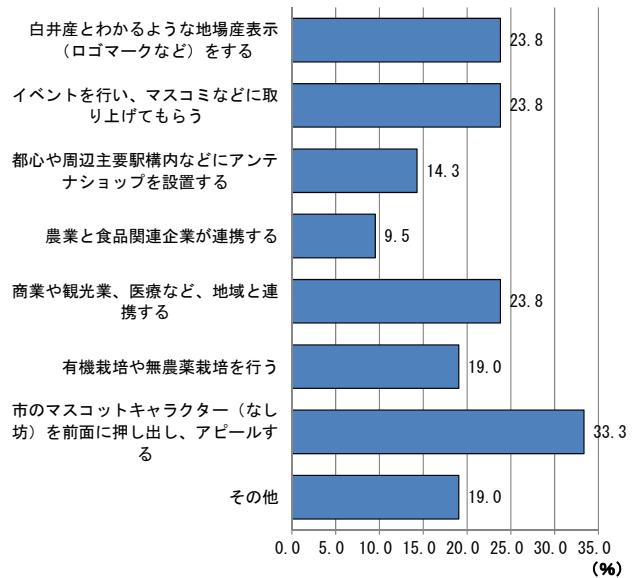
重労働そうである (N=367)



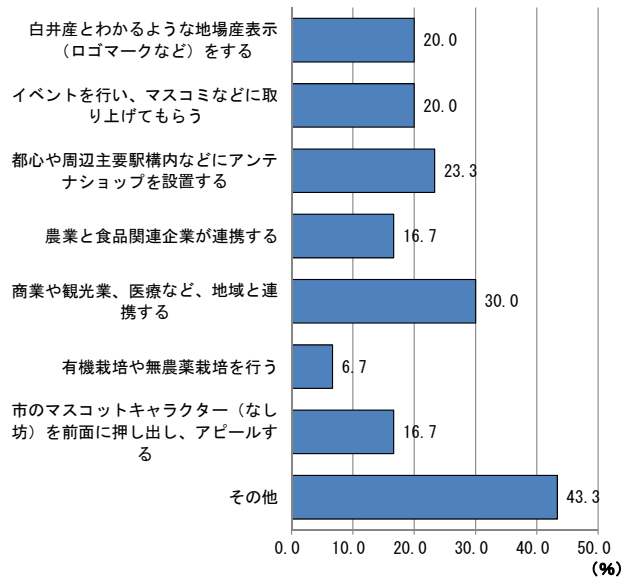
忙しそうである (N=85)



特にない (N=21)

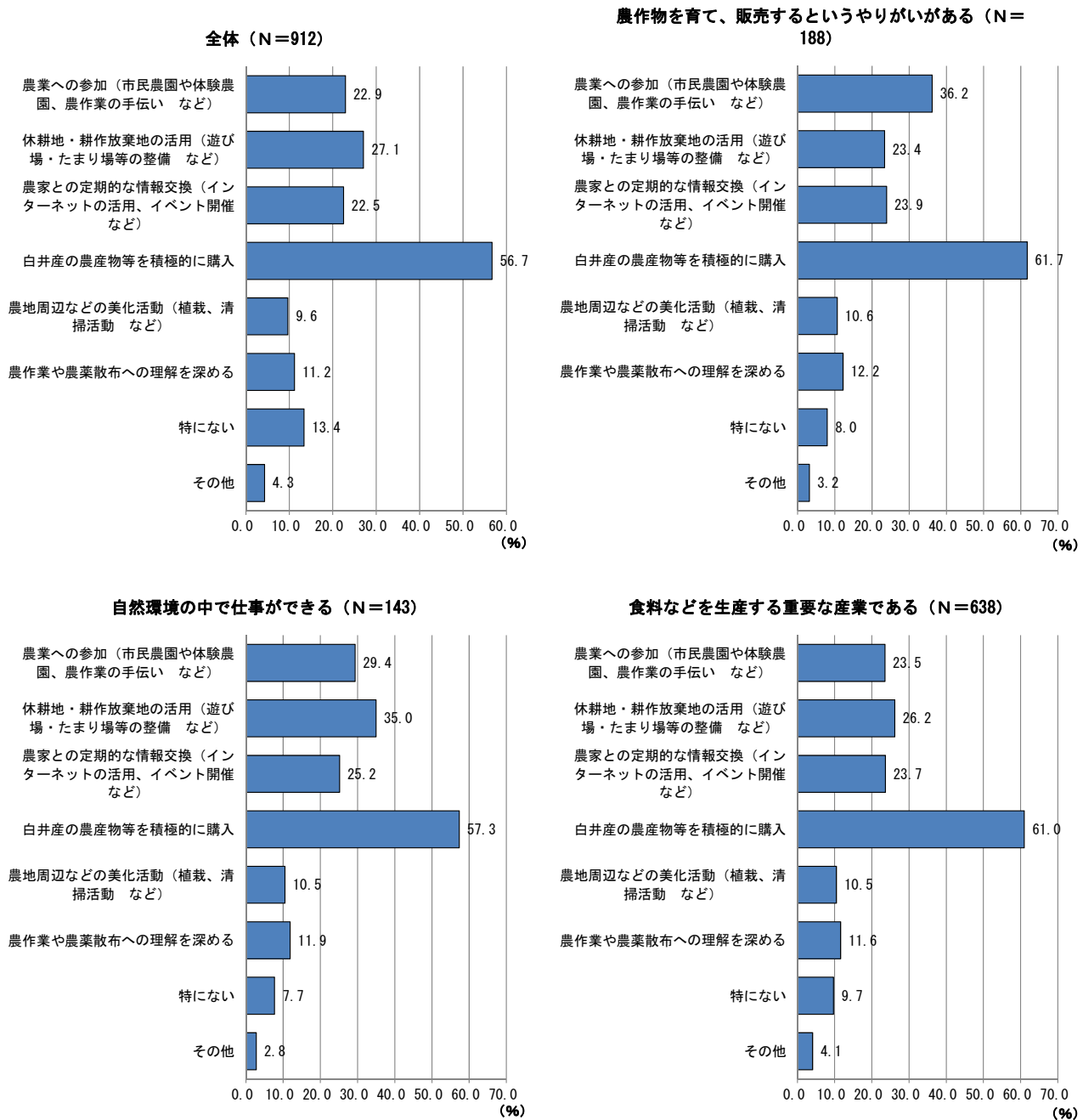


その他（N=30）

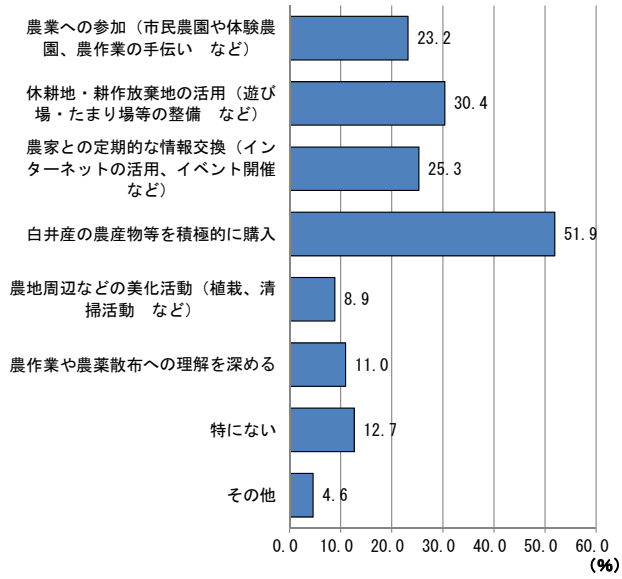


質問9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。

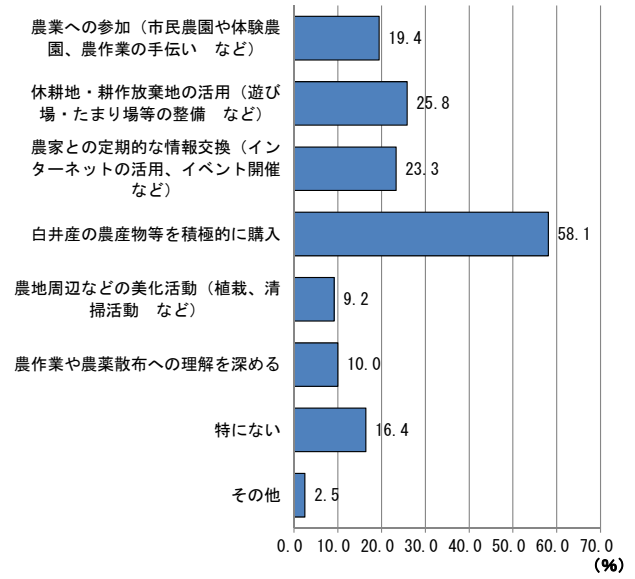
× 質問12 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。



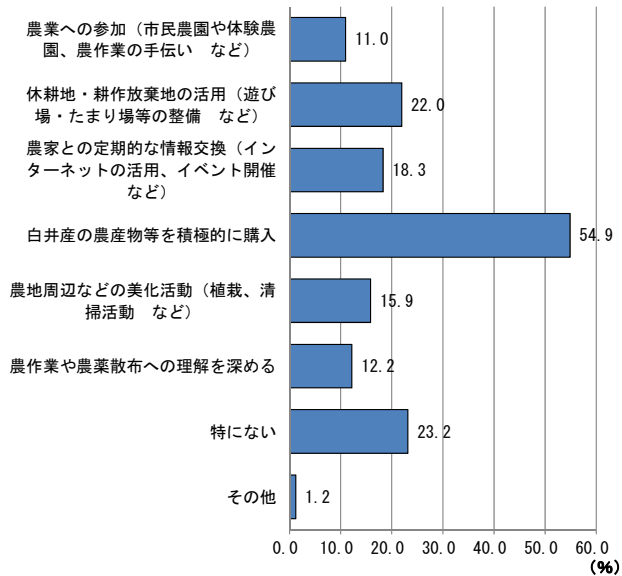
収入が不安定そうである (N=237)



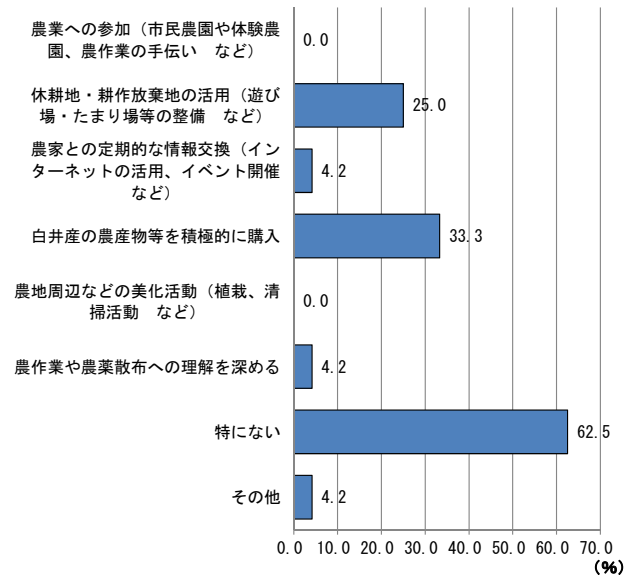
重労働そうである (N=360)



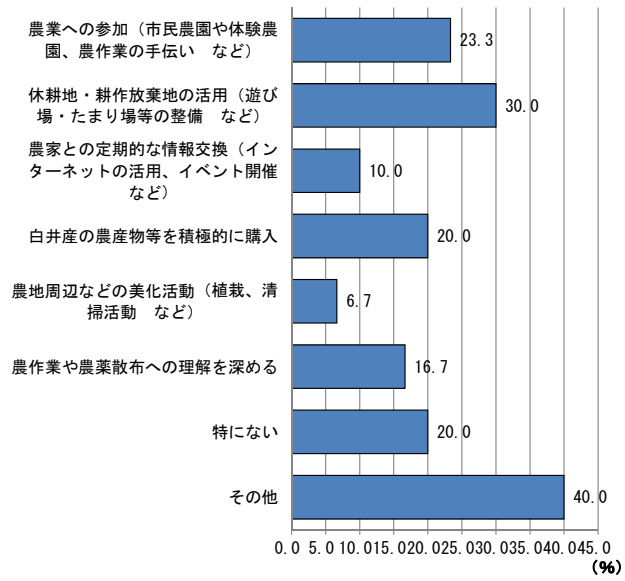
忙しそうである (N=82)



特にない (N=24)

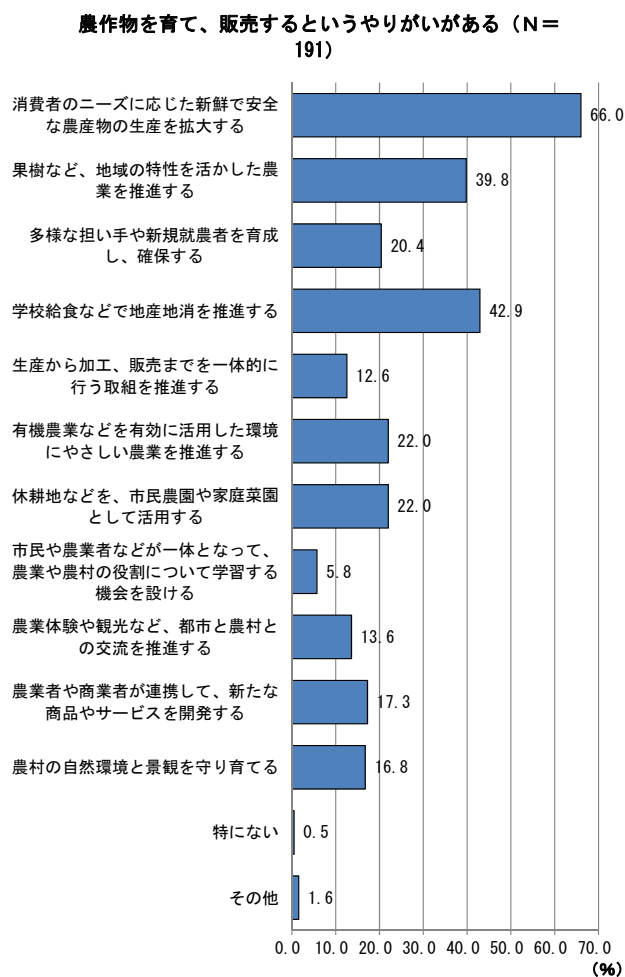
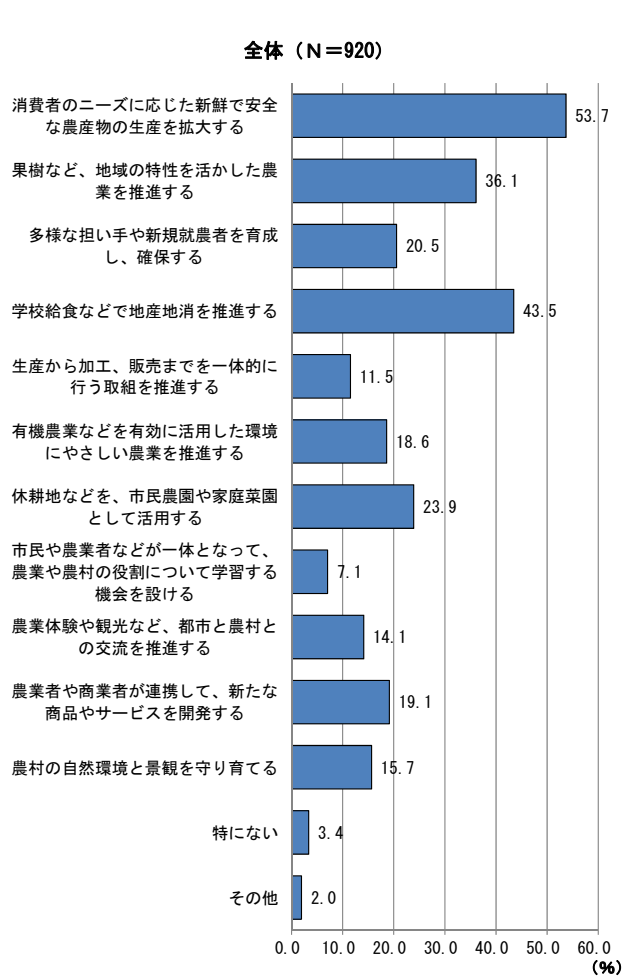


その他（N=30）

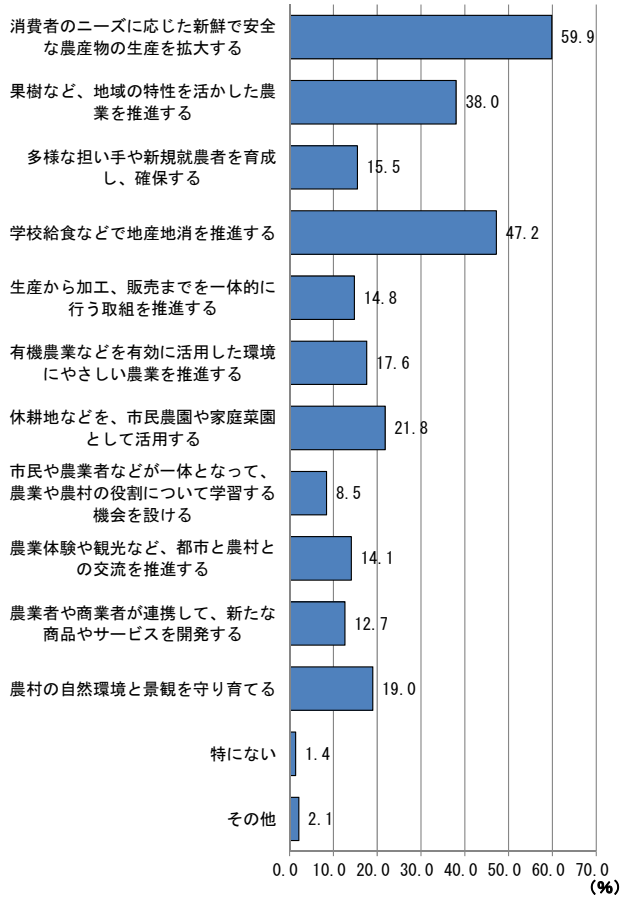


質問9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。

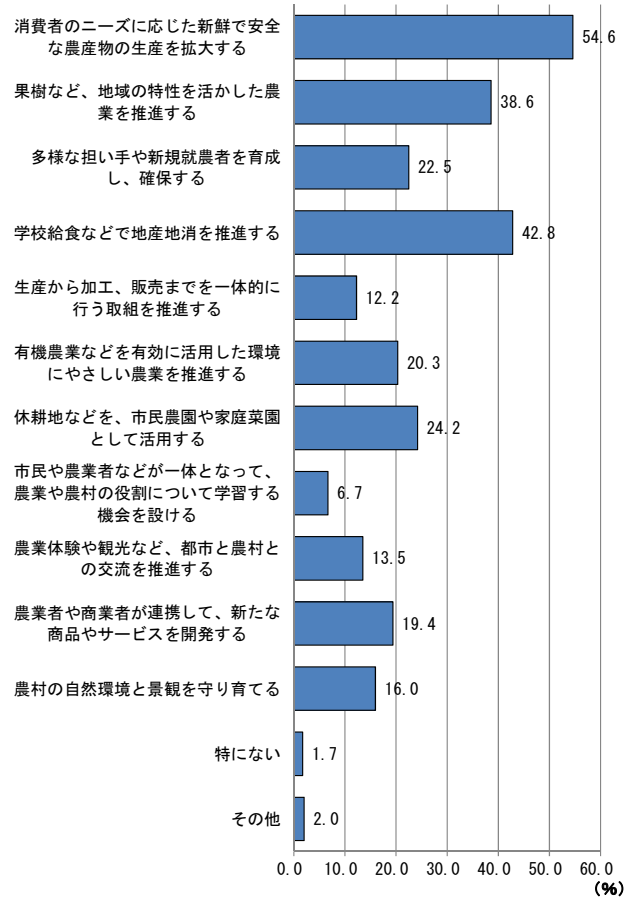
× 質問 13 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。



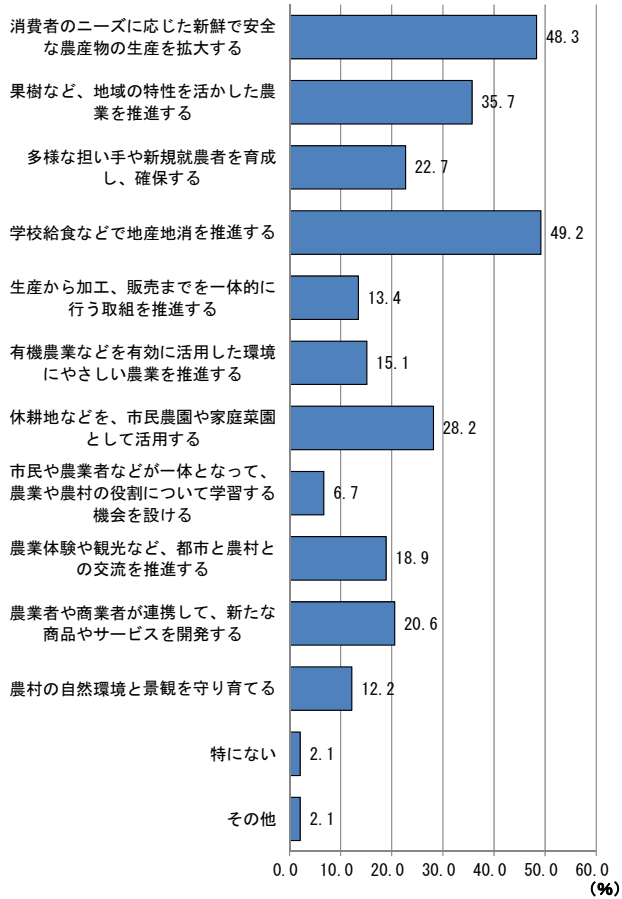
自然環境の中で仕事ができる（N=142）



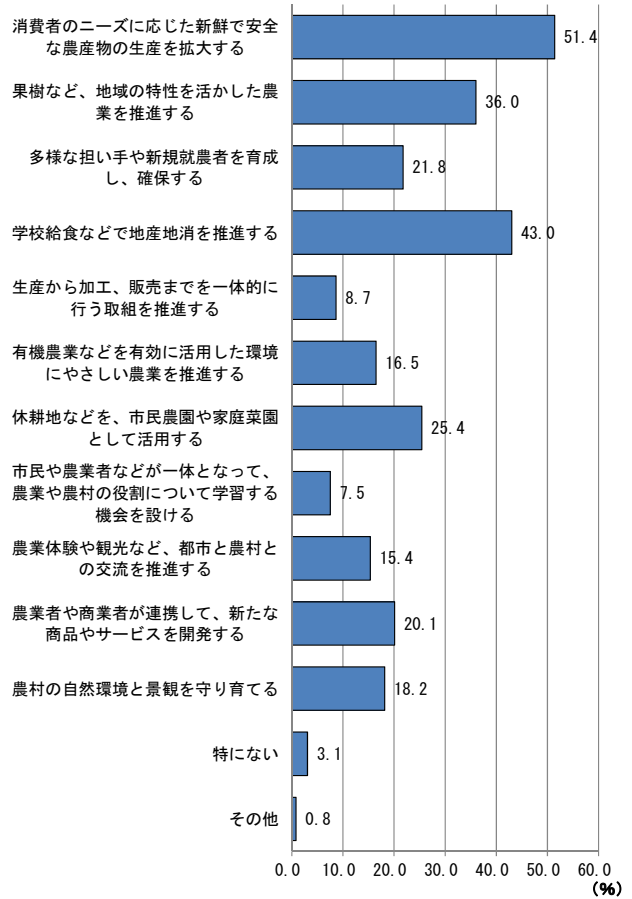
食料などを生産する重要な産業である（N=645）



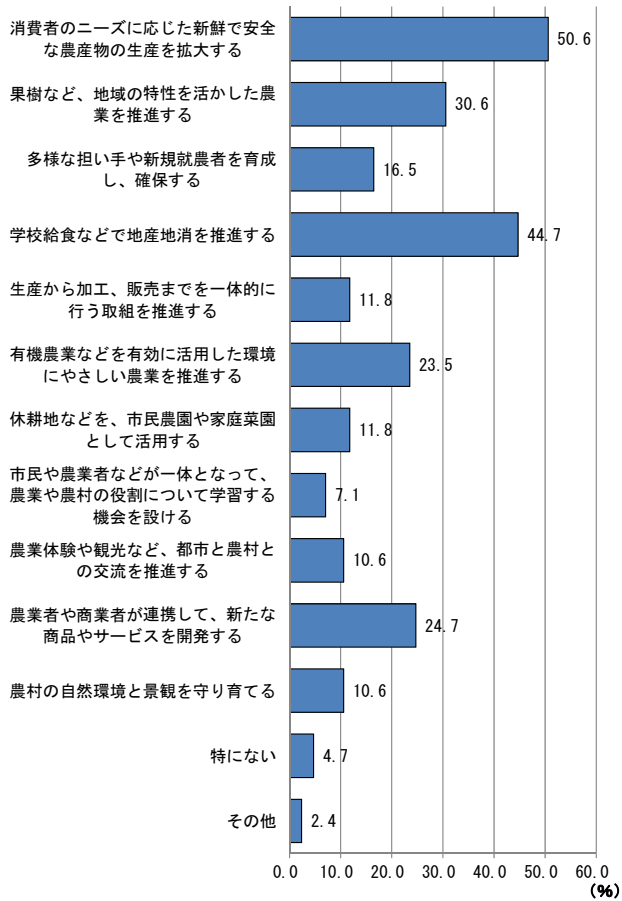
収入が不安定そうである (N=238)



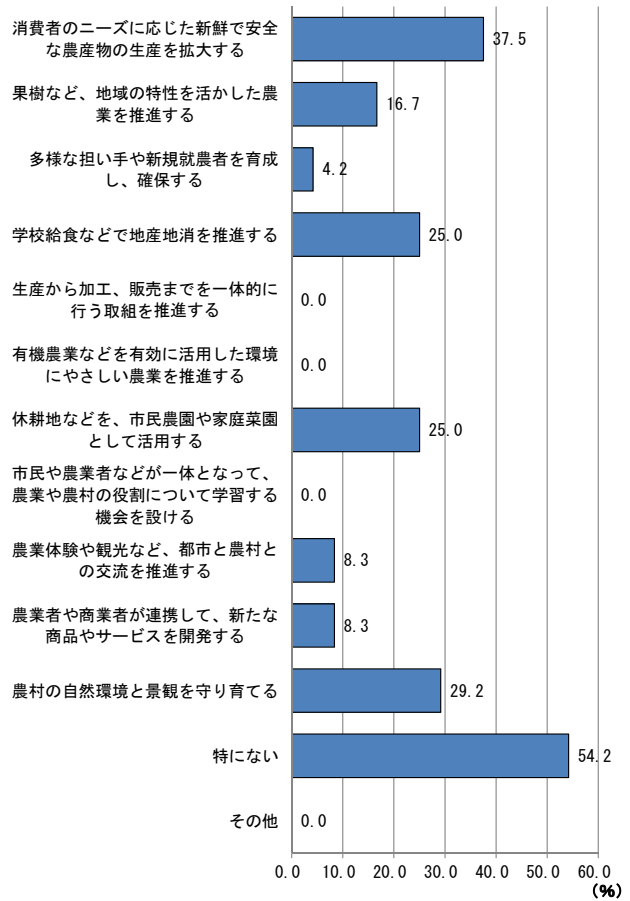
重労働そうである (N=358)



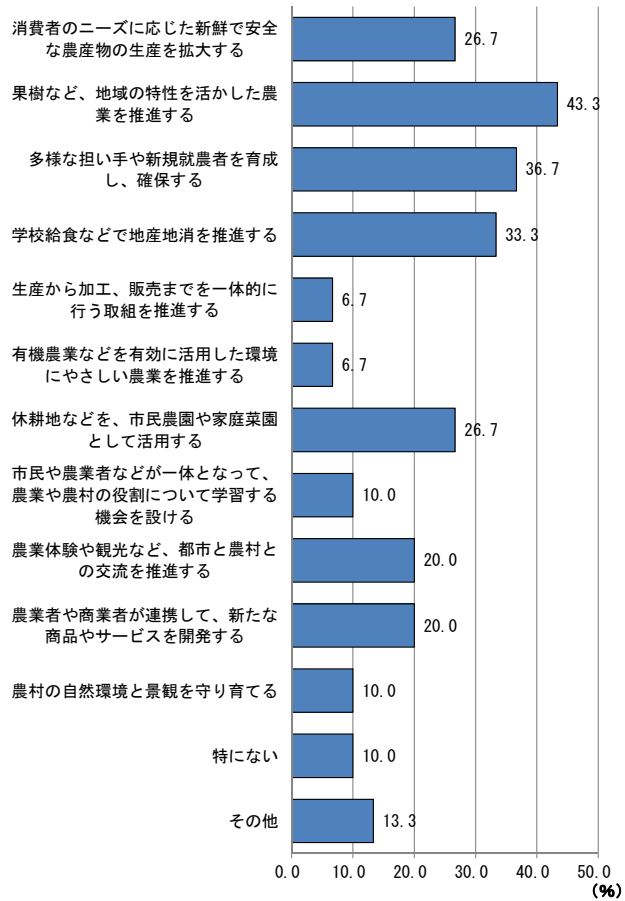
忙しいである (N=85)



特にない (N=24)



その他 (N=30)



3. 商業者アンケート調査

1) 調査の目的

白井市内の商業者に対し、事業所・店舗などの経営状況や経営課題、将来の方向性などを聞き、「白井市ひと・まち・しごと創生総合戦略」策定のための基礎資料を作成する。

2) 調査の方法

- (1) 調査地域・・・白井市全域
- (2) 調査対象・・・白井市内商業者
- (3) 抽出方法・・・商工会加盟店全店
- (4) 調査方法・・・郵送による配布、回収
- (5) 調査期間・・・平成 27 年 7 月 28 日～平成 27 年 8 月 12 日
- (6) 調査機関・・・昭和株式会社

3) 回収結果

配布数	有効回収数	有効回収率
600	232	38.7%

4) 調査結果概要

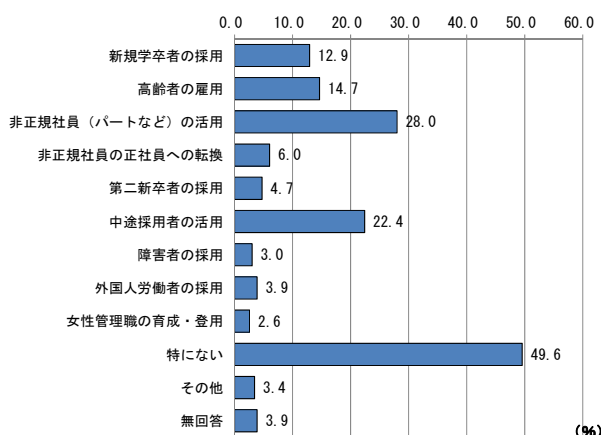
(1) 雇用について

「質問3 事業所・店舗の従業員数」は、7割強の事業者で10人以下となっており、比較的小規模な事業者が多くなっています。

「質問11 今後の経営方針」は、「現状維持」と回答した事業者が半数で最も多くなっています。

また、「質問13 人材の確保や活用に対する考え」は、「特にない」と回答した事業者が49.6%で最も多くなっていますが、「非正規雇用の活用」や「中途採用者の活用」と回答した事業者も2割を超え、多くなっています。

今後、定住人口の確保のためには、雇用の場を確保する必要があることから、経営の安定化や雇用の場の維持・拡大を支援するとともに、事業者と市民とのマッチングの機会をつくるなど、市民の雇用につなげる取組を進めていく必要があります。



質問13 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。

(2) 今後の取り組みについて

「質問10 現在、経営上最も問題になっていること」は、「景気低迷」、「客数や売上の減少・伸び悩み」、「経費の増加」と回答した事業者が多くなっています。

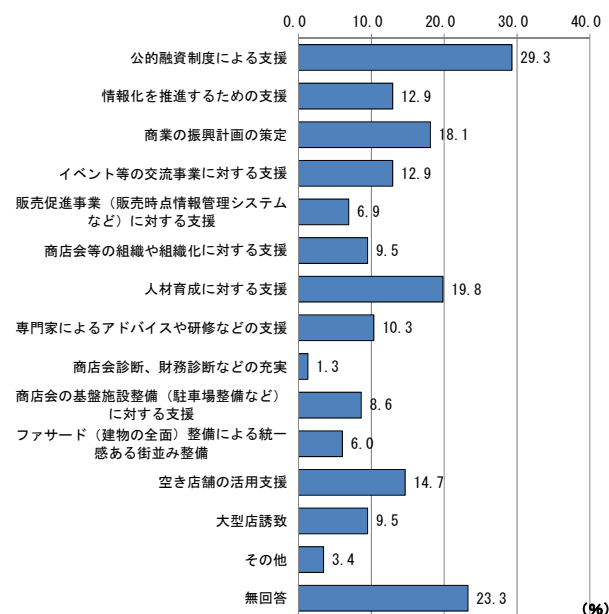
また、「質問9 将来の見通し」は、「暗い」と回答した事業者が4割強に上っています。

こうした中においても、「質問11 今後の経営方針」は、「現状維持」と回答した事業者が半数で最も多い一方で、「特にない」や「わからない」といった回答も目立ちます。

「質問14 白井市の商業施策に期待すること」は、「公的融資制度による支援」、「人材育成に対する支援」、「商業の振興計画の策定」と回答した事業者が多くなっています。

売上や利益の減少と相まって、融資制度への要望が高くなっていると考えられるため、事業の継続や経営の安定化に向けた各種融資制度等の周知を進めていく必要があります。

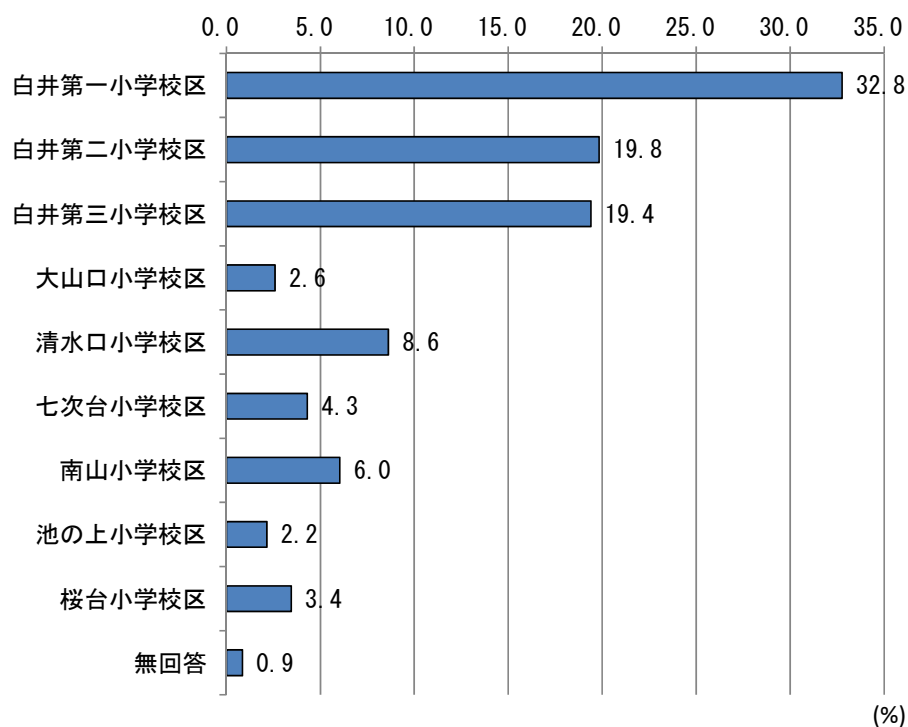
また、商工会等と連携・協力しながら、売上や利益の増加に向けた魅力ある個店や商店街づくりを支援するとともに、地域商業全体の活性化に向けた方策を検討する必要があります。



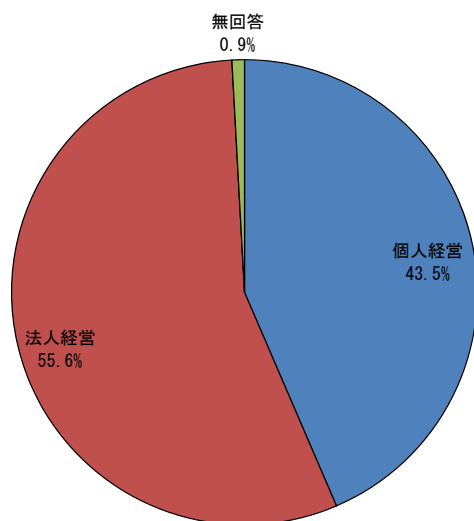
質問14 白井市の商業施策に期待することは何ですか。

5) 単純集計結果

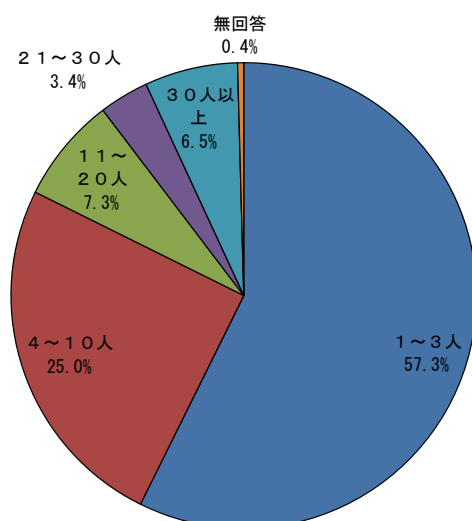
質問1 事業所・店舗は、どちらの地区にありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。(わからない場合は、事業所・店舗から一番近い小学校に○をつけてください)



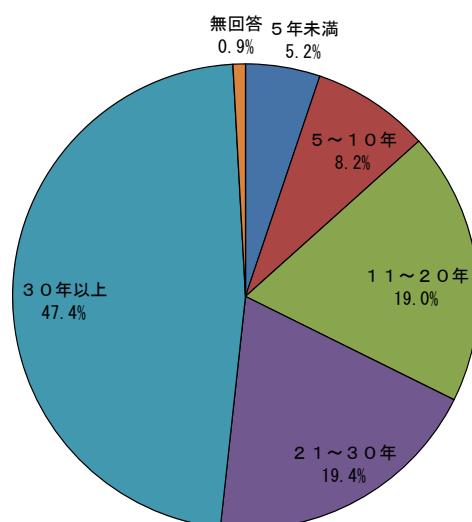
質問2 事業所・店舗の営業形態について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



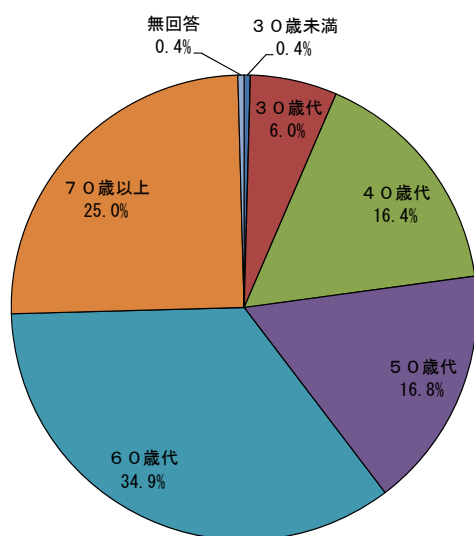
質問3 事業所・店舗の従業員数について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



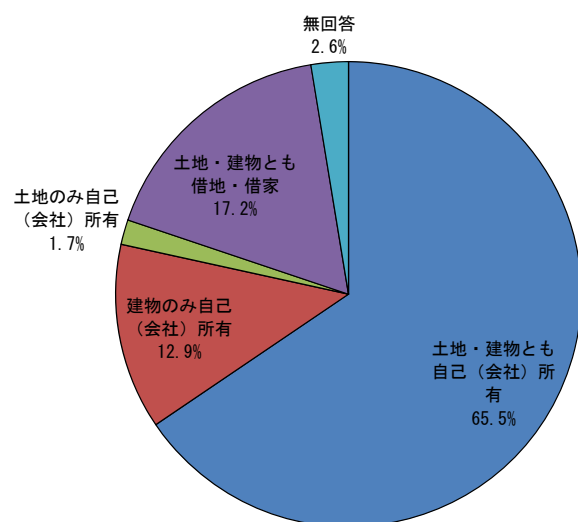
質問4 事業所・店舗の営業年数について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



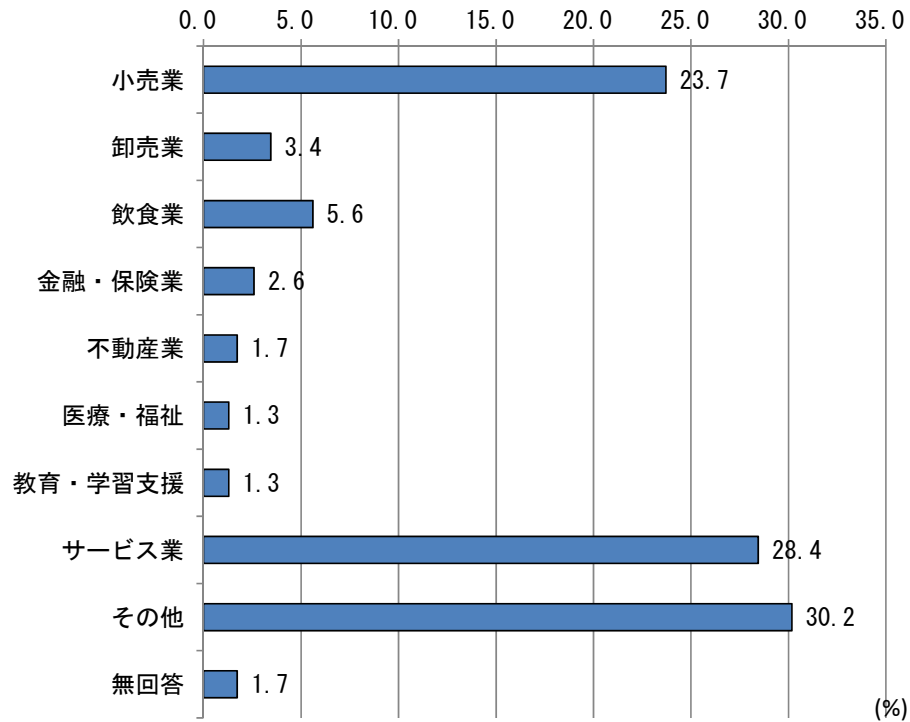
質問5 経営者（代表者）の方の年齢について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



質問6 事業所・店舗の土地建物の所有関係について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



質問7 主な業種について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



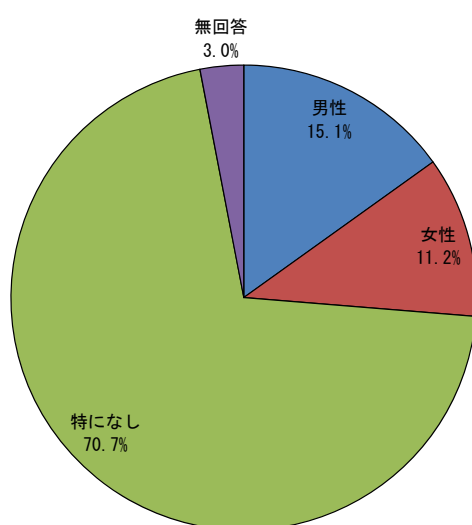
■「その他」の回答

各種住居の原状回復及びリフォーム他	工事用機材の貸袋
製作販売	ゴルフ場管理
特許の機械装置の製造を目指す。試作する。	サバイバルゲーム場
印刷業	産業廃棄物処理業
運送業	産業廃棄物処理業
運送業	自営(農業)
運送業	自動車修理
運輸	製造
外構工事業	製袋業(縫製)、PP 袋、布袋、麻袋
建材業	税理士事務所
建設(塗装)	造園業
建設機械リース、出張作業	造園業
建設業	造園業
建設業	造園業
建設業	造園工事業
建設業	中国料理専門店
建設業	鉄筋工事業
建設業	電気工事業
建設業	電気工事業
建設業	塗装業
建設業	鳶
建設業(管工事業)	土木業
建設塗装・看板	土木工事、解体工事業
建築	土木電気水道工事
建築	農業生産法人

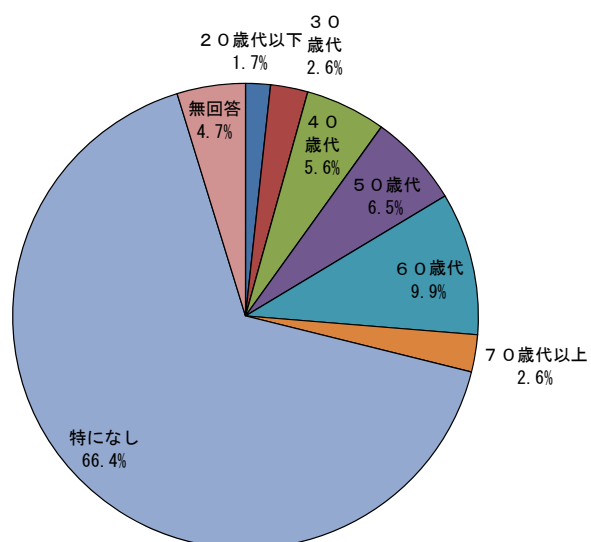
建築関係内装業	花苗の生産、販売、市場販売
建築業	美容室
建築業	ヨウ漁業
建築業	ガス配管
建築業	型枠大工工事業
建築業	看板製作業
建築業	機械の製造
建築業	杭打業(弋、土工)
建築業・木箱梱包	グラビア印刷
建築塗装業	理容業
建築板金	一般貸切バス旅客運送業

質問 8 主な客層について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

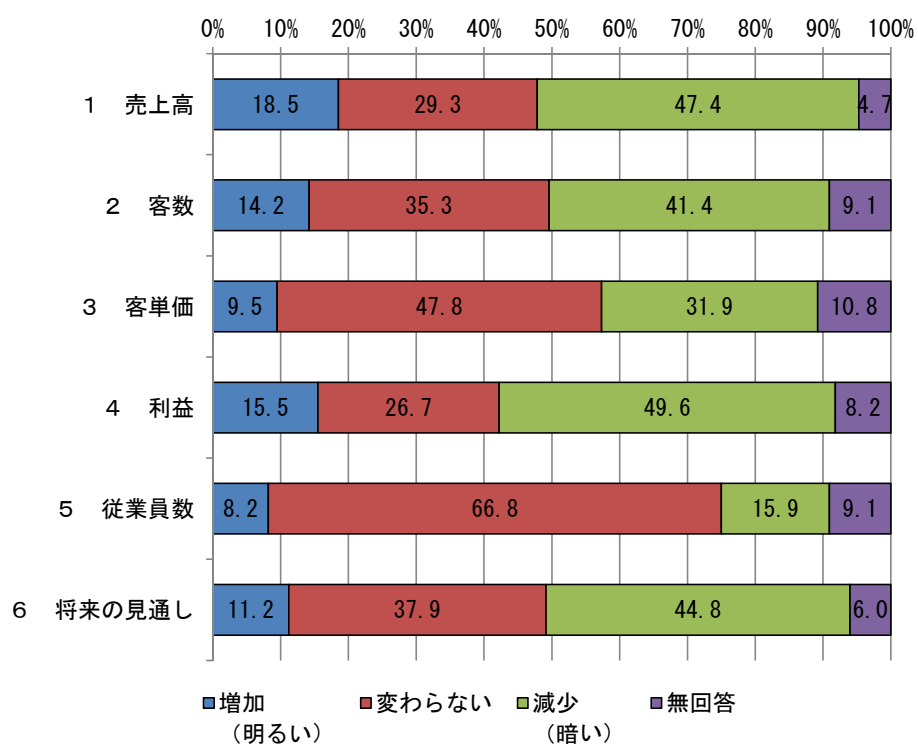
◆客層の性別



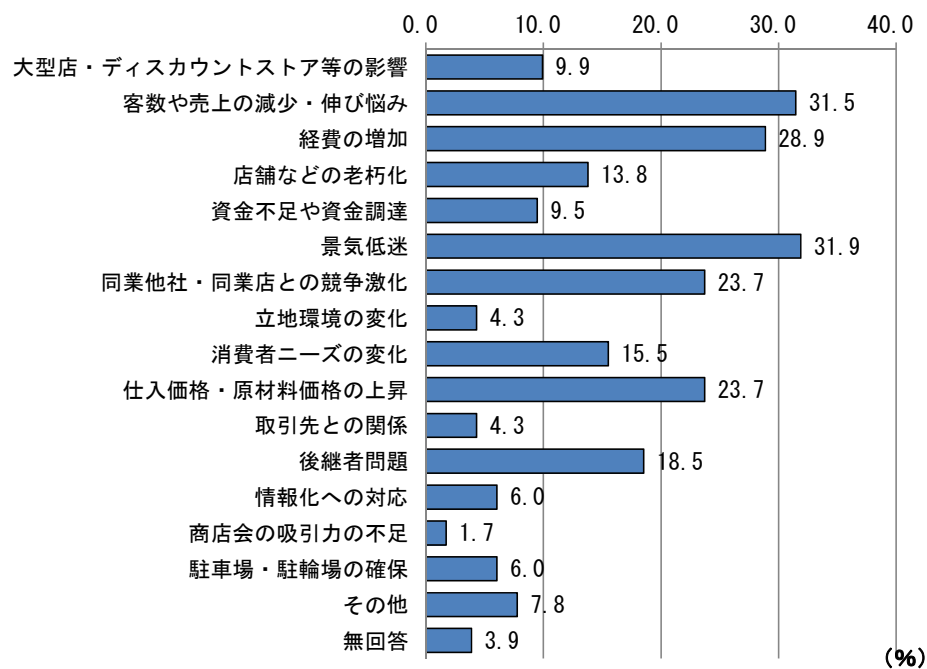
◆客層の年齢



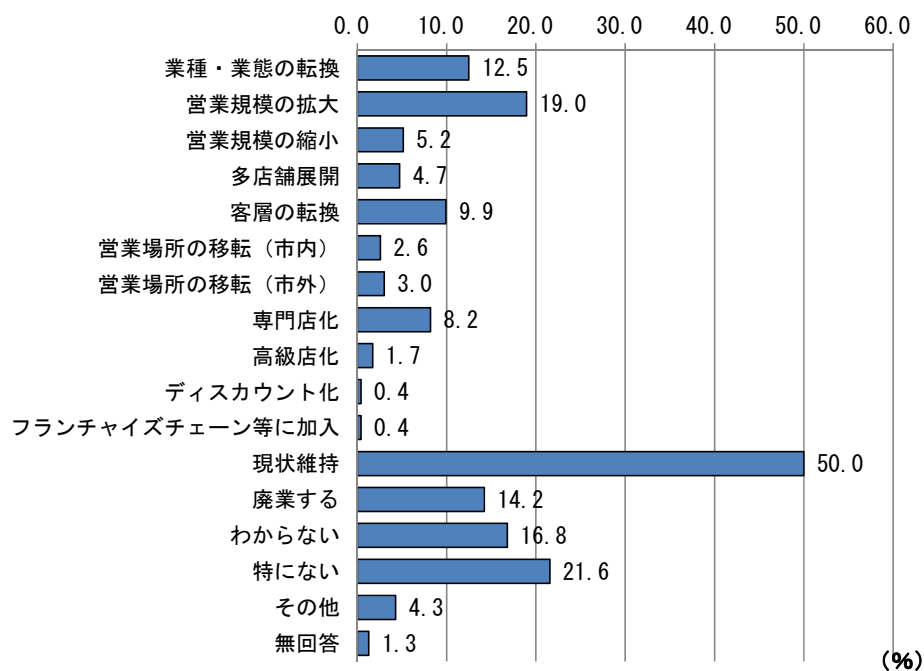
質問9 昨年と比較した経営状況について、それぞれの項目で1つ選んで番号に○をつけてください。また、「6」については、将来の見通しについてお答えください。



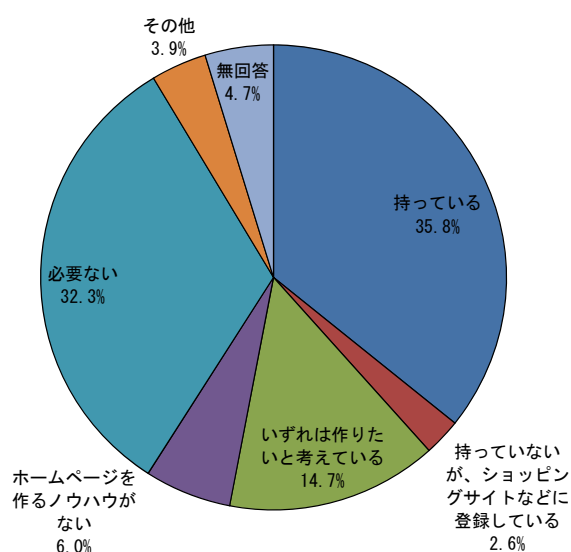
質問１０ 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



質問１１ 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

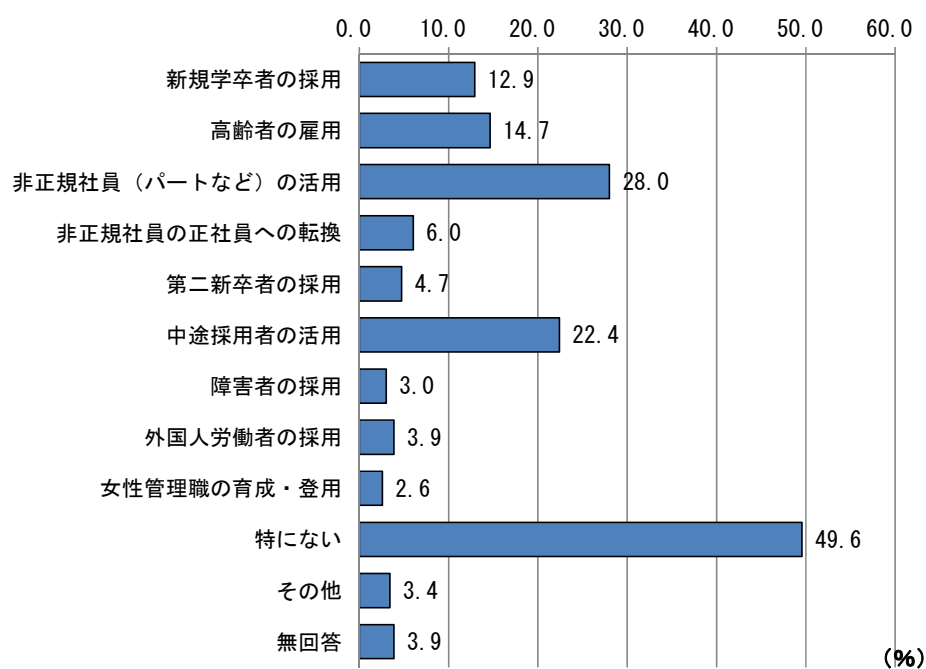


質問１２ 事業所・店舗のホームページをお持ちですか。次の中から１つ選んで番号に○をつけてください。

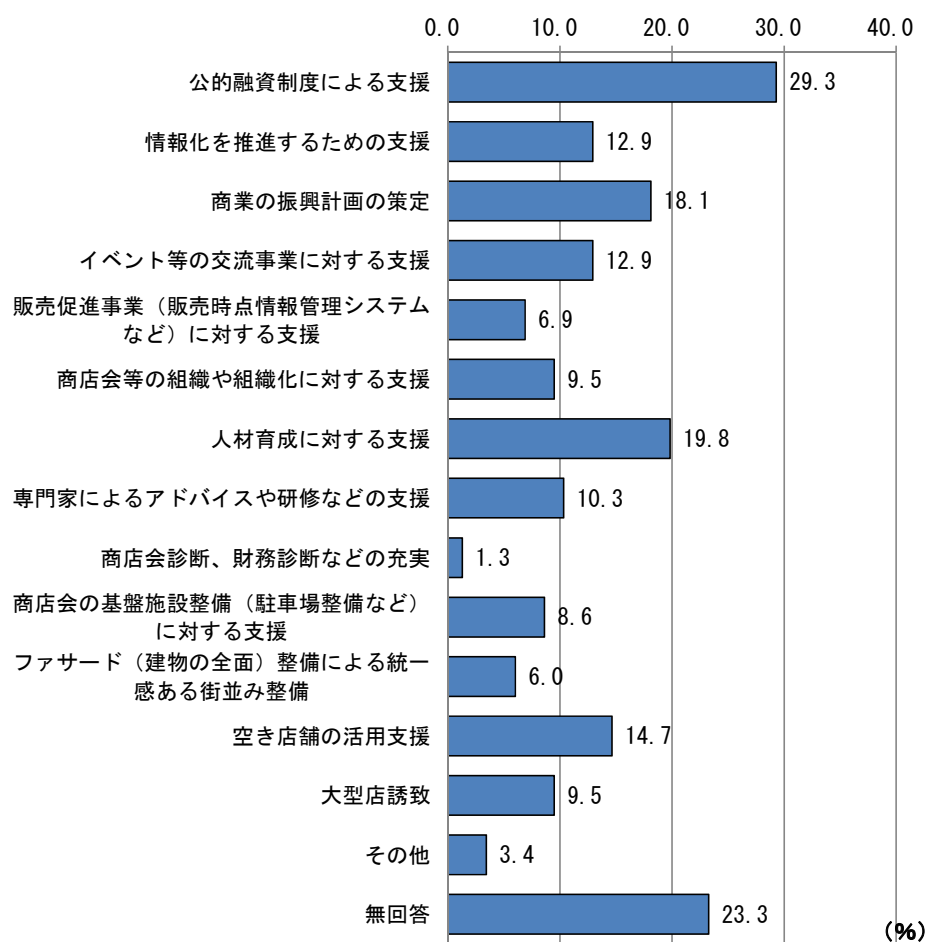


質問１３ 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。

※第二新卒者…学校等を卒業して一旦就職したが、短期間（主に１年未満～３年）のうちに転職を志す者



質問 1 4 白井市の商業施策に期待することは何ですか。次の中から 3 つまで 選んで番号に○をつけてください。

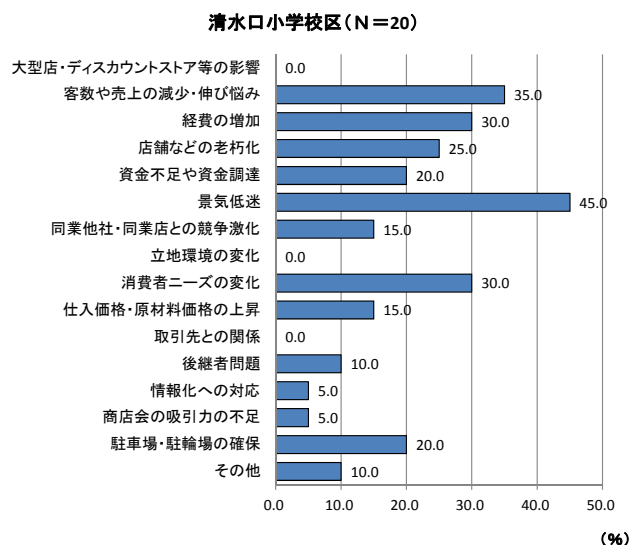
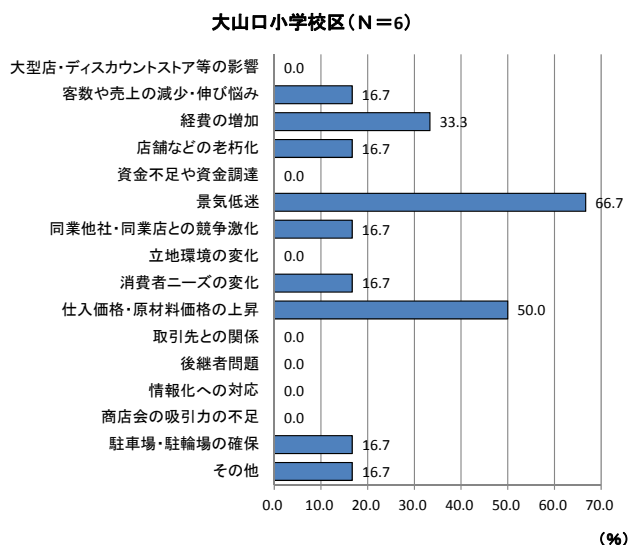
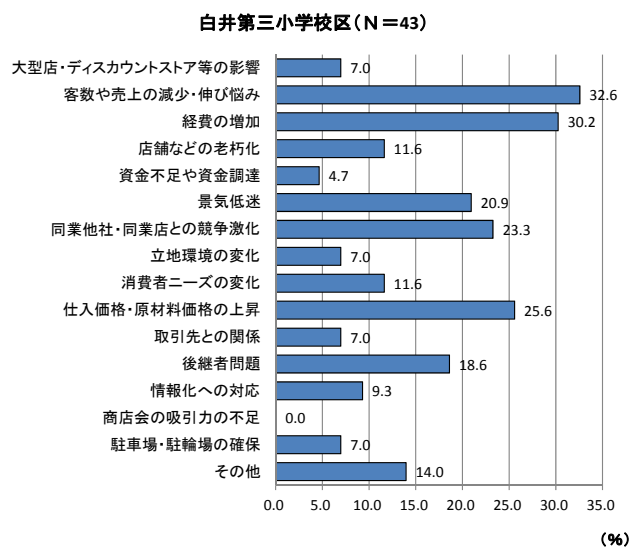
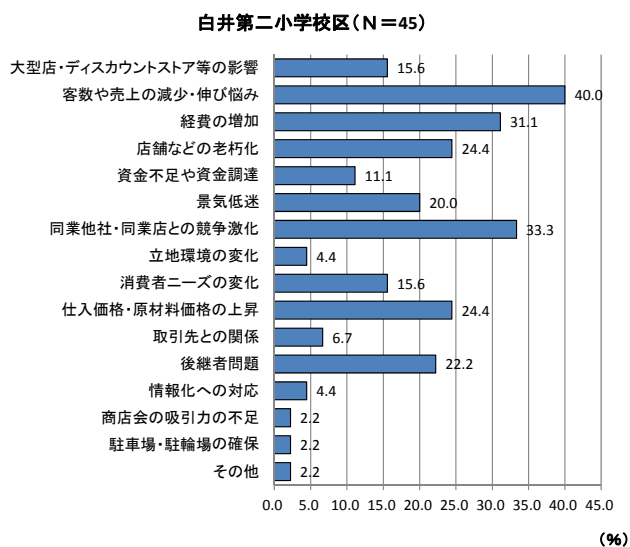
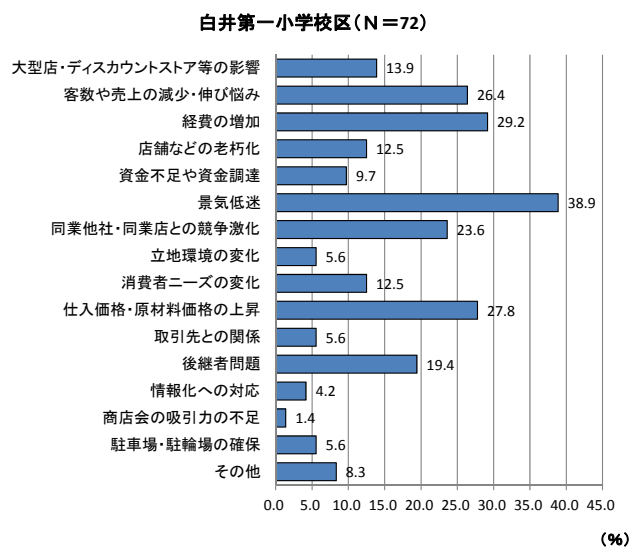
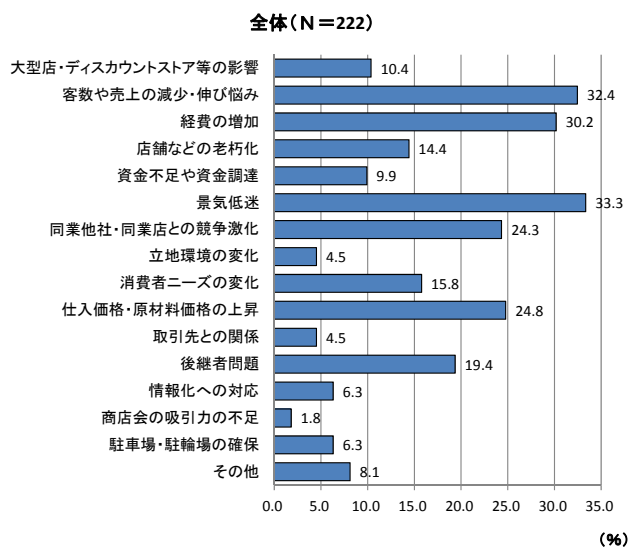


質問 1 5 今後白井市の商業はどうあるべきだとお考えですか。ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

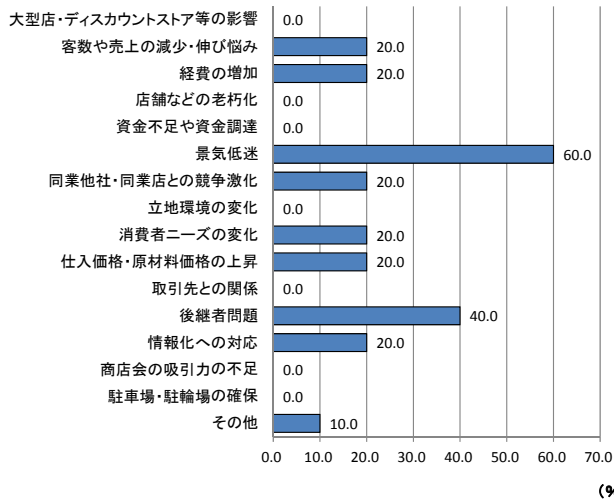
6) クロス集計結果

質問1 事業所・店舗は、どちらの地区にありますか。

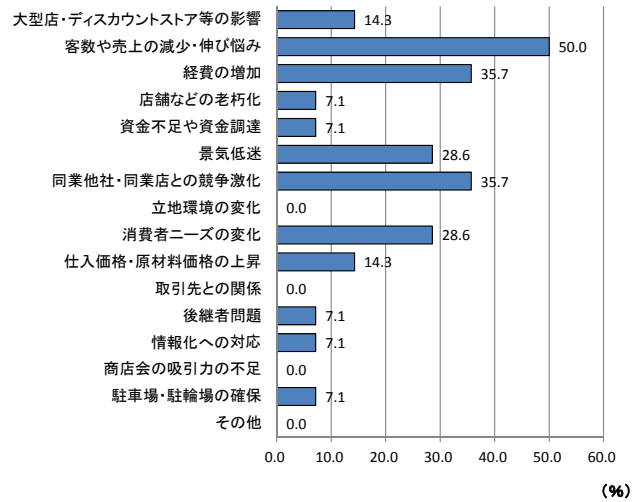
× 質問10 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。



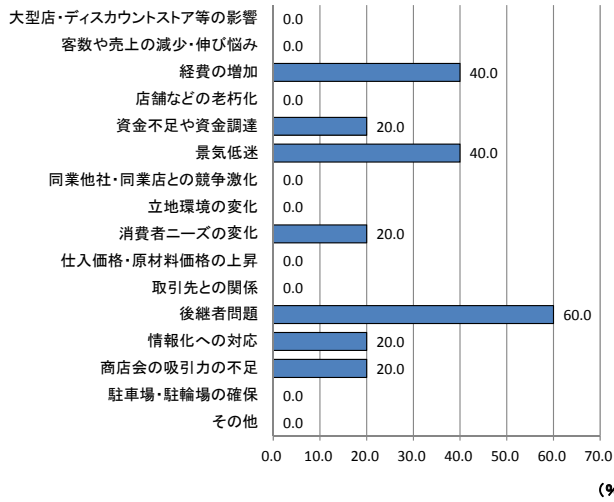
七次台小学校区 (N=10)



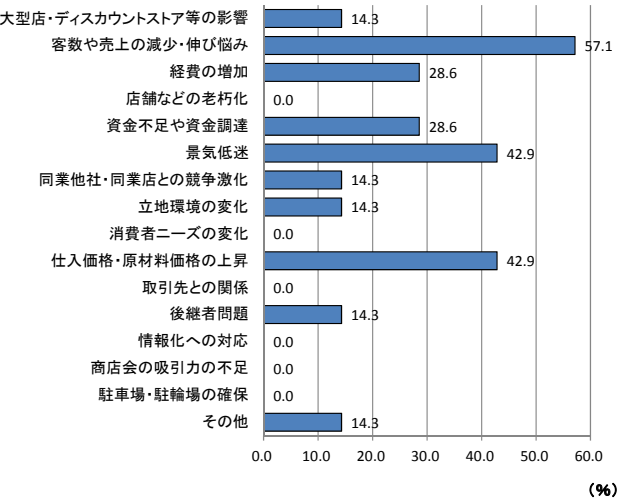
南山小学校区 (N=14)



池の上小学校区 (N=5)

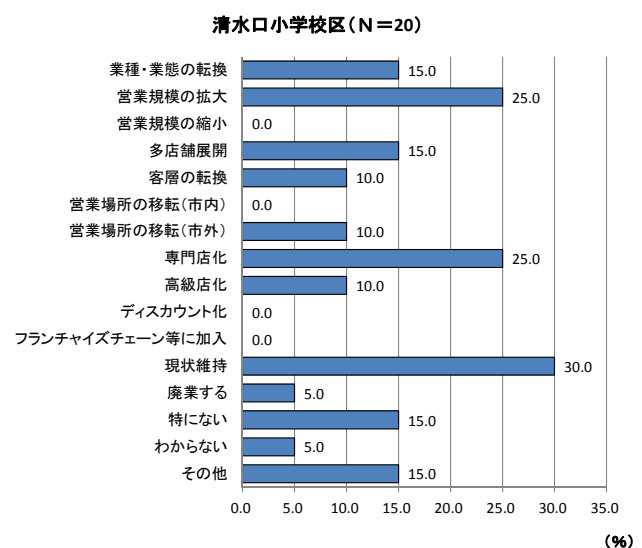
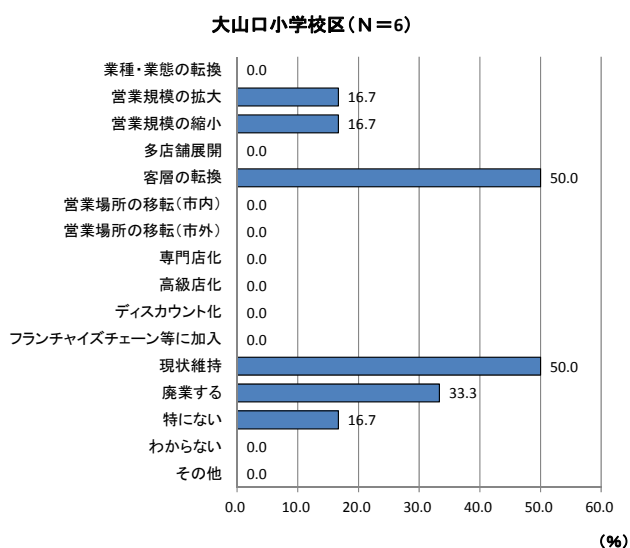
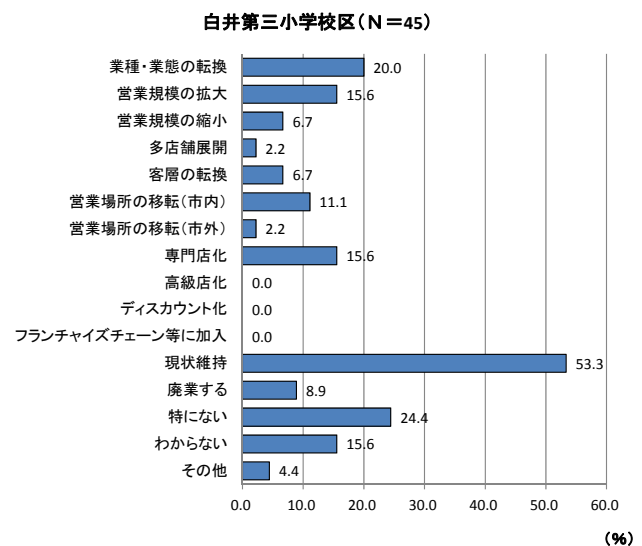
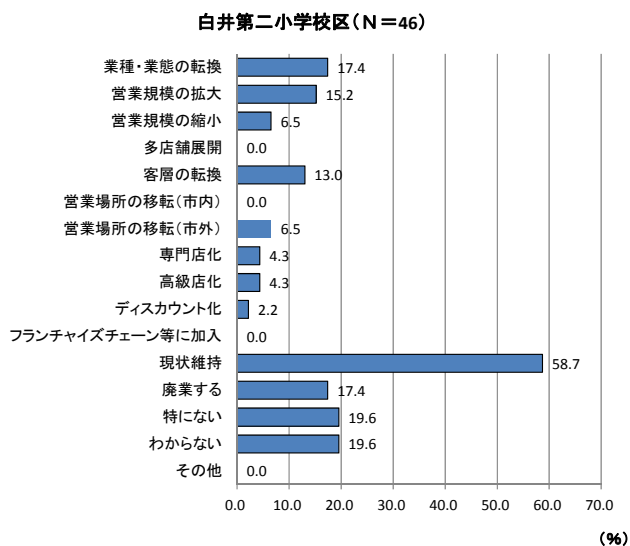
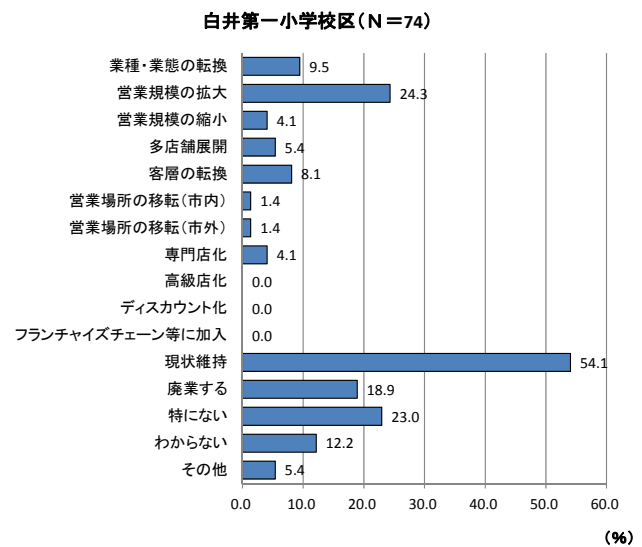
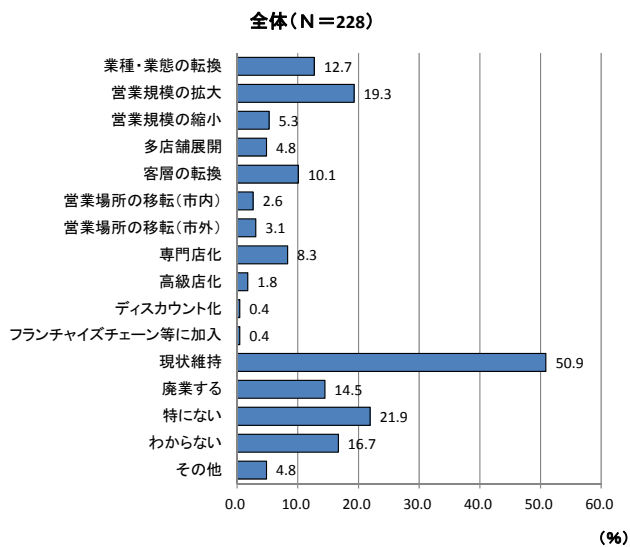


桜台小学校区 (N=7)

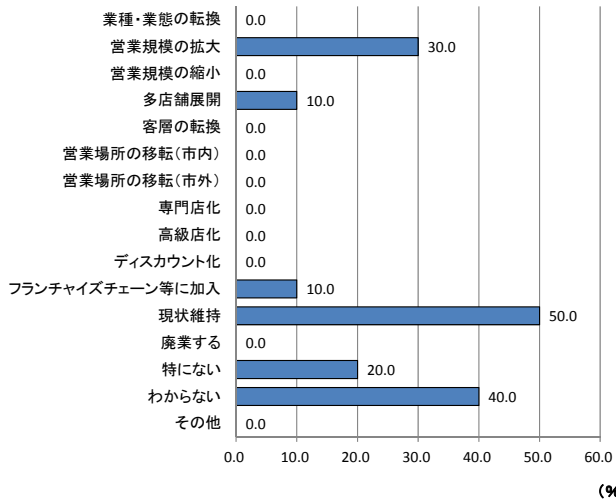


質問 1 事業所・店舗は、どちらの地区にありますか。

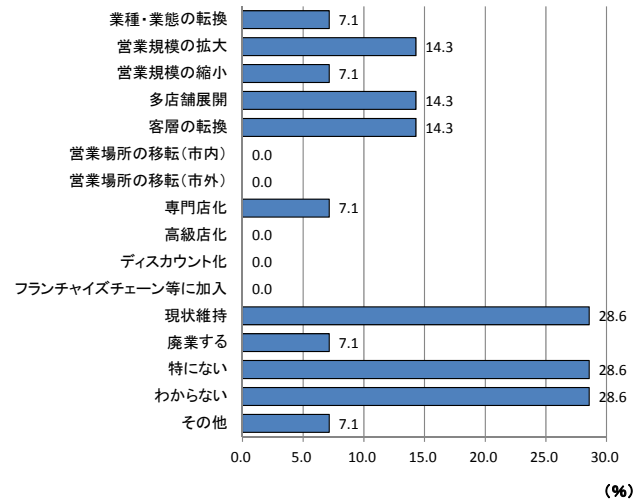
× 質問 1 1 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。



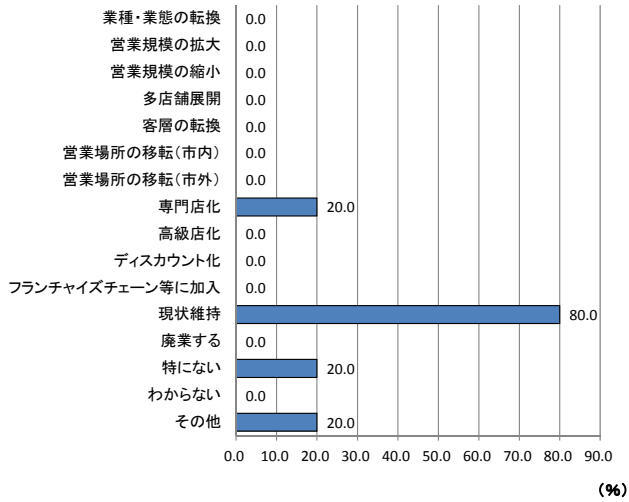
七次台小学校区 (N=10)



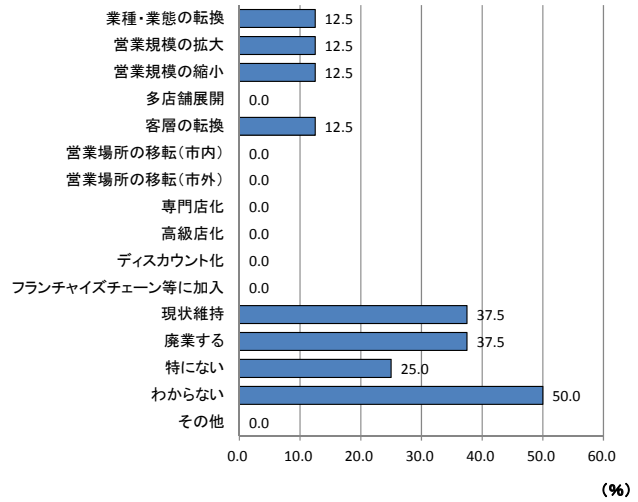
南山小学校区 (N=14)



池の上小学校区 (N=5)

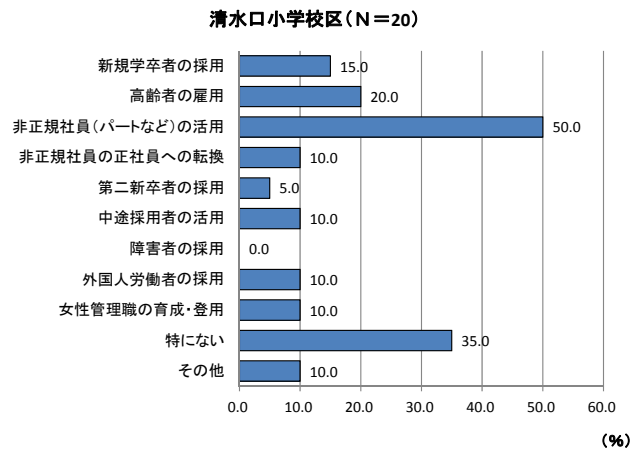
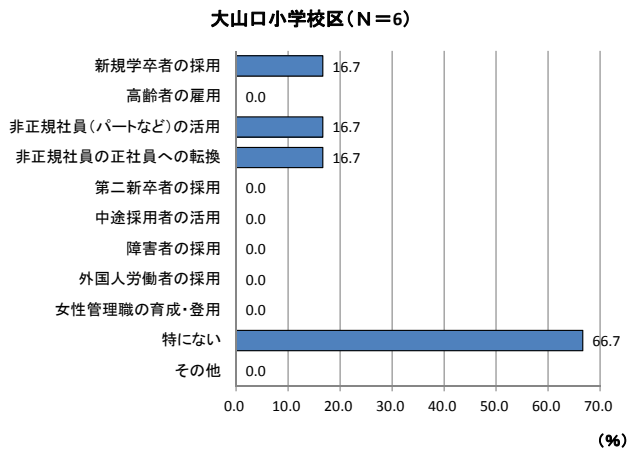
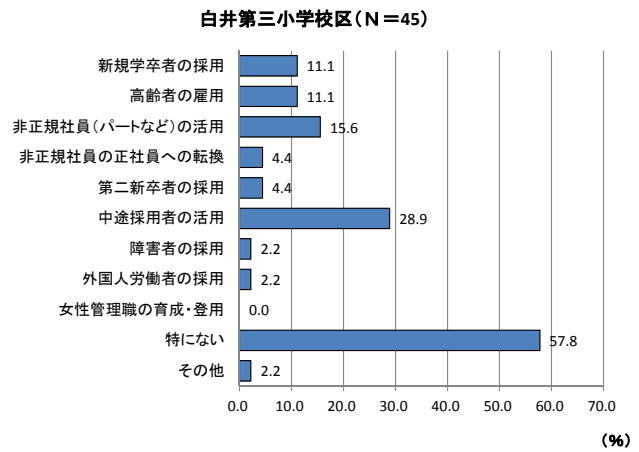
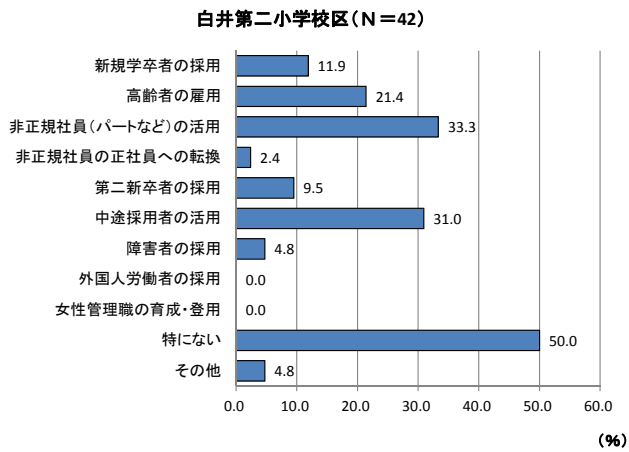
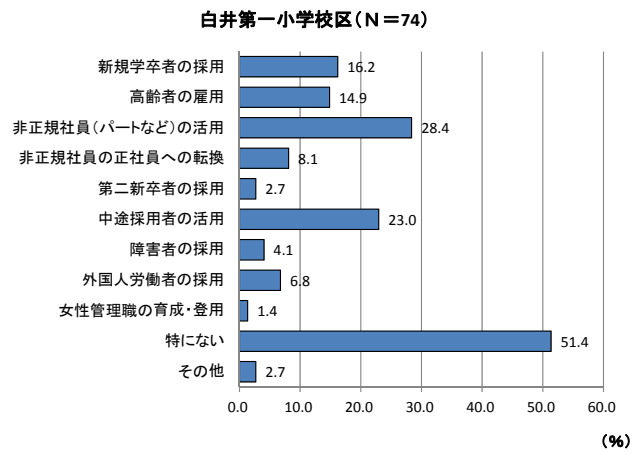
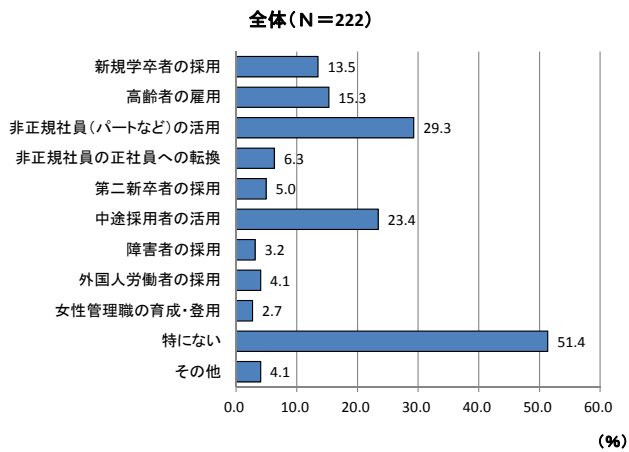


桜台小学校区 (N=8)

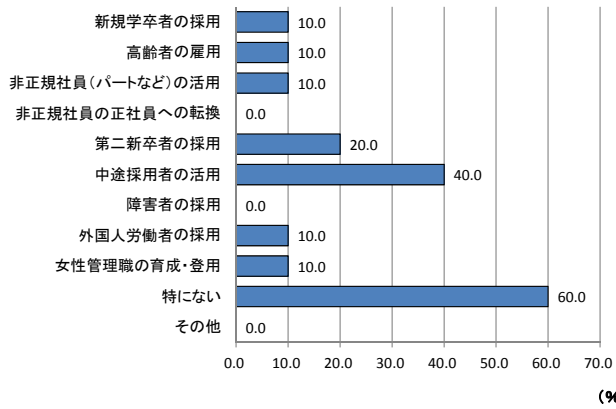


質問 1 事業所・店舗は、どちらの地区にありますか。

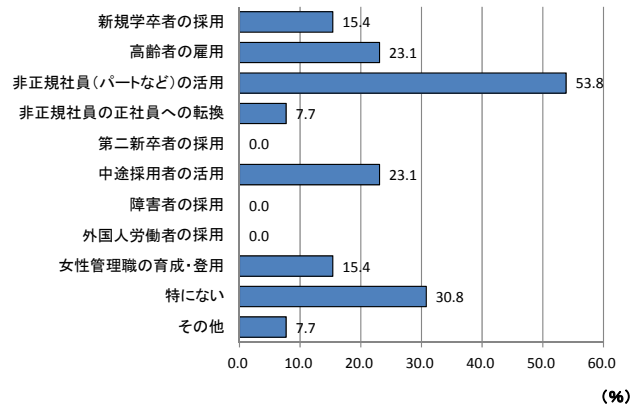
× 質問 13 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。



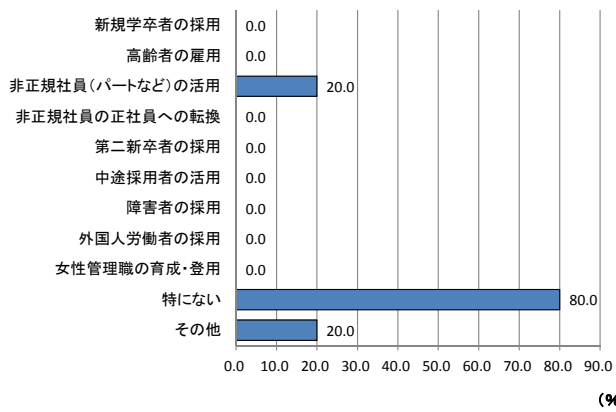
七次台小学校区 (N=10)



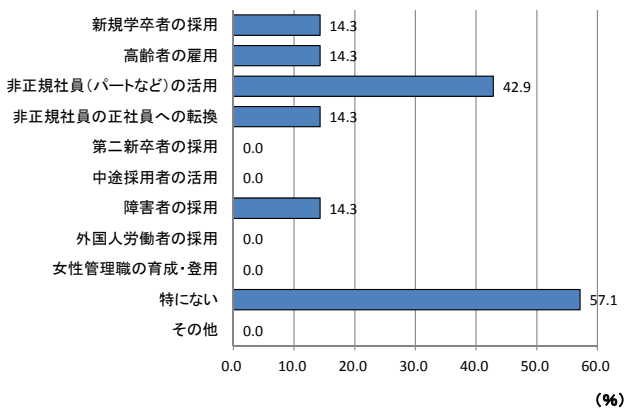
南山小学校区 (N=13)



池の上小学校区 (N=5)



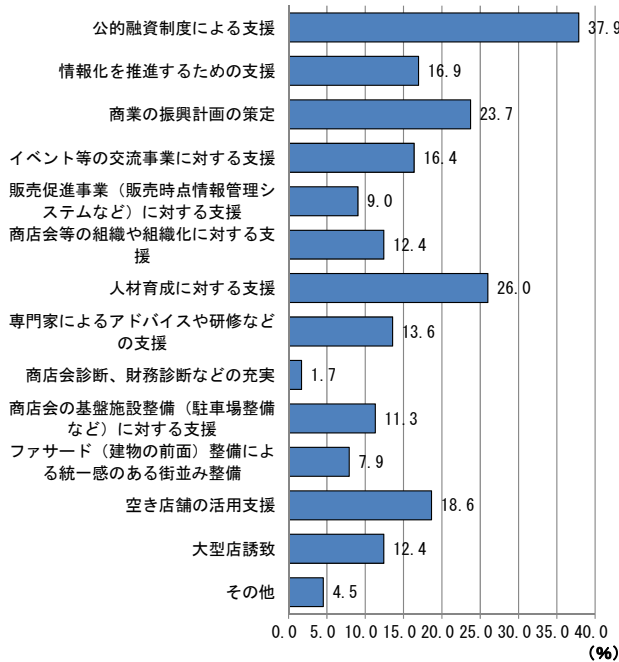
桜台小学校区 (N=7)



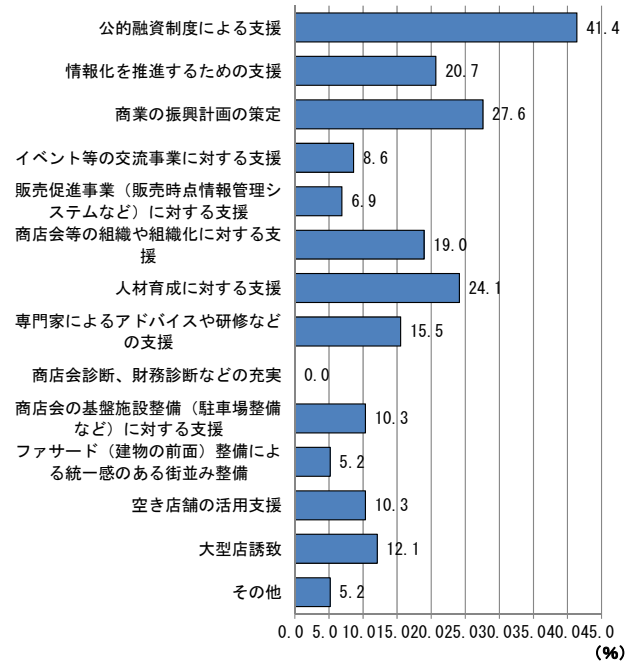
質問 1 事業所・店舗は、どちらの地区にありますか。

× 質問 1 4 白井市の商業施策に期待することは何ですか。

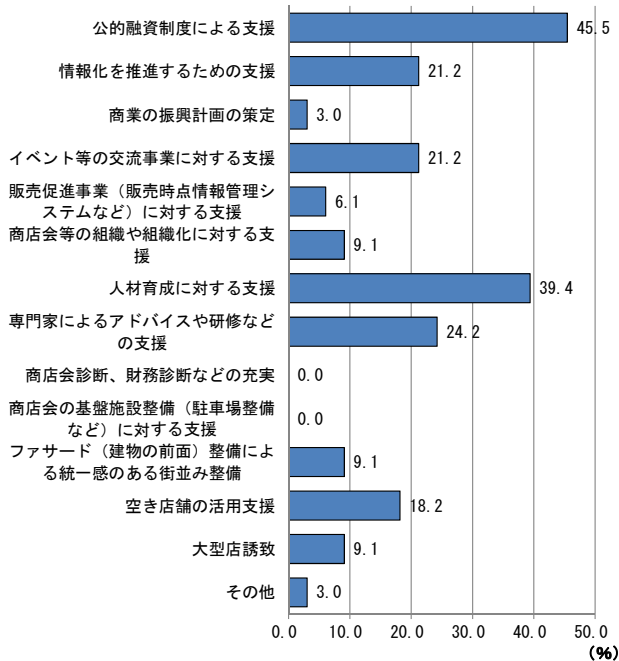
全体 (N=177)



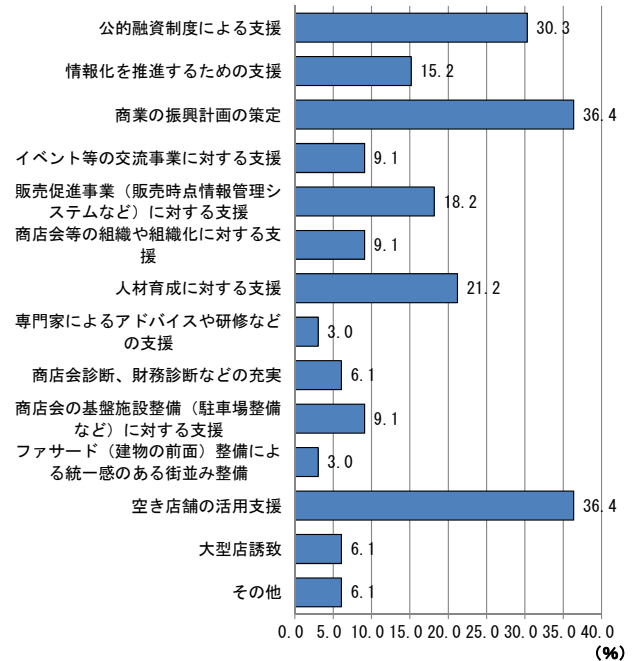
白井第一小学校区 (N=58)



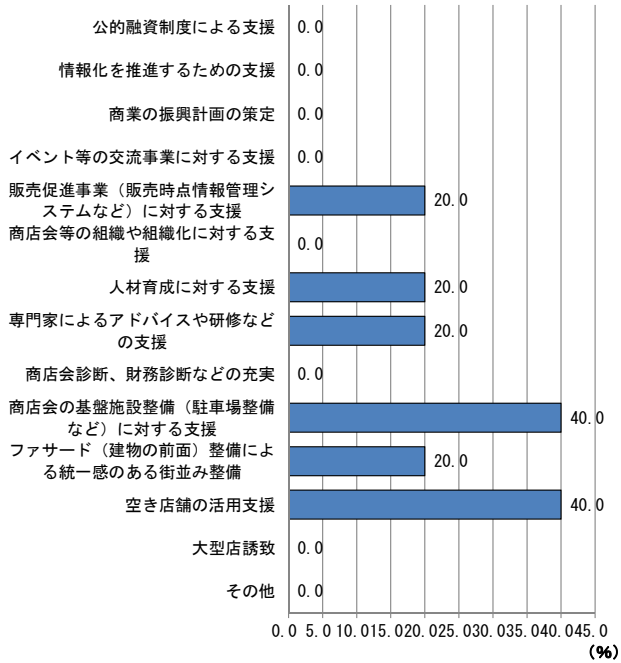
白井第二小学校区 (N=33)



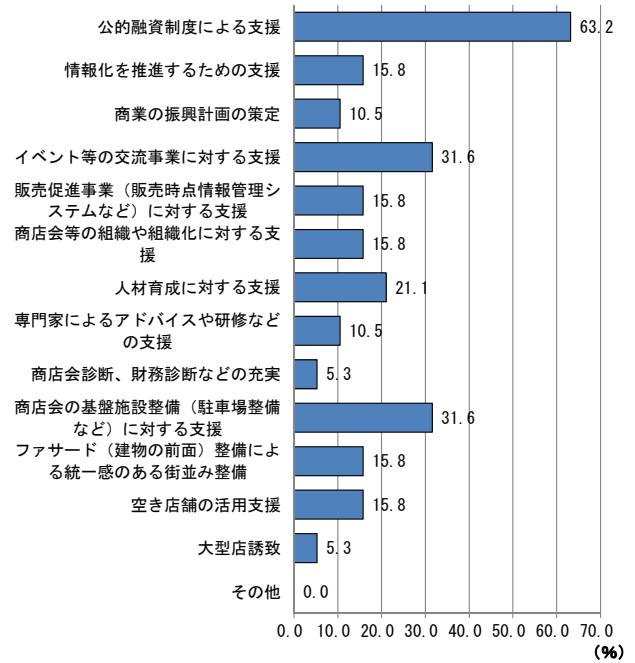
白井第三小学校区 (N=33)



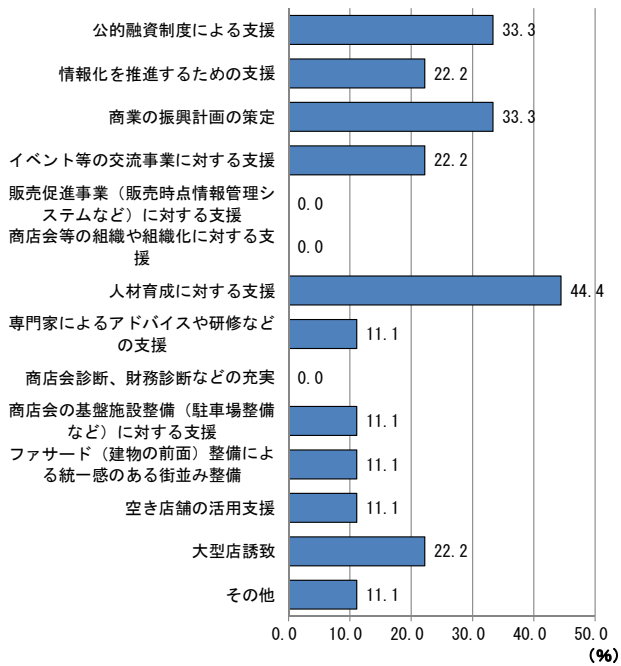
大山口小学校区 (N=5)



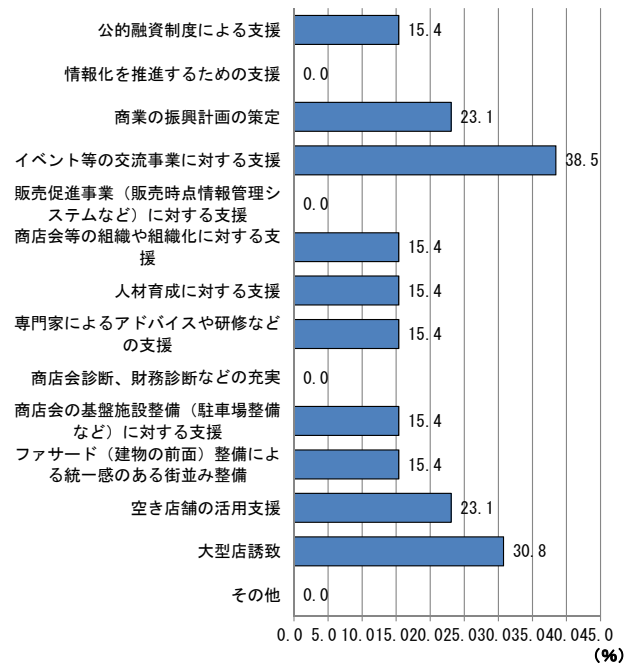
清水口小学校区 (N=19)



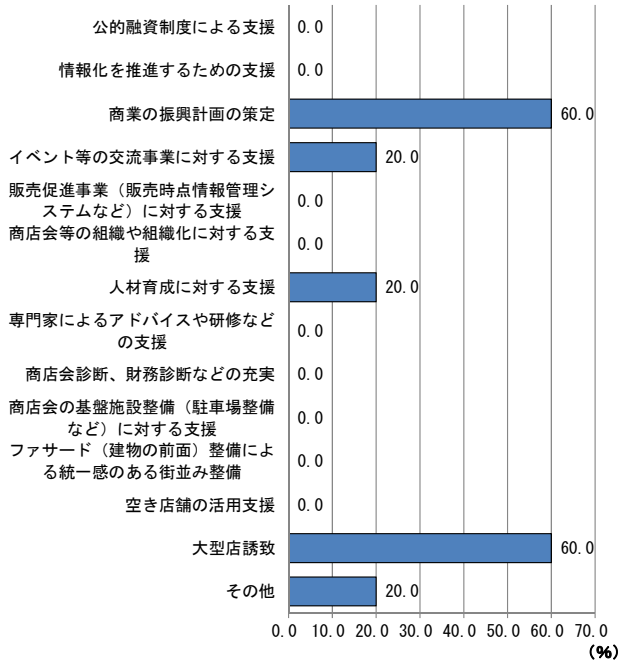
七次台小学校区 (N=9)



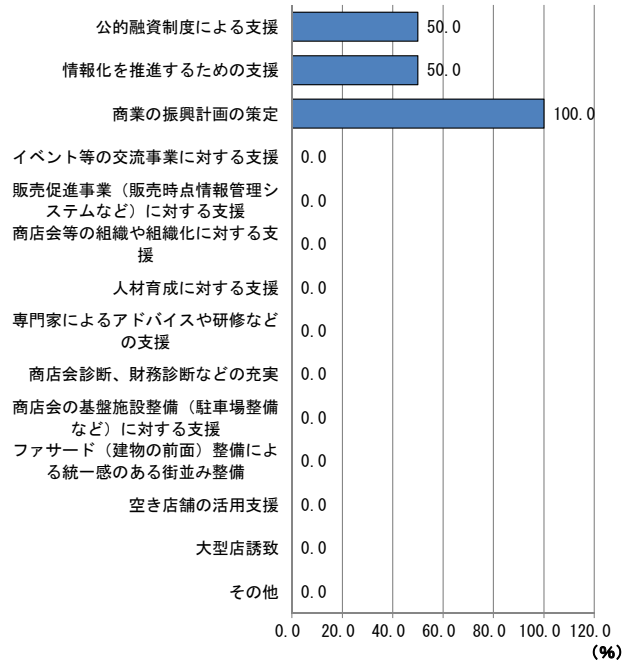
南山小学校区 (N=13)



池の上小学校区（N=5）

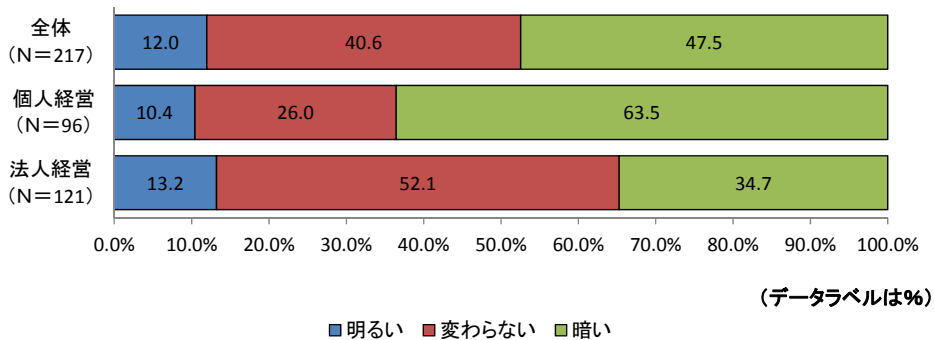


桜台小学校区（N=2）



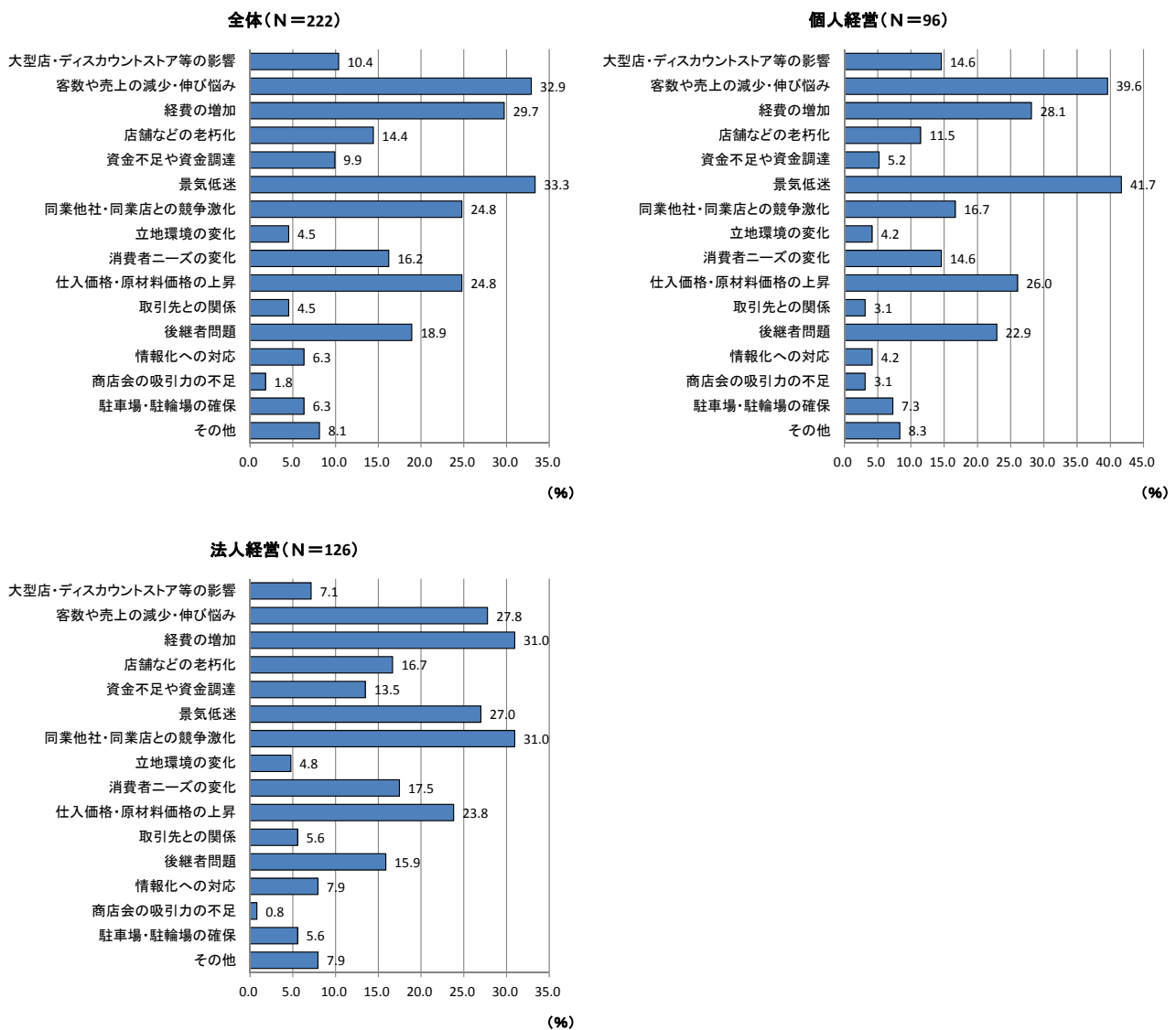
質問2 事業所・店舗の営業形態について

× 質問9 昨年と比較した経営状況について（将来の見通し）



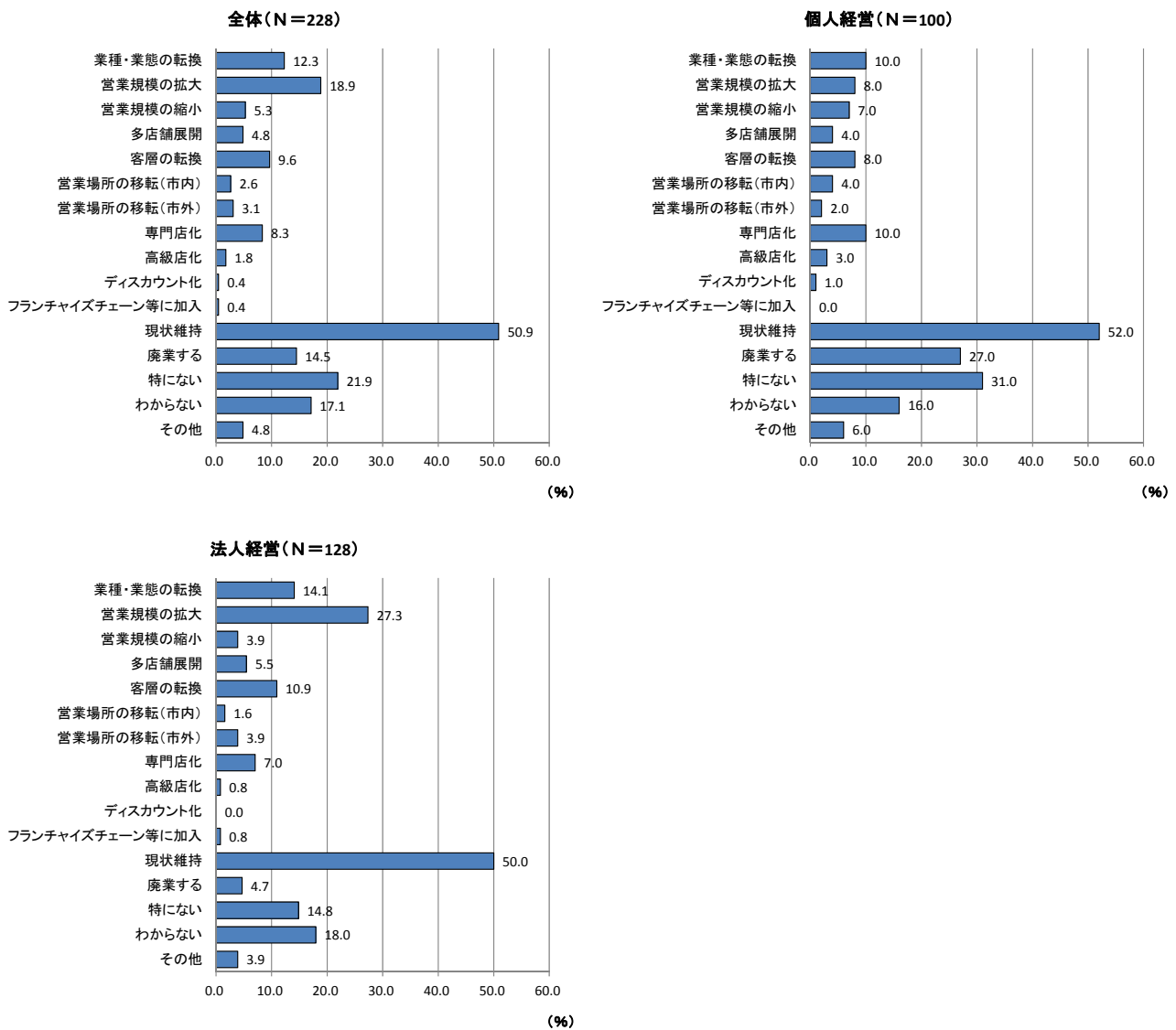
質問2 事業所・店舗の営業形態について

× 質問10 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。



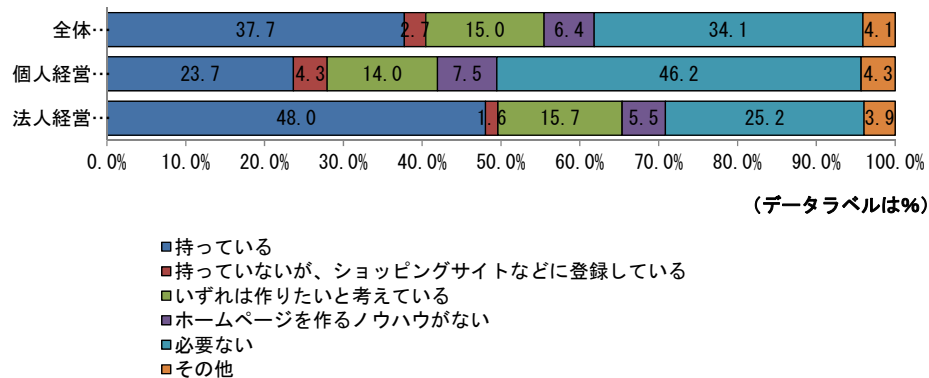
質問2 事業所・店舗の営業形態について

× 質問11 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。



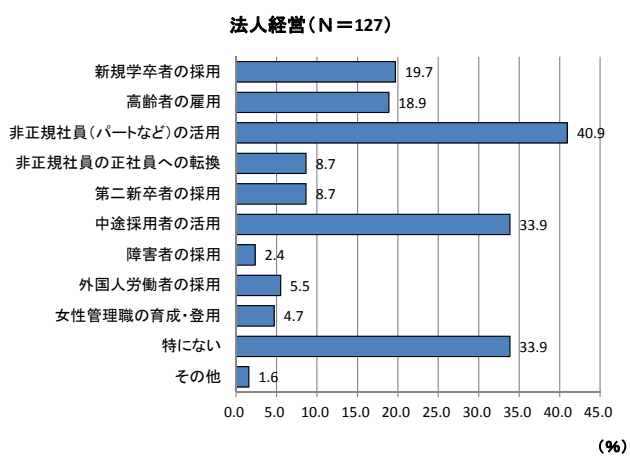
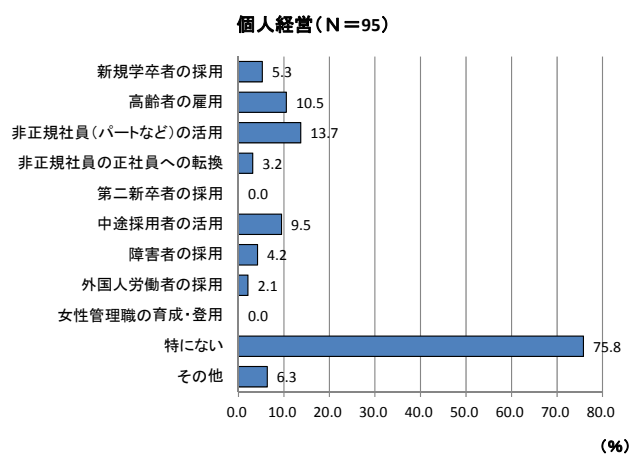
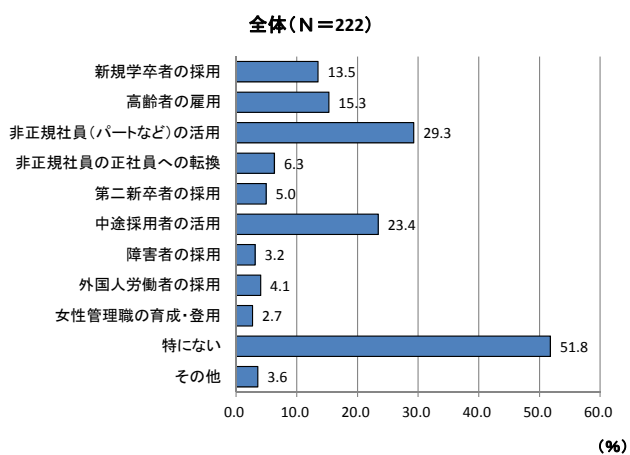
質問2 事業所・店舗の営業形態について

× 質問12 事業所・店舗のホームページをお持ちですか。



質問2 事業所・店舗の営業形態について

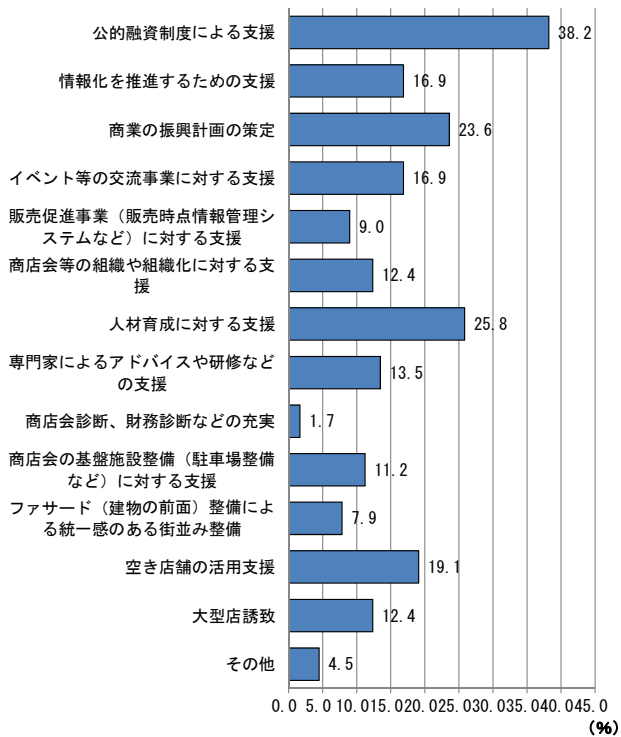
× 質問13 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。



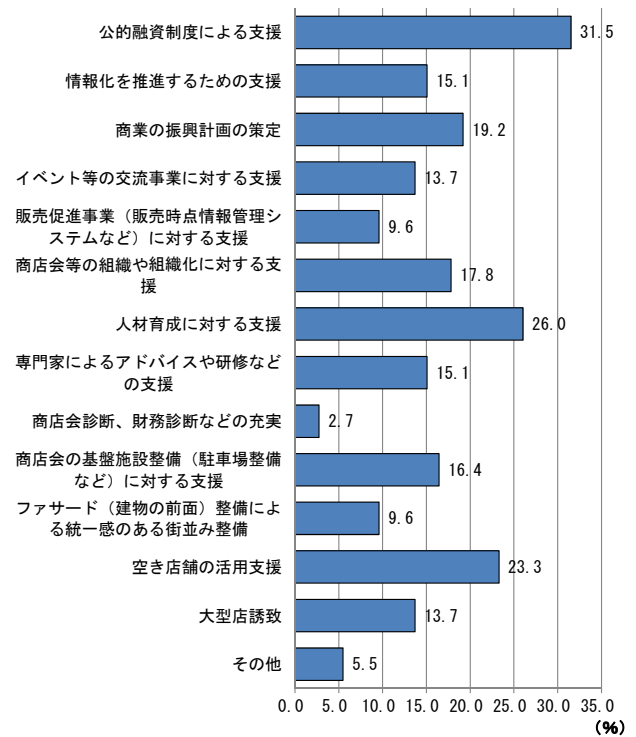
質問2 事業所・店舗の営業形態について

× 質問14 白井市の商業施策に期待することは何ですか。

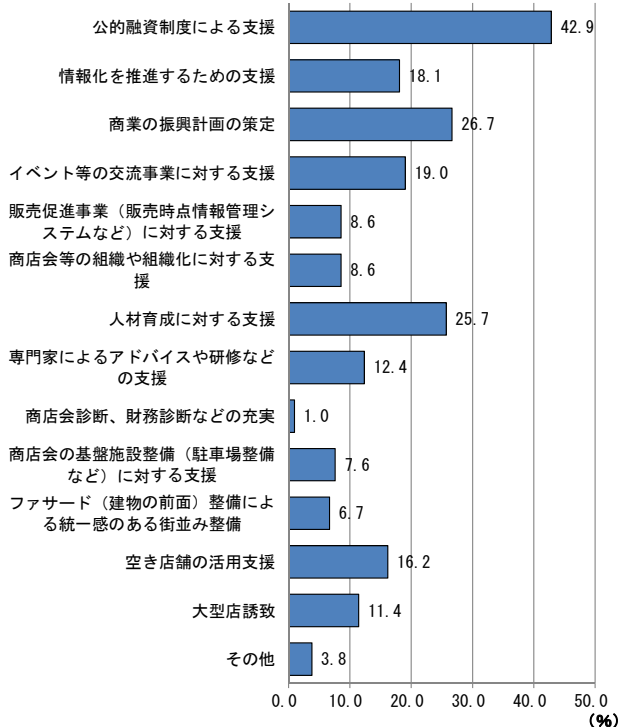
全体 (N=178)



個人経営 (N=73)

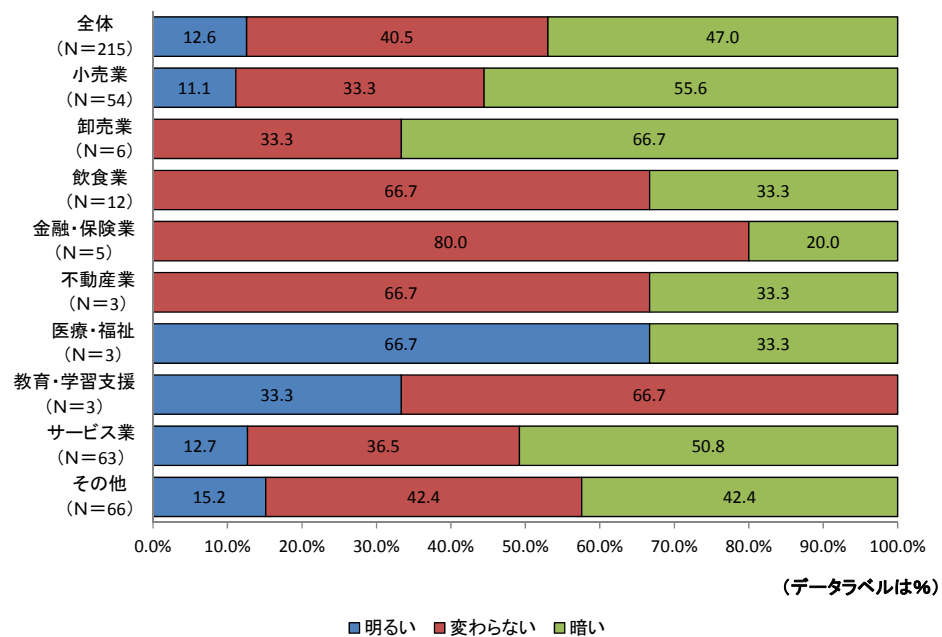


法人経営 (N=105)



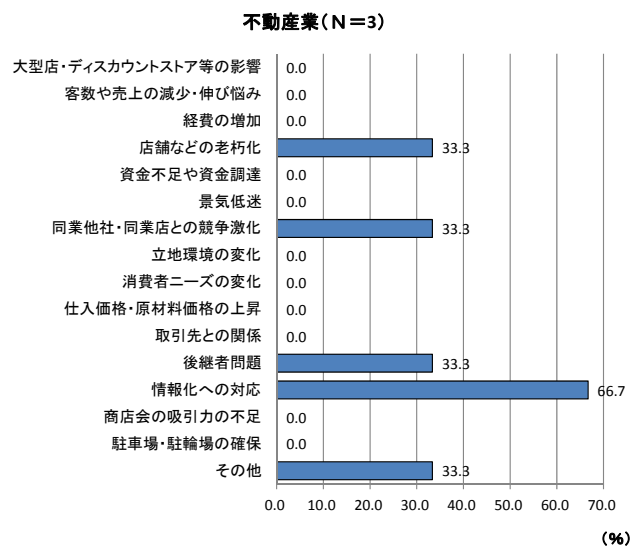
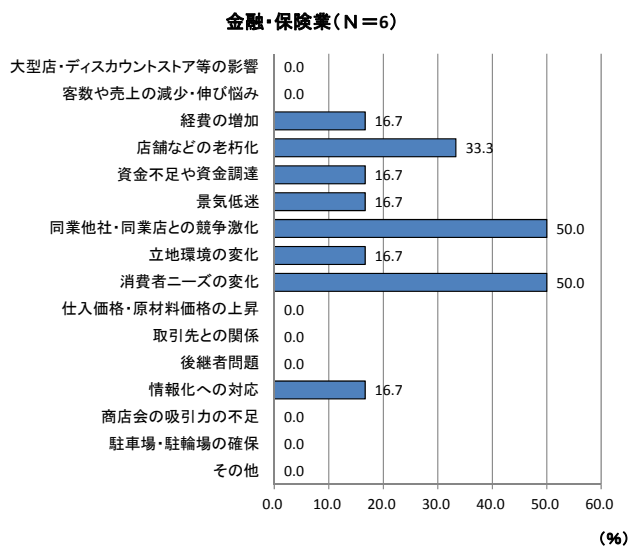
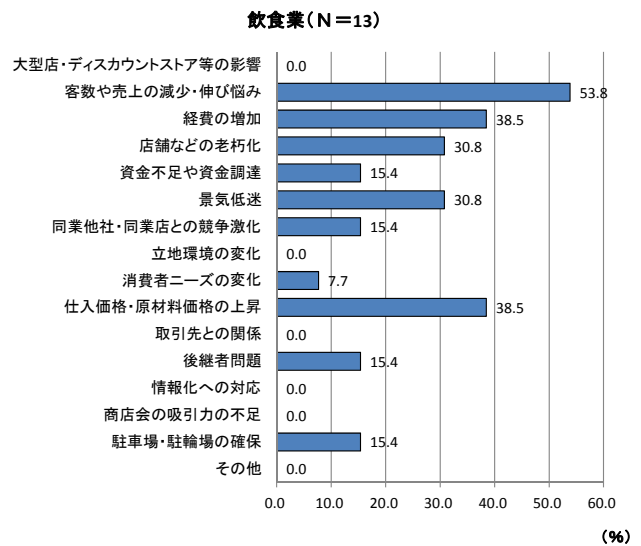
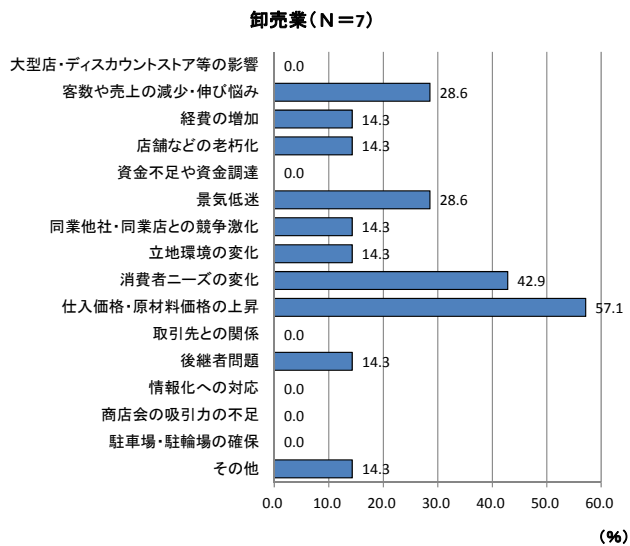
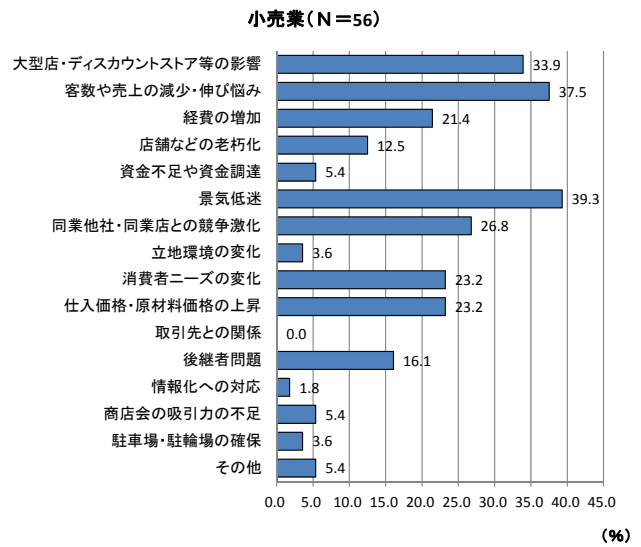
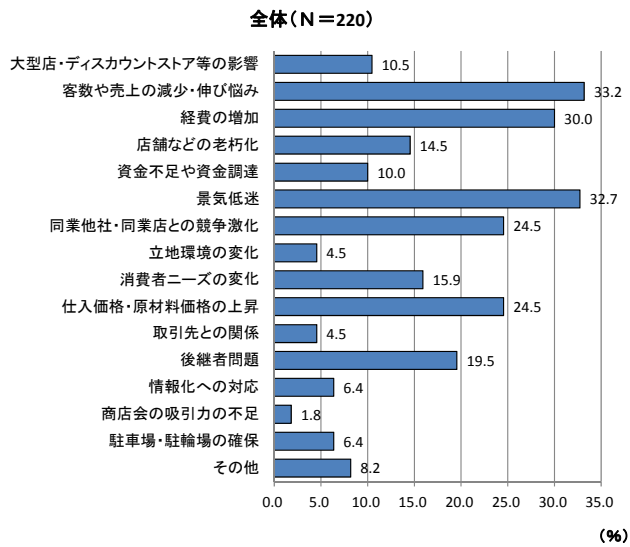
質問7 主な業種について

× 質問9 昨年と比較した経営状況について（将来の見通し）

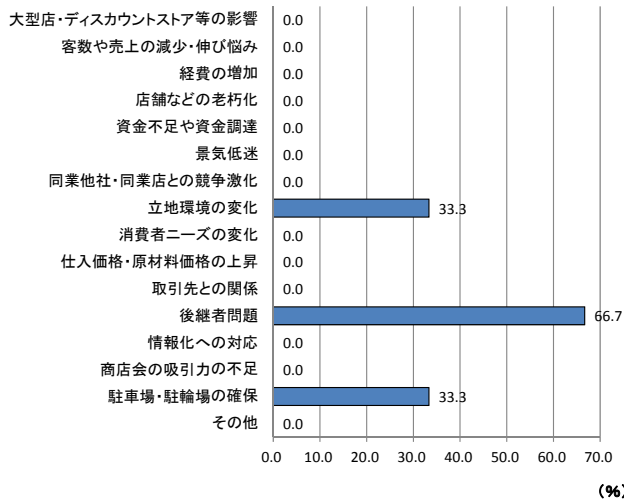


質問7 主な業種について

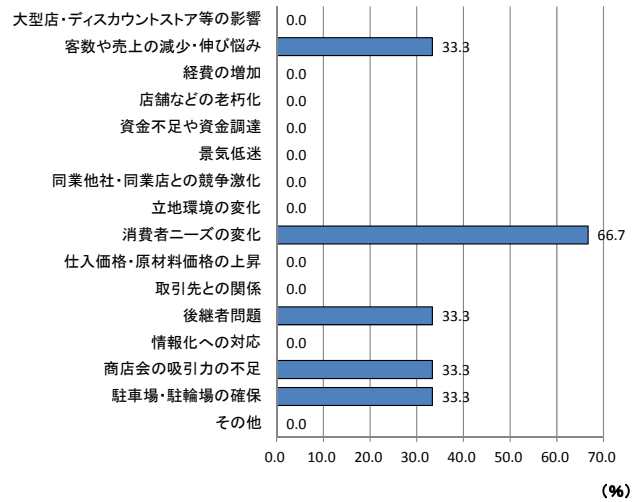
× 質問10 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。



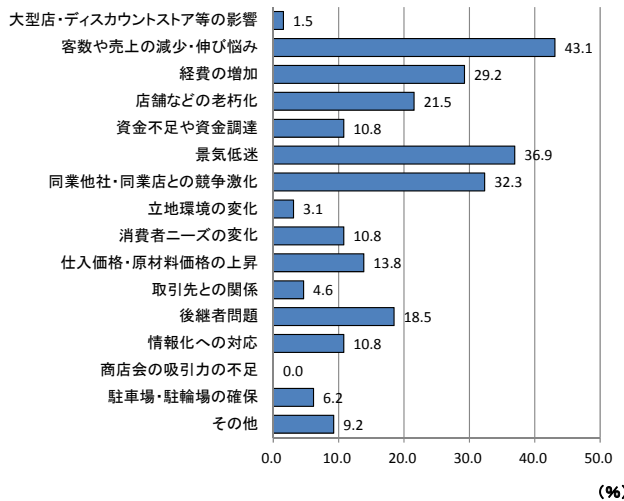
医療・福祉 (N=3)



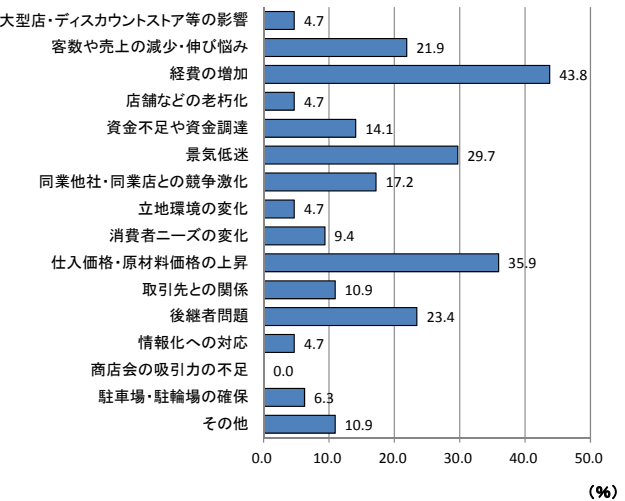
教育・学習支援 (N=3)



サービス業 (N=65)

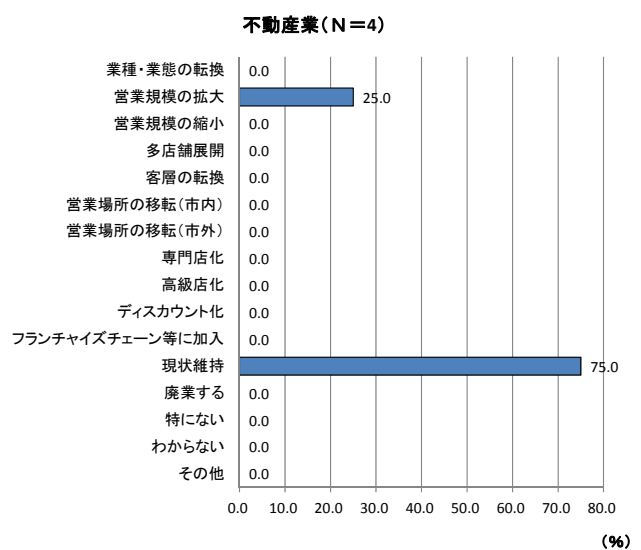
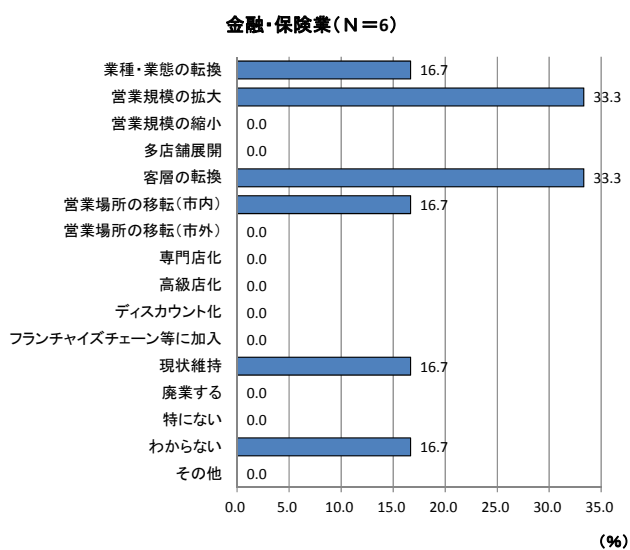
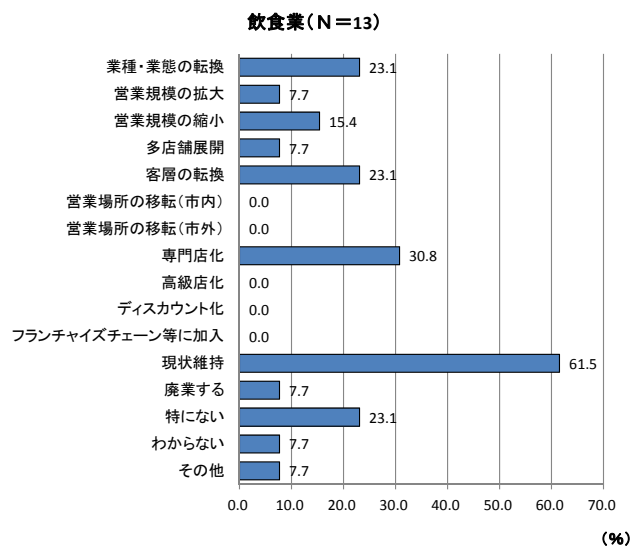
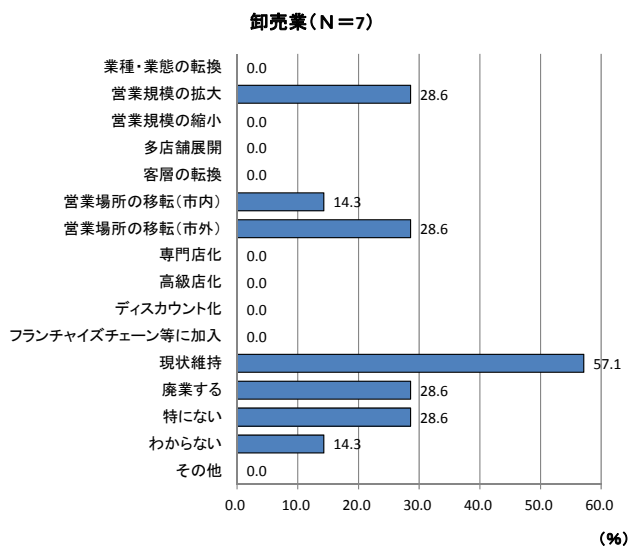
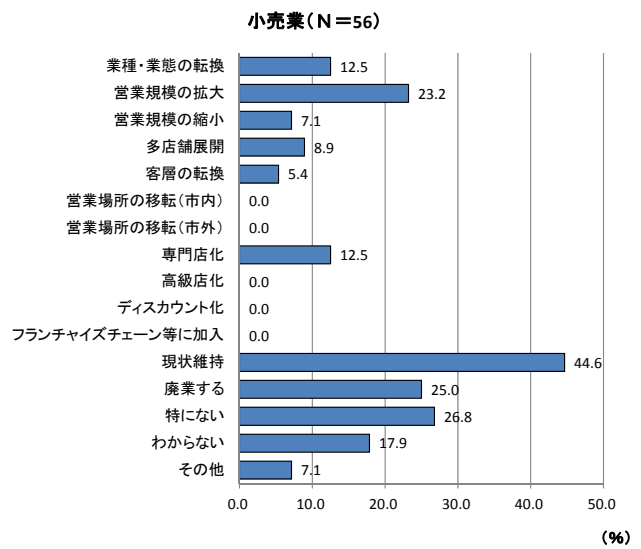
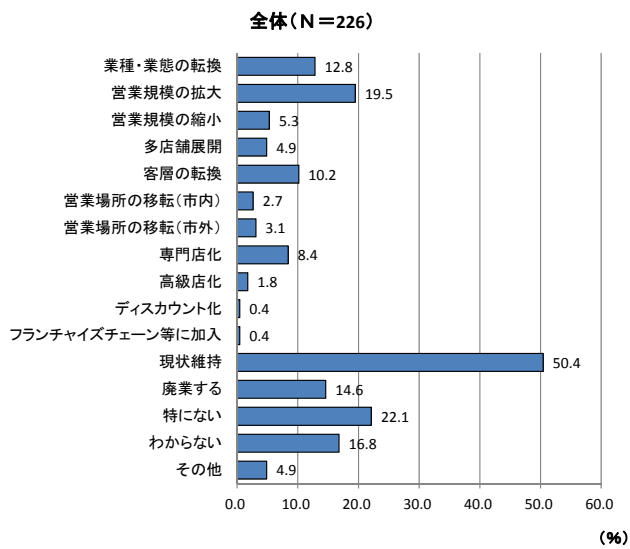


その他 (N=64)

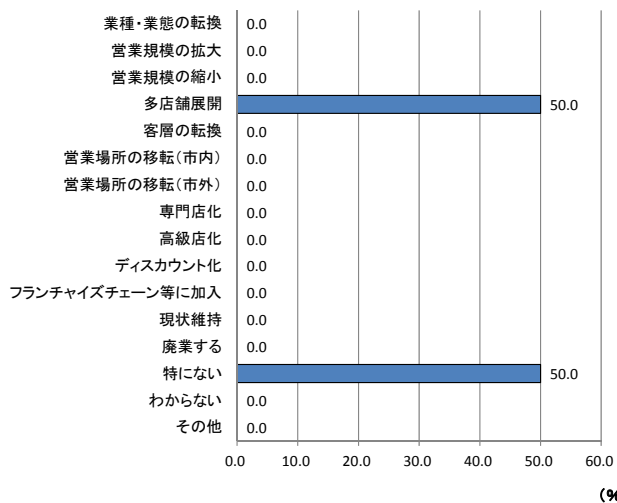


質問7 主な業種について

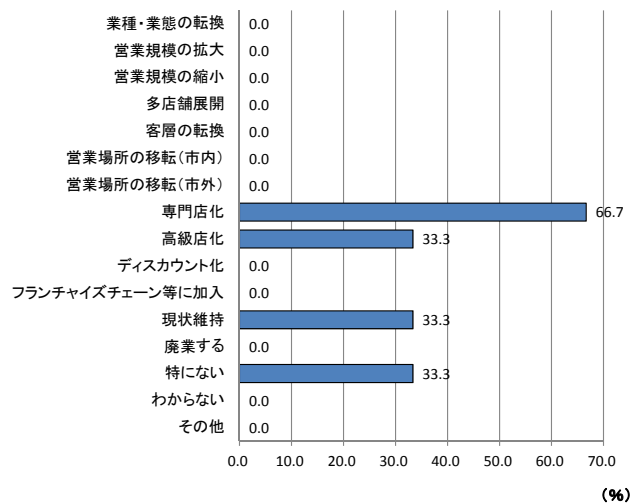
× 質問11 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。



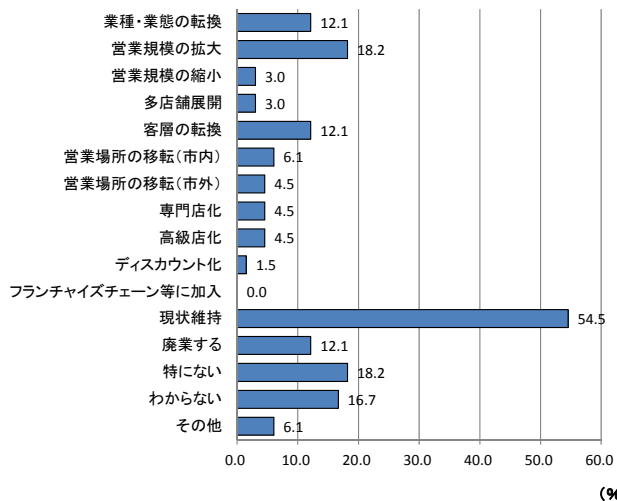
医療・福祉 (N=2)



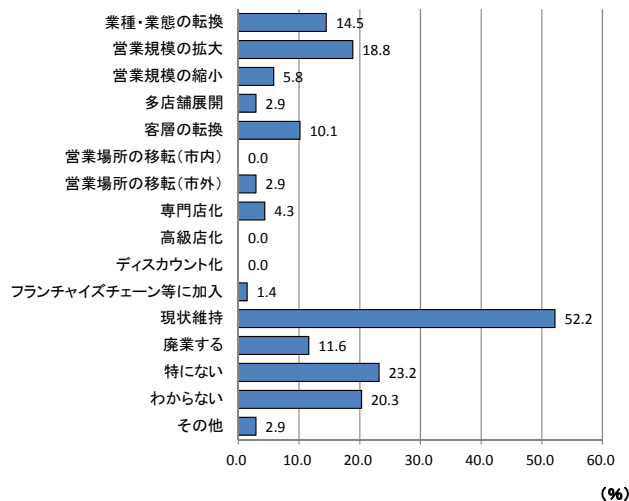
教育・学習支援 (N=3)



サービス業 (N=66)

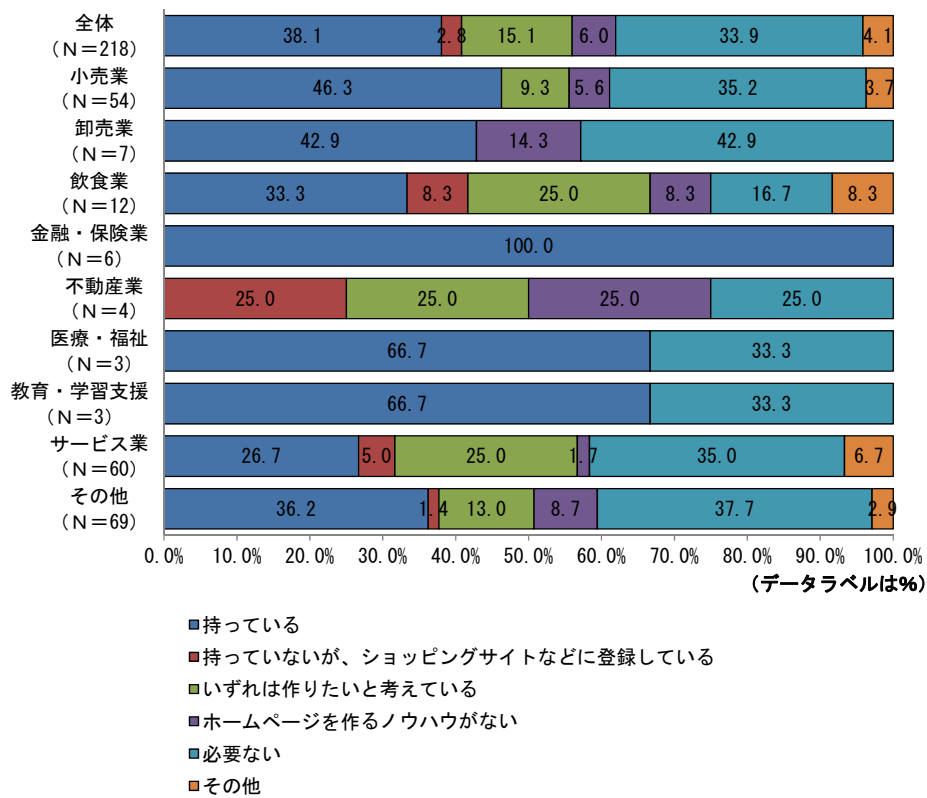


その他 (N=69)



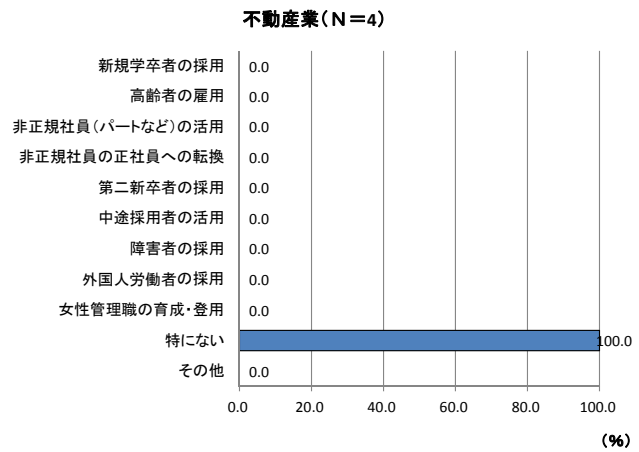
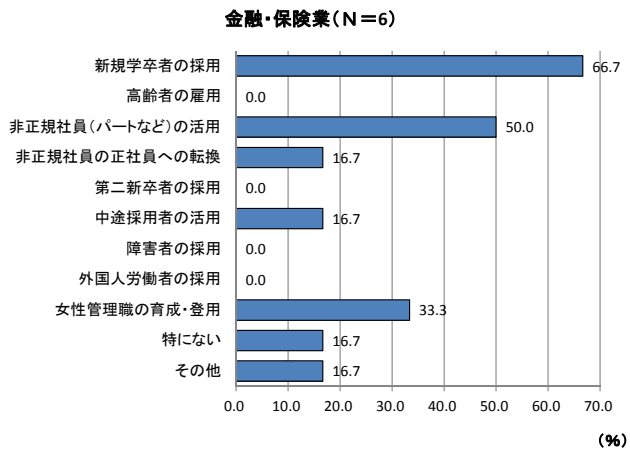
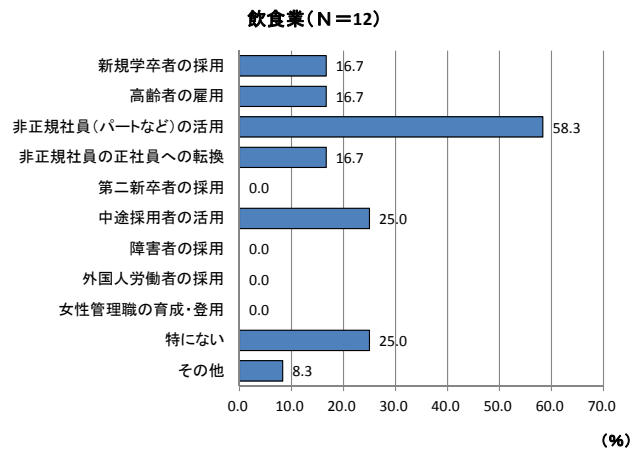
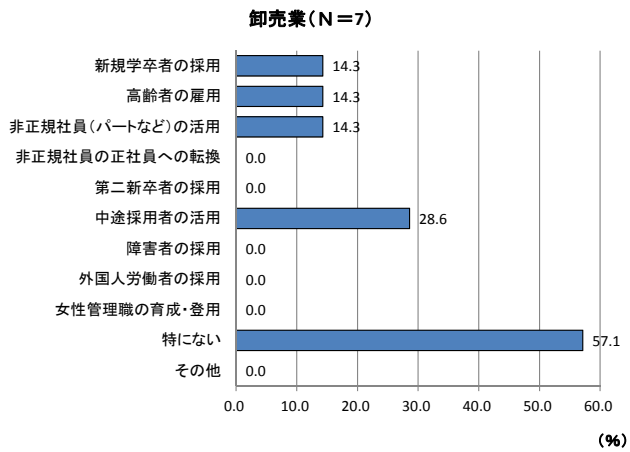
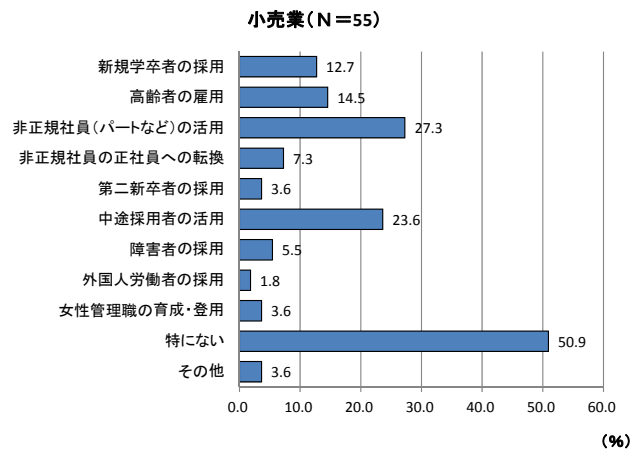
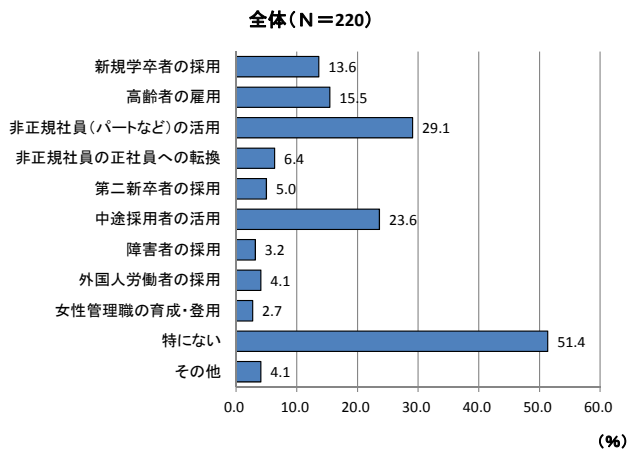
質問7 主な業種について

× 質問12 事業所・店舗のホームページをお持ちですか。

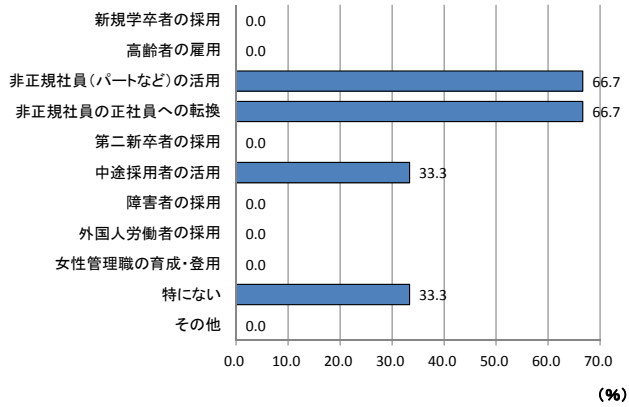


質問7 主な業種について

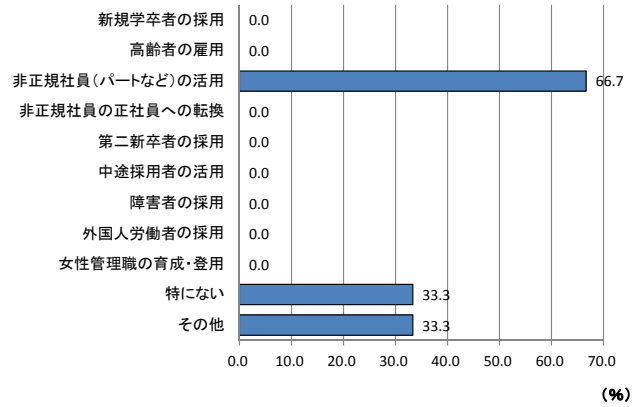
× 質問13 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。



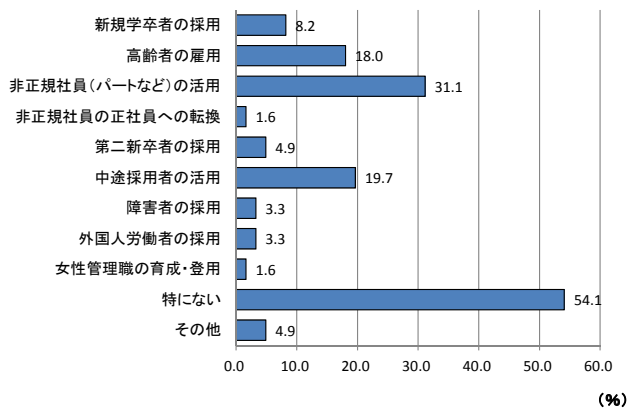
医療・福祉 (N=3)



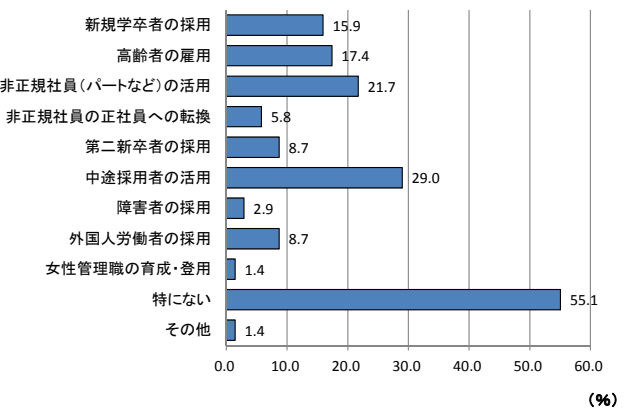
教育・学習支援 (N=3)



サービス業 (N=61)



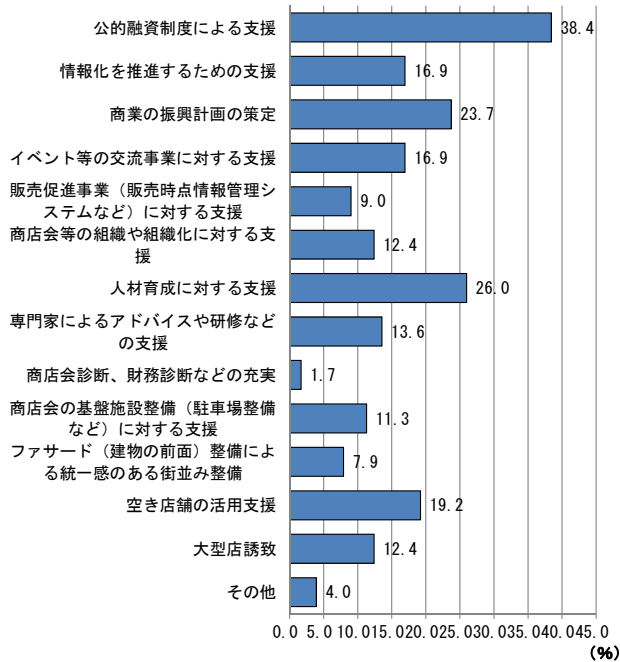
その他 (N=69)



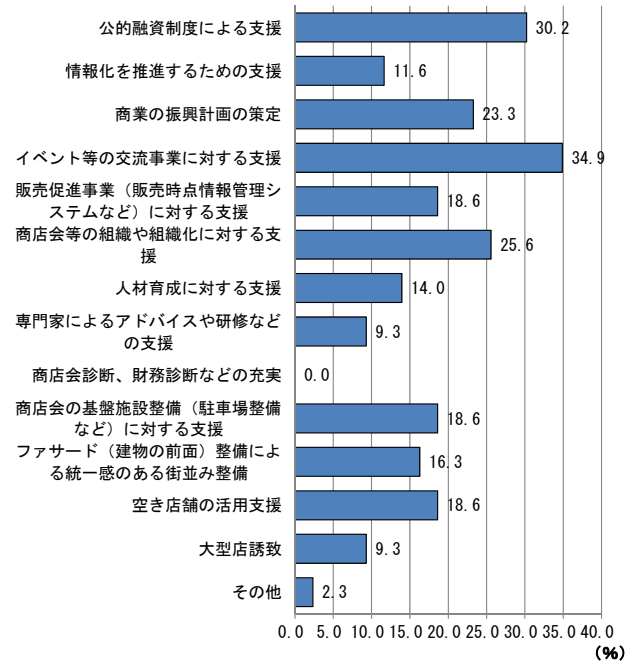
質問 7 主な業種について

× 質問 14 白井市の商業施策に期待することは何ですか。

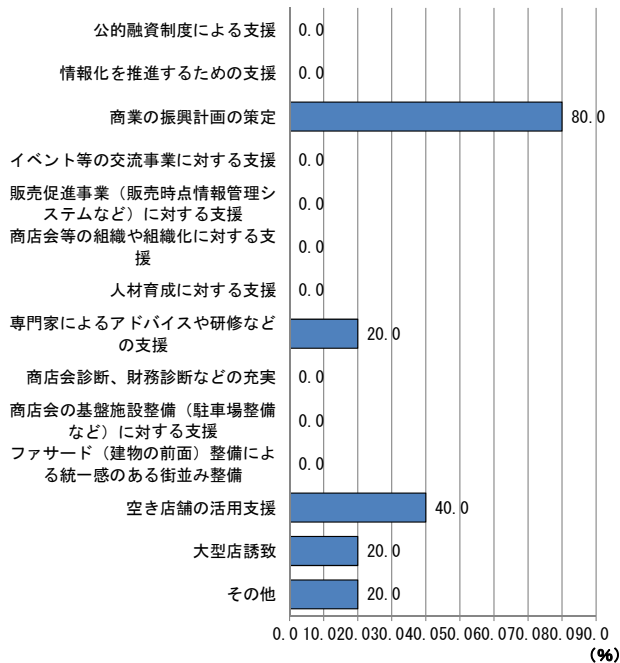
全体 (N=177)



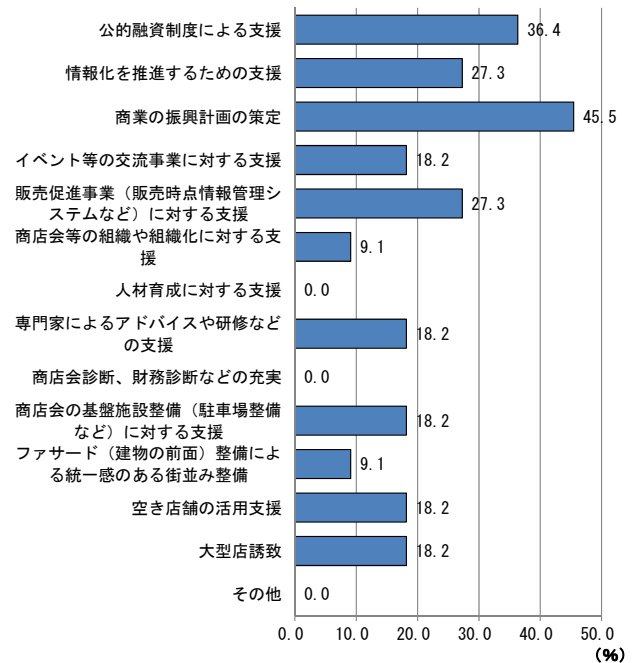
小売業 (N=43)



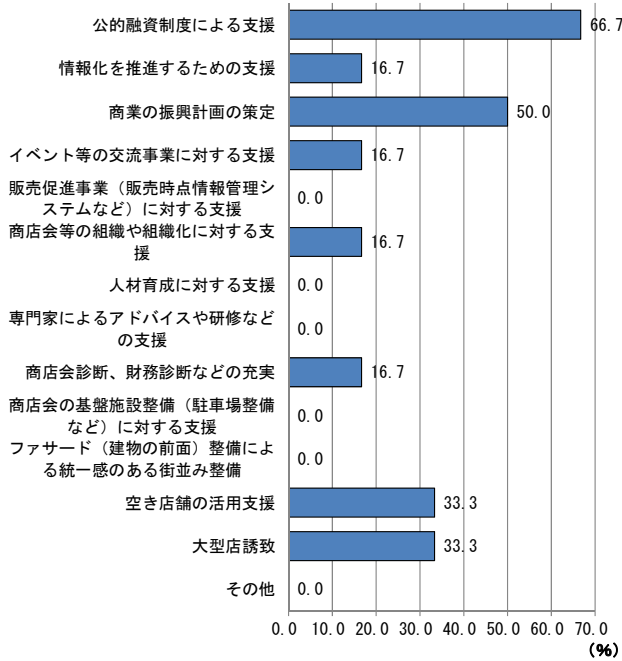
卸売業 (N=5)



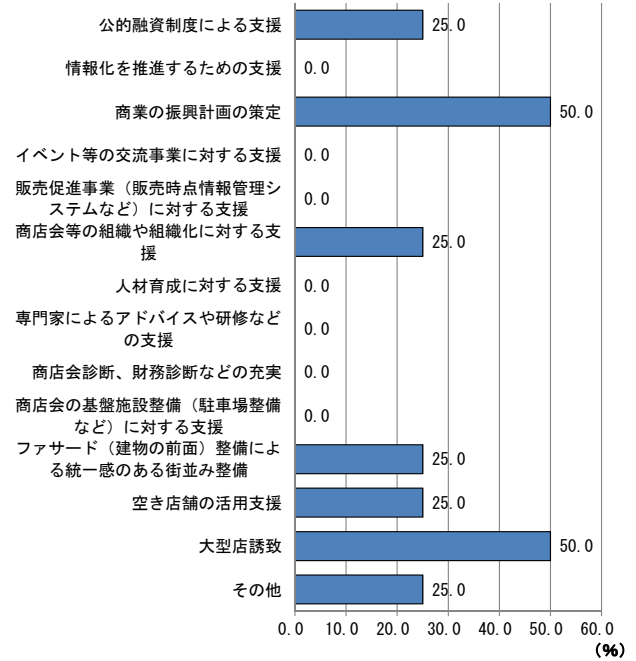
飲食業 (N=11)



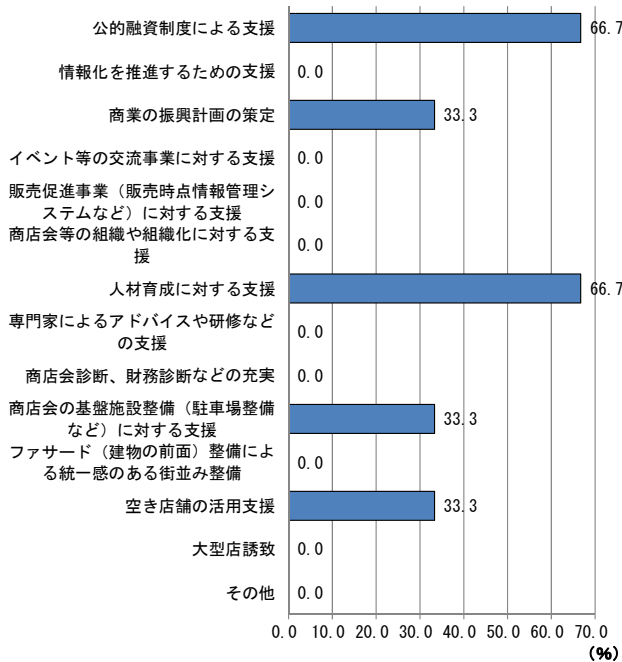
金融・保険業 (N=6)



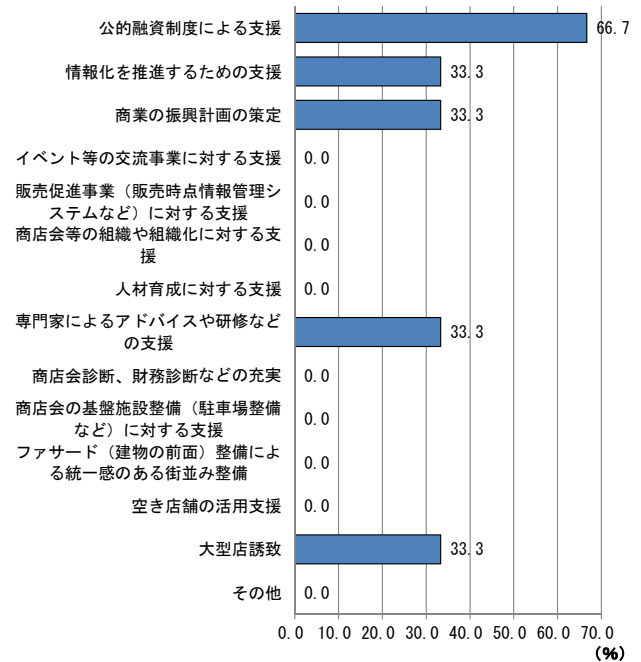
不動産業 (N=4)



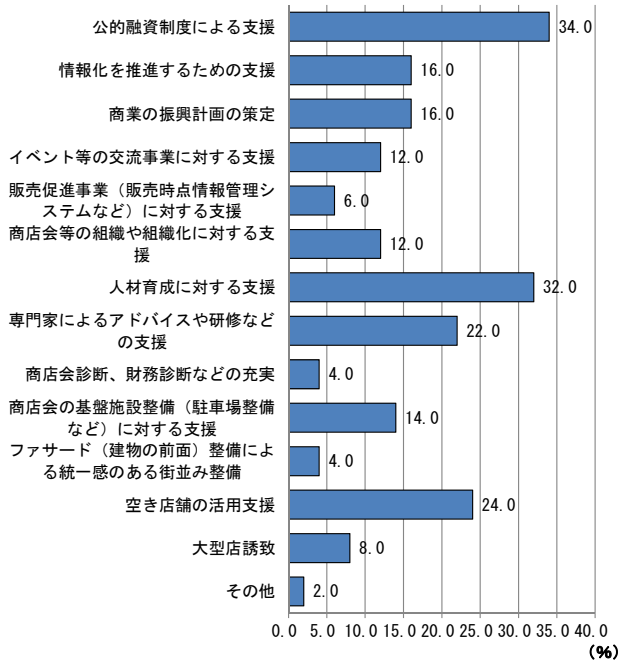
医療・福祉 (N=3)



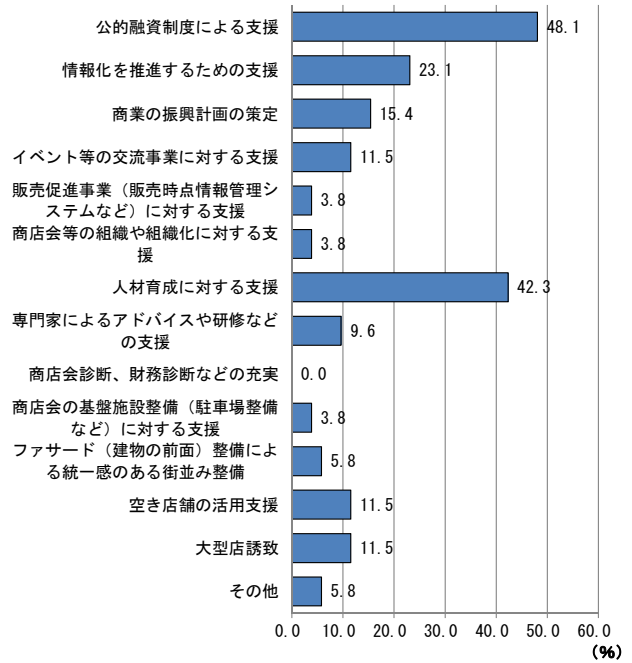
教育・学習支援 (N=3)



サービス業（N=50）

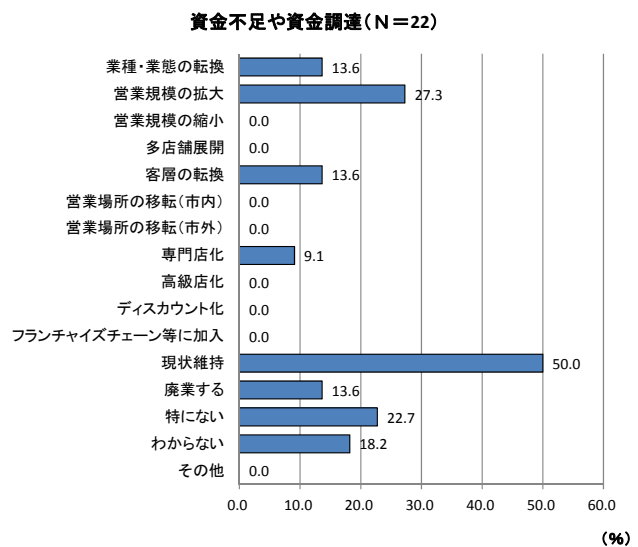
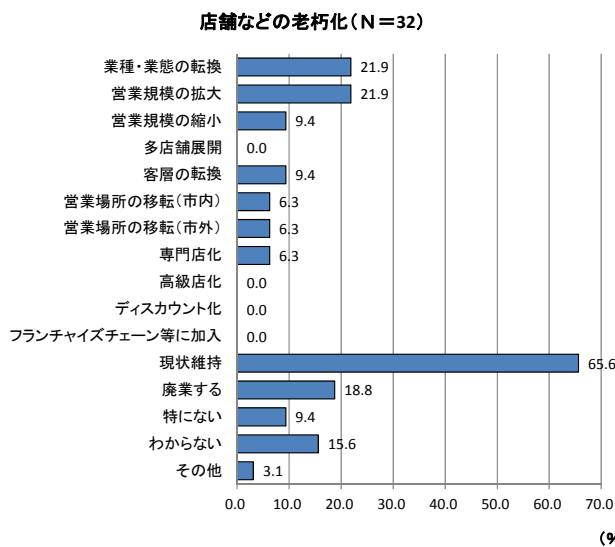
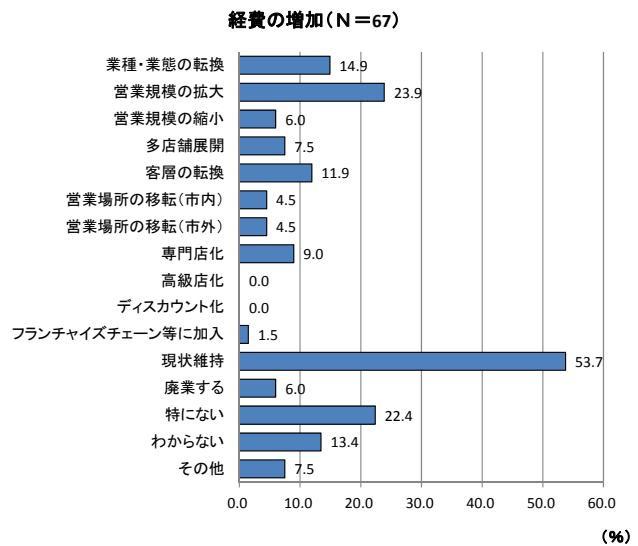
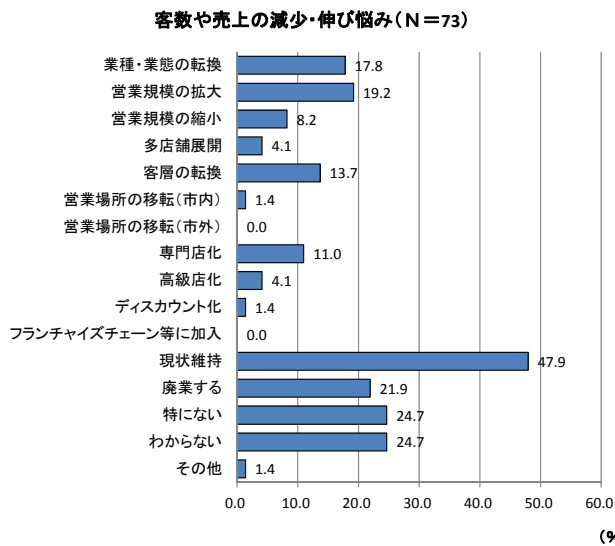
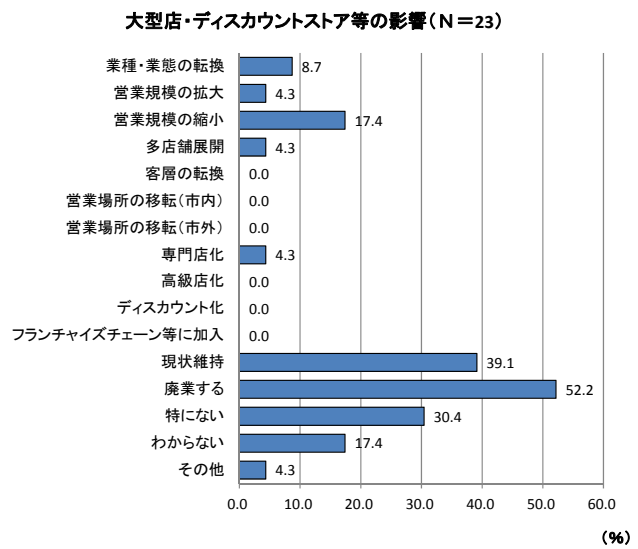
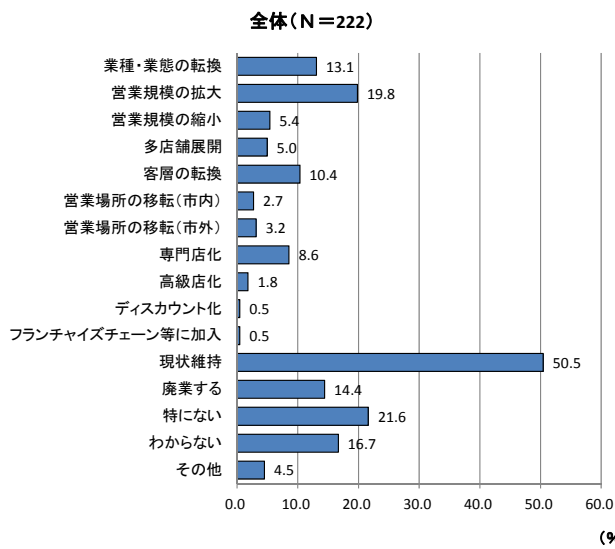


その他（N=52）

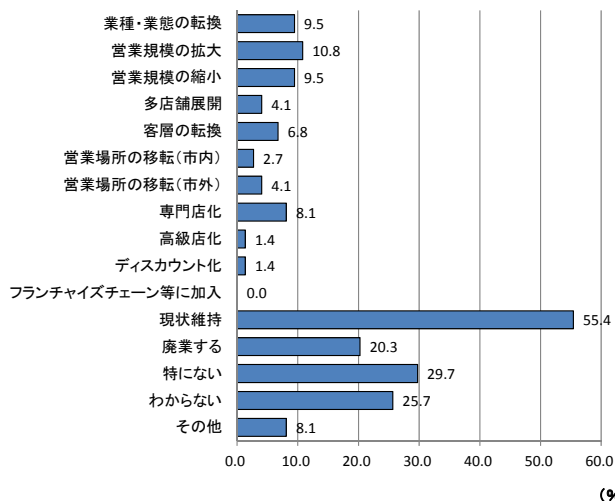


質問 10 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。

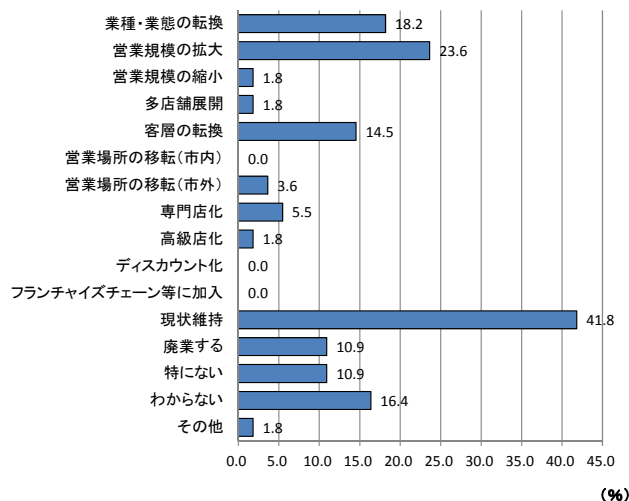
× 質問 11 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。



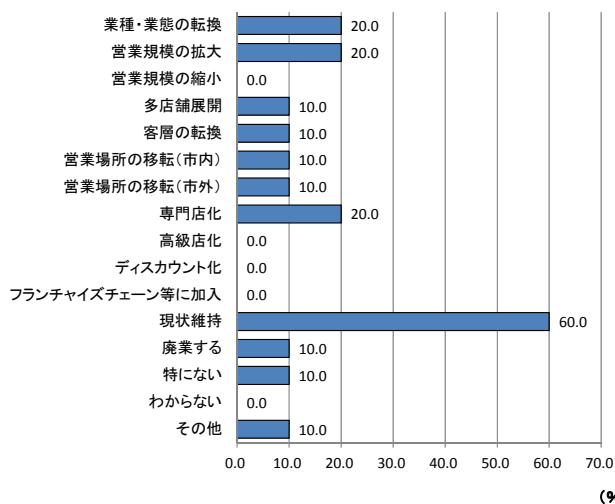
景気低迷 (N=74)



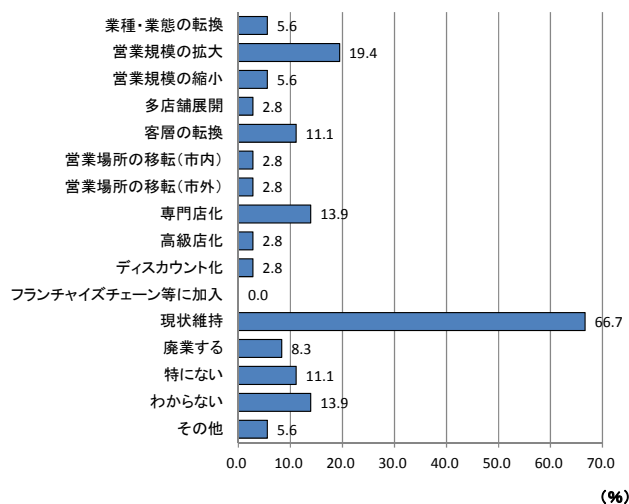
同業他社・同業店との競争激化 (N=55)



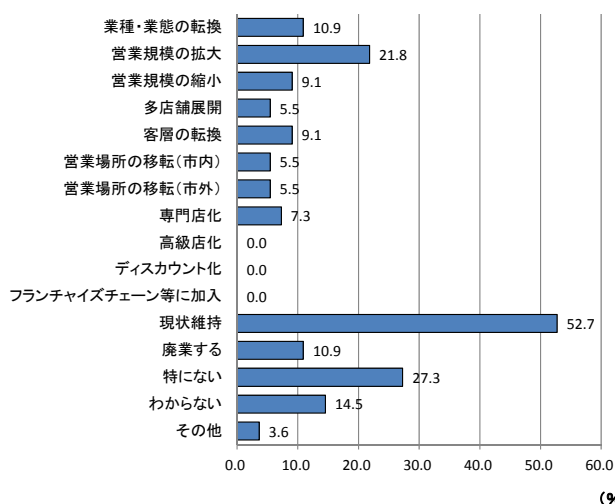
立地環境の変化 (N=10)



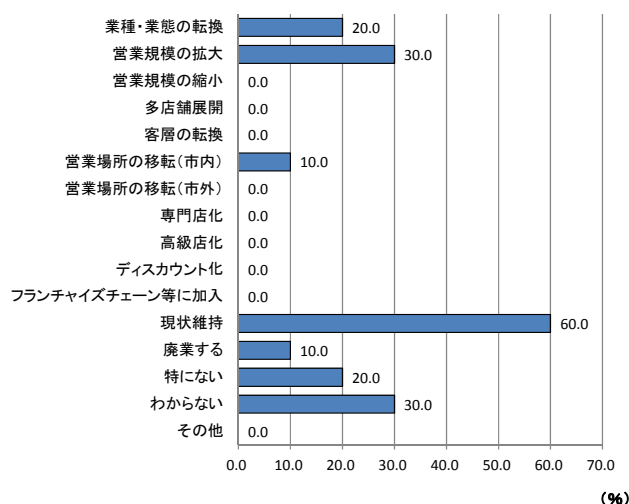
消費者ニーズの変化 (N=36)



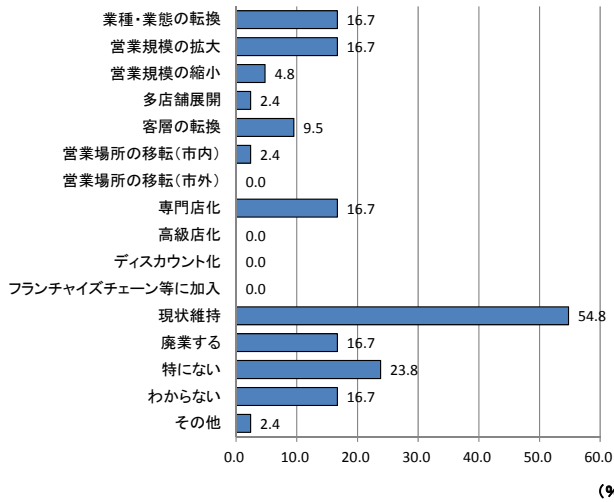
仕入価格・原材料価格の上昇 (N=55)



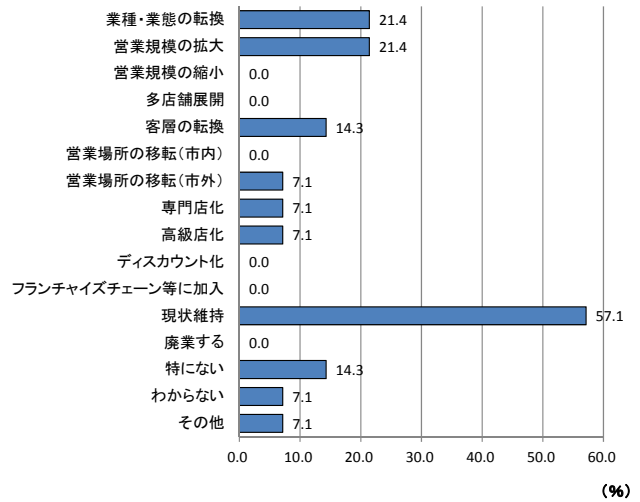
取引先との関係 (N=10)



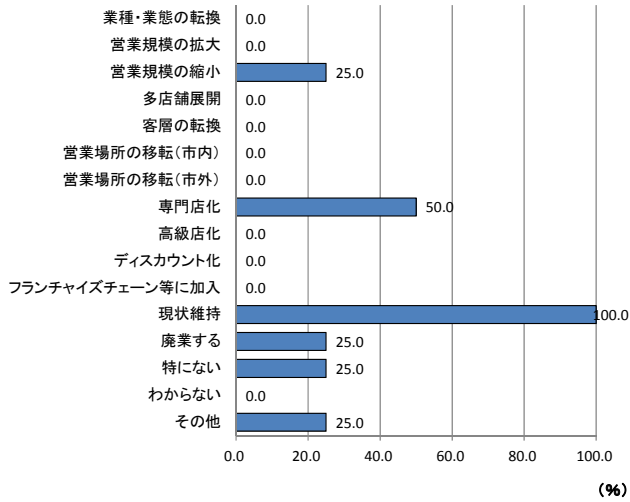
後継者問題(N=42)



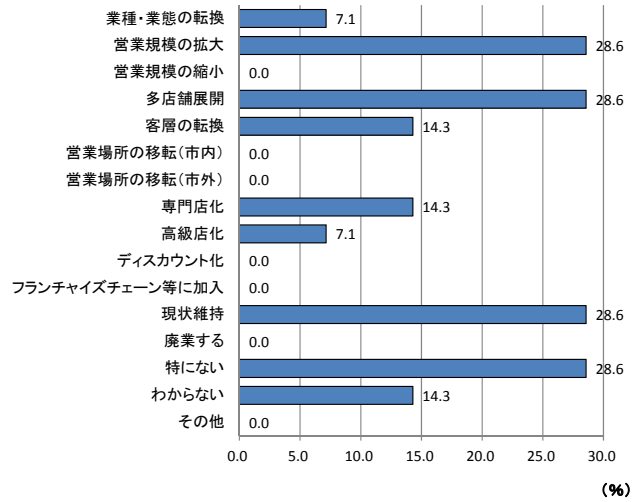
情報化への対応(N=14)



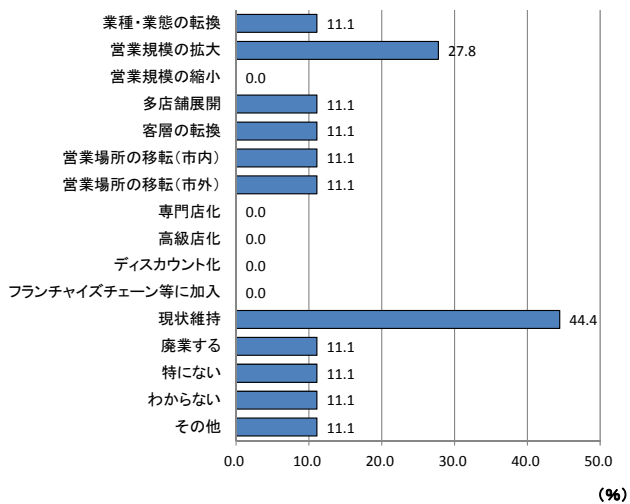
商店会の吸引力の不足(N=4)



駐車場・駐輪場の確保(N=14)

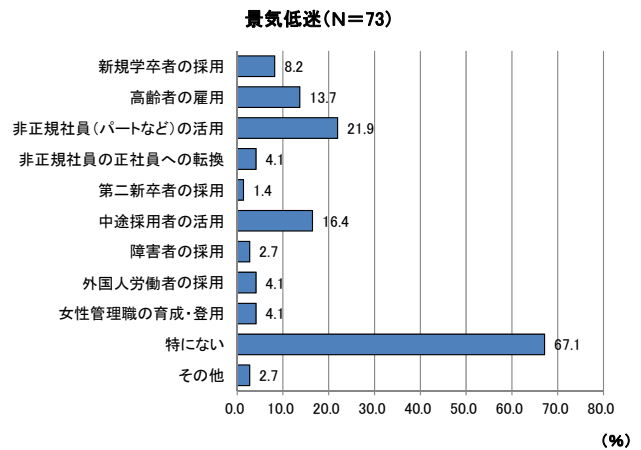
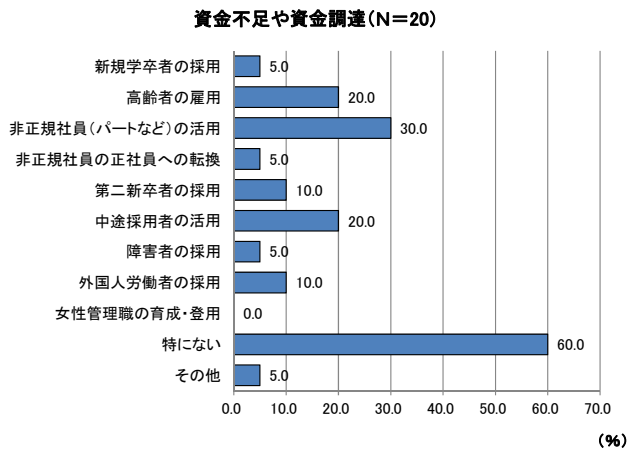
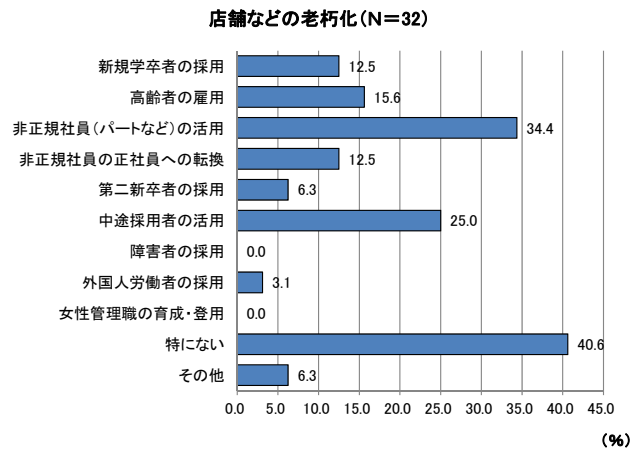
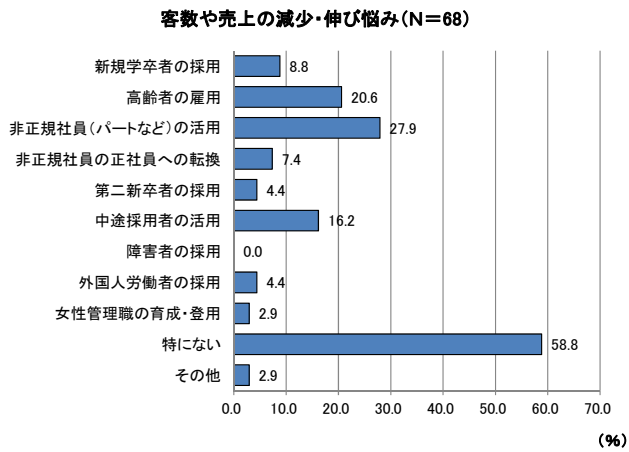
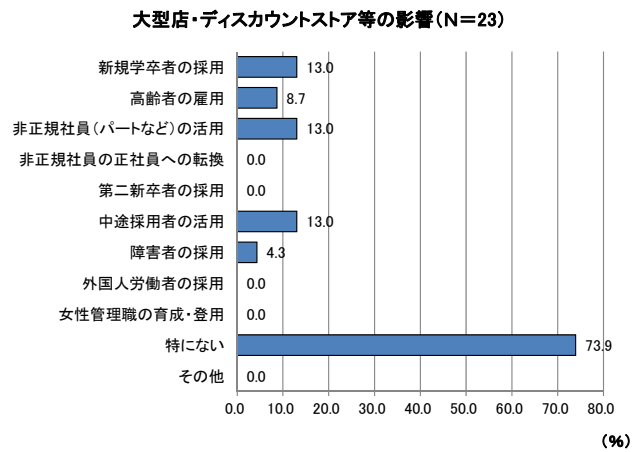
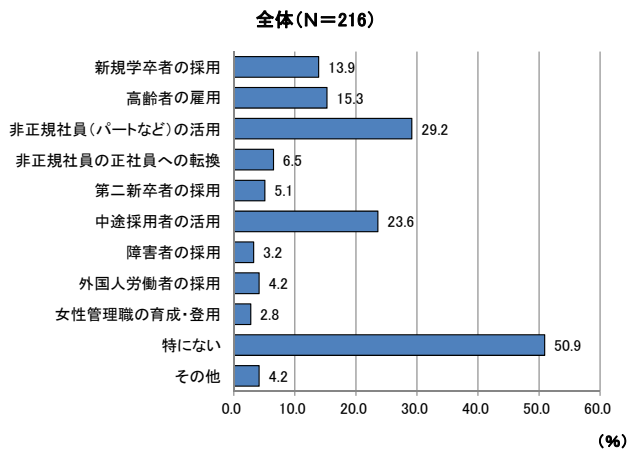


その他(N=18)

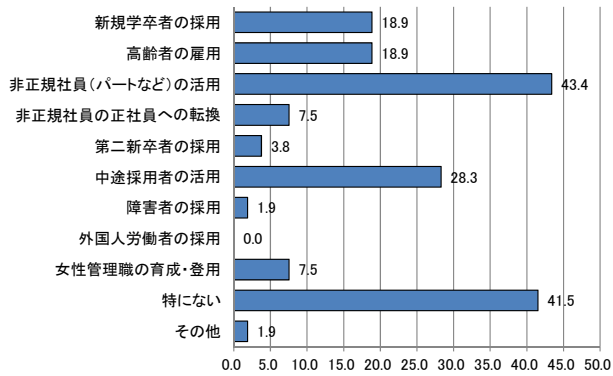


質問１０ 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。

× 質問１３ 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。

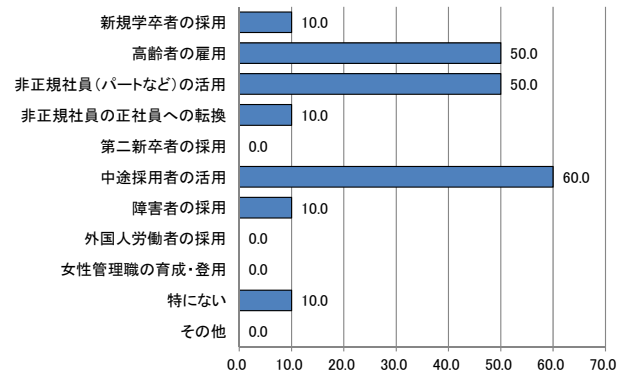


同業他社・同業店との競争激化(N=53)



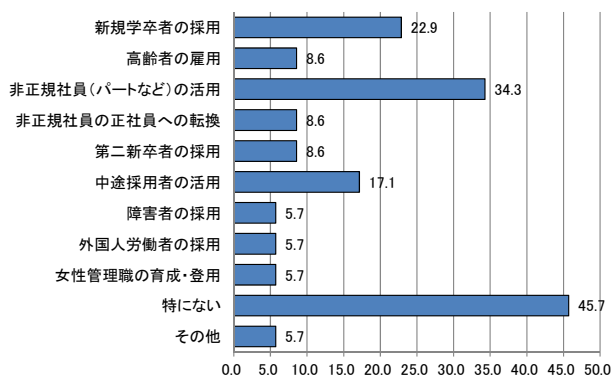
(%)

立地環境の変化(N=10)



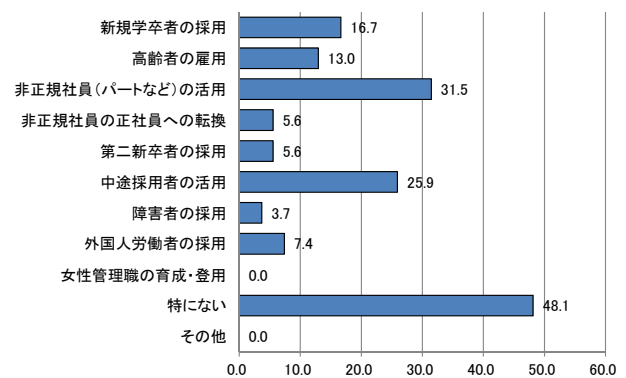
(%)

消費者ニーズの変化(N=35)



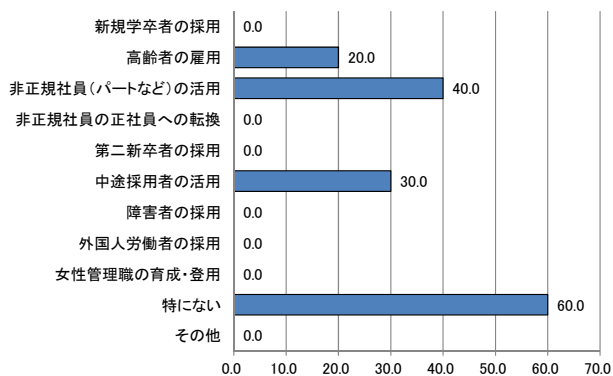
(%)

仕入価格・原材料価格の上昇(N=54)



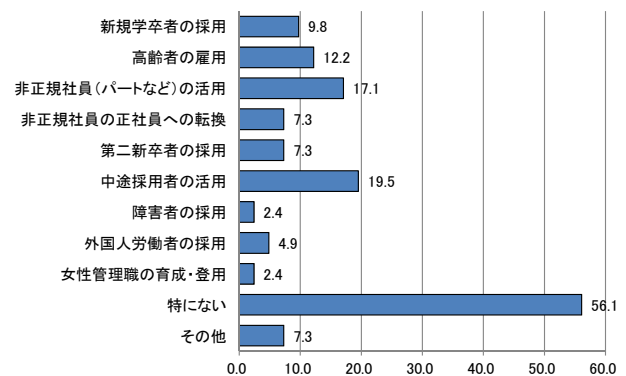
(%)

取引先との関係(N=10)



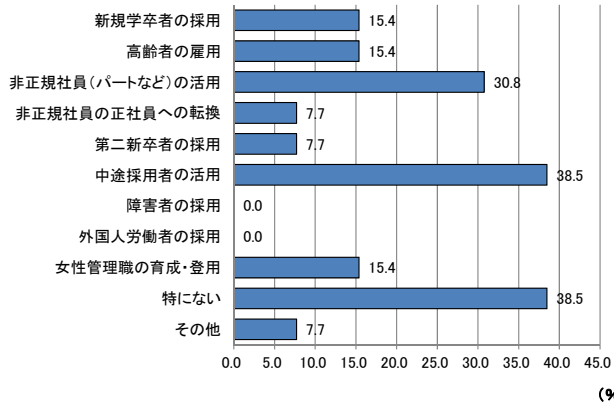
(%)

後継者問題(N=41)

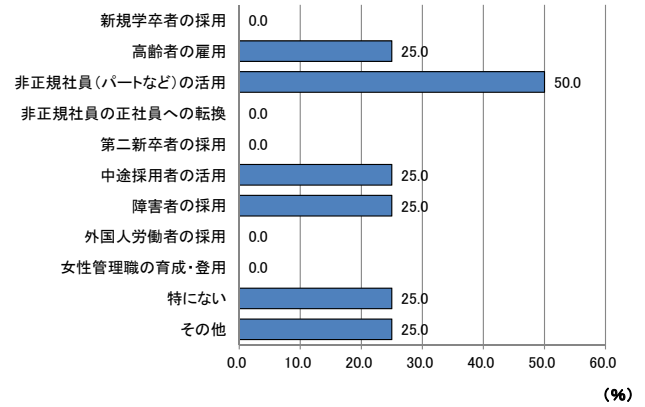


(%)

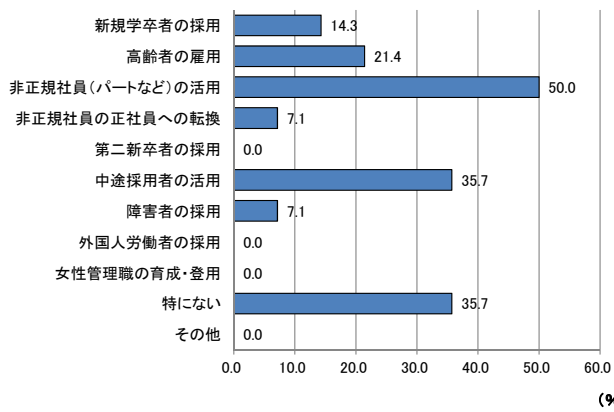
情報化への対応(N=13)



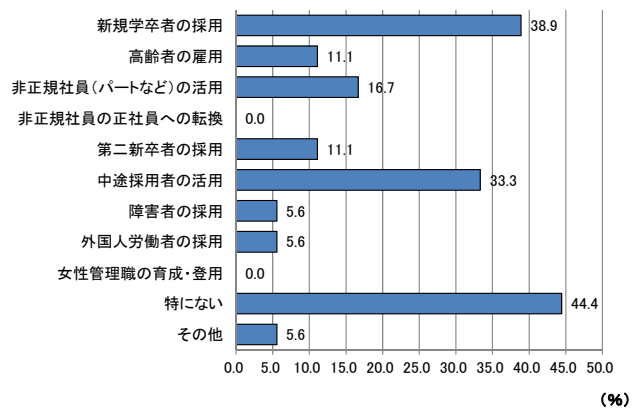
商店会の吸引力の不足(N=4)



駐車場・駐輪場の確保(N=14)



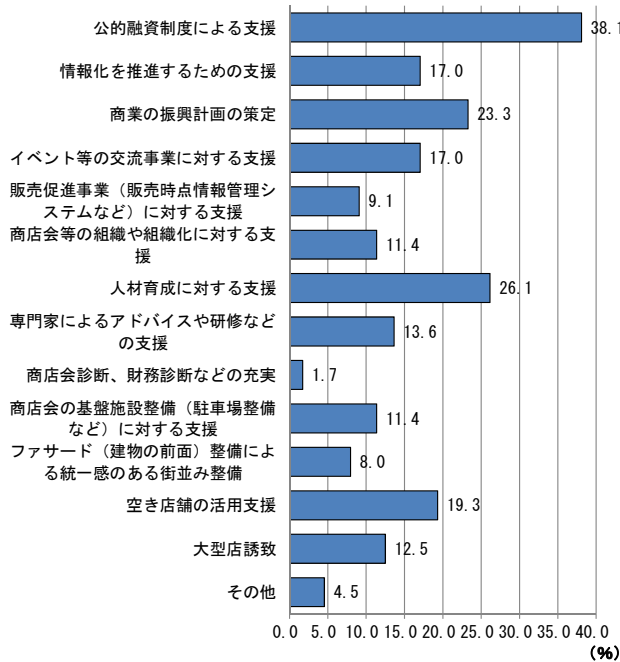
その他(N=18)



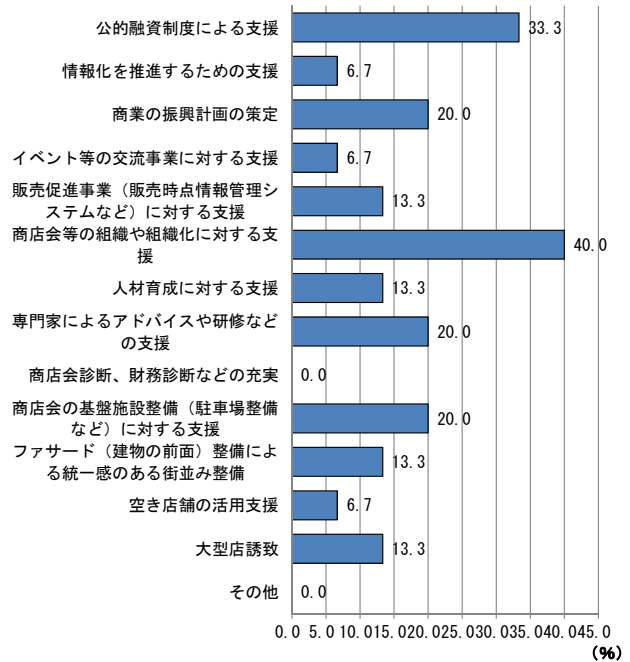
質問 10 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。

× 質問 14 白井市の商業施策に期待することは何ですか。

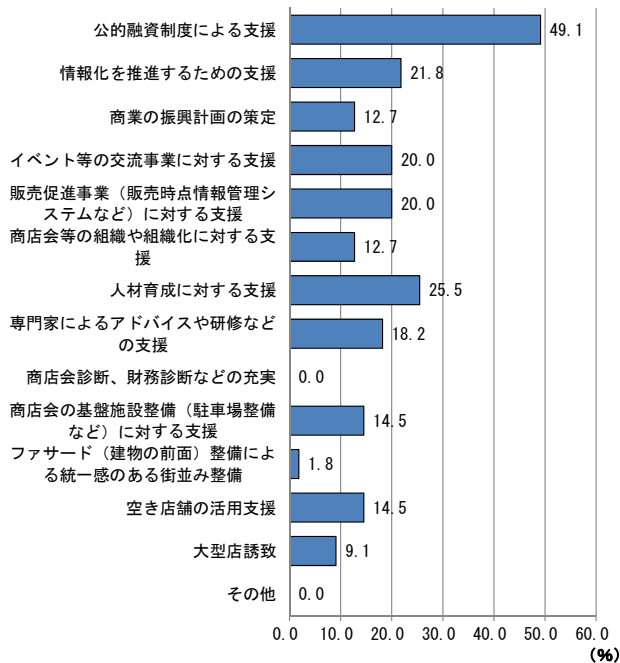
全体 (N=176)



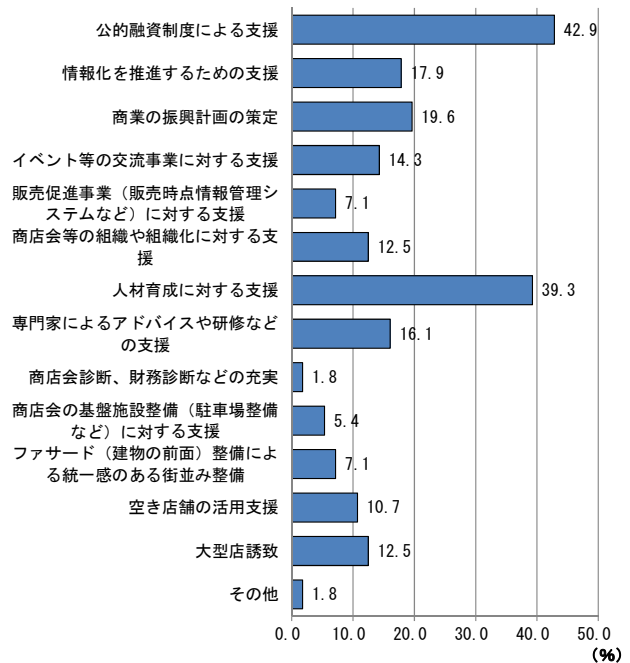
大型店・ディスカウントストア等の影響 (N=15)



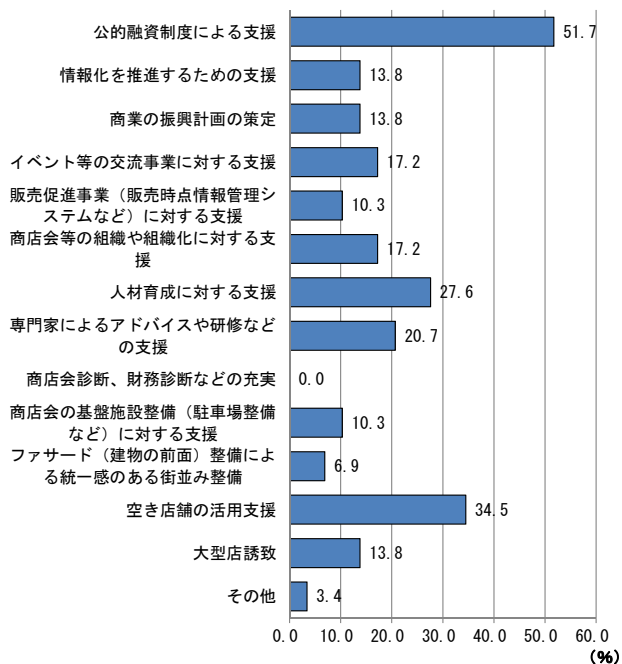
客数や売上への減少・伸び悩み (N=55)



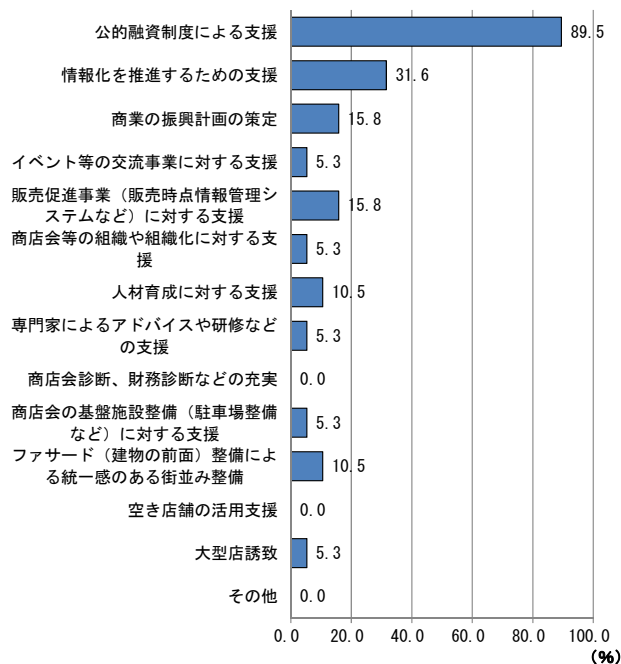
経費の増加 (N=56)



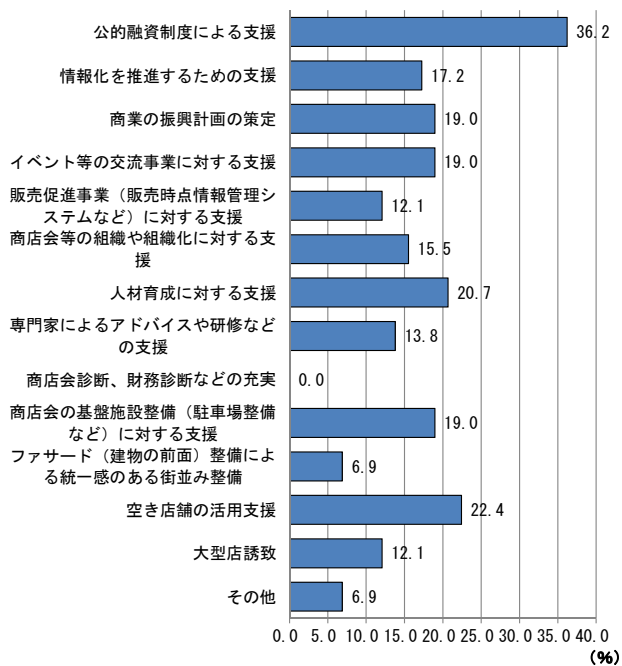
店舗などの老朽化（N=29）



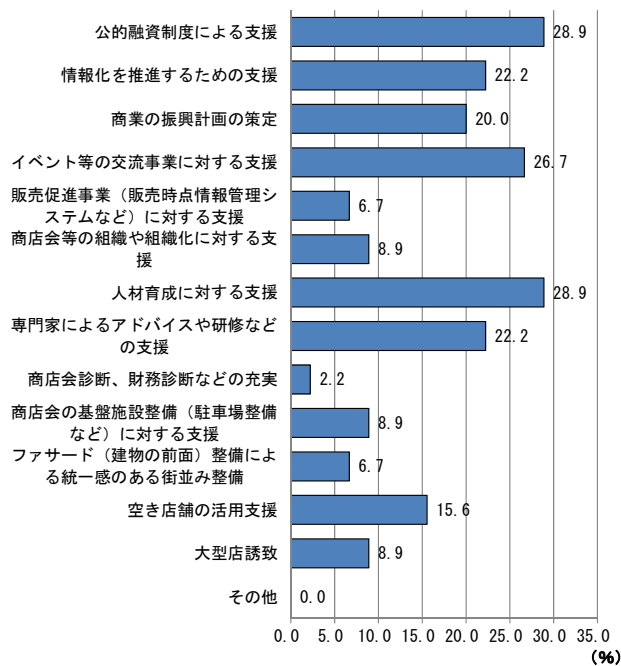
資金不足や資金調達（N=19）



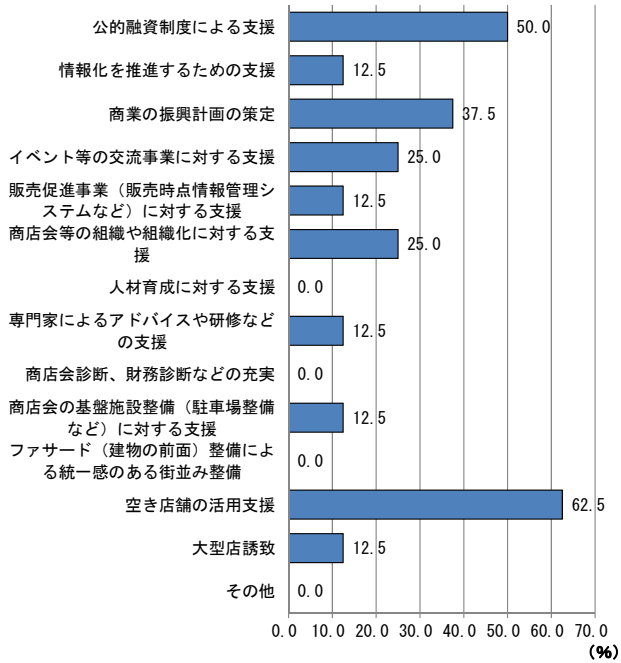
景気低迷（N=58）



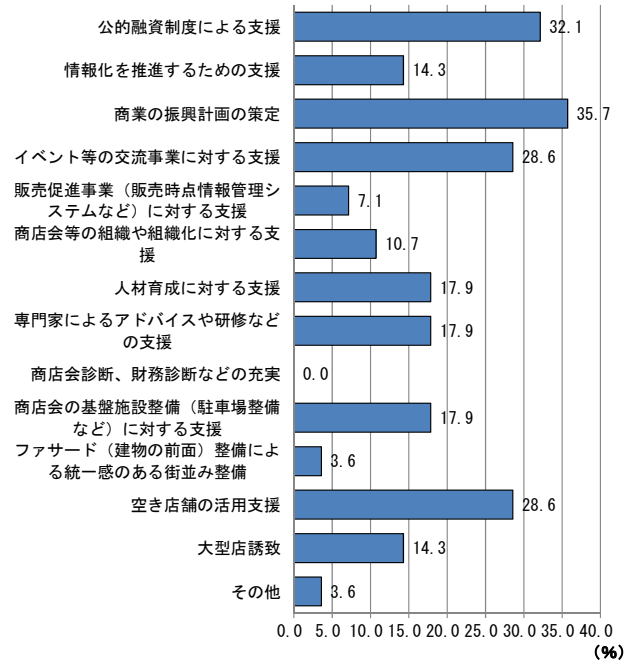
同業他社・同業店との競争激化（N=45）



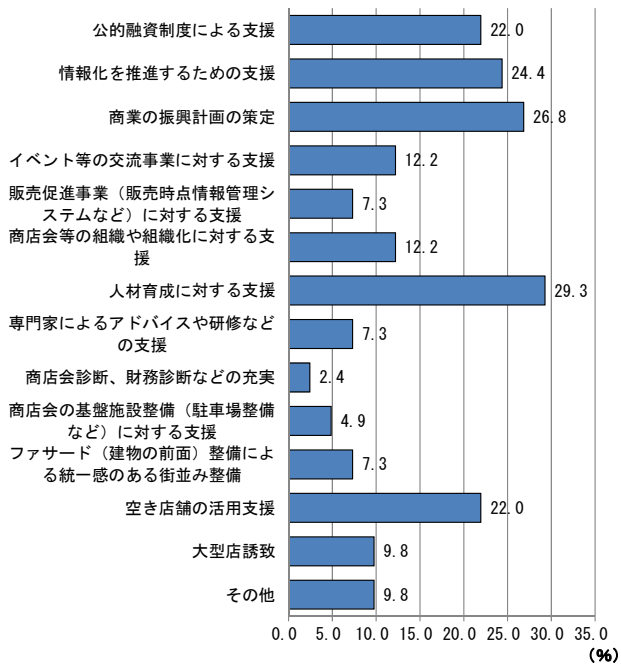
立地環境の変化 (N=8)



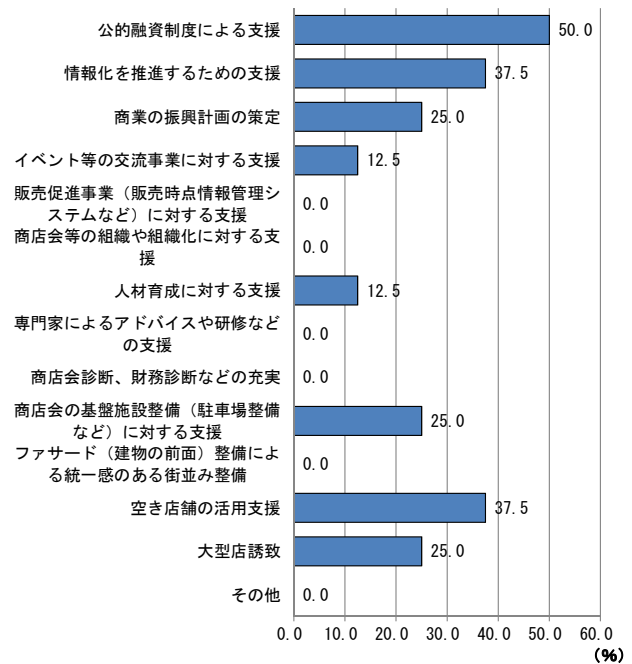
消費者ニーズの変化 (N=28)



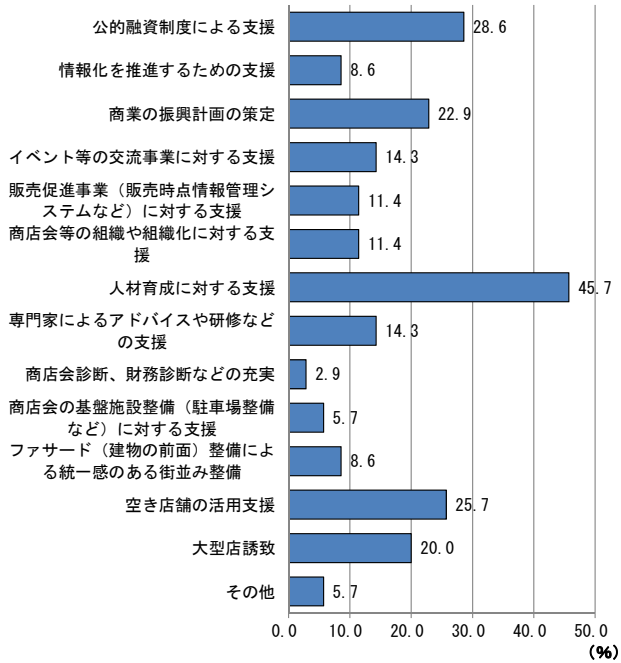
仕入価格・原材料価格の上昇 (N=41)



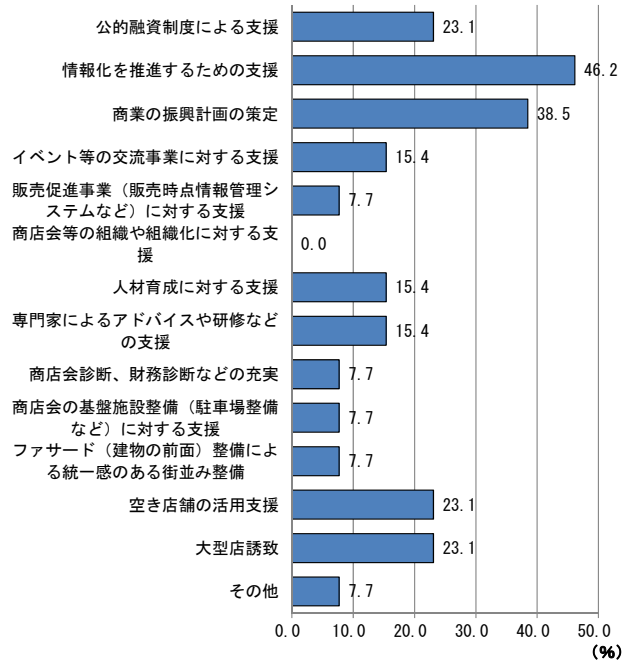
取引先との関係 (N=8)



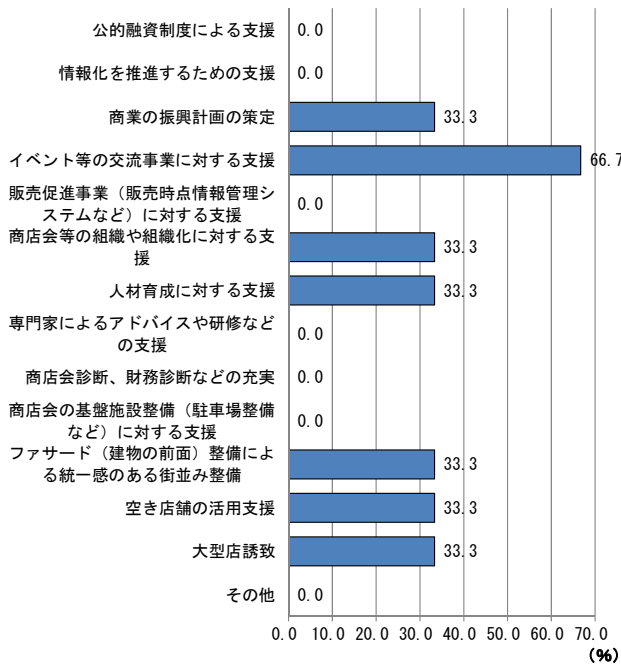
後継者問題 (N=35)



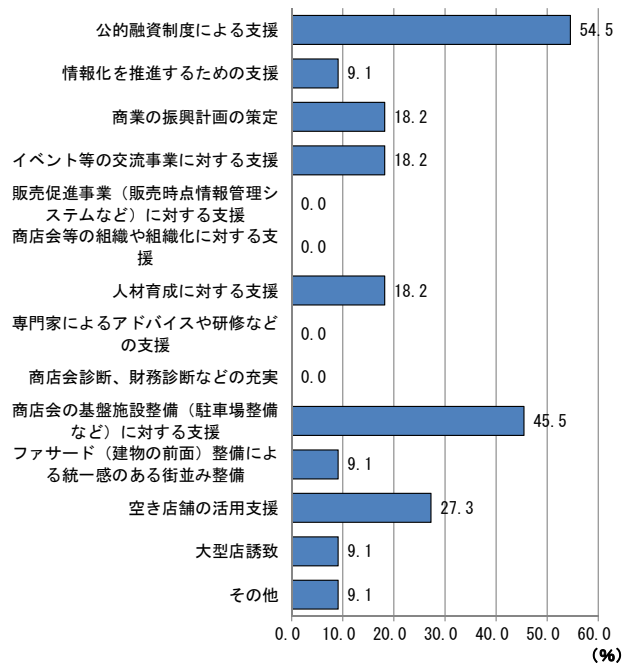
情報化への対応 (N=13)



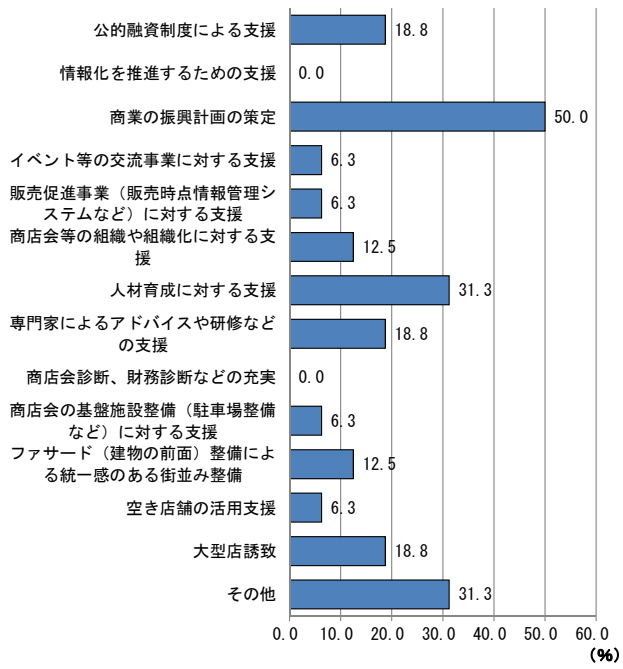
商店会の吸引力の不足 (N=3)



駐車場・駐輪場の確保 (N=11)

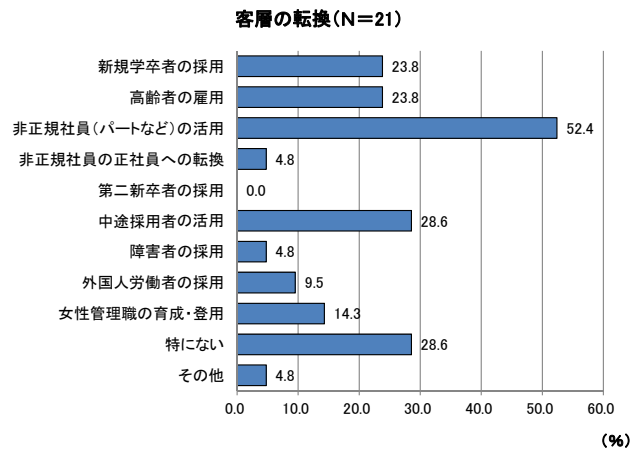
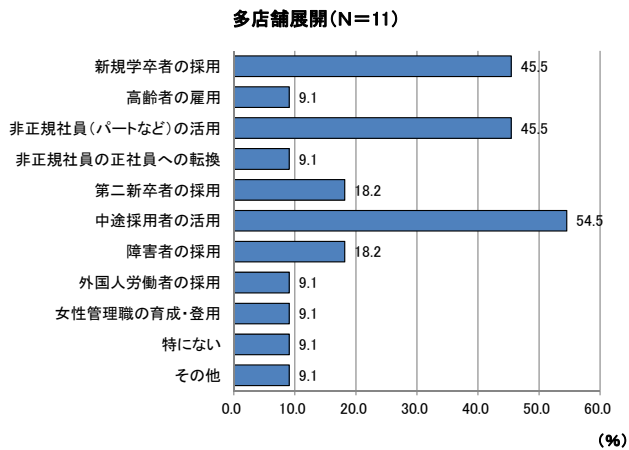
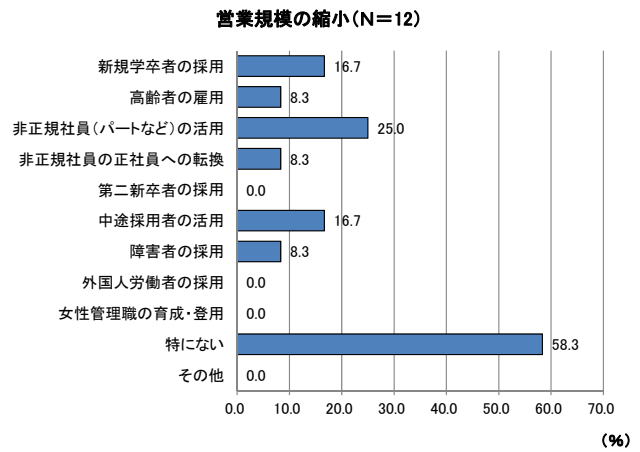
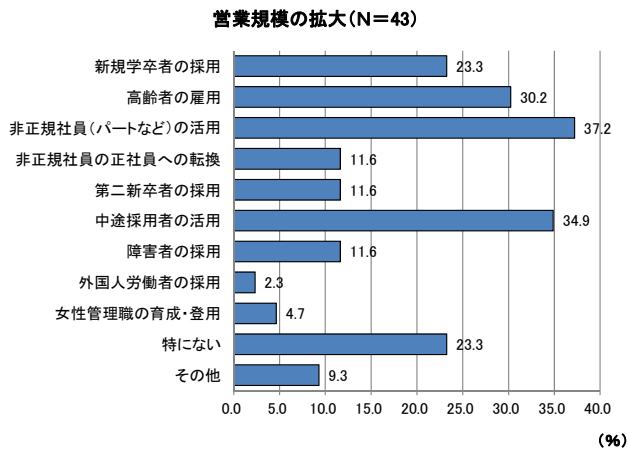
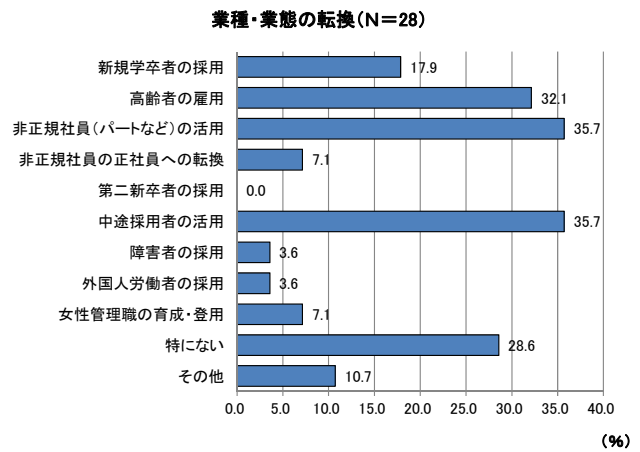
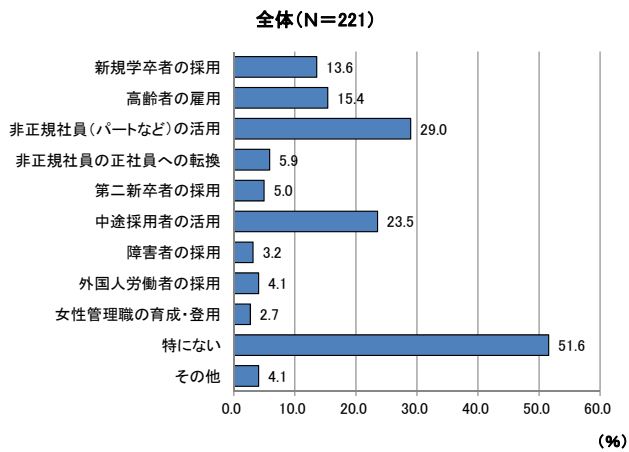


その他（N=16）

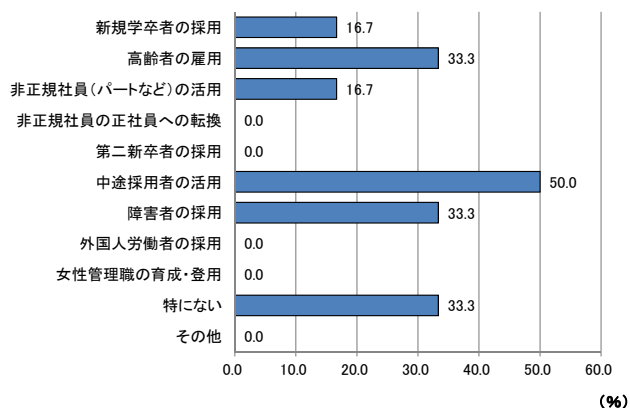


質問 1 1 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。

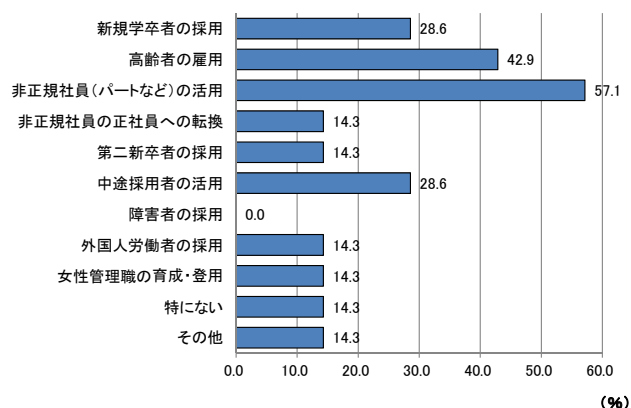
× 質問 1 3 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。



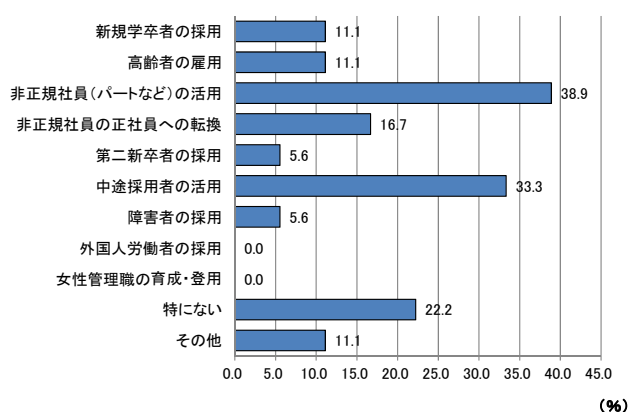
営業場所の移転(市内)(N=6)



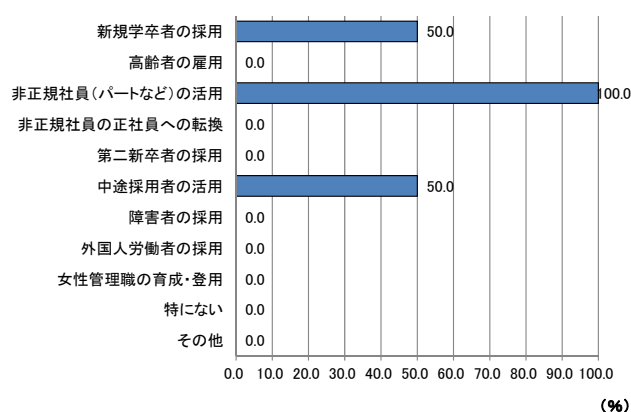
営業場所の移転(市外)(N=7)



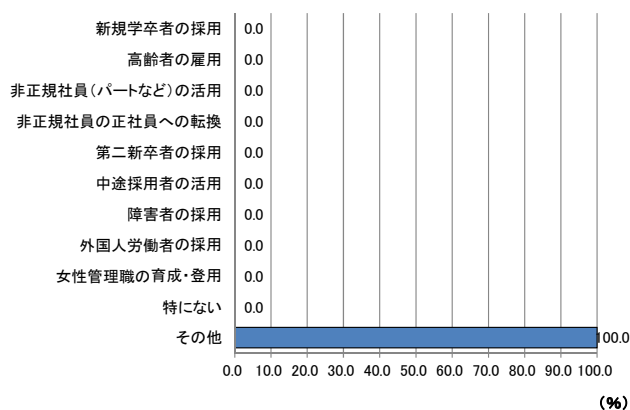
専門店化(N=18)



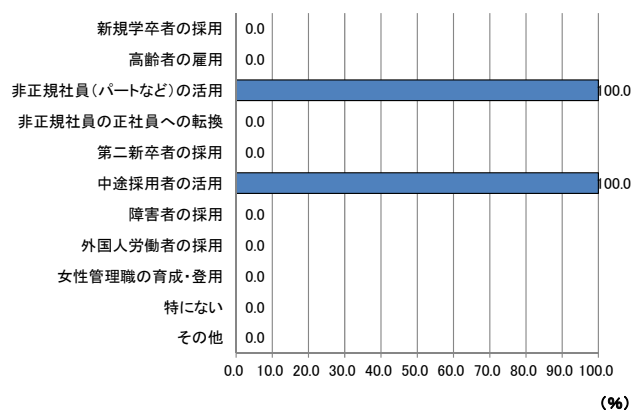
高級店化(N=2)



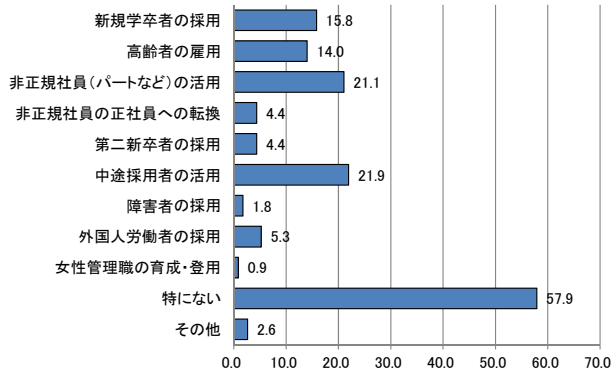
ディスカウント化(N=1)



フランチャイズチェーン等に参加(N=1)

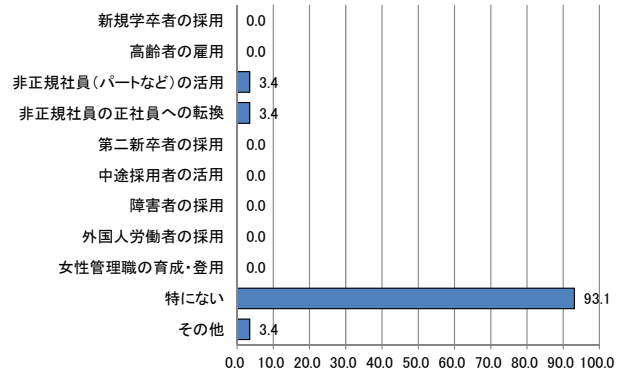


現状維持(N=114)



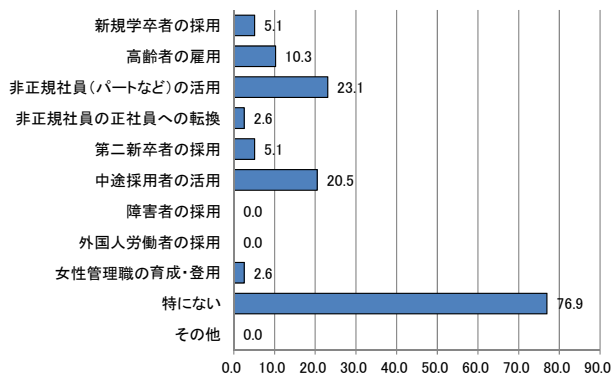
(%)

廃業する(N=29)



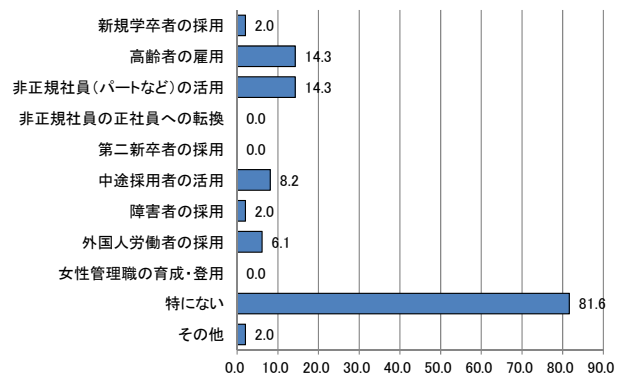
(%)

わからない(N=39)



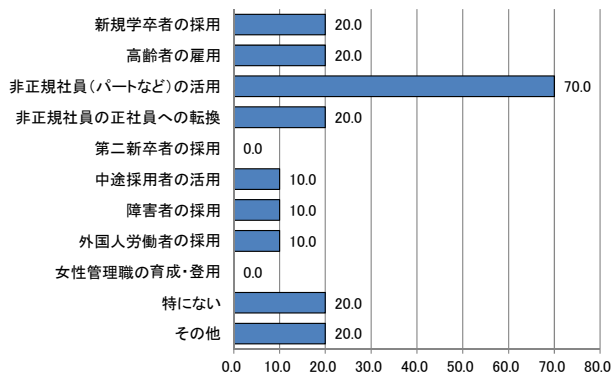
(%)

特にない(N=49)



(%)

その他(N=10)

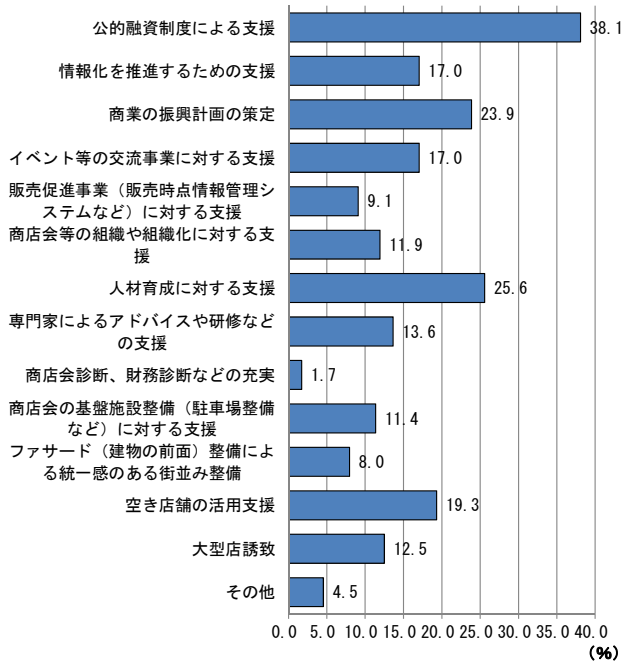


(%)

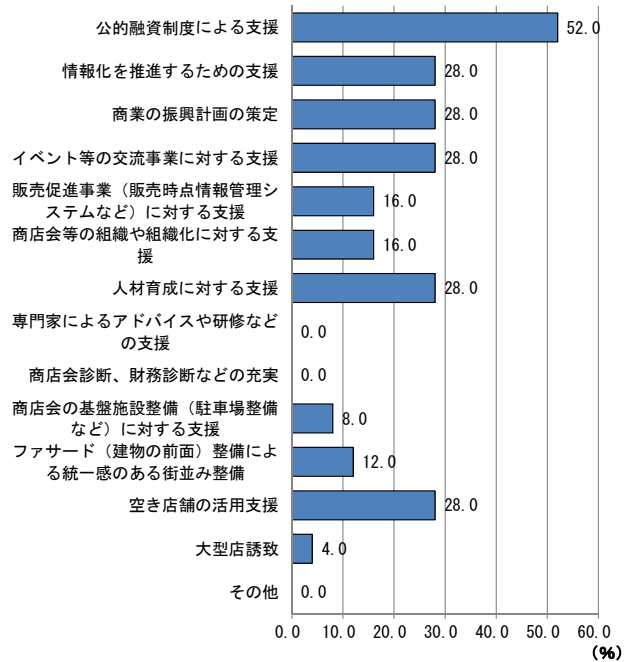
質問 1 1 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。

× 質問 1 4 白井市の商業施策に期待することは何ですか。

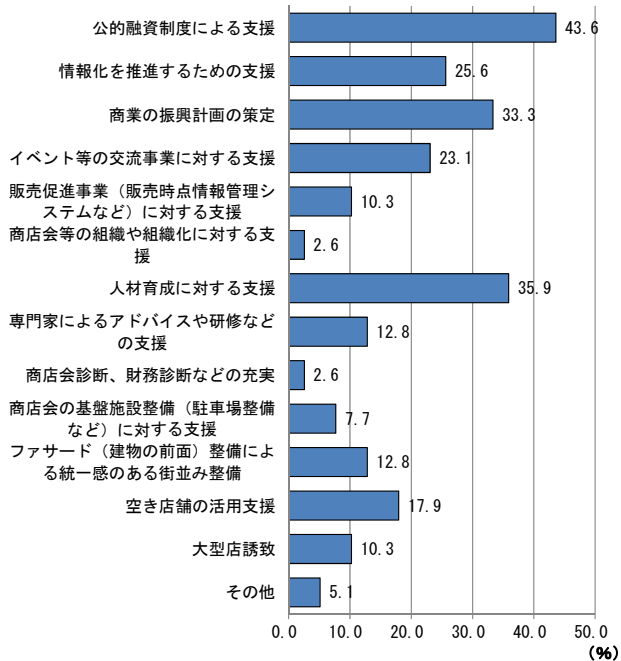
全体 (N=176)



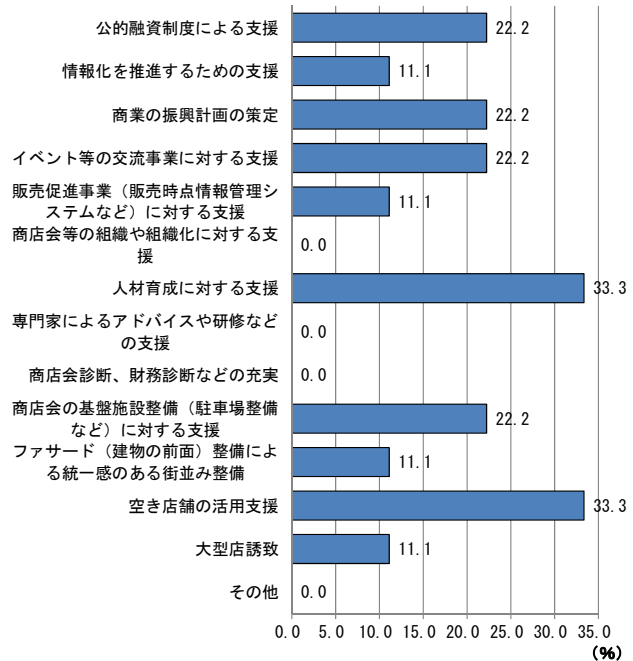
業種・業態の転換 (N=25)



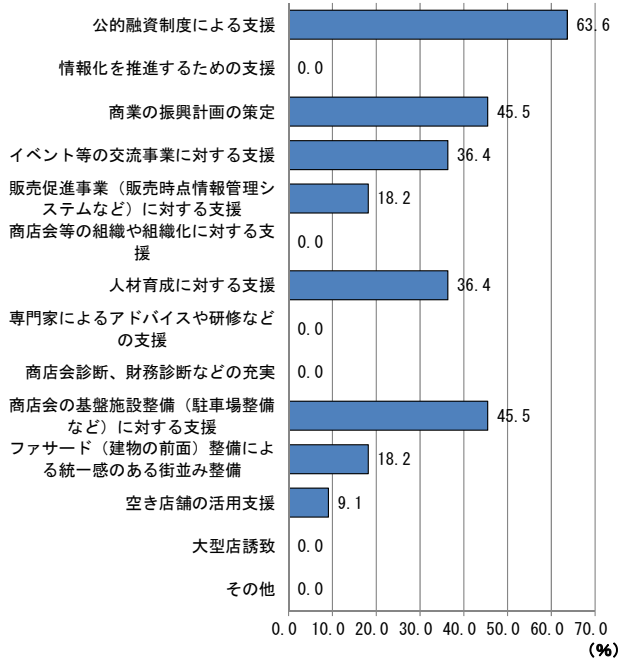
営業規模の拡大 (N=39)



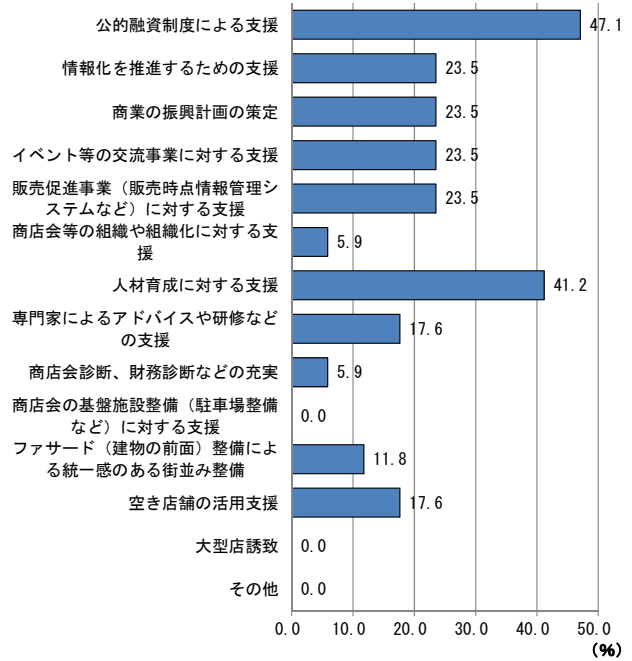
営業規模の縮小 (N=9)



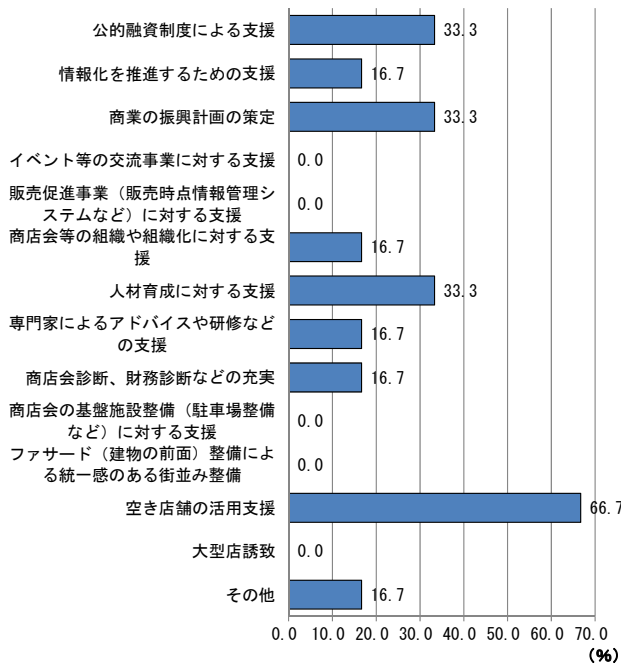
多店舗展開（N=11）



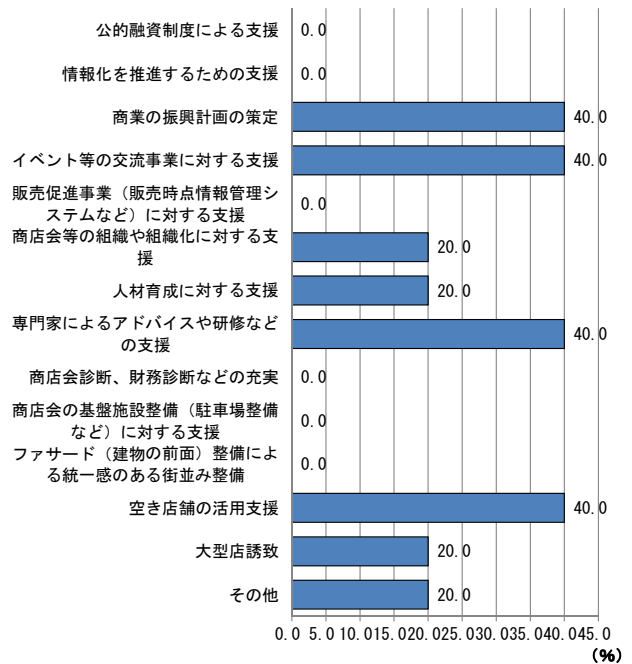
客層の転換（N=17）



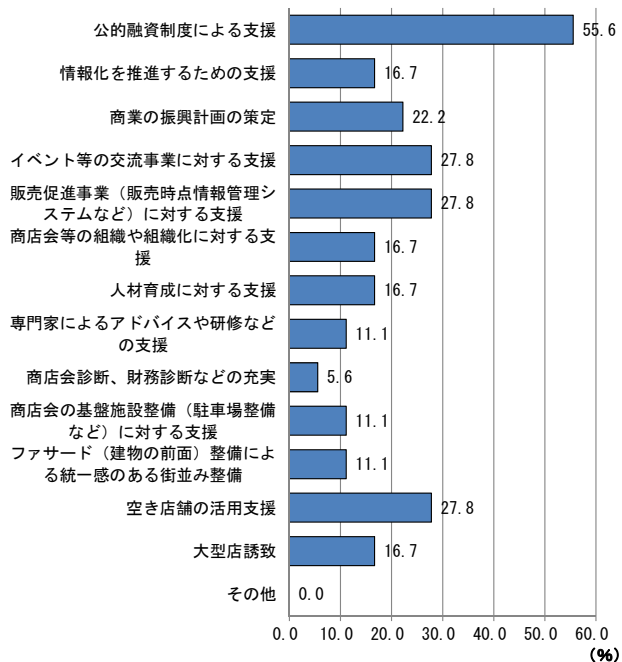
営業場所の移転（市内）（N=6）



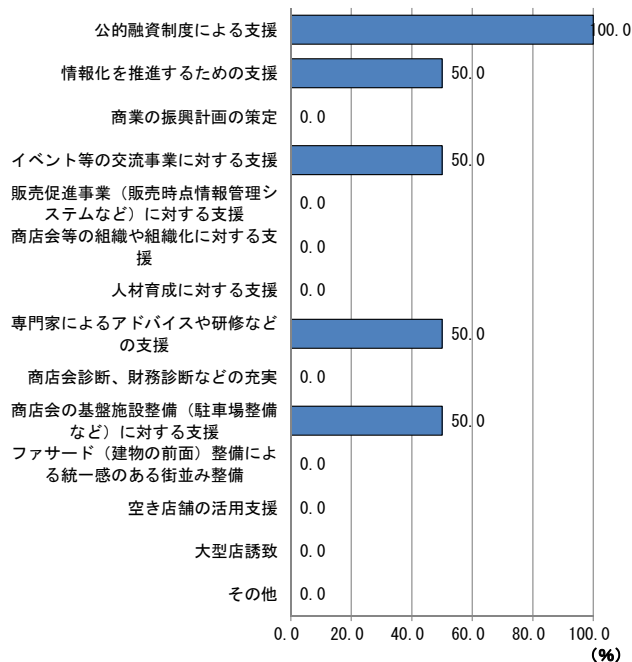
営業場所の移転（市外）（N=5）



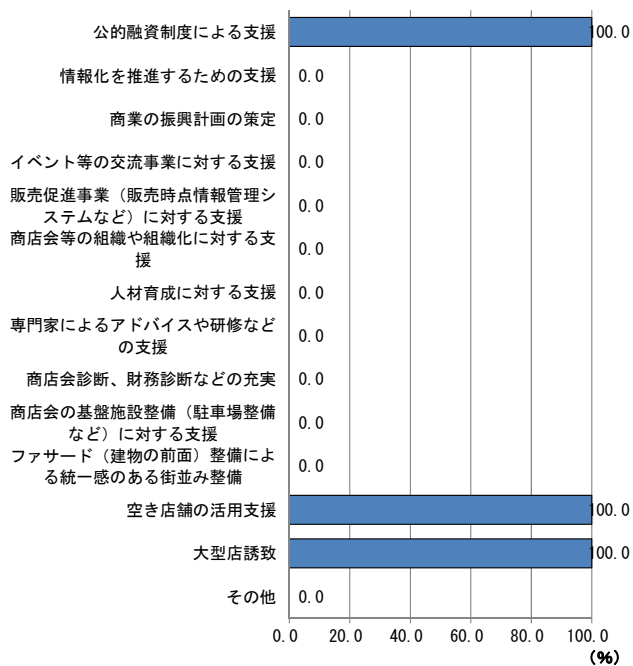
専門店化（N=18）



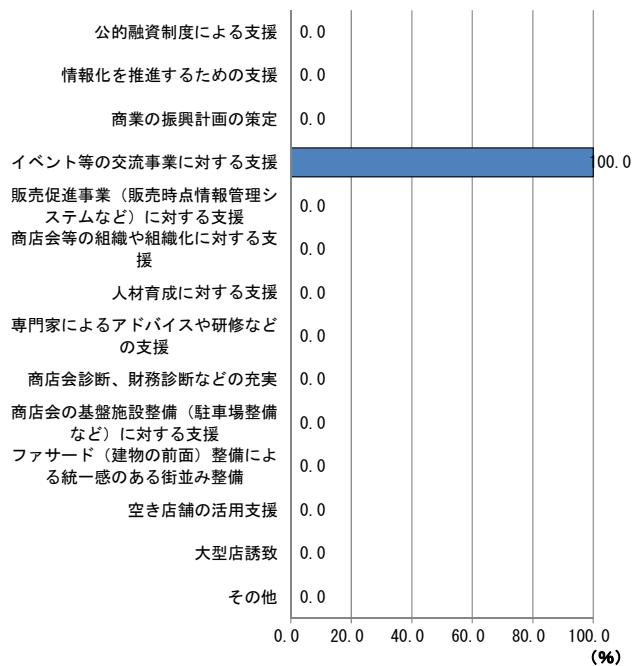
高級店化（N=2）



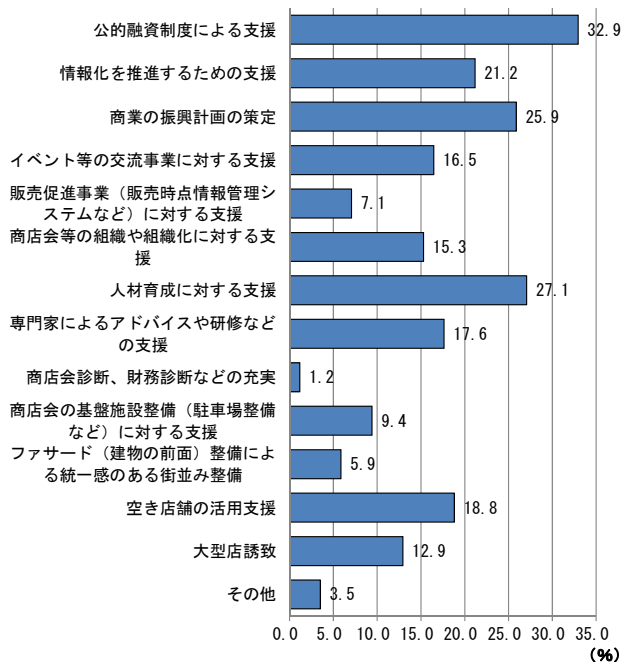
ディスカウント化（N=1）



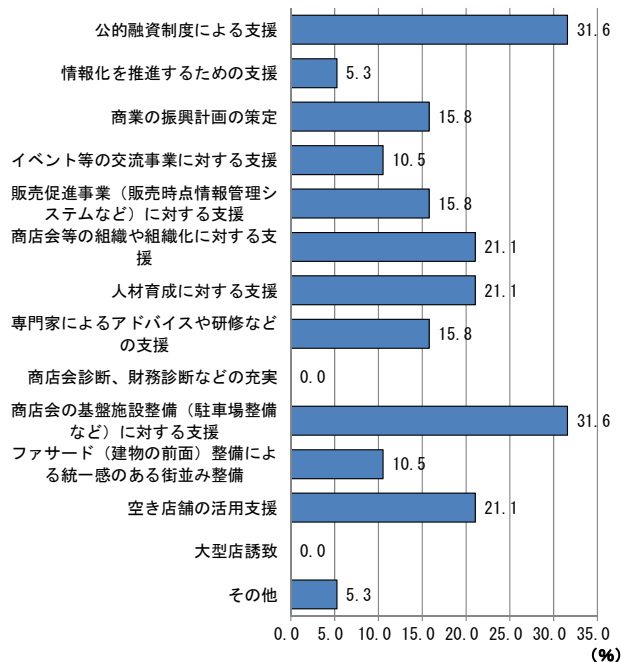
フランチャイズチェーン等に参加（N=1）



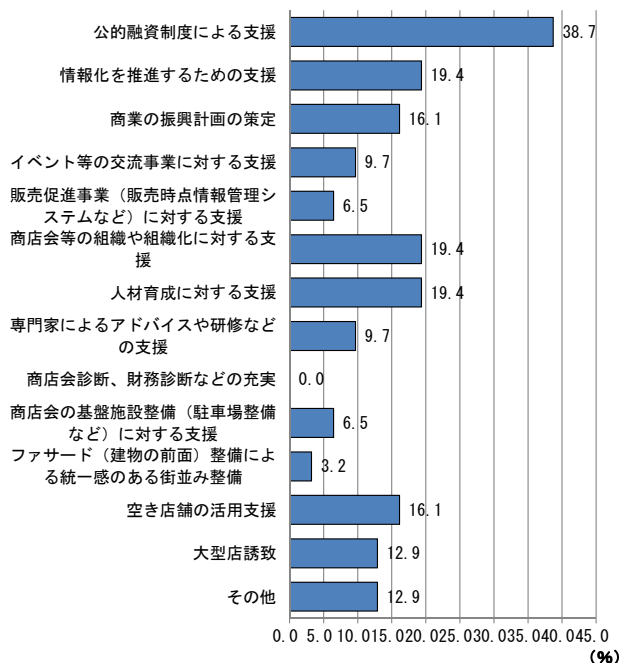
現状維持（N=85）



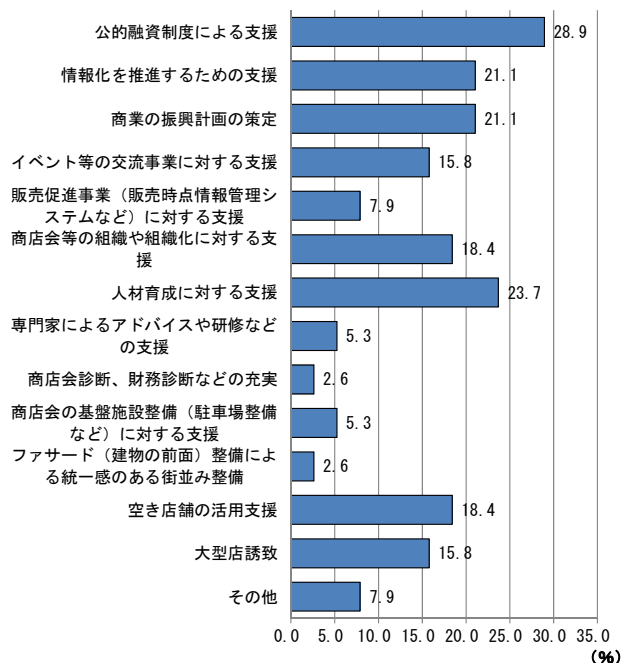
廃業する（N=19）



わからない（N=31）



特にない（N=38）



4. 記述回答

1) 農業者

10年後の日本の人口減少と消費の減少に伴う生産力の低下と、食料自給率の増加の為の農地の確保と後継者の育成
これまで、農家(農業)は、代々世襲的で家の跡とりが親から知識や技術を受けついでいくことが多かったと思います。一方、農家を取り巻く社会は、自給や相互扶助的な時代から大きく変わっており、収入面などから兼業化が進み、時代とともに後継者が減少し、農地は自給(自家消費)農作物地以外維持が困難になってきています。義務教育の段階から理科や技術家庭の一部としてではなく、農業を系統的な視点から、また、高等教育では、農業の知識や技術を発展させていくなどして、職業の選択肢として農業を促していくことが必要です。農地については、生産の場から資産的性格が強まっていて、売却や貸し付けが増えていきます。多くの農家は、自己資産としてその権利が保障されるならば、職業として農業を選択する人々に農地を提供し、生産する場として活用してもらいたいと考えていると思います。
農業だけでは収入を得るのは難しい。収入があったとしても機械を買うだけの収入がない。あまりにも機械が高すぎます。そして、私の所は、ニュータウンにあまりにも近すぎ、どう考えても農業をするのには難しいです。あとから来た人達があまりにも強すぎてまた市の方達もその人達の意見を優先します。あたりまえですが……。農業は自分達の自由になると思っているのでしょうか。皆農家の人達は泣いています。ニュータウンの中にあっても住宅地とは、間に公園などを入れ農業をする地区を宅地から少し離すべきでした。最初の計画はそうだったと思います。途中から変えたと思います。お金もうけを優先した県の開発の仕方がよくなかったと思います、以上
生産者が個家ごとの庭先販売、協同販売(スーパー店舗先)、農政課の販売の方法・情報・相談・指導の具体化、生産者の年齢、規模、性別、地域性、生産物等ヨリの販売の仕方。
農業は安定した農作物生産には欠かせない資材です。マスコミなどは農業を敵視した風潮があります(健康を考えた場合)私達は日本の農薬製造メーカー等の講習会に参加することがあり、国は残効性、安全性にかなりの規制があり、人が一生食べ続けても大丈夫なガイドラインをもうけている、とのこと。特にテレビなどは視聴率かせぎの材料にやたら無農薬ばかりもてはやしています。人が病院、薬局から買う薬についてほろくに調べもしないのに。行政側も国産農薬の安全性についてもっと公示して欲しい。
農業振興計画をつくり農家、市民が連携協働して明るく活力ある農のまちづくりを進める。
・消費者側の発想でマーケティングし、生産・販売に一貫性を持つこと。 ・売り込み先を絞ること。商品としての個性を明確にし、他産地との「違い」をアピールすること。 ・鮮度維持と見た目が大事。 ・自分が何をしたいのか、経営の方向性や戦略を決めること。 ・ブランド商品にしないこと。→ブランドに甘え高飛車になる→技術が落ちる→消費者は去っていく! ※輝くための努力を怠らないこと!
今後の農業とはなく農業は収入が思う様にはならず、むしろ税金の心配もあり私達の代でやめたいと思う。
販売先の確保
魅力ある直売、経営ができない農家は減んでいくだけだと思います。格差の是正が課題だと思う。農業だけでは食っていけない。もし不慮の事故にあっても他人は何もしてくれないでしょう。もう少し地目変更を緩やかにしないと厳しいと思います。様々な分野の視点から考えないとだめなんじゃないでしょうか。(農業だけではなしに)
果樹、野菜も加工品にして常時販売出来る物の開拓
農業は希望により行ない、自己生産でよい。それより道路や水路を健全にしてほしい(河原子道補道をコンクリートにしてほしい、ガス屋の前)
農作業に対しての理解と協力

① 安心、安全、美味である事(農薬、肥料、等の記帳記録) ② 商標権、種苗権を登録できる新品種の育成(近年、農産物でも種苗法で良い品種でも作りたくとも、県外持出禁止が多数出ていて作れない) ③ ハウス、雨除け栽培(雨の日も雨ガッパを穿ないで作業が出来れば、週2日の休みが出きるので、後継者も喜んで後を継いでくれると思うパートさんも農繁期だけの雇用では人手不足でなかなか集まらないが通年雇用すれば来てくれる人は大勢いる)
家も同じですが後継者がいないので、いずれは農業をやめるつもりですので現在の条例(農地は農地でしか売れない)を廃止して欲しいと思っている農家さんが多いと思います。
理想像ですが…? ① 儲かる農業の推進 ② 魅力のある農業の推進 ③ 若者が注目する農業、集う農業の推進 ④ 消費者と生産者の交流の促進
10年後も白井市の梨の特産品を守りたい。孫も高校生ですので、農業を守るには後継者に土地(将来規模拡大する為山林も)の相続権を80%位持たせ、さらに相続税の減免が必要です。機械融資制度の充実大規模経営の指導、農作業を手伝うボランティアが心要です。農業は国の基ですので、強く要望します。
農産物安すぎです
白井なしのブランド化、現状では各農家が独自に作っているが、肥料や農薬散布など、一定規準を設けてそれに適した梨のみ「白井なし」のシールを貼るなど他産地と区別する事でより有利に販売出来ると思う。
近隣の群馬県川場村が村の維持に施策を推進しています。春と秋に訪ねますが、地産地消を実施している村で、今では関東地方から訪ねる人が年々増加しています。“道の駅田園プラザ”は人気度全国 No.1 を続けています。村人の交流の場と消費の場になっています。隣接には村営のホテルもあり、村の維持に努力をしている自治体と尊敬しています。酪農はヨーグルト、ベーコンを村営加工場で、販売は道の駅、農産物(りんご)は村営のパン工房で、販売は道の駅。見習う村であると思います。生産と雇用を村民が実施しています。白井市も市民を含め施策を考える時期だと思います。
今後の白井の農業について ・ 先ずは良質で安心できる農産物の生産を第1に考える。 ・ 生産者と消費者の意見交換の場があっても良いと思う。 ・ 振興条例をベースに、消費の拡大の検討をしてみてもどうか。 ・ 10年後には、農業の労働力不足は、大変深刻な問題となるので農業従事者以外の人材の活用を今から考え、実施して行く必要があると思います。 ・ もうかる農業にしていく為には、販売方法等々検討必要でありその為には、野菜、果樹、水稻の農研の更なる活性化、研究必要 ・ 農業委員会のメンバーにより、協議会等がもたれて今後の白井農業のあり方について、話し合ってみては、どうですか。
若者が楽しみ喜んで農業に従事出来るようにして、生産物の向上につなげればよいと思います。
1. 農道(横道)の舗装化 2. 市内外環道を(北側は山下公園から、平塚)、今井、富塚、中木戸(菊池医院までは出来ていると思う。)、北総病院前の道路(八木ヶ谷地先に行くと思う。)、南側の外環道の舗装化(船市、八木ヶ谷地～富ヶ沢、富ヶ谷、法目、長殿道の舗装かを?)
農業が出来る土地保有者が白井市を離れず、農業経営で生計をたてる事が出来れば農業に潤いが生まれると思います。白井市＝梨というように、有名になる事も大事ですが、土地を宅地に、荒地にしないように農地を大切にしたいと思っています。
今回の農地法は相続税の時ほどの様にしたらよいものか？税金も払えなくなるのでは？
白井の名産である梨をもっとPRして位置付けをレベルアップする。これ以上組合員数を減らす事のないように企画を望みます。

農業という産業を市民に知ってもらえるようにしてほしいです。
TPP 問題、我々は農家を考える。自動車は自動車を考える。牛は牛の肉を考える。米は日本は今まで 2 万以上時があったその時は昔は人におそわっての話であった。
こんな、アンケートを取って何になるのですか？もう先は、ダメなのが解っているのに…。子供達は皆外に出て行って、土地を守るだけで、大変です。これから空家が多くなるでしょう。子共もいません。市長、2 期に入って、何を考えているのですか？農地、田んぼは何にも転用出来ないのは、土地を持っている者には、地獄です。言いたい事は沢山ありますが、それは無理でしょう。お金、血税考えて下さい。過疎地になるのは目に見えていますネ…
市の広報などで、年内で生産される農産物(特産品)を旬の時期に掲載して周知を計る等を計画してほしい。(全ページでなく、半～1/4 ページ位で)
・各支部がまとまった、白井市全体の農業・農作物の PR 活動ができれば、白井市の農業がもっと充実するのでは？ ・農業機械、設備が高すぎます。もっとスムーズな農業者、後継者への支援をお願いします。
1. ブランド物の開発 2. 天候に左右されない農業への取組み
区画整理にて市街化になりそして、税金の問題、そして段々畑になり同時に妻が H. 14 年 6 月に他界し私 1 人で耕作していますので、戦後 70 年周辺の農地も不耕作地が増えて来ています。本当に心配されます。農業が魅力ある産業に若い人が希望を持って仕事の出来る職業にする事が何よりで、少子高齢化人口減少時に向かつて改革が待ったなしだと思います
梨マラソンなどに梨を宣伝するのはとてもいい事だと思います。他の野菜なども何かのイベントに利用できないのでしょうか。
自家用野菜を作って五年あまりになりますが、農薬を使わずに作物は売れるものはできない事が判明。新鮮な作物を食することの幸せのみ痛感致します。
耕作していない農地を生かせる方法を考える。
お米のお金を安定させてほしい。
現在、コメ作りが一番困っている。このままでは耕作放棄地が増加してしまう。若い人達にも米作りの意欲がわく様になって行って欲しい。
実年収 600 万以上なければ後継者・担い手は出て来ません。その為の農業経営は決まっています。補助金より、自前で耕地整備出来るようにして欲しい。(補助金付整備はムダが多い)不耕作地を持っている農家は課税を 10 倍以上にする。
今はさまざまな野菜が輸入されているので安くて捨てる野菜が無いように少なくとも安定した価格で出荷する事が大切かと思います。
・地産地消の観点から、学校給食に白井市内の農産物を使用。子供達に農業の大切さをアピールして欲しい。 ・白井市外では白井梨が余り知られていないので「スモウ」の景品に出すとか宣伝して欲しい。メディアをうまく使って宣伝して欲しい。
近所で野菜の無人販売を見ると、消費者が新鮮で顔の見える物を欲しているのがわかる。我が家は果樹の直売を業としているのでそれ以外の時期は直売所を使用していない。八百屋さんや、小売店と競合しないように利用できたら良いと思う。あと、やおばあくのような施設を盛り上げられたらと思う。
現在の農業従事者の平均年齢は 60～65 歳位だと思う。このまま 10 年後、20 年後と考えると非常に不安だらけである。日本一の梨の産地がどうなるのだろうか？考えただけでも恐ろしくなる。これは白井市だけの問題でないことは十分承知してはいるが、それでも不安である。白井市の農業のあるべき姿をどう考えているのか、役所の方の意見を是非聞いてみたい。残された時間は長くありません。行政と生産者がお互い真剣に考える時期にきていると思います。
水田は深い所は植えてくれません。植えられない土地はどうしたら良いのでしょうか？

・農地保全対策。後継者がいない農地を安心して貸せる仕組みが必要である。 ・安定した農業収入を確保するため、農産物の品質向上、人材の育成、販売等、レベルアップするよう個々が意欲を持ち、市もその営農について様々な支援を試行願いたい。
私は、梨と米を生産しているのですが、梨においては、市民へのアピールが重要だと思います。白井→「梨の里」という認識がもっと高まれば白井梨がブランド化されるのではないかと思います。行政にも、もっとPRしていただきたいと思います。生産者も名に恥じない様、技術を高めて、良い物を生産できる様がんばろうと思います。
・安全であること、新鮮であること、地場産であることを、もっと主張すべきと思います。 ・「安全」「新鮮」「地場産」をダイレクトに表現するのではなく、キャッチコピーや、ここだけにしかない表現を探す必要があると思います。
作物の技術向上は第一ですが、加工技術の研究・販売が確立されると良いと思います。
国の方針により、工業製品を外国に売り、農産物を輸入するため、農産物の価格が安い。→農業をやっても利益が出ない。→農業ができない。→耕作放棄地が増える。若い人に農業をすすめられない。→後継者がいなくなる。→やがて農業はごく一部の会社経営だけになる。 ※10年後で言えば、生き残りの老人農業が続けられる。そういう人達の農産物を販売する場所や、流通を整備してほしい!!(やおばあは一部の人の意が強く、不公平だと思う。)
・個人の農業技術の向上 ・市やJAなど関係団体とのPRの強化 ・生産者ということだけでなく、農業経営としてとらえること
16号ぐらいにひっそりある「ヤオパーク」ではなく、西白井、白井、桜台地区に1つずつ、目立つような販売所を作る。単なる値段競争ではなく、農家と消費者が直接つながって人間関係で売り買いできるのもいいと思います。購入者が農家を訪れて、作っているものを見たり、地産地消を目ざすなら、白井市民が生産者と消費者が顔と顔が見える関係が必要かと思います。他の地域にない、独特の野菜、果物があるといいですね。白井の土地に合う、いろいろなものを試みに作り合う研究所があればいいです。(私は、99%他の仕事をしてきたので、農家として言う資格はないのですが、梨だけでなく梨以外のものを早く開発して、魅力ある白井の農業になることを願って少し書きました。)
農業の必要性、重要性に対する市民の理解による地産地消の推進。
農業者と消費者の相互理解を深める為に、交流できるイベント等を市が主体となり企画したらどうでしょうか？ふるさと祭だけだと少ない様な気がします。
農産物の安全性を高め、生産者の収入の確保、消費者への安全な農産物の信頼
市内の農地利用については、後継者、担い手の不足で荒地となり、作づけができない農地が増えると思う。これを防止する為行政が積極的に農地利用を進める必要があると感ずる。
梨、果樹等の特産物になる物を作っていないので何もない。むしろ農地で使わなくなっている土地については面倒な規制を撤廃していただき、即刻売却処分したい。正直、農業は将来を考えても無理であると考えます。
農地と宅地(新しい)が整理されて無い場所が多くなり農作業がやりづらくなって来ている(特に薬剤散布等)
農業に一発逆転の発想は無いと考えます。そもそも薄利のうえ重労働ですので近年の生活費や教育費の高騰と相まって就農に対する大きな壁となっていると推察いたします。市の政策として希望するのであれば、強い農業とか大規模経営とかの学者的発想でなく(日本型)(白井型)白井市に適する農業とは何か？政策とは何か？を考察いただけると幸いです。食とは何か？攻めて戦う物なのか？資本主義の中にポンと放り込んだままで良いのか？衣・食・住なのですから。市役所スタッフ皆様の活躍御祈念申し上げます。

2) 消費者

八千代 道の駅を参考に、長所短所を分析して、市内の生産者が参加可能な商品の選別と指導を基礎として、消費者を如何につかむかを研究推進することが、重要かと考えます。市内の農産物を発展させるためには、生活必需品の確保と並行して、換金性のある商品(販売機能を利用して収入を増やす方法、それは道の駅方式や市民のみならず、大衆が参加出来る総合食品ホール等の確保が、市民に活気と生産者所得の向上につながると思います。産と消費が一体となった魅力ある販売所があれば、生産者が何を生産したら良いか、収入向上には何を栽培したらよいかが、見えて来ると思います。
緑の多い白井市にとって、農地はとても大切な物で、生産物も 野菜・有名な「白井の梨」と皆様が、意識を充分に持っているのですが、残念なことは、意外に道路の狭い場所に農地をお持ちで、その道路が、交通量(車)がとても多い、通学路でもある場所では、歩道の余地もなく大変危険な思いをします。このような場合は、何か良い案は無いものかと案じます。
白井ブランド野菜として、道の駅などの様に販売所を常設してほしい。
・ 日本一の梨の産地であり続けられる様、地元民が積極的に購入・消費する。 ・ 東京から近いにも関わらず、豊かな緑あふれる市であり続けるために、宅地開発等を最小限にとどめる。
梨を中心としたブランド(白井)を守り広めるため、梨農家への支援を考える。(人・販売方法等) 例-1 農繁期には、ボランティアを含む、町全体での支援など -2 白井産農産物を購入し、他地域へ送る場合(お中元に梨を送る場合等) 先に実施している地域振興券の利用など、農家・消費者共に利益になる方法を考える。
新鮮で安い農産物と果樹をたくさん作っていただきたいです。
サンレー(野口)廃材等処理、フジコーなど、ゴミ処理・置き場が多い。この付近の農産物は、きわめてイメージが悪い。自然環境に恵まれ里山としての景観も守り育てれば、農産物の評価も高まり、農家の未来も明るくなると思う。
若い就労者が各地区に定着し、地域を守り、活躍していただける事を希望します。
農業は、日本の命であるので、しっかりと支えていかないと、後継者が育たず、食料自給率が低下する。そこで役所がしっかりと隅々までケアしていかないとだめだと思います。白井の農業を、生かすも殺すも、あなた達次第です。しっかりした施策であれば協力します。
・ 交通(なし号の多方面拡大) ・ 駅前にたまり場となる公園整備・商店
宅地化が進んで、農地や梨農園が減っていくことが心配です。街の活性化と今の白井ののどかな雰囲気が変わらないことの両立を望みます。
日本一最高級品種化(ブランド化) 皇室献上品くらいになるまで何か核となる物を作る事が重要。全国各地から白井産品を指名されるような農業に、是非なって下さい。
農家でなくても誰でも参入出来るようになればいいと思います。(株式会社 etc. …)
若い人が沢山参加して欲しい。
未来の子供達の為に安全な農作物を生産して白井の住民に食べてもらい、地域の活性化を推進して農業に従事している人達にも作る生きがいと誇りを持ってがんばって欲しいです。又 白井の町の自然環境と景観を守り、住んでみたいと思う様な町作りをすれば、都会からも近いので、住民も集まって来るのではないのでしょうか。でも 運賃が高いのが、難題でしょうか。
若い人に農業の大切さを、又生きて行く為にはどれ程、農業が皆んなの為になるかと考えてほしい。若い時は、農業がきらいで都会に転出したが、年を取るにしたがい農業の大切さが分って来ました。今からは10年後は、若い人が、頑張ってもらいたい。
多様な仕組み(地産地消の推進・法人や組合も含めた多様な担い手への移行)まずは 生産性や生産力を高めることを進める必要があるのではないのでしょうか。
白井があまり知られていないので、白井をメディア等でとりあげてもらい、知ってもらうことが先だと思う。白井の有名な梨を、全国の人たちに知ってもらい食べてもらいたい。

白井の梨は、有名ですね。自然薯もとてもおいしいです。お祭りの時など試食すると、買いたくなります。こんなに東京に近いのですから、積極的に売り込みをしてください。自然体験もいいですね。
白井市は環境としては、とてもよい所だと思います。地域の特色を生かし、新規就農者を積極的に育成し、安全・安心な農産物を生産、消費する取組でシステムを作り、持続的な生産に向けて、進んで欲しいと思います。日本は、食糧自給率が低いので、危惧しています。そこにも貢献できる地域であると、感じています。
① 若い人たちが積極的に、農業に参加できる環境作りを推し進めてほしい。 ② 魅力ある農業の展開。
白井市内のスーパーで「地産地消」コーナーを設置してほしい。普段は買いたいけど地産の野菜を置いてあるスーパーが少ないため、なかなか買えません。現在、利益が少ないから農業をやる方が少なくなったと思います。作った野菜、米などを必ず売れるなら、農業をやる人はもっと増えると思います。“3.11”の後、健康意識が高い人が多くなったと思います。私のように買いたいけど、どこで買えるのを分からない人が少なくないと思います。是非、白井市内すべてのスーパーで「地産地消」コーナーをおいて下さい。お願いします。
1. おいしい野菜が食べられる。(トマトは、熊本産がおいしい) 2. 千葉産の肉、牛乳、アイス、などをもっとアピールする。 3. ソフトクリームにもっと力を入れるといいかも…(あまり濃厚ではなくただ甘いだけ、もっと牛乳の味を出せばいいかな) 4. トマトの皮などがかたいのもっとやわらかく、食べやすいトマトがよい。(子ども、老人にも食べやすいもの) 5. ヨーグルト(飲む)をつくる。 6. 梨はおいしいので、梨は10年後もおいしいままがいい。 7. 千葉の魚もおいしい。(刺身、焼き魚など)魚のアピールをする。
スーパーマーケットと提携し地産地消をし発展してほしい。
農業が盛んなわりに知名度があまりない気がします。全国的に有名な産地(例えば梨も…梨といえば白井とはあまり聞かないので)として知られるような所であってほしいです。
・ 梨畑が今の数より減らず、味も美味しくあってほしい。 ・ 新鮮な地産野菜を今のように日頃から食べてたいです。
大規模災害等に備えて新住民との共存を、図る。
農業の収入安定するシステム化や白井市ブランド化すれば生産者の育成と発展できるのではないかと思います。
農薬散布の時間は住宅地に近い農地では朝は7時前まで、夕方は5時以降にしてほしい。洗たくを干し終わったところに散布されるのはとても嫌である。共存するためには農家にも我慢してもらう必要がある。当然農業は人体や環境に悪影響をおよぼすものなので時間を厳守する条令をつくるべきである。
・ 白井市の産物であるから購入したい、と思ってもらえるようになってほしい。
・ 実のところ、梨と米以外の白井の農産物の実情を知らない。結局は、農家それぞれの自助努力と創意で、経営を成り立たせていく他はないのではないかな。
若い人が住みたいと思う街作りが重要で、(現在)このままの状況を観ると10年後は危うい気がする。農業を主に市政を考えるならば、大規模な改革を行なうべき
農業に感心はなく、普通に食する事に感謝です!!
子供と一緒に農業体験をしたり、安価で畑を借りて1シーズンだけでもやってみたりと、手軽に土にふれるようになれば、子供の食育や農業にもいいと思います。また、プロの方にアドバイスや相談ができると、よりやりがいがあります。小さい時に土にふれる機会が多いと、大人になっても興味があるのではないかと思います。

私は都内の会社に勤めています。以前は都に近い千葉の西端に住んでいましたが、マンション購入を機に、約 15 年前に白井に移り住みました。何故白井を選んだかといえば、千葉 NT 中央駅付近のような、首都通勤圏都市のような利便性を備えながらも、一步旧道に踏み込むと田園風景が広がり、水と土と緑を近くに感じられるこの場所が気に入ったからです。そのような場所で日頃から残念に感じていたのが地産農産物（なし以外）の選択し入手することの困難さでした。千葉 NT 中央駅近辺に直売所ができた事もありますが、すぐ閉じてしまったことも残念でした。茨城出身の私としては、この直売所がはやらなかった理由がなんとなく判ります。まず価格。近くの AEON 等が 198～398 円と、茨城の直売の 2 倍～3 倍と非常に高価な価格設定に対し、新鮮さだけを頼りに同価格にしても客は付きません。なぜならその程度の差なら通勤帰りの遅い時間まで開いているスーパーを選ぶからです。直売所の一袋の価格は 98～198 円、これに新鮮さが加ってはじめてスーパーと勝負になります。それから立地も重要です。茨城ではやっている直売所は、都市区画ではなく、田畑の真中や、山の中腹にあります。客は新鮮さを、商品だけではなく、周辺環境からも感じて購入を決めるのです。白井には多くの良い立地場があると思います。
・ 先は、地産地消の確立。青物市場経由のスーパーでの野菜の購入は、他の生産品に限る。・ 商社等の販買ノウハウを活用して、組織的な海外への販買に活路を見出すべき。梨などは有望な産物となると思う。国道 16 号と、464 号の交叉する立地を活用して、農産物をメインに各種施設を有する「道の駅」を作り、地域の活性化を！！
・ 都市近郊の農業が盛んな市として活性化させたい。 ・ 白井梨のブランド化をはかるため海外での評価を上げそれを国内に逆発信させてはどうか ・ 豪州友好都市に白井梨の生産を委託し、冬の時期に輸出版売するようなことも研究していただきたい。 ・ 白井都民であった定年退職者を地域農業に活用されてはどうか。
いつも新鮮で体にやさしい野菜を作ってほしいと考えております。
私は数年ですが海外で生活していました。そこで感じたのは、日本の野菜や果物のおいしさです。白井の梨を海外で販売すれば、必ず売れると思います。農家の方に、いきなり海外での販売をしろと言ってもどうしていいかわからず無理だと思います。そこで行政がレールを敷いて販売ルートを開いてあげればと思います。（現地の大手スーパーと契約して、販売スペースの契約まで行う。）売上の数パーセントを手数料として市が取るのもいいかと思います。海外での販売ルートも 1 つの活性化になると思います。
①若者と熟練した経験者が共に働いて活気のある農業。 ②地産地消で価格をおさえ、生産の顔が見える安全な野菜の生産。 ③農家の軒先きでの、無人販売も残っていてほしい。市内を歩いて買いに行くのも楽しいので。
スーパーの中に、白井産農業コーナーがあったら、とても買いやすいです。マルエイみたいな感じだと親しみやすいと思います。
質問の答にはなりませんが“やおば一く”などの場所をもっと充実して、白井の農産物をアピールしてほしい。現在では、種類にもよりますが、値段も高いし、品質や鮮度もそれに見合っているとはいえません。時々行ってみますが、あまり買いたい気分になりません。（残念ですが…）
近年、梨園が一軒々と閉鎖し、宅地が広がっていく中、10 年後は、田畑が無くなり、食文化が消えて行く思いが浮かんできます。若者の後継者育成を希望しますが、市としての助成があると、農家の子供が、やがて、後継ぎになるのではないかと。また、土地活用で、市の助成を使えば道が広がるかと思えます。たとえば、無償までは無いにせよ、白井市のブランドで白井市のスーパーに契約し、納品する、等条件付など、厳しいですかね。近年安く買う、質より量と言う方が多くなりましたのでね。農業を支援する立場で言うならば、都市開発にも歯止めを掛けなければ、産地がなくなる。近年、梨園が一軒々と閉鎖し、宅地が広がっていく中、10 年後は、田畑が無くなり、食文化が消えて行く思いが浮かんできます。若者の後継者育成を希望しますが、市としての助成があると、農家の子供が、やがて、後継ぎになるのではないかと。また、土地活用で、市の助成を使えば道が広がるかと思えます。たとえば、無償までは無いにせよ、白井市のブランドで白井市のスーパーに契約し、納品する、等条件付など、厳しいですかね。近年安く買う、質より量と言う方が多くなりましたのでね。農業を支援する立場で言うならば、都市開発にも歯止めを掛けなければ、産地がなくなる。

市が主導の「農業に触れる」機会をもっと増やして欲しい。土地があっても、方法がわからなければ、意欲が出ません。イチゴなど、子供が作って楽しい作物の講座があるといいです。貸し出している土地情報の公開も必要だと思います。小学生の子供がいますが、小さい時から野菜を作る事に興味があります。学校で大きな畑を管理して作物を作れたら楽しいんじゃないでしょうか？
・ 森に囲まれた自然環境の中の農業 ・ 農業に従事する人間が誇りを持って、自発的に仕事を開発できる環境を市政が見守る、築く。 ・ 農家が、自分の家が農業および農地を所有するだけのために、半強制的に頭から、無理矢理引き継ぐのはまずい→その為には農家でないもので農業をやりたい人間に、農地だけの為に高コストになるという事がないように、道を開いてやる。またテキセイ規模を配慮できる政策の要。
最近の近所を見てみると、梨畑の宅地化が多く見うけられる。宅地と農業の共存を考える必要があると思います。白井市の魅力は梨なので、梨ブランドが衰退しない政策をお願いします。
梨が特長農産物であると思うが、船橋のイメージが強烈すぎるので、何とか、日本一のPRを浸透させる努力が必要だと思います。鮮度の勝負をもっと自覚して、取った時間とか何とか、特長を出したらいかがですか？
今と変わらず、農業が、生産されていればいい。こんな意見しか書けず、申し訳ありませんでした。
梨以外の農産物でもアピールできると良いと思います。
白井産の梨は大変おいしく、毎年、楽しみに、近くのなじみの梨の農家へ直接購入しています。有機肥料で栽培していらっしゃるのと、やはり、白井市は梨を中心に、果樹を中心に栽培していただきたいです。あと、梨ゼリーやなしブランデーケーキも、イオンでたまに購入します。包装が地味なので、もっとセンスよくすると、中味はおいしいので、売れると思います。野菜は、新鮮なのがおいしいので、スーパーに、地元野菜をもっと置いてほしいです。学校給食にも梨や地元野菜を使ってほしいです。
市民の大部分は、農業以外に就業していることから、農業に関する知識に乏しい。農業に対する市民の理解を深めるための勉強会や研修会、情報交換等の機会を持つ必要があると考える。こうした活動を積極的に行ってほしい。→市民が評価する農産物生産、農業活動があつてこそ、他地域にアピールできる。
たくさんの果樹園の観光ツアー
白井市の“なし”が全国的に知れわたってほしい。またあらたなる人気な農産物の開発が出来ていればいいな!!
農業よりも、商業施設をもっと増やしていかないと、白井がこれ以上、発展することはないと思う。
地場の野菜をこれからずっと、食べられるようにと思います。朝市などで、購入する野菜は、同じものでも、生産者、土地により、様子も食感も異なるのには驚きます。最近、スーパー等、大型店でも、地産品が、扱われてますが、もっと売り方等、工夫してもらって、その良さが、広まれば良いです。現在は、常設店は少ないので、スーパーで、買えると嬉しいです。
食品加工業等企業を誘致して、農業との連携を促し、白井市内に就業場所と魅力ある食事処が増えてくれることを願います。私は幼稚園児の母ですが、私を含め、友人家族は週末になると千葉ニュータウン方面へ遊びに行く方が非常に多いです。10年後には、千葉ニュータウンエリアの方々が、白井に遊びに来てくれるようになってほしいです。特産品の梨は公募をしたら、もっと面白い食べ方も見つかりそうな気がします。“都心へアンテナショップ”などの無駄に経費のかかるアイデアは捨て、まずは白井市民が魅力を感じる農産物への取り組みを考えるべきだと思います。
全国的な人口減少、少子高齢化に対する統合戦略という主旨から、白井市においても、人口減少と急速な高齢化は避けられないと思います。これらを踏まえ、首都圏という強みを活かし、農業政策に特に力をいれるべきだと思います。具体的には、農業を営みたいと希望する人には、自営で農業ができるようなシステムにし、農業従事者を増やすことで、雇用の創出と地域経済の活性化、みどりの保全につながると思います。これまでの枠にとらわれず、特色ある取り組みを期待します。
会社を退職後は少しですけど野菜などを作ってみましたけれど農業は大変です。今は若い人達に作って頂きありがたく思っています。東京からこちらに来た頃は買い物などは大変でしたけれど、今の若い人達が農業をやってくれると白井も良くなると思います。ガンバッテ下さい。

農業者でない人、サラリーマン業定年後の人達が、農業の仕事を始めることのできる町造りを市が造り上げて欲しい。
・白井市は梨のみであり他に特産品がない ・梨農家を助ける為、梨ブランデー事業に投資し大変な赤字を出し私達の税金を投入する事になったが、誰も責任を取らず市民に責任を背負わせた。今後は梨ではなく青果物、工業会社誘致により市民の勤務活用する事に期待したい。
白井市の農産物が海外でもブランド品として扱われるようになっていたら、うれしいですね。
白井市で作られた農作物を使用したお菓子等がコンビニやお土産ショップで手軽に買えるようにブランド化されると楽しそうだと思います。
梨のブランデーケーキを復活して欲しい。
小、中、高生に学ぶ事、育てる事、授業の一環として取り入れて欲しい。自分達で育てる事により、物を大事にする、協調性。友達と喜び合う。自然のなかから色々な事を感じとり学びとる事により、いじめをなくす方法を悲しい出来事が起る前に社会全体でつみ取って欲しい。
繁忙期に人手が不足する時は市が中心となって市民ボランティアを募り、農家に斡旋してはどうでしょうか？
日本の農業の弱体化は、農業が規制で守られていることによる。全ての人、全ての産業に開放(農地法、他)して、効率の良い農業を育て、良い物を、働き易い環境で、安く作れるようにする。→国際競争力を持つ。 ① 農業生産の企業の創立のための資本家を集める。 ① 規制撤廃の農業特区に白井市が名乗りを上げる。 ② 参加企業に現生産者を講師として参加させ、従業員を指導させる。 ③ 生産品に生産情報を品質保証問合せ先(企業名)を明記し、各地(海外含む)アンテナショップに出す。
誰でも(法人・個人)参加出来る農業
白井特産の梨などブランド強化策。まず大消費地である首都圏への販路拡大。高いが品質の優れた日本産農産物の海外での評価が高まっている折、白井産ブランド梨等の輸出戦略に注力。農業と加工食品メーカーとのコラボで新商品開発と流通。学給など地産地消は食育教育にも必要。子どもたちの地元産農産物に愛着。農業の法人化推進で生産性向上と後継人材の育成。道の駅・アンテナショップと白井ブランドのシェア拡大。
郊外を歩いていると兎に角遊休地が多いことと、梨園が急激に減少していることに驚きます。10年後には「白井の梨」は存在していないような気がします。(そして、そこには住宅が…)農業は、国の重要な産業だと思いますので、遊休地を減らし米なり野菜なりを作れる土地に戻って欲しいと考えます。その為に必要なマンパワーは、現役を引退した私達のような年金生活者を活用するような施策を検討すべきだと思います。(ボランティアとして活用するのも一つの策ですが、責任を伴わないので有償の労力として考えるべきかと思っています。)
白井の梨はいつも目にしていますが、農業というと、あと何が作られているのでしょうか？地産地消は理想だと思いますが、現在の農業が全く解りません。
これ以上、農地が宅地にならない様にしてもらいたいです。
白井市の梨がおいしいということが、県外どころか、千葉県内の他の地区の人々にも知られていないような気がするので、もったいない。もっと積極的に、白井市の梨を知ってもらい、そこから農業を活発にしていってほしいです。10年後には、「梨＝白井」のイメージを全国規模に…
特産である梨をどの生産者も比較できないくらいおいしくなって、全国のどの県からも発注がかかる白井市であってほしい。もちろん苺やぶどうがおいしくても良いけど。現時点で皆がこぞって買うのは「あそこの梨はいい、あっちの苺屋はおいしい」と口コミで聞いて、高いのにそこばかり行く傾向があると思う。
高齢化と少子化が続いて廃農する農家が増え、休耕地や宅地化が進み、白井の豊かな田園風景がなくなる事が予想されます。(最近あちこちでも)就農者の育成と一般人と農家の人達との交流で色々な良いアイデアが生まれる事を期待しています。私達白井の住民も年をとり、やおばあくに行けなくなりますので近い場所で手軽に見て、買う事が出来る事を望みます。

美味しいなし(梨)が沢山食べたいです。
有機野菜など、販売だけにかかわらず、レストランなどの広大な商業施設を作り、若い人にも農業に係わるようなことを企画して頂きたい。
田園(耕作地)と住宅がバランス良く併存し、地産地消が盛んで、特色有る農業が光っている。TPPにも恐れる事なく、自立し儲かる産業となる。
白井市の特徴を活かした農業を目指してほしい
農協のシステムがわからないので、かつてなこと言ってると思われるかも…。野菜つくって → 農協ではなく、他と商品と協力したり、企業とかに直接アポとって営業したりはルール違反なのかな…。農家の人がどうしたいかにもよるのではないのでしょうか。東と西では天気もちがうし、育つものもちがうから、他県と協力して売るのも有りかと思うのですが…勝手いってすみません。
様々な野菜の産地であって欲しい。大規模化、企業化して地域産業として残っていて欲しい。
白井産の知名度があがって、市と民間が一帯となった収益性の高い農業。 ・市場をいかに取り込むか。 ・高付加価値加工品(自然派、無農薬等とアピールしたもの) ・とにかく「白井の農業(農家)がキレイ!」と思わせる景観の整備。
・市の前提である農、工、住がバランスした状況で推移してほしい。 ・農地を安易に廃棄物処理場、廉価な住宅地等に転換してほしくない。 ・農業経営者の交代が容易になるような制度を確立して、農業の活成化に勤めてほしい。 ・農業施策を進めて行くうえで、他の事業者及びサラリーマン等、住民間のバランスを図って進めてほしい。(投入経費等について)。
地元で取れたものは、安全で新鮮だと思います。詳しいことは良くわかりませんが、大変なこともたくさんあると思いますが、これからもおいしいものを届けてもらいたいです。
10年後は80才、高齢化が進むので作るだけでなく、届けるサービスも検討してもらいたい。民間と比べ、安く、安全でおいしい野菜を。
市内を散歩して感じることは、各所に梨園が廃業した空地が目立ち、年々増えているように感じます。市の名産である梨栽培の先行きに一寸さびしさを感じているのは、他にも多くおられることと思います。何とかNPOなどで高齢者、失業者などを活用して梨園(他の農作物でもよいと思いますが。)復活できないかなと思っています。
他の市では作れないような差別化した農作物を生産してもらいたい
白井の環境を生かした農作物が安定した供給の元に、市民と農家が共存できていて欲しい。その為には、宅地開発に偏らず、梨、農作物の用地は今のまま確保して、市民が白井産の農作物(米、梨)をもっと手軽に(スーパーの売り場拡大、直売所の増設、給食等)食せるようになっていて欲しい。
離農家が増えることなく、若い人達が喜んで、新しいスタイルを工夫し、安心して食せるものを生産する。自他共に誇れる農業にしていこう。
緑豊かな環境を大事にして、農業だけでなく、住み心地の良い、治安の良い、美しい安心な白井市になって欲しい。若いエネルギー、白井市になって欲しいです。
野田市のコウノトリの保護のように里山の整備等と自然環境との調和を期待します。
白井の梨をたくさんの人に知ってもらいたい。
白井市に居住して18年になります。なし園が住宅地に変わり、緑が少なくなりました。その一方で休耕地は、居住してきた当時と変わらないように感じます。農業と共存できる都市造りを計画的に行ってほしいと考えます。
富士地区は住宅化が進み、農業が続けられない状況となりつつあると思います。続けることが可能ならば地域で消費できるような直売所が必要と考えます。梨は白井の特産と思っていますが、農薬の散布も含めて地域のコミュニケーションが必要だと思います。
たまに都市に出かけると、千葉県産の野菜などを見かける事があるが、いつか、千葉県から白井産とかかれている野菜などがふえるといいなあと思います。

白井市として自信の持てる農産物が生産できるようになってほしい。
若い人達が、農業に喜びを感じられる様な市であってほしいと思います。
・耕作放棄地が増加するので、若い新規就農者の育成が大事。その為には農業はもうかることが必要。 ・農業地権者の土地が小さく、一地権者の耕作地が点在している。⇒ 大規模経営できるような広い耕作地に改革する必要あり。 ・付加価値の高い野菜、果実の育成と販売組織の構築。 ・スーパーの様な規格産品を売るのでなく、目方で売る及び包装を最小限にする様な無駄な工程を省く売り方に改める。 ・梨を輸出するのはよいが、市が税金を使うのは反対。民間が宣伝費をかけるべき。税金は市民全体のために有効に使うべきだ。(特定の団体にかたよって税金を使用しない事)
休耕地、耕作放棄地を減らす工夫に、もっと農地として使用出来るよう考えてほしい。特に、産業廃棄物業者を増やさないよう望む。市の景観をいちじるしく落していると思う。
有機農業で安心して食べられる野菜が、どこへ行っても購入できるようになってほしい。
放射能のない安全安心な野菜・果物 → 海外にも輸出できるような。
近くの梨畑がどんどん住宅地が変わっているのを見てきています。梨畑がなくなってしまうのではないかと心配です。千葉県内で「白井産の梨」は値段も高く、価値も高いのに、あまり知名度がない。上手にアピールしてほしいと思います。
若い人が希望をもって農業をやってくれるような組織を作り、これからも白井産(特に梨など)発展してほしい。
白井ナシの全国、世界各地への浸透。若手中心による白井農家、農産物のアピール活動。白井ナシのお菓子、健康食品の開発成功。
八千代道の駅へはたまに行くが野菜が豊富。生産物の種類、量が少ない。やおパークの場所、不便。梨を大量に送っているが、農薬散布に大丈夫かと思っている。
消費者のための農業であって欲しい。ひいてはそれが同時に農業に携わる人達のものであって、経済的にも満(充)たされるものでなければならないはず。地産地消が進み、農家と消費者(=住民)、地域としての一体感が醸成されることを期待したい。
常に新しい事にチャレンジして、消費者をもまきこんで進んでいって欲しい。
農作物全般では新鮮な物が手に入りやすいと思います。宅地造成に伴って農業地が縮小されなければよいのですが。おいしい野菜、おいしい梨の産地を継続して下さい。
なしー近隣の船橋市、鎌ヶ谷市、市川市と比べて、白井ブランド(付加価値)を前面にうちだし発展することを祈る。農村部とニュータウン団地部の農業に対する意識ギャップが多少でも埋まることを望みます。市民一丸とならなければ難しいと思います。
「無人販売所がいたる所に有る白井市」をアピールポイントとして、地元農産物を広めてほしい。
今の農業は高齢化していて、家族単位、少人数で、活気がない様に思われる。外からの労働力を生かした、活力ある力が必要かと。
私の住んでいる所も昔はなし畑でした。10年後、後継者不足のために、農地が住宅地になってしまう事もあるかと思います。なしの町として、10年後も美味しいなしを作っていることを願っています。
休農地などを市民農園や家庭菜園にして、無農薬の野菜や生花などを作り、市民に土いじりの楽しさを体験出来る機会を身近に感じられる場所を作る
若い人達が、生き生き働いている場であって欲しい。ニュータウンに住んでいると、白井が農村というのが、ピンとこない。地域野菜をもっとアピールすべき。
宅地開発などで農地が失われて行く。まわりの自然環境が大分変わりました。果樹園など守ってほしいと思います。
質問 13-8、10 について、一般住民の気持ちや環境を考えて、野焼きをやめて空気をきれいにしたいです。冬場は、煙のせいで、のども痛く、鼻もムズムズで身体にも悪いです。まず、農業の方は、白井市の環境課の方々と野焼きをしないで、木々等をどう処分するかを考えて頂き、よりよい町づくりを

していただきたいです。そうでないと、一般市民は、農業に対しても、農村を守りたいという気持ちにもならないし、逆に嫌うようになります。野焼き問題!!市民は苦しんでいます。
現在ある農業がこれ以上減らず、次の世代が守っていく事。梨を広めてほしいです。おいしいので!!
競争力を付けるために民間企業を参入させる。
税金対策で農耕地が宅地化し農業がやりにくくなって来ているので、市税を見直し緑豊かな市であって欲しいと思う。
白井の梨は有名だけど、それ以外の野菜等は殆んど白井産という程、ポピュラーなものはない。土地も良いし、災害も少ない地域なので、果樹では栗(加工品も含め、例えばマロングラッセ)、野菜では根菜が美味しいのもっとまとまって栽培し、白井ブランドの名をつけて推進していくべきであろう。
道の駅の野菜直販のような店が市内にたくさんあってほしい。
地域の人々が安心して食べられる農産物を作り続けてほしいです。
農家の皆さんが、農業で生活できるように、白井市の特徴ある農業が無くならないように行政、市民、産業ともに連携して生産、消費出来るシステムが出来ると良いですね。ナシ畑が、どんどん宅地になるのは少しさみしい感じがしますので、宅地化も計画的に行ってほしいと思います。
私自身はもう高齢なのであまり気にしませんが、子供や孫達には、出来るだけ国産の物、そして無農薬の物を口に入れたいと思っています。そう言う物には少し位金額が高くても安心して買えます。生産者さんには大変でしょうが頑張ってください！
休耕地が復活した農業
人を含む動植物や、土壌、水質にできるだけ悪影響のない持続可能な農業であってほしい。人が食べる段階の安全だけでなく、どのように育てたかという面からも消費者から信頼される農産物であってほしい。この様な農産物が白井産であることが一目でわかり(質問 11 の 1)、迷わずに購入できるようになると良い。手間がかかっても安心でおいしい農産物が食べられるように、この様に思っている市民が白井市の農業への理解や参加をしやすくなると良い。
田、畑を見ていると、若い人が、少なく感じます。もっと若い人の働きやすいやり方を、考えるべきだと思います。
広い田んぼなど残したいが農家も大変だと思いますが住宅地が多くなり良いのか悪いのか
里山の保全、農工商のバランス取り、宅地と農地(緑地)のバランス、気候変動(地球温暖化)＝関東地域の亜熱帯化も視野に入れた農政←市役所スタッフの活躍を期待しますので、市民向けに情報提供を継続して下さい。
「白井といえば〇〇！」の様に、内的に又外的にもアピールできるようなブランドを設立できていたら良いな、と感じます。
引っ越して来て 25 年になりますが、どんどん梨畑が減ってしまい住宅が建っています。住民人口が増えていくことはとても良いことだと思いますが、白井市特産の“梨”が無くなってしまうのではないかと正直不安を感じています。
白井の農業の基幹は「梨」だと思っています。白井市の梨は日本一だと思っています。昨今の梨畑の住宅化は本当に残念でなりません。「白井は梨で日本一!!」が 10 年後の白井市の農業であって欲しいと願っています。このままでは「なし坊」バスが泣きますよ!!
なし坊ガンバレ
①新鮮で安全な農産物を安価で直売所などで販売する。 ②ブランド農産品の開発(特産の梨以外にも開発の可能性は?) ③農地周辺の美化と農薬散布のあり方の検討。
白井の梨の知名度がもっと上がれば良いと思います。農地や梨園の跡地をすぐ住宅地にするのではなく、貸農園や、ボランティア農園のようなものになっていけば良いと思います。最近の白井は高層の住宅や宅地ばかりで、以前の緑豊かなイメージが薄くなってきているのが残念です。
地方に発送してナシ、ブドウは良心的なものが届くのでとてもよろこばれるし、(限定した農家から送っていますが)送る者として安心しています。いい農家から送るのにありがたいし、白井全体がこの様になっ

てほしい。いやどこから送っても今はいい品ばかりになっているのかもしれませんが…野菜も特にサトイモ、ゴボウ等皮をむいて良くないのがあります。なんとかならないかなと思います。トマトは品数も多くなり、喜んでいます。キャベツも春頃からいいものが出まわりー安心。ニンニク、ショウガ等国産のみにしていただきたいです。
将来の若者が農業で生活できるような魅力ある物に育てたいです。
農業者の高齢化を防ぐため、農業法人化を促進して若者の就農者の増加を図り、持続可能な農業環境を構築する。
農業には詳しくないのですが、10年後ですと今よりもインターネットでのやりとりが多いと思うので、SNS(フェイスブックや、ツイッター)をうまく活用したりネットのバナーに取り込むなどすると、利用者が増えると思います。
安価で無農薬で安心して食できる野菜をめざして欲しい。野菜なくして生きられない私達であるから。安心して食べられる物を求めています。
ヤオパーク等を拡大して営業所を作る
自然災害の少ない地域を活かし、安定供給できる農産物、新たな商品を開発して、白井だからできる農業を確保、推進してもらいたい。
白井産のおいしい梨がこのまま残されていて欲しい。無人販売などのどかな風景も気に入っているのでこのままであって欲しい。
減農薬、無農薬で安心、安全の作物を作り全国でも有数の安全な作物を作る町をアピール出来る農業で有って欲しい。又、道の駅などを464沿いにでも作り、宣伝販売、東京都内にアンテナショップなどが有るとなると良いと思います。
全国的に知名度のある白井の野菜を作ってほしい。発展させるには、全国、または海外レベルで販売しなければ衰退するだけ。ダイエット食品やフリーズドライ、災害に強い物への加工等雇用が増えて人口も増えると尚良い。
農業(野菜、米)や梨園などが毎年、消えていく事に淋しさを感じます。特に梨園を営む人々が年々へり、高年者のみでやっている人達ばかりです。若い人々を育てる勉強をしてほしいです。
白井市に生まれ・育った若い人たち(これからの担い手となる農業従事者の若い人たちは少ないと思うので、これからの消費者たる若い人たち)に質問13の11項目のこれからの農業施策に多くの若い人たちに(特にこれからの消費者の代表である若い女性の方々)をいかに参加して戴けるかが勝負と思う。この度の市会議員(多数の年寄議員の中)の選挙で2人の若い議員が当選されました、市民も市の活性化(世代交代)を持ち望んでいる証だと思う。
首都にほど近い点を活かし、農業体験などしてもらい、就農、または農作物の販促につながれば良いと思う。まずは食べてもらう、自分たちで体験しないと根付かないでしょう。観光地でなくても、体験を求めている若い人々が多いと思われるので、来訪者がみこまれるのでは？まずは住民にも体験学習の機会広めてほしいです。なし坊をPRキャラクターにして、農作物の販促をすればゆるキャラサミット(人気投票)での認知度も高まるかと思えます。新しいキャラクターを考えるより、なし坊(とファミリー)を育てていって下さい。
近年旬という感覚が薄らいで来ているように思う。ハウス栽培等を上げ梨に続く第二、第三の特産品を育てて、白井から全国に発信され、結果ふるさと納税の希望者が増え少しでも携わる方々に恩恵が及ぶような町であったら良いな！
高齢化にともない農業人口は減少していくと思います。担い手を育成するなどして減少しない対策が必要だと思います。
市の担当課は、基の企画がどの様な所から、どの様な人からの意見をしっかりとアピールして戴きたい。行政的な発想でアンケート取る事は手段が解っているので結論的方向性もほぼ決まっている場合が多い。
梨以外にも、特産品を作るのは？
この世に無い物を発信する。
梨、野菜などの農地を大切に、宅地を増やさない様な町にしてほしい。

① すでにブランド化した「白井の梨」の品質を保てるようになってだてが必要。
② 農業は、やりがいがあっても重労働で若者の就業者が少ないので、農地を集約したり、シルバー人材のシステムのように、手軽に労働力を利用できたりする。自分がかかわっている農地であれば農業についての理解もすすむし、農産物を消費しようという気持ちになる。
③ また、近代農業として、科学的に病害虫の対策と知識を農家に広めたり、農機具を購入する場合の補助など、産業、仕事として魅力あるものにする。
時代のニーズに応えた農業と、今の代表的な果樹(なし)の生産で盛り上がっているといいなと思います。
農業、化成肥料を出来るだけ控え、多少高くても安全第一を心がけ”白井の農産物はどこの品でも安心”と云われる程になって欲しい。願わくば、有機 JAS マークが付けられる程の農産物を生産出来る場所にしたい。
梨畑がどんどん住宅地になりつつあるのは淋しいですね。後継者がいないことが理由のようですね。白井の梨は、なくなってほしくないと思います。
白井市の農業を発展させるには、新鮮・安心・安全は当然ですが、ポイントは、安くです。JA などの中間マージン、スーパーなど小売の販売手数料を省いた安価・直販のシステムを行政と一緒に工夫すべきです。もちろん小売店との兼合もあるでしょうから、10%位安ければ良いと思います。生産者も消費者も潤う筈です。
自然環境を守りつつ、その環境を生かした中で白井市の特性をアピール出来る商品開発などで街が活性化していれば良いと思います。
これから先の事は分かりません。私には、考える力はありません。家の孫も農業はやっていません。
基本的考えは地産地消です。スーパーでも茨城産の野菜が多いですが、私は買いません。千葉産を買います。7 年前に退職して都内から越して来ましたが、職場へのおみやげはいつも朝市の白井の野菜か、梨と決めていました。休耕地が多いのも気になっています。アメリカ、シカゴで成功したように、住宅地の間に子供たちも参加して、作って売る楽しさを経験してもらい、広めていくのも良いと思います。形は悪くても低農薬の安全性についても、子供の時から関心を持つように学校・農家・家庭で教育し「白井の農産物なら安心!!」というようにしたいと考えます。
白井特産の梨をはじめ、都心から近い地域である特性を生かし、体験農業などのイベントを行ったりしてみたらどうでしょうか？緑豊かな白井市を大切にしたいと思っています。
(1) 1/5000 白図に農地の作目図・地目図を作製し、白井市全体の生産量が把握できるようにする。耕作放棄地・未利用地のマップを作成、状況を把握し将来とも保全すべき農地と、スプロール的に転用が避けられない土地を明確にしていく。
(2) 梨農家のアンケートを実施し、現状抱えている問題点、品種、後継者の有無など 10 年後にどのようにしたいかを聞く。(A3 表裏 1 枚) 必要なら作成に加わる。
(3) 農家が希望する圃場整備の種類を明らかにする。また梨農家への補助対象に何が必要かを聞く。
(4) 農地の有効利用の方策として、オーナー制による圃場 1 区画の栽培契約(栄町の枝豆)
(5) 市民農園・観光農園・体験農業(田植え、いも掘りなど)子供が農業の面白さを知る経験の機会を作る。
(6) 学校給食の残活、団地の生ごみの堆肥化を進め、クリーンセンターの負担軽減を図る。子供には、食の循環・自然の仕組みを伝える。
小回りのきく多品目少量生産農家が 10 年後にも残っていてくれる事を願う。地球温暖化による天候不順、TPP はじめ農業の市場第一主義、JA の弱体化、中国など食料の輸入大国の増加、世界的食料不足に、後継者不足の日本農業は先行き不安ばかりです。白井農業は農家と市民が結びつく場を増やし学校給食はじめスーパー特設コーナー設置など地産地消を進める。地元消費で生活できるような営農支援、札幌市の学校給食残菜堆肥化、高根沢町の学校田んぼなど食育など幅広い市の農業政策を進めてもらいたい。
休耕地が多く雑草が伸び放題なので計画的に整備し、ウォーキングする人たちにも気持ちよい景観を作ってほしい。梨などたくさん捨てられているのを見ると、とても残念に思う。もっと地域の人達に還元するようにシステムを作ってほしい。(梨はとてもおいしいし、友達に送ったりするのですが、やはり高いので地域の人にはもっと安く購入できるようになればいいと思う。)

農家の方は旧来から後継者で営まれて家計を守る事にも専念されて来られたと思いますが、昨今、若い人が積極的に農業を選択出来る様な魅力的な職業としては乏しいかと思われます。今後農業を発展させるために、若い人の志向、能力を推進して行くためにも白井の認知度を全国的に高める事。それには、特徴ある地場産物の生産、若人のアイデアの促進だと思いますが…
市民が気軽に借りる事のできる農地があると良い。
なし農家の育成、推進
近くの梨園がどんどん住宅になっているので、白井市の梨がなくなることがないことを望みます。
・都心部に近くとても立地条件がいいので、安全な農産物の生産を拡大してほしい。 ・都市化されず環境をも守ってほしい。 ・白井の梨をアピールして海外にも出してほしい。 ・人口も増えたので、地産地消する事がいいと思う。
桜台に居住なので梨以外は近くのスーパーや直売所など印西の農産物しか手に入れる事は出来ない。白井市の農業の展望についてはあまりピンと来ないのが実状です。
現在と変わらない、梨等の生産は減少させないでほしい。
重労働はロボット(ペパー)を使ったり、LED作業にして、若ものに魂力あるサポートを拡大してみても…良い農業生産を…
白井の農業は梨に片寄りすぎているように思う。一年を通して食卓にのるように、品種品目を増やせないか。梨の農薬散布を目の当たりにしていると大丈夫かと心配になる。学校給食や市民の食卓に胸をはって地産地消を推進できるような、安心安全な農業に取り組んでほしい。
今よりも給料(？収入)が上がっていてほしい。農家の方がやりがいをもって農業に取り組む。
白井市の特徴を生かした新鮮な野菜を作って欲しい。地産、地消で市民の台所を支えて欲しい。主要な野菜は天候不順などでも購入でき、価格を安定させて欲しい。スーパーなど以外でも農家から安くおいしい野菜を購入したい。自治会単位で野菜をまとめて農家と契約し、購入できると良い。スマートフォンなどで写真を見て発注し、配達もして欲しい。
農地が守られ(休耕地が増えないようにするなど)、白井の特産物が増えるといいと思います。
いつでも安心して食べる事の出来る新鮮でおいしい品をいただくことが出来るようになってほしい。
わかりません！
農業面も TPP など色々影響がある？と思ってしまいますが我々一般の人々は新鮮で農薬などが少ないものを望んでいます。安くても悪いもの(輸入品で防腐剤などかかってないもの)は絶対買いません。消費者の立場に立って生産してくれたものは絶対賛同を得るのだという自信を持って農業をして頂きたいと思います。そしてその自信をアピールすることが消費者の関心を得る事につながると思います。
白井ブランドとして全国の人に知ってもらえる白井市独自の農業。
・住宅も増え、若い世代の人口も多くなっていると思うので、農業に興味をもってもらえるような家族で参加出来るイベントなどが増えるといいと思います。 ・梨以外の農産物も、手軽にスーパーなどで購入出来るとういと思います。
白井市住んで 35 年、最近梨畑が住宅地になっているのを見ると悲しくなります。後継者不足なんですよね。美味しい白井産の梨がなくならないように…白井産の梨、ぶどうが大好きです!!
体験だけではなく、将来の担い手を育てるシステムづくりを市として進めてほしい。都市部へ通勤する若い世代を、市内の農業者として育てる事で、市の活性化と農業の維持を図る。安易に外国人を使うのではなくしっかりと基礎づくり(小、中学校からの教育)をし、市内にとどまって農業者として生活する魅力ある白井市を若者中心につくっていける環境づくりを期待します。
安心、安全な農産物が生産出来る農業であってほしい。白井市がバックアップして白井産を使うレストランを開いてほしい。
梨は有名ですが、それ以外地元に住む私も何が有名なのか分かりません。白井、印西の地元野菜や米を購入した事もありますが、はっきり言って美味しくないです。何か白井の特産品(梨以外)をつくってもっとアピールし、若い世代の就農者を増やしていけば良いかと思っています。

・白井の特産物知名度が上ってほしい。 ・梨のイメージが他に負けているので梨と言えば白井というくらいになってほしい。
考えた事が無い
10年後…ここは前、畑、田んぼだったんだよなぁと思いたくないと思います。今は、家が建っているけどさみしい。畑や田んぼ、緑のにおい大好きです。
考えたこともありませんでしたが、梨の生産も変わらずに続き、現在の農家さんの数も変わらずにいてくれたらと思います。そう考えると、後継者がいない農家さんもおられるのでしょうか…心配です。「白井産」と表示されていると安心して購入できます。
農業はとても大変な仕事で、なくてはならない仕事なので、白井市は地産地消をアピールして、農家の人手不足の確保、売場を増す、他県などへのアピール等を行い、10年後には白井の野菜や果物の知名度が全国的に上っているといいと思います。
子供達が住んでいる都内に比べると、住環境は自然が豊かで素晴らしい町だと思います。農作物も新鮮なもので、スーパーや直売所などで白井市内の地元の方が作った野菜を選ぶ事ができるので、とてもいつも楽しみに出かけます。10年後もずっと先まで続いて欲しいと思うので、農業は素晴らしい事だと若い人に伝えるために、体験できるような場所があればいいのかも知れません。
若い人の農業ばなれ離れが目立つ。農業産業の企業化、開発、大量生産化が進まない。個人が守る農業は大型化へのブレーキになる。会社組織化で参加が出来るようにする方向性が必要となる。
白井の特産である梨畑が次々伐採され住宅になって行くのを見てとても淋しくこれで良いのか心配しています。梨農家の方々に頑張ってほしいと思います。
農業に従事する方が定収入を得て、生活に不安がないようにしないと後継者も続いてやっていけなくなると回らなくなり、景気もすたれるので、支援はある程度必要かと思います。食は人間が生きていく上で、欠かせないものなので、大切にしていかなければと思います。
地元のお野菜は高いというイメージがすごくあります。普段から食卓に並ぶような感じになってほしいです。市外、県外に向けるのも良いですが、地元も大切にしてほしいです。外の人には知っているけど、地元の人は知らない…みたいな事にはなってほしくないです。
近隣でも梨の産地が多い中、梨中心では10年後に不安を感じます。なし坊もキャラクターとしては、特徴もありませんし。白井ブランドとして、梨に代わる農産物を考えてほしいと思います。併せて、放置されている様に見える、土地の有効活用や道路の整備も、農業に利用などできるのではないのでしょうか？
今日でさえ、梨畑が次々に消えて、ミニ開発で住宅地になっている。農地は個人資産であり、売れば金になる。白井市にヴィジョンがない限り、利便性の良い土地、宅地に向けた土地は多分消えているものと思います。白井市役所の街造りと農家の問題であり、他人の職業に立入ることはできないのでは。聞くところによると、株式会社もなかなか根付いていないようで、何が障害になるのか我々にはわかりません。
誰もが安心して食べられる食材の提供をすること
もっともっと大規模となり、スーパーでは白井市産の野菜がもっと並ぶ、レストランでも白井市産野菜をもっと使ってもらって広まっていたら良いと思います。
白井市のブランド野菜等の開発(有機栽培等)。安全・鮮度、地域の地場産業、生産物を地域で活用、拡大。休耕地、耕作放棄地を利用して作物を栽培。「梨」の後継果実等の産地化を計る。ブルーベリー、ラズベリー、ブラックベリー、ライチ、ナッツ類(アーモンド、クルミ、カシュー、ペカン：育つかどうか調べてみたら)イタリア野菜、フランス野菜、南米野菜…「梨は白井」と思っているのは白井の人だけか！味は他とくらべて良いのですか？白井で生産・販売されている野菜名・量を公表して下さい。
漢方生薬原料の栽培：カンゾウ(甘草?)など
印西地区で購入可能なので、特に期待しない。桜台地区は印西地区への編入を希望します!!
若い人達が農業で十分に生計を立てられ、休日も取れて生活を楽しむ余裕を持てるような農業。新鮮で安全な野菜等を都内にも供給出来ると良いと思います。農産物を使ったご当地B級グルメなどで、白井市をアピール出来たら良いと思います。
農業はとても大切な仕事だと思いますが、重労働で収入も不安定というイメージはなかなか変えられない

と思います。労働時間や収入などの問題を少しでも良い方向に改善できて、新しい農業の形ができていればよいと思います。
白井は宅地化が急激に進み、西白井辺りは、どんどん安い建売が建ち、梨畑、林、緑地がなくなっている。白井の農業を守るには住宅地の中に点々と残る梨畑、畑を農業地として1ヶ所に集め守るか、これ以上梨畑の周りに住宅を建てることを規制することである。もう、土地がバブルになるような夢を地主に捨ててもらうこと。今ある宅地の中にある空地を住宅にし、広い場所は、農地として確保させることである。ハイテク、もっと一次産業が天候に左右されない市ぐるみのとりくみが必要。農業工場のような!!
農業＝生産＝運搬＝販売白井市、市での雇用を高めていき、白井市民が働くのに困らない市にしたらどうかと思う。① 作る人②運ぶ人③販売する人と、すべてを白井市市民の人を優先にしていく。市で雇用し、給料面、税金もしっかりとしていく。10年後はこの様にしていけば、すべてが良くいくと思う。農業以外もです!!雇用 → 一定着 → 収入 → 必ず税金をはらえる。これに繋がるものとして、ショッピングモール(アウトレット)みたいなを作るも1つの考えですよ!!
まず、業者まかせの、市全体としての無計画な住宅乱立はやめてもらいたいです。学校へ通う道も、子供達のことを考えているとは思えません。市としての大義名分、スタンスが全く伝わってこないことは、町づくりの大きな損失です。農業に関しても、農地や緑豊かな土地をやみくもにつぶし、家ばかりです。学童の充実、給食センター問題、将来白井出身だと誇れるような地にすることが、子供たちに対する大人の責務ではないでしょうか。白井市は、大きなショッピングセンターも商業施設も、ゴミ処理場もなく、近隣の市に頼っています。せめて、白井市で育てた農作物は安心安全農業を極力使わず、遠方からも注文がくるといような、一種ブランドのようなところにまで引き上げられたらと、期待したいところです。“白井はコレだ!!”と知ってもらえるような、前へ前へとアピールできる市になったら…と思います。もっと若い方々の知恵と力も利用なさるべきかと考えます。
正直な所、白井農業はぜんぜんピンときません。市が農業を推しているなんて事も知りませんでした。白井市民の消費を増やしたいのか、ブランド化したいのかコンセプトなどさっぱり分かりません。なのにアンケートとってもあまり意味がないのでは?市民の消費を増やしたいなら白井市の地図に直販所など書いたものを配ってみては?ナシを買おうと思って作っているブランドなどがちがうので、探すのにいつもひと苦労するので、取り扱いのブランドや野菜など一目で分かれば直販所めぐりができて楽しい。市民以外の人に打ち出すならHPが弱すぎる。HPも梨の配送している所を一括して見られるように白井市が窓口となってHPを作れば、白井市としての梨の知名度も上がるのでは。白井市は若い人が増えているのにニーズがぜんぜん合っていない。もっと若い人(とくに売りたい世代)のチームを作り、市を代表するようなお菓子とか、ブランド野菜を作っていくといいと思う。とにかく白井市の気持ちと市民の気持ちが合わないダメだと思います。
梨は市民の信頼を得て、デザートや贈答用に喜ばれており、今後も品質を落さずにリピーターを増やしていく必要がある。梨の木オーナー制度もおもしろいですね。(1本1万円程度)又、観光農業はどうでしょうか。但し、見物してもらうものが必要となります。工業団地内に菓子工房や果物・野菜の加工施設を設置して、見学ツアーなど考えたらどうか。
白井＝梨しか思い浮かばない。野菜類もあるのかと思えるし、直販売所は身近にない為、スーパーであれば買うしかない。もっとスーパー類に地元のものを安価・安心で常時買える様、農業関係者も努力が必要では。待っていては進歩なし。
農業就業の高齢化が心配なので、もっと若者が生きがいを持って関わってほしいです。有機野菜、無農薬野菜が主流となり、スーパーなどで安く手に入るようになってほしいです。たとえ形が悪くとも、お値段を安くして、市場に出回るようにすれば、農家の人たちも困らないのではないのでしょうか?とにかく、野菜にしろ、果物にしろ、美味しいものを作ってほしいです。今のスーパーでは、安かろう、まずかろうの品が多々売られていますで…。新鮮な野菜を買いたいので、その日の朝に採れたものが手に入ると嬉しいです。
・白井市は梨の生産で専業で経営できている。 ・ブランデーは失敗した様であるが、梨加工品を(保存性がある)ブランド化できる様に。

・米と野菜を、地域で生産と消費ができるように。
ここ1～2年、農地の宅地転換が著しいが、一方、清水口3丁目では高齢化により、空家や1人世帯(空家候補)が目立つようになった。農地の宅地化は簡単だが、宅地の農地化は難しい。農業の後継者がいないことが最大の原因と思うが、農地を農地として存続させることを政策の基本としたい。10年後、現在の農地が農地として守られ、空家、休耕地、耕作放棄地が皆無の白井市であってほしい。
私達は動植物の生命を頂き、自らの命を保っています。その様な貴重な仕事を業としている方々に感謝しております。そして美しい田畑や里山と共に誇りを持って従事して頂きたいと思います。しかしながらきれいな生活が成り立たないのも事実です。それは私達商業人も厳しい世の中に住んでいるのは同じです。自分達の生活が成り立つ知恵は自分達で探すべきです。市場と言うライバルとお客しか居ないこの世の中で自らの命の輝きを放って欲しいと思います。感謝を込めて!!
世界で通用する競争力のある農業。(特産品の梨の輸出など)JAから自由になり、様々な分野の業種や近隣の市町村などと連携、協力し、農業を進化させてほしい。小規模な農家であっても、安定した収入を得られる様になって欲しい。
後継者を育てる事(育つ環境を作ってください。)
白井市もどんどん家が建ち、農業をやる人も少なくなって、大変だと思います。
白井産の農産物なら安心して買えると言って貰えるような農業を目指して欲しい。
・都心部にアンテナショップも良いかと(定期的に) ・マスコミに白井市の果樹を取り上げてもらい、全国的に宣伝するのも必要ですし、10年後に残って行く為には、後継者作りにも積極的にしないと…。 ・県外の人に休耕地を安価で理用してもらう。その施設(レストラン・アンテナショップ・料理教室等の施設を併設した菜園)大規模にする等も可能ならば!
・今の小・中学生が農業に興味をもって地元で新しい色々なアイデアで活気のある市になると良いと思う ・新しい農業たとえば(野菜工場) ・やすくておいしい地元野菜をつかったレストランなど……。
スーパーやコンビニその他のお店でも、いつでもどこでも地元産の農産物があふれているとよい。そして、その農産物は安全でかつおいしいと申し分ないと思います。
周辺市町村との連携を強化し、地域全体での農業活性化が出来る取組みを強化して欲しいと思う。梨生産量に対して知名度が低い、もっとアピールする場(機会)を増やすべきと思う。
私の出身地は北海道ですが、東京周辺居住者が、故郷の応援のひとつとして、一口1万円で故郷の野菜を購入するシステムを作ってあり参加しております。年二回ですが故郷で採れた野菜が届きます。出来るだけ地元のものと思いJAとかで購入していますが、身近な店に並んでいれば嬉しいと思います。白井では休耕地がないようにと願っております。ただ後継者がいない。高齢者だけが従事しているとか問題も多いと思います。
目玉商品の開発
白井市の特産品という生産高日本一の梨と答える方が殆どですが、急激な都市化・農業従事者の高齢化・後継者不足から年々梨園も住宅街へと変貌。一方、荒れた休耕地・耕作放棄地等を散見するにつけ憂慮している市民の一人である。マスメディア等の調査によれば、農業に魅力を感じている方々も大勢いるようです。高度の農業技術を身に付けた若者同士「新規就農者」が、自治体の支援を受けて、休耕地にガラス張りハウスを構築・苺栽培。IT技術を導入し湿度・温度・通風・肥料を管理、無農薬栽培。付加価値の高い農産物を商品化し、成功している事例もあります。これは一例にすぎませんが、当市の今後の参考事例になればと掲載しました。当市の10年間に実施すべき喫緊の課題は「新規就農者」へ耕作放棄地等の所有者が貸与する等有効活用を図り、梨をはじめ良品質の農産物の開発、観光農業(みちの駅)将来的には小規模農家を統合し「農業団地」を創設。雇用の場の確保を図り、自然環境と景観を守りつつ、市民・商業・農業・行政が一体となって活力ある農業を構築していくことが「地方創世」の個人的な将来像であり、夢のまた夢にならぬよう行政のイニシアチブを切に要望いたします。
白井の土地が農地として無駄なく活用できるようになる。就農支援が十分行われ、白井市が白井市内の土

地を就農希望者に貸与・支援する仕組みが機能する。いずれ農業が日本の主要産業になる可能性もあるので、早い段階で農業中心の産業構造に転換し、千葉県内のモデルケースとして注目をあびる。
高齢者も多くなり、年金も少なく、70才を過ぎても、働ける場であって、収入になれば、いいと思う。
特に関心なし
今と変わらない、私達が知っている白井市であってほしい。
毎年、梨の季節が楽しみで友達に送っています。「甘くておいしい梨をありがとう」と言う返事がくると自分が作っている梨のように自慢気に話す自分がいて…。10年後も農家の方は、重労働で大変でしょうが、こんなやりとりが出来ますように願っています。
季節の梨の生産も大切ですが、それだけにとらわれずに、昔に食べた、美味しいトマト、キュウリ…安心して口に入る食物を、これからも生産して欲しいと思います。
子供たちが安心して食べる事の出来るものを作ってほしい。
自身が白井へ移り住んで来た者です、白井の農業の事は、分かりません、でも梨畑や、手入れされた農地は美しいと思います。また季節の作物が、近くで手にはいるのは、嬉しいです。食べて味わえば違いはわかります。 ・10年後、少しずつ変わるのでしょいか(TPP)消費者として、手軽に安く、おいしい、物、見せかけではなく、本物である事が、いいです。安全で包丁いらずの冷凍野菜、等(ビン詰)も、とびっきり美味だと、買ってみたいです。竹の子大好物です、竹の子のビン詰が売っていれば買いたい。ビン詰め用に、掘りたて、湯でたて、竹の子、作り方の説明書付きで季節限定でどこかで売ってれば、大量購入し、知人にプレゼントもいい。ゆで竹の子の売っている物は、高く、て、まずいのが多い、中国産はNOです。 ・台所に立ちたくない主婦(人)がどんどん増えています。安全・健康への意識も高い
農業は天候等に左右されやすくリスクも高いので、農業活性化を期待するのであれば、現在の農業従事者の後継者を、大事にし、先代からの引き継ぎが、しやすい環境作り整備が、必要だと思います。現在の私の住む地区では、親が、農業従事者でも、近くの土地を、宅地にする事が出来ない為、遠くから通わなくてはならず、やればできる環境にあってもその不便さから、農業は引き継ぐ事なく、休耕地となり、なんの価値もない所がたくさんあるので、農地の近くに家を建て、新しい人も地元に戻る人も農業をやりやすい環境が整い、農業従事者も増え、若い世代が多く、活気のある市になっている事を望みます。
住宅地がどんどん増えています、農地も確保し白井の農産物もしっかり他方へアピールできている市になってほしい。おいしい白井産をたくさん食べたい。
梨畑などの農地が以前に比べて減少していると思います。今後も後継者不足等で農業を辞める農家の方が増える事が予想される中、白井市の特産である梨をはじめ、農産物の生産を維持・拡大をさせるために積極的に人材の確保・育成に努めてほしいと思います。
農薬や添加物など、食品に対しての消費者の意識が高まる中、条件が同じなら、見た目が良く、安いものを選ぶのが当たり前。少し高いけど、安全、もしくは新鮮、といった付加価値があれば、地元愛も加わって、地元産の野菜は受け入れられるはずと思う。東日本大震災以降、東北産のもの(特に福島産)を選んで買うように心掛けている。たとえ1円でも5円でも、売上げの一部を復興支援に回す旨を銘打ってキャンペーンを展開すれば、応援したい市民の協力も得られるかも知れない。何よりもまずは、本当に安全で美味しい野菜であることが必須。
私が白井に来たのは30年以上前でした。その時は本当にきれいで散歩するのも胸がひらめきました。セミはなき、小鳥がうるさほどいました。農業も野菜もどこにでも見られました。梨畑はそこらじゅうにあり、一人で歩くのも恐いぐらい静かでした。今は畑も田んぼも少なくなり梨畑は本当に少なくなりました。さびしい限りですよ。今の市役所ウラは本当にきれいでしたね。あんな風な昔にか帰ってもらいたいと思って居ります。人口はこれ以上増さないで欲しい。人口が増えれば汚くなる。こんな狭い白井は、3万人ぐらいでいいと思いますね、今は65,000人ほどいるでしょう。昔の白井にもどって欲しい。
農業が本当に白井市の基幹産業ですか？基幹産業の一つであるとは思いますが。東京の近くで交通が便利(値段はとんでもなく高いが)で、情報がいつでもとれるようになった今、若者を農業に引きつけるには、息子、娘を後継者に想定しては無理があるのでは？守りの発想では無理。外部から人を引きよせるこ

とも考えるべきでは？その視線にたった質問が記載されてないと思います。家族農業を変える発想が必要だと思います。今の農家を守るのではなく新しい農家を白井で作っていかないと。
・白井市ならではのブランド品の開発をしてほしい。(高級品)例：マンゴーなど
10年後には更に高齢者が増えると思われます。高齢者でもハード・ソフトに分け気軽に農業に携われる環境が必要と思われます。農業というイメージはどうしても野外での作業、早朝など天候に左右され、体力が必要というイメージが強いですがネットを利用したり、地域の情報誌などを利用し、販路を拡大するためにはソフト面(PC、インターネットの利用)からの管理、広告等を含め、現在デスクワークを行っている女性の力も活かせるのではないのでしょうか。
農業経営が安定し自信を持って後継者作りが出来るよう希望する。
農家同士の横の関係を確保するべきでは、ないでしょうか。駅等で店を出すのは、勤め帰りの者にとってはとても便利でいいと思いますが、もう少し量を増やしてもいいと思われますが…
現在の農地が守られ、新鮮で安全な農産物を生産し続けて欲しい。休耕地が担い手によって利用されるように調整して欲しい。後継者の不足する地域の組織化・法人化をすすめるなど後継者の育成を積極的に行なって欲しい。白井の梨はとってもおいしいので、全国にPR(他県のデパートで催事、ゆうぱっくのふるさと小包など)して欲しい。また、世界に売り出せばもっと需要を増やせると思うので、輸出に力を入れて欲しい。(GIに登録したり差別化が必要)また、農家の女性が農繁期だけ子供を預けられる保育所の整備(又は既存の保育所の一時保育の拡大)が必要だと思います。
梨が特産なので、梨の木オーナー制度などをつくったりして、白井の梨をアピールしたりするとよいと思います。
・特長を出す。他の市町村とは異なるアピール性で売り上げを伸ばす。安い中国産とは違い安心、安全な農作物 ・なくなってしまうように、生産者への補助金を出す。安心して農家を続けていけるような安心感があると、子孫にバトンタッチできる。 ・住宅街との分別。農薬散布されて洗濯物が心配。ビニールなどを大量に燃やして(違反?)煙い事がありダイオキシンの心配。洗濯物に臭いがつく。
手伝いたいと思うが、どう入っていいかわからない。
梨やイチゴ狩り、ブルーベリー摘み、いも堀りなどファミリーで体験できる場所が増えると有り難いです。
白井にも新鮮な野菜、果物など又季節によってたけの子祭りの様な道の駅が出来たら沢山の方が利用されると思います。ちなみに私の好きな道の駅ながらでは、4月にたけの子、9月に新米と大変にぎわいです。近い将来白井市でも農産物であふれる道の駅が出来たら農家の方もよりいっそうやりがいがあると思います。
安全でおいしい野菜や果物で家族に作って差し上げたり、自信を持って親せきなどに届けられるような農作物を作っていてほしい。
基幹産業である「農業」とよばれるに相応しく、市の財政をしっかりと支える「農業」であって欲しい。
美味しい梨がいつまでも食べられますように。
白井の梨が、日本一であってほしい。他にどんな野菜がどれだけ採れるのか知らない。白井の野菜をおいしく食べられる所があるといい。印西や成田へ行ってしまうので、近くにあるとうれしい。
日頃の農耕者の努力に感謝申し上げます。(新鮮な野菜を提供していただき)これからも、白井ならではの充実した農業への発展を祈っております。
現在の立場が消費者なので、そのサイドから要望させていただきます。新鮮な野菜が手頃な価格で簡単に購入出来、特産の「梨」に付加価値のある商品(加工品含む)が誕生し、販売の主力になっていると良いと思います。
近くの農地や空き地、貸し農園等が、またたく間になくなり住宅が立ち並ぶ風景が見られます。土地を持っている人々の都合もあるでしょうが、緑が失われてゆくのが残念です。野菜は近くの無人売場で購入したり、西白井駅構内で販売されるものも活用しています。勿論、店(スーパー等)でも購入しています。新鮮で美味しい野菜を提供してほしい。また、努力している農家が報われることも望んでいます。

「白井の梨」は品質にも誇れる産品だと思います。農業に関心のある若者を育てる試みは、中学生の職業体験や小学生の農園訪問にみられる。近年の後継者のいない梨農家の離農や、宅地化には残念な気持ちです。「教育」ですね。私は農産品の購入には地産地消にも協力しています。「白井米」の購入やフレッシュな「やおパーク」での顔のみえる(名札)野菜について「〇〇さんのトマト」を探して買っています。新鮮でハズレがないのが特長です。農家との交流促進を希望します。現在有機農家との「おいしい野菜」を利用しています。
・ 普段の買い物にスーパータイヨーを利用していますが、地元産の品物がほとんどないように思う。 ・ 地元産の商品のコーナーがあると良いと思う。
無人販売所など、身近に新鮮な農作物が購入できる場所があってほしいです。白井に延べ20年以上在住ですが、白井の農業の姿があまり見えていません。(梨以外のことについて特に詳しくないと思います)。今の小中学校では、農家との交流授業などもあるのかもしれませんが、子供から大人までまずは地元、ファンを増やす取り組みを推進して頂ければと思います。図書館や公民館を利用した、紹介パネルの展示があれば、見てみたいです。
無農薬で美味しい野菜を作りたい
家が農家なのに農業をやりたい人もいるし、白井に転入してきて転職や退職で農業を始めたい人もいます。白井の中でも地元住人と新住民と壁があるみたいなので、それをなくす意味でも、一緒に農業の事、農地の活用の事などを、考えていけたらいいのではないかと。と思う。
白井市民がその土地の物を季節の物を充分食することができて、他へアピール！土作りから始まり環境整備、自然に生かされた年令が高くて働ける仕事が農業ではないかと思う。そして日々学習でき体を動かせるのも農業であると思う。
梨が有名ですがあまり知られてないかもしれないので、もっと広めてもらいたい
白井市に家を建てて20年、うち6年は海外にいましたが、帰国後、白井の梨の美味しさに感激しました。この特産品をもっと生かして、広報活動を行い、10年後、近隣にも梨は沢山あるけれど「梨と言えば白井」と言われる様になっていたら良いと思います。先日タレントのホリさんがTV番組「マツコとマツコ」の中で「白井にも梨坊主というキャラクターがいる」と言っていました、その発言に引かれたのは地元の私達だけだったと思います。でも言って頂いてうれしかった！もっと全国区になったら良いのに…と思います。
これと言えば白井市だよ！と言われる物が出来て、人間に優しい農産物など豊富な市になってもらえたらと…言うのは簡単ですが頑張りたいと思います。
安全で新鮮なものが手に入る。生産者と消費者のつながりのある農業。
農業の実状をよく知っている訳ではないけれど、後継者が確保されて、自立した農業が継続できるような後押し施策が必要だと思います。若い人が働いている姿をあまり見ません。誇りを持って働けるような、若い人がたくさん集まってくるような舞台作りが必要だと思います。
うちは子供が多いので野菜をもっと安くしてほしい。(色々な野菜を食べてもらえるように)シショクコーナーみたいな感じで色んな人に食べてもらいたいのかも。個人的に農業をやっている方は無愛想なので笑顔で接してほしいです。
今のまま、梨農家が減らないで欲しい。
これ以上、農地・果樹園等減少しない様願います。
まずは白井市の特性を活かした果物など他県の方に送ると、とても喜ばれるのでもっとアピールし全国に知れ渡るようになって欲しいと思います。また、地産地消に協力し、担い手が足りない所はボランティアなどファミリーで募集するなどしていったら良いと思います。子ども達も普段味わえない農業体験、収穫の喜びなど家族単位や友人同士でも出来る様になったら楽しいと思います。東京に近くても、自然あふれる白井市の良さを知ってもらえたら良いですね。
白井の梨のブランド化。まだまだ白井の梨の知名度は低いと思います。
極力農薬を減らした安心安全な作物を作り、市民が進んで選ぶ野菜が有ってほしい。
農業を推進し地産地消を計り、白井市の発展につながると良いと心から思っています。

近所の農地や梨畑が宅地になっていく事が少し残念！後継者が居ないのカナ？横浜より転居して来て2年 途りで家庭菜園が宅地になり、横浜と同じ様にプランターで夏野菜を作りました…比較的広い土地を使っ て菜園が出来る条件がすぐ終わりました。不動産会社にのせられてしまった感じががっかりです…。私達 も年令には勝てませんので…仕方ない！！農家も一軒ずつではなくグループで情報交換などして従業員を 増やして、しっかり根づく事を願います。農地も季節感があって素敵です。私も新しい宅地に越してきた(梨 畑)一人なのですが…。最近農業も人気が出て来ています…がんばって欲しい。農作物の自給率 70～80%願 っています！！
特産品は梨だけなので、桃・いちじく・サンタローザ・ぶどう・フルーツ、さらに気候にあっためずらし いフルーツを加える努力に取り組み話題となるようにして欲しい。道路沿いの農地には、色とりどりの花 をボランティアをつどい、植栽し、にぎやかで市民の心をいやすようにするといったのではないかと思いま す。
高齢化が進み、独居、夫婦のみの世帯が増えるので小分け(少量パック)バラ売り、で低価格の販売を希 みます。
・畑や田んぼが荒れるのは見たくない。 ・市にお金を使って効果がない施策は、とって欲しくない。 ・白井市の梨はおいしいのでアピールして欲しい。 ・後継者確保等難しいと思いますが、企業の導入等、活力のある農業が出来るようにお願いします。 ・畑の切り売りした住宅地は、道路づけ悪く望ましくない。
農業地区にニュータウン(住宅地区)の交流ある一体化地域を作り、農、住、合体の自然保全都市、成田、 羽田の中間地を意識した商業。横浜市のイメージ、国際文化都市、食文化、言語文化等他の地域とは違う 都市として育ててほしい。
・生産人口が減少しない ・直売店を駅近に
白井の農家さんの野菜やお米などを気軽に買える直売所(JAでない)があれば良いと思っています。白井 の農家さんから直接お米を買っていますが、価格も手頃で甘みのあるとても美味しいお米だと思っていま す。もっと力を入れればいいのに…といつも思っています。農家さんとあまりつながりのない私達が、い ろいろと知ることができたり、交流を持てるようになってほしいなあと思います。
・安心・安全な食品と収入アップの両立が計れる、市も関連した公立ファームの設立。 ・健康、情報、収入を全員で分かち合える場の設立。
スーパー等に白井産の野菜が、多く売られる様であってほしい。
農業従事者の高齢化による縮小傾向に対して会社方式又はNPO法人設立による集団化、専門化を図り、豊 富な野さいの提供を図り、職業としての農業の生き残りをチャレンジすべき。(丸の内に42年勤務したサ ラリーマンの勝手な意見です。)
・農家の従事者の減少をカバーする体制及び休耕地等を再耕する体制等、高齢者と農家の連携により、農 業を中心として、コミュニティが確立されている。～白井市の農業・自然を守る持続的な取り組み、並びに、 増大する高齢者の地域社会へのつながりを通して健康な街作りに寄与していく
田畑に若い人の姿があれば、どんなに美しいことでしょう。
大きな直売所などあれば良い。家庭に届けて下さい。
食べる分だけ自分で作れたらいいのに
白井市の農産物というと「梨と自然薯」が知られているが、一般的な食生活に必要な野菜類で主体的な位 置を占める農産物は何か分からない。野菜類だけを中心に生産している農家がどの位あるのだろうか？ま た、農協関係者以外の店で、市内や県内を含め全国のどこで発売されているのか分からない。美味しさで 有名な「梨」は後継者がいなく、縮小したりつぶしたりした畑を散見する。市は本当に農業を基幹産業と して充実させる姿勢があるか疑問だ。市内のスーパーでは、茨城県産の農産物を多数見かける。これらが 白井産であつたらと思うことが度々ある。もちろん安心と安全からだ。白井産を見かけることもあるが、 ごくわずかで品数も少ない。梨農家が片手間に野菜を作るのではなく、群馬県嬬恋のキャベツではないが、

白井の環境・立地条件にあった農産物は何なのか、市が先頭に立って推進していかなければ、農業を基幹産業とする目的は達成できない。 参考までに列記すると(順不同) ○当面は「梨」生産が、増加しても減少させない方策を検討する。後継者の育成を含め。 ○「梨」以外で「○○は白井産」と言われるような農産物の種類を決めて生産する。 ○販売規模をはっきりさせる。地産地消だけなのか、全国区なのか関東圏か。 ○生産から加工、販売まで一体的に行う。 ○ネットなどを含め消費者に関心を持ってもらえるようなPRやメッセージを配信する。 ○白井産を知ってもらうため販売規模に合わせた地域でのイベントも必要。 蛇足だが、農産物だけではなく、収入増を考えることは重要だ。地域発展のため人が集まる環境作りが必要。その点、印西市はしっかり検討して実施している。白井市は都心からも近く、環境も悪くない。第一に北総線の運賃を下げさせ、人口を増加させる。各地から人々が集まり、喜び楽しめる環境づくり(産業・観光などを含め)を進める。市が先頭に立って取り組んで欲しい。
同じ千葉県民の友人に「白井市に住んでいる」と言っても「？」という顔をされる事が多々あります。まだ、県内でも白井市の知名度は低いのかなぁー？と思うことがあります。白井市自体の認識度を高めていけば、白井産の農業も発展していくのではないかと思います、10年後に期待しています。
食べたい時にすぐ手に入れられ、1家の1日の食事に1回は白井産の農作物が並ぶようになって欲しいと思います。今は母が農作物を買うことがほとんどです。母は地産地消に対して積極的なので「やおばあく」によく買い物に行っています。白井産と聞くだけで安心するし、農家の方にも頑張っていたきたいと思いながら家族で食べています。しかし、今は白井産の農作物を買えるお店が限られていると私は感じます。今より若い方にも買ってもらうために駅前のスーパー(マルエツ)などに少しでも陳列してもらうと良いのではないかと思います。白井の果物＝梨、野菜＝○○のようなイメージがついて欲しいです。
・若い人たちが農業に興味を持ち、定着出来る環境を整備する。そのためにはまず、農地の提供と経済的基盤を保証(援助)する制度を市として整備する必要がある。 ・若者達が住みやすい、町づくりが特に必要である。
品質や農産物の安全性を売りにできる農業を期待します。
スーパー等で白井産の野菜等が置いてないのでスーパー等に物産を出して欲しい。
消費地が近くにあり、ホームックでの朝市が続いている。西白井の複合センターを~富士~桜台等々のセンターでの移動販売や各センターを舞台に野菜を多く取り入れた料理教室の開催などはいかがですか。
都内にでかけた折に白井産の梨と書かれた箱に入っている梨をみるとうれしくなります！梨畑が宅地に変わっている現状…。後継者が育ちにくい環境なのでしょうか…。元気な高齢者の活用等を考える必要があるのではと思いますが…。
幼少の頃こちらに転居して、梨農家見学に行き梨が食べられる様になったので、これからもおいしい白井産の梨が食べられることを願っていますが…。後継者が少なく大変と聞いて心配しています。
白井市が発展していく事を期待していますが、ちょっと散歩をすると、旬の野菜が、気軽に買える所があったりする環境も、いい所だと思います。
都市近郊農業のリーダーとして食物自給率向上に貢献して欲しい。
・特産品作りは失敗もあるので、よく考えて欲しいです。 ・農業地域の自然環境は貴重なので守ってほしいです。 ・スーパーしか利用していませんので白井市の農産物を、自分で食べているか(梨以外)?疑問に思いました。このアンケートを通して、白井の農産物について考える機会がありましたが、もっと、身近に感じ、購入できたらよいとも思います。
・白井は自然がまだまだたくさんあって、暮らしていく上でも、住み良い所なので、このまま農地を残してほしい。 ・小学生や、中学生などの学習の場にして、もっともっと自然に触れる機会を作ってほしい。 ・高齢化や人手不足で、農業をやめてしまうのは、ほんとうに悲しいことなので、市としても対策に取り

組んでほしい。
白井市出身の「ほりけん」さんなどの有名人とタイアップして「白井の梨」や“白井”をもっとまず知ってもらっては。農作物を「道の駅」を作り販売すると良いのでは。
私は農業の事は分からない接客業の商人です。農家の後継ぎの問題等の事は近所の家庭内の大変なことは耳にしていますが、それについての考えは浮かんでできません。自分の家だけでも色々あり皆独立して暮らして居ます。どう落ちつくか大勢の中には識者も居られるでしょう。良い案が沢山出る事を期待して居ます。
安く、安全な生産物を継続的に提供できる農業にするべきと思う。
地元の人が白井市の特産品やそれを使用した食品を食べていて、外の人にすすめられる事で白井市の農業が活気づいていると、いいと思います。テレビなどを見ていると地元の人が、普段その土地の特産物などを食し、「〇〇のこれは1番おいしい!!」とか言っているのを見ると、地域全体で特産品に対して愛着があるように感じられる。そのようなものが白井市にも根づけばよいと思う。
農地を住宅地にするのではなく、新規就農者を育成し白井の農産物を多くの方に味わっていただける様に取り組んでもらいたい。
白井には休耕地、荒れたまま放置されている畑が多いので、リタイヤした働きたい人達、職をさがしている若者を就労の場に…輸入にたよっている農産物を日本で作る場に。沢山あると思います。ぜひ活気ある場所に変える可能性はあると思います。挑戦する、市民は応援したいと思います。
70代の女性なので10年先は見えませんが、若い人が農業に興味を持てる様良い考えが生まれればいいですね。
毎年、梨を知人に送り喜ばれています。梨だけではなく、野菜も有名になっていればいいと思います。
白井市に来てからもうすぐ2年がたちます。当時は梨ばかりだったのに、今では家ばかりになりました。私は、白井市が梨で有名な事を知らなかったのですが、他県の方は「あの梨で有名な所に住んでいるんだ?」と言ってくれます。それだけ有名なのですから、メディアなどを使ったり、ネット社会なのですから、SNSなどで梨で有名な白井市から、農業でも有名な白井市になってくれたらいいと思っています。
現状がどうだかが分からないので何とも言えませんが、現状以下にならなければいいのではないかな。アンケートに昨年度の白井の農業の実態などが分かる資料がついていけば答えやすかったです。
申し訳ございませんが、私自身はこれから農業にかかわりたいと思っておりませんので、その上での意見と思って下さいませ。少々耳にした事です。白井市の梨農家の後継者が年々減っているらしいと。梨栽培地も。これからはシルバー世代が増えていきますので、農業に興味のある元気な方々を組織化して、農地はあるが働けなくなった農家の方々から借り上げ(あるいは買い上げ?)、会社化させていく等、先手を打って行かないと先細りになっていくのではと。白井の梨は大好きなものですから、勝手を書きました。
安心して食べられ高すぎるものは、買えませんので農家の方達が一生懸命になるような自然に対する作物の保証など考えてあげられたらと思います。
大規模な宅地開発などで若い世代の人が増えていると思うので、そういった世代の人にも白井の農作物をアピールして欲しい。子ども達が農業に触れる機会が増えれば良いと思う。例えば市内の幼稚園では大根掘りやいも掘りなどあるが、小学校ではないので農業を教育に取り込めることができれば良いのではと思う。
子供に知ってもらう事が大事なので、最低限給食に白井産食品を積極的に取り入れ、秋には可能な範囲で梨を出して欲しい。栄養士の方が訪問する際には白井では梨が有名である事、この季節にはこの様な野菜や果物の生産をしています。といった話をしても良いと思います。そうする事がきっかけになると考えられます。
となりが梨作り農園です。あまりに消毒の回数が多くて驚いています。梨を食べるのをそのために控えています。また消毒をするたび、我が家にも入って来るので消毒のたびにお知らせ頂けたら、と思っております。
白井に限らず農地の大規模化、集約化、法人化等の進化がなければ農業の将来は暗い。TPPや農作物の工場

化も進んでいる中、このアンケートの意図は何かわからない。農業関連のデータ(就業者割合、市税収入額や比率、農地面積や分布、現状の販売先、農家の収入、費用後継者等を分析し政策の優先度を考えていくべきと思う。
白井市の特産品である梨の場合、市民個人の贈りものとしている数量をもっと拡大してもらう事によって全国的に一つのキャンペーンとして見る事が出来るのではないかな。しかし現在はスーパー等に依頼して発送した場合と生産農家に依頼して発送した場合と比べると余りに価格が違いすぎるので個人として段々贈りたい数量が少なくなってしまうのではないかな？
梨畑や農地が宅地になったりせず、残って欲しい。住宅と農地が共存していて、都心にも近いと云うのは貴重だと思います。直売所に行けば朝取ったばかりの野菜が手に入るけれど、10年後、20年後、車を運転できなくなると直売所は遠くて行けません。移動式の直売所があると良いですね。
市におんぶに抱っこでなく、自力でもう少し努力をしてほしい。梨の農家も大規模化等、個人経営でない方法も考えたらどうか。お金をかけるアンケートなら、もう少し内容の濃いものにしたらよかったと思う。もったいない。
今の農業は面白くない。やらされてる感が強く、活気がない。若い人の参加も少ない。折角、梨の生産量も日本で一番多いのであれば、もっとアピールをして欲しい。最近はずぐに農地を手放し、住宅地や駐車場にしてしまう。つまらない白井の農業です。白井の梨をアピールするにあたり、スポーツチームとか育てたら良いのではないかな？
白井市の農家の人達は、態度が悪い人や品の無い人が多いのももっと品良くしてほしい
私は、梨は絶対白井で買います。それは、梨は白井の物が一番おいしいと思っているからです。梨については、そう思っている方が多いと思います。他の野菜も、白井市民にもっと良さをアピールして、10年後に梨の他にも名産品ができるといいなと思います。
農業をやりたい若者、退職したシニア世代で農業をしたいと考えている人々を活用して、後継者の減少に当てる事を考えて行けばどうでしょう。
白井市は、やはり「なし」の町なので、「なし」を中心とした農業地であって欲しい。その為には、やはり若い働き手の確保が必須だと思います。梨農家の人材確保に予算を多めに取り、やる気のある若者世代に住居を格安で提供するなど、活動計画・実施してみたいかな？追伸：隣市の「ふなっしー」の力を借りるのも1つの手かだと思います。
ふなっしーの活躍で、千葉県は「梨」のイメージが定着したので、白井市の梨をもっとアピールできるように「なし坊」を宣伝した方が良くと思います。梨ブランデーがなくなってしまったことで、地元の名産品(ブランデーケーキ・キティの梨ゼリー)が土産品として使えなくなってしまい大変残念です。白井の梨を使った美しい食品を作って、アピールすべきです。今、販売中の梨ジャムは残念ながら美味しくなかったですし、クッキーはありきたりで食べたいと思えませんでした。是非、梨を使った美味しいお菓子を製作・販売して下さい。
他の地では地ビールを一步すすめ、地元産の黒米・梅などを使った様々なクラフトビールが人気のようです。
今後、高齢化が進む社会に適した世の中で、皆さんが喜んで作業に向える様になると良いです。
白井の梨が全国的にもっと広まっていほしい。
農業は、世襲制というイメージがあり、職業として興味があっても、家庭菜園どまりで、一般の人が、農業という職を身近に感じることはできないと思います。農業をもっと楽に身近に感じられたいと思う。パートなどの求人もあったらなと思うし、農業やってみたいなーと思います。
農業の工場化、新鮮、安全な農産物の生産。
私のように野菜はなんでも好き嫌いなく食する人間ですが、自ら進んで農作業、体験農園をしようとは思わない変人もおられます。“好きこそ物の上手なり”という言葉もあるとおり、畑仕事、農作業に情熱のある人達にお任せして、吾は吾が道をゆく、ということで、私は私の楽しみに邁進いたします。人それぞれ、人生いろいろとか。
農業を通して白井市を知ってもらい、活性化していて欲しいと思います。梨マラソンなど広めて、イベン

トを増やすのも良いのではないかと思います。
小学生の時に、大地の恵をいただく事と、大地を耕す事の苦労と大切さ、そして技術を学習する。(ひとにぎりの土の中にいる微生物の数を知る)四季を通じて旬の野菜や果実を自校式の給食で味わえる。生きるための本当の知識を学ぶ。その自校式の食堂で老人が夕食をいただきに行ける。(老人の居場所) 市民は皆、農業を応援するために登録をする。(仕事を得られる) 1日農作業をすると食券がもらえる。(老後も年金が少なくても食べて行けるくらいの仕事に就ける。) 市民は農業を通して健康になる。そのために、各小学校区に、とても素適な展望レストランを建てて、小、中学生、大人、老人、そして市外の人も集まり、畑とつながるレストランを利用する事ができる市になったら素晴らしいと思う。農業をしっかり応援して、9地区のレストランを運営して、産業としても就労の場としても、災害時の自給自足にも利用できる。10年後に実現していたらいいですね。20年後には、酪農もできたら人が沢山集まりますヨ。ガンバレ白井!!
長年白井は梨でやってきて、継ぐ人もなく、少なくなりつつ、他の農業もそのようである…個々で食べる量だけか、会社という共同体で続けるか…質問13の7がいちばん適する時代か
・10年後に限らず、白井市のなしを全国的に知ってもらい「白井のなしが一番美味しい!」と思ってもらえるようにアピールしてほしい。 ・地産地消の推進。 ・見栄え良く、整理整頓。(散らかっていたり、ごちゃごちゃしているのを見かける)
高齢化に伴い農業もますます大変になっていくのではないのでしょうか。若い人が、これなら農業もいいなと思えるような環境作りが進んでいけばいいと思います。細く長くではなく、太く長く続けていける農業を望みます。若い人でも農業に興味のある方は必ずいるはずですよ。そういう人達が表に出てこられるような環境が整えばいいと思います。
都心から近く、駅からも近い場所で農業が行われている事を生かして欲しいと思う。JAやおばあくの支店が駅の近くにできてくれると毎日白井の新鮮な野菜が買えるし、みんなの関心も高くなると思う。あとは土日農家の方が有料で収穫体験をしてくれるとお互いにメリットになるのではないかと思います。市はインターネットなどでその仲介を手助けすれば可能だと思います。私は知り合いの柏の農家に月に一度くらい行って収穫させてもらっています。農家の方も野菜は短い期間に大量にできてしまうので処理しきれず、私が取りに行くと喜んで分けて頂けます。「おばあちゃん、このジャガイモもほんとうにおいしいね」とお礼を言うと、それがまた励みになる様でお互いにとてもいい関係です。
「～戦略」策定と、このアンケートがどう関連するのかよくわからないが、行政、農業関連者共に、農業は守るべきもの、守られるべきもの、との固定意識が先行し過ぎているのではないかと考える。
農業を含め、もっと自然を大切にしたい。農業で田畑があることは生物多様性にも繋がる。そうすればゆっくりとでも農業に目を向ける人が増える。と思います。(偉そうに失礼しました…。)
梨畑が住宅地になってしまうのが残念です。後継者不在なら、市が農地を買い取って、上記のQ12、Q13の項目いずれかをやってみてはいかがでしょうか。10年後も、できれば梨畑の数が減っていないのが理想です。梨畑が減るなら、野菜畑が増えるといいです。水田も減らないで欲しいです。
後を継ぐ人が全ての農家にいる状態。後を継ぐ人が全くいないとなれば、市で農業者を公務員で採用し基本給+出来高で後継ぎ問題を解決。これは難しいとは思いますが後を継ぐ人がいる所はもちろん大減税ありきで。
地元の人が農業体験を気軽に参加できるようにする。関心をもった人が農業に興味をもち、将来助けてくれるかもしれない。今は農業の人が減り高齢化しているので、まずはそこを考えていき、若い人々を集め、そこから都内にでも宣伝していき広げていく。
住宅の近くにナシ園がありますが、毎日のように農薬散布をしています。収穫前の何日かは、使用しないという基準があるのですが、ここまでしないと見た目の良い果物はできないのだと思いました。野菜・果物など選ぶ基準は何なのか?今後の農業が健全に続けられるために、考えていく必要があると思います。
白井市の特産品である梨の耕作地を確保する。後継者のいない農家には市が積極的に介入し、これ以上減少しない様に努力して欲しい。
梨園(梨畑)の宅地造成が目立つように思います。後継者不足なのか?白井市と言えば梨だと思うので、10

年後も多くの梨畑が広がっていると良いと思います。
・ 難しい質問ですが…これ以上田畑がなくならないでほしいです。 ・ 放射能検査(土壌も含む)が、終わっていてほしい。 ・ 農業政策のためのアンケートだと思うが、まだ投かんしていないのに「お礼状」が届きました。アンケートをやったかやっていないかに関係なく、2000 人全員にお礼状を送っているとしたら、その礼状代(通信費)、作成、発送にかかる事務手数料等々を考えると、礼状は税金の無駄遣いだと思う。10 年後といわず、来年から、礼状は廃止してほしい。
白井市に越して 5 年目ですが、車で走っていると家の前で新鮮な野菜をスーパーよりも安く販売していたりします。安全・新鮮・低価格理想的です。家族が多ければ多いほど価格が気になるのではないのでしょうか。時々都内の駅構内で地方の特産物を販売しています。新鮮ではあるけれどとても安いとは言えなくても買ってしまう時があります。場所やアピール方法が変われば見方も変わったりします。又地元を力を入れるのであれば、もう少し手軽に買える工夫があるといいのではないのでしょうか。新鮮な野菜、おいしいお米は誰もが喜ぶ嬉しいものです。白井の家の前にある野菜はとても嬉しい価格でおいしいです。
休耕地を活かして農産物を作れるようにして作り手を募り地域の人達も感心をもってもらって、新鮮安心を保証して買ってもらえるようにする。食料の自給率を白井の中だけでもアップさせられたら有難い
直売所を充実させ、新鮮で安価という気持ちになるように、生産販売と少々レジャー(お茶、ランチなど…)を兼ねた所になってほしい。
農業をやってみたい人、やりたい人が多くおられるようです。野菜は暴落があります。作ったが売場所、市場が取りに来てくれるか、農協など…スーパーなどは一部だと感じます。緑の多い町に、梨畑、栗畑その他残して貸してくれる畑がほしい
・ 田、畑が休耕地にならないようになって欲しい。 ・ 「今井の桜」のあたりの田園風景が 10 年後もずっと続いていてほしい。
安心安全な生産者であって欲しいです。
販売店へ直卸しするなどコストを下げ低価格で販売するなど地元である利点を生かさないと厳しいと思います。地元還元の気持ちだけでは無理でしょう。価格が同じ、もしくは近ければ消費者も協力はしてくれるとは思いますが…
今回のアンケートは、素晴らしいと思います。農業は大事だと思うのでガンバッテ下さい。昔、畑だと想う場所が、たくさんあります……人が少ないとね！！
休耕地が多く防犯上も良くないと思う。除草剤が多く使用され水質、(井戸)、健康が心配。休耕地を団体組織で活用すると良いと思う。
最近、住宅がすごく建っていて、白井の良さがなくなってきていると思います。土や緑は農業にとっても大事だと思います。自然の中での農業体験は貴重なので、これ以上の住宅増加はやめてほしいです。梨畑が減っているのもすごく残念。市でも、農家の人への支援などをしたり、環境を整えるべきだと思います。
千葉ニュータウンで農業に携わる人の割合が減った今よりもさらに衰退する事がないようにして欲しい。特に白井の梨には期待しているのでどんどんPRして欲しい。
田畑の耕作、養生で環境・炭酸ガス対策の一助となって欲しい。治水・緑地保全にも役立って欲しい。行政(国策)の援助・保護がよく見えないが、自給率が現行 30%台を維持してもらいたいし、できることなら 40~50%に引き上げて、世界にも輸出できたらよい。国家的施策・方針・研究機関の未来への対応が望まれる。知事会・市長会等の強い団結・要望で国を動かす努力・研究等も是非、継続して実行し、具現化に至れば明るい未来が見えるかもしれない。(まとまりがなくて申し訳ありません。)遅くなり、申し訳ありません。
特産品のなしのブランド化を推進。
白井市長伊沢さんになってまだなしバス通らないから、福祉センターへ行くにもバスがないから毎日行く時は車に乗せてもらいます。バスを通わせて下さい。お願いします。
市民にとってメリットのある農業を行っていてほしい。白井市の農業を守るために、市民が無理して白井産の物を買うのではなく、美味しい・新鮮・安いなどのメリットがあって、スーパーの物より白井産の物

を買いたいと素直に思えるような物を作ってほしい。
・休耕地、耕作放棄地を、市が借りあげ、市民の希望者に無料で貸し出す事もよいと思います。(市民の健康増進になると思います。) ・白井の農作物が(特に梨など)世界に輸出できるように、技術などのシステムづくりも必要と思います。
白井市は「梨のまち」ではないのですか？人口が増え、税収を増やすことも大事ですが、多くの梨畑を住宅地に変えてしまって、白井市が向かっている方向がわかりません。梨畑は守るべきです。
後継者が育っていて、白井農業が元気でいてほしい。
・梨の生産量の維持 梨畑が宅地に変わっているのを見かけると、将来が不安になります。白井の梨は、特産物として今後も生産されていくことを希望します。 ・新たな特産物の誕生 梨以外に白井として勝負できるものがあると良いと思います。先日、直売所ではちみつを購入しました。白井に養蜂園があるのを初めて知りました。梨のはちみつは例えですが、農産物で特産があるとさらに、白井の強みになるかと思います。
農薬を極力減らした農業を推進し、白井へ行けば安心・安全な農産物が得られると人々が集う事の出来る施設が有れば、発信拠点となりより多くのニーズの取り込みが可能になるかと思えます。梨以外の農産物が、白井のブランドになっていたら嬉しく思えます。
白井の農業の生き残りは難しいと思う。 ・古い考え方の人間が多く、他を受け入れない風土。 ・保守的で、いじわるである。 ・金もうけ主義で、いやしいと思う。(他人をばかにした態度) ・自然食・無農薬の理解が無い。 ・勉強していない！無知である。ゆえに未来が無い！ ・白井の野菜は食べたくない！いらない！
白井産のものを使用した、かわいらしいお店で、お茶したり食事したり…。
特に白井の梨は、守ってほしいです。秋には知人に送ります。とてもおいしいと電話があります
若手就農者と事業者の連携による、農製品の販路確立、拡域あるいは北総ブランド(周辺地域も含めた)の確立。白井市単独では限界があるため、周辺市町村との連携が重要。
10年後も変わらず、元気あるものであってほしいです。
農業をやる方が増え、たくさん白井で作られた野菜・果実・穀物等が、手軽に購入でき、食べられる様になっていると嬉しいです。
後継者不足や農薬の問題など、年々梨農家が減っていると聞きます。白井市の特産品であり、ここが衰退していけば白井市の農業も衰退していくと思われるので、何とか維持できる様、対策を考えてほしい。
先の事はわかりません。
引越して半年余りで、まだ白井のことはほとんど知りませんが、考えてみました。 ・まずは白井市の認知度が低いので、白井市をアピール。きれいな新しい街並みをさらにグレードアップ(やっとなら日本でも考えるようになってきた電柱地中化など)ポストを全部白にしてみる。(白いポストを見たときビックリしました。) きっかけは何でも良いと思いますが、マスコミに取り上げられるようなもの考える。 ・その上で梨園など農業だけを切り離して考えるのではなく、総合的に考える。梨園にレストランやバーベキュー広場などを併設して、季節外でも人を呼べるようにする。お店が少なすぎて、買い物客が市外に流れるのを防ぐ。(地産地消を考えるなら、絶対に必要だと思います。)10年後には、都心から近く、街並みも素敵で、農業もさかんな白井市を期待しています。
申し訳ないけど、答える事が出来ません。
桜台エリアではあまり白井の野菜を買うことができません。ナリタや桜台店、ワクワク広場(イオンモール)、農産物直売所(アルカサル店)か買物に行けるのですが印西の物が多いです。無人販売でもいいので

型は気にしません。安くておいしい野菜がいつも買える場所があるといいです。梨はいろいろな方のものが買えているのでラッキーです。おつかいものは梨を送っています。
梨は、このまま、おいしいのを作ってほしい。野菜は、本当は、スーパーで買うより作りたてがおいしいのだが、直売所で売っているより自分で作った方がおいしいのはなぜでしょうか。形は変でも、新鮮でおいしいと思える野菜が食べたいのです。その為に東京から引越してきました。直売所で買ってもおいしくないのがあります。そういうのがあるとスーパーでも同じじゃないかって思っちゃいます。化学肥料のせいかもしれませんが、とにかくおいしい野菜が食べたいのです。その為に、作った人の名前が必要かもしれないが、今一番おいしいのは自分達で作った野菜ととなりの家で作っていただいた野菜です。どこが違うのかはわかりませんが…。
どんなに値段が高くて“ありえない”と思わせる程美味しければ例え遠くても買いに来てくれる人はいます。私自身埼玉にトマトを買いに行っています。独自性のある唯一無二の商品を開発して下さいますよう期待しています。
安心・安全な農作物がより新鮮に消費者の元に届く様なルートを充実して欲しい。
消費者にとって安全で地域の特性を活かした農業を推進してほしいです。
白井はなしの産地なので、なし農家が減らないでいてほしい。
白井市の農業というよりは、白井市の緑化をすすめていってほしいと思います。その中で農業も大事な要素ではあると思いますが。住宅地化を過度にすすめないでほしいです。あとは農家の人たちと市民の人たちがふれ合うイベントとかがあれば嬉しいです。特に子どもを持った家庭とかに。よろしくお願いします。
安心で安全な農産物の生産が拡大していて、誰でも買いたくなるような野菜などが近所で簡単に買えるようになっていて欲しいです。
現状維持。今まで通り安心できる食材を提供して欲しい
白井の特産品としては梨が代表的なものなのでぜひ守って頂きたい。
せっかくのアンケートなのに1つ、2つ、3つまでとかしないで思っている事に対していくつでもお答え下さいとした方が良いですよ。税金を作ってやるアンケートにしてはおそまつな内容です。こんなアンケートは無意味です。だから公務員だとばかりにされるんですよ。伊澤市長へもうちょっとしっかりして下さいな。こんな事より、公共交通機関網(電車、バス)の充実に力を入れた方が良いでしょう。10年後は白井市の老人人口迄考えた事はありますか？
安心安全な町 ・地元で生産される安全安心な野菜、米、果物などが購入できる。 ・身近な所に日常生活用品、食品を購入できるお店がある。 ・地域の人が協力し安全安心な町づくりに協力する 活気のある町 ・利便性 ・医療の充実 ・店(個人の店)など特色ある店がある。
千葉では地産地消という字に千産千消というように地元の人に千葉のものを多くの人に食べてもらおうとしている傾向がみうけられます。地元のもの食べて子供たちが健康に育ってほしい気持ちはどの親ならあると思います。安心して食べられるように、安心して食べさせる事ができるようにそれが1番だと思います。白井の梨も船橋の梨も特別かわりはないと思います。キャラクターの人気もあるけれど、おいしいものは自信をもって発信して欲しいです。
今と変わらずおいしい野菜や果物がいただけたらうれしいです。白井産のものは野菜が苦手な子供も大好きです。
農地から宅地へと変わりつつある今日ですが、白井の特産＝なしというものがなくなると良いなと思います。休耕地などは子供の遊び場として活用し、そこで特産品や地域の野菜などを販売するブースを作ったり、イベントなどを行えば、もっとたくさんの人に地産地消を推進することができると思います。
・白井の農産物が全国区になっていて欲しい。(梨は有名ですが、その他の農産物もとても美味しいと思う

ので、白井＝農業と食物の豊かなイメージが定着したら嬉しい。結局の所、食糧がなければ生きていけないことが理解され始めている今を狙い目に発展していけると良いと思う。)

・ 駅などで、直販している野菜をもっとアピールして欲しい。知ってもらふ事で、美味しさも広まって行くと思う。

・ がんばってください。応援しています。

＜安心・安全を前提とした、住民(生産者と消費者)相互の顔が見える、地産地消の農業＞

基本は地域(地元)への貢献

農業を生産者と消費者という視点から捉えるのではなく、お互いが白井市で暮らす生活者との視点で捉え、それぞれの立場で地域(地元)へどう貢献して行けるのかと考えた時に、新しい答えが見つかるのではないのでしょうか。お互いを生活者と捉えたとき、そこに生まれるのはコミュニティです。そのコミュニティを形作り発展させるために、生産者の立場から白井の農産品を(目と舌で)知ってもらい、さらに身近な食材としての特性(生産の苦労と喜び)を理解してもらう事、消費者の立場からは白井の農産品を(目と舌で)知り、生産者の苦労話を聞きながら理解を深め、さらに生産者ならではの美味しく食べる工夫を学び愛着を感じる事。この二つが揃えば、大きな原動力となりコミュニティが形成されて行くのではないのでしょうか。さらに定着化と活性化の仕掛けとして、農業体験や収穫祭の場を用意し、家族ぐるみで参加する事により土に親しみ地場産品への親しみを深め、さらに、子供たちは楽しい体験を重ねる事により地域への愛着を醸成していくものと思います。生産者がクールなら消費者だってクールです。ここで気を付けないといけないのは、利害関係を最小限に留める工夫が必要な事です。例えば、最近の生産直売所(「道の駅」などでも沢山見かけますが)で感じる事は、決して安くないという事です。安さを求めるなら、人はもっと便利(農産物以外の商品も豊富)なスーパーへ行きます。直売所に立ち寄る人が求めるのは、安心・安全が大前提ではありますが、やはり新鮮さと安さです。もし、生産者が直売所を小売店やスーパーに次ぐ第三のマーケット(販売チャネル)と捉えるのであれば先細りは必定でしょう。もともと流通経費が軽い分、また、見てくれにこだわらない分、新鮮なものを安く販売できるはずで、それを新鮮なのだからスーパーと同じ値段でも売れるだろうという、生産者の小賢しさを見抜けないほど消費者は愚かではありません。ただし、直売所を生産者と消費者の交流の場、生産者が自ら農産物を紹介出来るプロモーションの場と捉えれば大分見え方が変わってきます。生産直売所を人と人のふれあいの場へ生産者が提供するのには新鮮な農産品だけではなく、野菜や果物などを育てるノウハウ・新鮮ならではの食材を楽しむ方法、また、とっておきのレシピ、などです。一方、消費者が期待するのも新鮮な農産品だけではなく、新鮮な食材を美味しく楽しむ方法は誰もが求める所です。また、料理のレシピは巷に溢れているところですが、生産者から直接聞けるレシピは格別なものだと思います。子供たちにとっては見るもの全てが新鮮です。その上、美味しく食べられて、さらに、野菜や果物の成長が直接見られたり、畑や果樹園での収穫体験などの遊びが伴えば、格別の遊びの空間となります。さらに、近年、家庭菜園を楽しむ人たちも増えてきましたが、ほとんどが素人なのでプロの生産者から話が聞けることは大きな楽しみだと思います。こう言うと、何か難しい事に思えるかもしれませんが、比較的時間に余裕のあるおじいちゃんおばあちゃんがお茶でも飲みながら作物を育てる苦労話を聞かせるだけで、自然に話が広がっていくのではないのでしょうか。さらに、試食品(もちろん実費程度の費用負担は必要ですが)が提供できれば舌で直接レシピを実感することができます。このような場面を思い浮かべれば、アイデアも色々と浮かんでくるのではないかと思います。このように、生産者と消費者が生活者として向き合ったときに新しいコミュニティが形成され、農業というテーマを通して交流する事により、地元の農産品がより身近なものとなり、人と人のふれあいを通じた地産地消のプラスのサイクルが回りだすものと思います。このサイクルが広がれば、おのずと地産地消の規模も大きくなり、趣味という切り口も得て、さらに農業への理解が深まり、生産者人口の拡大にも寄与するものと思います。産業としての農業については、これまでも、さまざまな施策・政策がとられているものと思いますが、生産者と消費者が混在している白井市ならではの特性を生かした「農業」をキーワードとしたコミュニティの形成と、そのコミュニティを基盤とした「地産地消」があっても良いのではないかと思います。一市民の意見ではありますが、参考にして頂ければ幸いです。

①まず工業団地の活性化(若者に発揮できる仕事)

②白井市民である若者たちが十二分に暮らしていける政策を抜本的に考える（責任の所在をハッキリさせる。役所の仕事） ③「マスタープラン」は題目を唱えるのではなく、もっと掘り下げるべきである。（バラ色の人生だけでなく苦の人生でもあります） ④夢は大きく持つことは大切であります、人口減少は避けられません、それをどう乗り切るが市民と共に考える ① の単一栽培 1 本ではダメである。サッカー、野球、ラグビーを誘地することが先決である。
せっかくこれだけの梨園があるのだから「梨は白井市！」と全国規模で周知されるくらいになってほしい。山形のさくらんぼや紀州の南高梅…など。「1 粒でもやっぱりおいしいから高値でも価値がある」というような他と差別化をはかった最高級梨なんていうのもあっていい。白井産だから安心して食べられると思ってもらえるような取り組みを市と農家が協力して、どんどん全国にアピールしてほしい。
地域住民としては農薬の散布が気になる。梨の生育の一時期と思うが農薬が（風向きによって）飛んできているように思う。（正直に云うと）皮膚などに付いているんじゃないかと思う事がある。安全なんだ、気にすることはない、という広報もしてほしいと思う。
こんな事に税金を使う事がない様にお願いします。
青森から引っ越してきました。農業を取り巻く問題は、どこにいても同様にあるのだと痛感しました。就農を目指す若い人が増えているという報道もあります。農業体験などを広く実施したり、農地の貸し出し等で就農を手伝えれば良いですね。青森では果樹のオーナー制度もありました。都市近郊の人を呼び込めないでしょうか。ひとつ残念なことがあります。宅地開発によって多くの農地がなくなっているように見えます。環境整備は必要だと思いますが、これ以上農地が減っては農業を守ることは難しい気がします。
10 年後ではないですが、学校給食で梨が出たら嬉しいです。メロンやりんごなどは出た事があるようです。梨も安いものではないですけど…
梨園が減ってきているように思うので、何とか行政の力で梨園を助け、これ以上減らないようにしてほしいと思います。
スーパーにコーナーがありますが、もっと参加する農家さんを増して、もっと盛り上げて欲しい。もっともっと白井市の農産物が身近になり、買いやすくなる事を期待します。
白井市の農業の前に、白井市という市の存在を知っている人が少ないので、もっと多くの人に白井市について知ってもらうべきだと私は思います。その後に、一つでも自慢できるような農作物ができるようになればいいと思います。
後継者不足で白井の特産である梨の農家がどんどん廃業していると聞いています。白井梨を積極的に売り込んで、1 件でも多く梨農家が 10 年後、残ってほしいです。白井の梨はおいしいのに、世間的に知られていないのが悔しいです。
若い人も、農業に関心をもって欲しい。
・ 白井に住めば、新鮮・安心安全な野菜が他より安く手に入る（販売されている）という、お得感が味わえる様になると嬉しいです。例えば、天候不順で野菜が高くなっても、やおばあくら安い！など ・ 品質が確かな物であれば、売り方次第で高くても売れるとも思う。野菜にしる果物にしる、種類や農法にこだわったり加工したり、付加価値をつけたネット販売なども力を入れていただけると良いのかなと思います。
新規就職希望者が増えるように、経済的にも魅力のあるものになって欲しいです。そのための研究や、周辺自治体との協力などについては、市からの援助があって良いと思います。
以前は、梨、野菜を積極的に購入していましたが、今は買いません。どの農家も野焼きが激しく本当に困っています。環境が良いからと思い転入してきたのに、野焼きがひんぱんで子供のぜん息はひどくなり、洗濯物に匂いはつく。もっと市の方で直接言って欲しいです。農家が野焼きを続ける限り、白井の農家はなくなってもらいい。
今後 10 年間で農地を大幅に拡大することは難しい一方で、海外からの輸入農産品は増加し続けていくことが予想されます。そのため 10 年後の白井市の農業は、価格が高くても売れる高品質な農作物を手掛けてい

るべきだと考えます。付加価値の高い農産物を効率的に作ることができれば、国内の他地域や海外にも負けない農業になると思います。多くの若者が、農業に期待と希望を持てる取組を、白井市全体で進めている状況になっていて欲しいです。
宅地化が進むと思われるため、世代交代が進むと更に農地が減ると想定される。道の駅のような施設と、とりまく農地の維持確保など、組織的な活動がないと今後の発展はないと思われる。
今よりも発展している事を願います。
白井の梨を全国的にしてほしい。
白井産のおいしい梨を全国に広まって欲しい。
質問 10～14 は一般市民には、不適切な内容です。消費者側の質問としては、的外れだと思います。
質問 13 と重なるかもしれませんが、今の小学生達は、田植え、稲刈りなどの見学に行くのでしょうか？学校でバケツで育てているのは見たことがあります。野菜も育てていますね。社会科見学などで田畑を見に行けば、興味が出てくる子供もいるのではと思います。白井は、自然との距離が近いと思います。この環境を生かし、教育などとも連携して行ければ、農業に対するイメージ、考え方など変えていけるのではないかと思います。子供は土いじりが好きな子が多いです。小さいうちから芽を育てていけば、全体が盛り上がると思います。勝手な意見ですいません。
働く場として農業を目指す人は友達にもいません。高齢者が働く場ならよいかもしれません。
里山の雰囲気を残しながら、東京近郊の土地・利便性を活かし、消費者ニーズに応じた野菜・果実を作って、積極的に販売して行ってほしい。東京や他地域の方が、週末お野菜を車で買いに来られるような、マルシェのような事ができたら楽しいと思います。
特になし。やおばあくは作った場所が悪かったと思う。もっと他の道の駅を見に行き勉強した方がいいと思う。最低でも八千代や柏の道の駅みたいにもっと他の施設も同じ所に作った方が良し。
最近、空いている土地はいつの間にかヤードなどになってしまい、環境も悪く、農地も減ってきていると思います。農家がいないと私達の生活は困ってしまうので、農家にはがんばってもらいたいし、市でも農家を支援して、今あるものを大切に、減らさないようにして行ってほしいと願います。
低所得者がなくなる様、安定した収入を得てほしいと思う。やりがいいのある農家(若い人)
TPP に負けない世界をマーケットとした農業になってもらいたい。まずは国内での知名度を上げる市と農家の協力が必要
・市内に工団があり、産廃業者が多数いる限り土壌は汚染されたまま。本当に守りたいのであれば各業者を追出し、土壌の改善に本腰を入れてもらいたい。近所に業者がきた時、水が臭く、マズくなった。近くに市議がいるが約立たず!!農業特区でもない限り未来はない。(品質の維持、品質改良)
・ハウスや野菜工場等の導入で、年間を通して農作業が出来る環境が望まれます。 ・若い能力を持った人財の確保と教育機関の誘致。 ・商品開発の出来る研究機関の開設。
富士地区は最近急激に畑がなくなっている気が致します。又、路地販売も減った気が致します。地産地消を推進する為にも、やおばあくと言わないまでも直売所が富士地区にもあるとうれしいです。人口が増えるのも嬉しいですが、畑がなくなるのも、何かさびしいものがあります。(勝手ですが…)これ以上農耕地(又は土)が激減しないと嬉しいです。
人が集まる場となり、農業に接するイベントやとれたて野菜などが食べられるような農業×人である場。
現在使われていない土地を有効活用し、市街地と農村部での消費、生産のサイクルが市内で成立し、そのような取り組みを市外にもアピールできるようになっていたら良いと思います。
・特産品(なし、ぶどう)の充実・強化 ・地産地消農作物の安定供給 ・経営システムの変革：株式会社化
住宅地、商業地、農業地を区別した取組を行ない、3つの区分された街作りを行ない、住環境をととのえた街。
他地域と比べ品質のいい安全な物を作りつづけてもらいたい。

「白井市の農産物は？」と聞かれた時に梨以外に思いつかないです。梨なら他の地域でも、取り組みをしているし白井の地名自体がマイナーなので、地元に住んでいる人なら分かるけど他の地域の人からは認知されていないのが多いと思います。梨は梨で継続しつつ新たに「白井の農産物は＝？？？」みたいな物を作った方が個人的に良いかなと思います。
歩ける距離にいつでも購入できるお店が、数店できて欲しい。
白井市の〇〇野菜が美味しい！！という農業があると良い。野菜を食べるにあたって、産地など気にはしないが、白井市で農業に対する取組が盛んになるのであれば、市民全体が必ず動くと思いました。市民全体が動く事によって、〇〇野菜が美味しいというと思います。
都市部から近い地の利を活かし、気軽に遊びに来て、1日遊んで過ごせるような体験型のイベント、常設な物、道の駅的な物があると面白い。例えば今あるものを利用して、…市民だけでなく、広く、都市部の人へも農園を貸し出したり、農業体験、田植えなどを体験してもらい、終わった後は、白井の湯で、汚れと疲れを落とし、直売所を併設して、地場の物を販売。カフェにして、地場産の物を提供する…冬場(休耕期間)は里山の散策など、幅広く、白井に親しみやすく、楽しめるような取組を。
梨をきっかけに、他の野菜も世間的に認知度が上がればもっと農業全体が活性化すると思います。
日本(世界)一の消費地に近接した、白井の農産物のブランド力を高め、差別化を図る。
最近、梨畑が住宅地に変わっていくのが目につきます。田畑は1ヶ月1年では実らず、長い時間手間をかけてやっとおいしい作物ができるのだと思います。無計画な宅地への転用はやめ、農家を保護しながら、子どもからお年よりまで多様な世代が住み良い市になるよう、都市計画を考えてもらいたいです。宅地のすぐ近くに梨畑があるというのは、子どもたちにとってとても良い食育の環境だと思います。保育園、幼稚園、学校と連携して、梨畑を通じて農業体験をし、将来の農業につなげていけるとよいのではないのでしょうか。
「白井といったら梨！」だけでなく「梨といったら白井！」と全国的に有名になっていて欲しい。美味しいのは確かなので、もっと積極的に、全面的にPRして欲しい。

3) 商業者

北総鉄道運賃の値下げ
商業施設の量から質への転換を意識した開発
排水
あまり期待していない
市街化区域の拡充
工業地域の拡大

5. アンケート調査票

1) 農業者

白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定基礎調査に係る 農業者アンケート調査ご協力のお願い

日頃より白井市のまちづくりにつきましては、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を目指して、「白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に取り組んでいます。

この戦略の策定に当たって、基幹産業である「農業」の付加価値を高め、働く場として充実させていくことが重要となります。

このため、本市の農業者の方々に、日頃お考えになっているご意見やご要望をお聞かせいただきたく、今回、アンケート調査を実施することとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査の主旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、「白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の目的以外に使用することはありませんので、お答えいただいた内容に関してご迷惑をおかけすることはありません。従いまして、ご記入の際は、率直なご意見をお聞かせください。

平成27年7月

白井市長 伊澤 史夫

【ご記入と返送について】

■調査票は、各項目にご記入いただき、同封の返信用封筒にてご投函ください。

■ご記入の調査票は、返信用封筒にて、**平成27年7月24日（金）までに**ご投函ください。

■本調査のお問い合わせは、下記あてにお願いいたします。

○お問合せ先：

白井市総務部企画政策課企画政策班

〒270-1492

千葉県白井市復1123番地

電話：047-492-1111

FAX：047-491-3510

E-mail：kikaku-seisaku@city.shiroi.chiba.jp

質問1 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校に○をつけてください)

- 1 白井第一小学校区(神々廻の一部、白井、復、根、木の一部、河原子の一部)
- 2 白井第二小学校区(折立、富塚の一部、中、名内、今井、平塚、河原子の一部、十余一の一部)
- 3 白井第三小学校区(富士、復、根)
- 4 大山口小学校区(大山口1丁目・2丁目、大松1丁目、西白井1丁目・2丁目、根、富塚の一部)
- 5 清水口小学校区(清水口1丁目～3丁目、けやき台1丁目・2丁目、根)
- 6 七次台小学校区(七次台1丁目～4丁目、野口、西白井3丁目・4丁目、根、木の一部)
- 7 南山小学校区(南山1丁目～3丁目、堀込1丁目、笹塚1丁目～3丁目、復)
- 8 池の上小学校区(池の上1丁目～3丁目、堀込2丁目・3丁目、復、根)
- 9 桜台小学校区(桜台1丁目～5丁目、十余一の一部、清戸、谷田、神々廻の一部)

質問2 あなたの性別はどちらですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 男性
- 2 女性

質問3 あなたの年齢は何歳ですか。() 歳

質問4 あなたの農業経営の形態は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 専業農家
- 2 兼業農家(農業所得が主)
- 3 兼業農家(農業所得が従)

質問5 あなたの農地の利用形態と面積についてお伺いします。

利用形態	面積
1 自己利用	a
2 貸している	a
3 借りている	a
4 その他	a

質問6 あなたが現在耕作している農産物のうち、主なものは何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 水稲
- 2 野菜類
- 3 果樹類
- 4 花き類
- 5 畜産
- 6 その他(具体的な内容をご記入ください)

内容:

質問7 質問6で選んだ農産物の主要出荷先はどこですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 市場
- 2 農協
- 3 スーパーマーケット・小売店
- 4 やおばあくなどの共同直売店
- 5 インターネットによる通信販売
- 6 食品製造業や外食産業などの食品企業
- 7 露地販売・無人販売・移動販売
- 8 自家用
- 9 その他(具体的な内容をご記入ください)

内容:

質問8 あなたが所有している農地で、耕作していない農地はありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 ある
- 2 ない

質問9 「質問8」で「1 ある」と回答された方にお伺いします。あなたは、耕作していない農地についてどうお考えですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1 売りたい | 3 いずれは耕作を再開したい |
| 2 農地として貸したい | 4 その他（具体的な内容をご記入ください） |

内容：_____

質問10 あなたは、農業の後継者・担い手がいらっしゃいますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|

質問11 あなたは、後継者・担い手を確保・育成するためには何が必要だと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 農業技術の指導・向上
- 2 意欲ある農業者への融資制度等の充実
- 3 後継者・担い手や新規就農者などに対する支援の充実
- 4 販売ルートの確保など農業収入の向上
- 5 地域における農業共同作業・共同出荷
- 6 農業機械などによる省力化
- 7 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：_____

質問12 あなたは、農業を通じた市民との交流について、どのような交流を望んでいますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 農産物の直売を通じた交流
- 2 学校給食などにおける地産地消を通じた交流
- 3 体験農園を通じた交流
- 4 農作業の手伝いなどを通じた交流
- 5 農業大学校など専門的に農業を学ぶ場での交流
- 6 特にない
- 7 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：_____

質問13 あなたは、今後の農業経営の方向についてどうお考えですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 拡大したい | 2 縮小したい | 3 現状のまま |
|---------|---------|---------|

質問14 「質問13」で「1 拡大したい」と回答された方にお伺いします。あなたは、今後、どのようなことに取り組みたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 既存生産品目の拡大を図る
- 2 新規品目の導入を図る
- 3 ハウス栽培の導入・拡大を図る
- 4 新規雇用者を確保する
- 5 農産物の6次産業化、高付加価値化を図る
- 6 法人化やグループ化を図る
- 7 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：_____

質問 15 あなたが、10年後の農業経営を考えたとき、問題や不安に感じることは何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 固定資産税や相続税
- 2 農業以外の仕事とのバランス
- 3 後継者・担い手の確保
- 4 宅地と農地の共存
- 5 新たな施設整備や農業機械購入のための資金の確保
- 6 農業収入や農産物の販売先の確保
- 7 農業仲間の減少
- 8 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：

質問 16 あなたが、白井市の農業施策に期待することは何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 優良農地の確保・農地の集積
- 2 集落営農組合など共同営農制度の普及
- 3 農道や用排水路の整備
- 4 農地周辺の開発の抑制や規制、保全する農地の指定
- 5 後継者・担い手の育成
- 6 農作業を手伝うボランティアなど労働力の確保
- 7 生産規模に対応した出荷先の確保
- 8 生産から加工、販売までを一体的に行う取組の推進
- 9 施設整備や農業機械購入に対する補助制度の充実
- 10 農業の必要性・重要性に対する市民の理解の醸成
- 11 農業者同士の情報交換
- 12 営農相談の充実
- 13 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：

質問 17 10年後、市内で生産される様々な農産物を広く消費者に提供していくためには、今後の農業はどうあるべきだとお考えですか。ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

2) 消費者

白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定基礎調査に係る 農業に関する消費者アンケート調査ご協力のお願い

日頃より白井市のまちづくりにつきましては、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を目指して、「白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に取り組んでいます。

この戦略の策定に当たって、基幹産業である「農業」の付加価値を高め、働く場として充実させていくことが重要となります。

このため、市民の方々に、日頃お考えになっている農業や農産物に対するご意見やご要望をお聞かせいただきたく、今回、アンケート調査を実施することとなりました。

この調査は、市内在住の18歳以上の市民から無作為に選んだ2,000人の方々にお願いしております。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査の主旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、「白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の目的以外に使用することはありませんので、お答えいただいた内容に関してご迷惑をおかけすることは一切ありません。従いまして、ご記入の際は、率直なご意見をお聞かせ下さい。

平成27年7月

白井市長 伊澤 史夫

【ご記入と返送について】

■調査票は、各項目にご記入いただき、同封の返信用封筒にてご投函ください。

■ご記入の調査票は、返信用封筒にて、**平成27年7月24日（金）までに**ご投函下さい。

■本調査のお問い合わせは、下記あてにお願いいたします。

○お問合せ先：

白井市総務部企画政策課企画政策班

〒270-1492

千葉県白井市復1123番地

電 話：047-492-1111

FAX：047-491-3510

E-mail：kikaku-seisaku@city.shiroi.chiba.jp

質問1 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。(わからない場合は、自宅から一番近い小学校に○をつけてください)

- 1 白井第一小学校区(神々廻の一部、白井、復、根、木の一部、河原子の一部)
- 2 白井第二小学校区(折立、富塚の一部、中、名内、今井、平塚、河原子の一部、十余一の一部)
- 3 白井第三小学校区(富士、復、根)
- 4 大山口小学校区(大山口1丁目・2丁目、大松1丁目、西白井1丁目・2丁目、根、富塚の一部)
- 5 清水口小学校区(清水口1丁目～3丁目、けやき台1丁目・2丁目、根)
- 6 七次台小学校区(七次台1丁目～4丁目、野口、西白井3丁目・4丁目、根、木の一部)
- 7 南山小学校区(南山1丁目～3丁目、堀込1丁目、笹塚1丁目～3丁目、復)
- 8 池の上小学校区(池の上1丁目～3丁目、堀込2丁目・3丁目、復、根)
- 9 桜台小学校区(桜台1丁目～5丁目、十余一の一部、清戸、谷田、神々廻の一部)

質問2 あなたの性別はどちらですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 男性
- 2 女性

質問3 あなたの年齢は何歳ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 20歳代
- 2 30歳代
- 3 40歳代
- 4 50歳代
- 5 60歳代
- 6 70歳代
- 7 80歳代以上

質問4 あなたの職業は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 会社員
- 2 団体職員
- 3 公務員
- 4 自営業
- 5 農林業
- 6 主婦
- 7 アルバイト・パート (具体的に:)
- 8 学生
- 9 無職
- 10 その他

質問5 あなたは、ふだん野菜などの食材を主にどこで購入していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 ショッピングセンターやデパートなどの食品売場
- 2 スーパーマーケット
- 3 コンビニエンスストア
- 4 八百屋などの個人商店
- 5 やおばあくなどの直売店・直売所
- 6 自然食品店
- 7 食材宅配サービス
- 8 インターネットなどの通信販売
- 9 その他(具体的な内容をご記入ください)
内容: _____

質問6 あなたは、野菜などを買う時にポイントにしていることは何ですか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 価格が安い
- 2 国産である
- 3 白井産など地場産品である
- 4 生産者などがわかる
- 5 色、形などの外見
- 6 適量である
- 7 有機栽培・無農薬などである
- 8 消費期限
- 9 高級である
- 10 気にしない
- 11 その他(具体的な内容をご記入ください)
内容: _____

質問7 あなたは、農産物直売所やスーパーマーケットの地元農産物販売コーナーなどをどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 ほとんど毎日利用する（週に5回以上） | 4 たまに利用する（月に数回） |
| 2 よく利用する（週に2回以上） | 5 ほとんど利用しない |
| 3 ときどき利用する（週に1回程度） | 6 農産物直売所や販売コーナーが近所がない |

質問8 あなたは、食材宅配サービスやインターネットなどの農産物の通信販売をどのくらいの頻度で利用していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 ほとんど毎日利用する（週に5回以上） | 4 たまに利用する（月に数回） |
| 2 よく利用する（週に2回以上） | 5 ほとんど利用しない |
| 3 ときどき利用する（週に1回程度） | 6 食材宅配サービスや通信販売を知らない |

質問9 あなたは、農業に対してどのようなイメージをお持ちですか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 農作物を育て、販売するというやりがいがある
- 2 自然環境の中で仕事ができる
- 3 食料などを生産する重要な産業である
- 4 収入が不安定そうである
- 5 重労働そうである
- 6 忙しそうである
- 7 特にない
- 8 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：_____

質問10 あなたは、農業に携わりたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

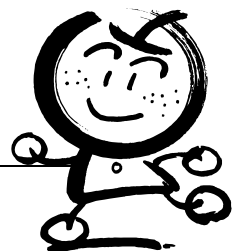
- 1 就農したい
- 2 退職後など、いずれは農業に携わりたい
- 3 ボランティアなどで携わりたい
- 4 携わりたいと思わない
- 5 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：_____

質問11 あなたは、白井産の農産物を多くの人に買ってもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 白井産とわかるような地場産表示（ロゴマークなど）をする
- 2 イベントを行い、マスコミなどに取り上げてもらう
- 3 都心や周辺主要駅構内などにアンテナショップを設置する
- 4 農業と食品関連企業が連携する
- 5 商業や観光業、医療など、地域と連携する
- 6 有機栽培や無農薬栽培を行う
- 7 市のマスコットキャラクター（なし坊）を前面に押し出し、アピールする
- 8 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：_____



質問 1 2 あなたは、白井市の農業を守るために、どのようなことに取り組んでみたいと思いますか。

次の中から2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 農業への参加（市民農園や体験農園、農作業の手伝い など）
- 2 休耕地・耕作放棄地の活用（遊び場・たまり場等の整備 など）
- 3 農家との定期的な情報交換（インターネットの活用、イベント開催 など）
- 4 白井産の農産物等を積極的に購入
- 5 農地周辺などの美化活動（植栽、清掃活動 など）
- 6 農作業や農薬散布への理解を深める
- 7 特にない
- 8 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：

質問 1 3 あなたが、白井市の農業施策に期待することはどんなことですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 消費者のニーズに応じた新鮮で安全な農産物の生産を拡大する
- 2 果樹など、地域の特性を活かした農業を推進する
- 3 多様な担い手や新規就農者を育成し、確保する
- 4 学校給食などで地産地消を推進する
- 5 生産から加工、販売までを一体的に行う取組を推進する
- 6 有機農業などを有効に活用した環境にやさしい農業を推進する
- 7 休耕地などを、市民農園や家庭菜園として活用する
- 8 市民や農業者などが一体となって、農業や農村の役割について学習する機会を設ける
- 9 農業体験や観光など、都市と農村との交流を推進する
- 10 農業者や商業者が連携して、新たな商品やサービスを開発する
- 11 農村の自然環境と景観を守り育てる
- 12 特にない
- 13 その他（具体的な内容をご記入ください）

内容：

質問 1 4 あなたは、10年後の白井市の農業がどうあって欲しいですか。ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

3) 商業者

白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定基礎調査に係る 商業者アンケート調査ご協力のお願い

日頃より白井市のまちづくりにつきましては、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、人口減少の克服、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を目指して、「白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に取り組んでいます。

この戦略の策定に当たって、地域経済を支える商業基盤を充実させていくことが重要となります。

このため、市内で事業所・店舗などを経営される方々に、経営状況や経営課題、将来の方向性などをお聞かせいただきたく、今回、アンケート調査を実施することとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査の主旨をご理解の上、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この調査は、「白井市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の目的以外に使用することはありませんので、お答えいただいた内容に関してご迷惑をおかけすることは一切ありません。従いまして、ご記入の際は、率直なご意見をお聞かせください。

平成27年7月

白井市長 伊澤 史夫

【ご記入と返送について】

- 調査票は、各項目にご記入いただき、同封の返信用封筒にてご投函ください。
- ご記入の調査票は、返信用封筒にて、**平成27年8月12日（水）までに**ご投函ください。
- 本調査のお問い合わせは、下記あてにお願いいたします。
 - お問合せ先：

白井市総務部企画政策課企画政策班

〒270-1492

千葉県白井市復1123番地

電話：047-492-1111

FAX：047-491-3510

E-mail：kikaku-seisaku@city.shiroy.chiba.jp

質問 1 事業所・店舗は、どちらの地区にありますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。(わからない場合は、事業所・店舗から一番近い小学校に○をつけてください)

- 1 白井第一小学校区(神々廻の一部、白井、復、根、木の一部、河原子の一部)
- 2 白井第二小学校区(折立、富塚の一部、中、名内、今井、平塚、河原子の一部、十余一の一部)
- 3 白井第三小学校区(富士、復、根)
- 4 大山口小学校区(大山口1丁目・2丁目、大松1丁目、西白井1丁目・2丁目、根、富塚の一部)
- 5 清水口小学校区(清水口1丁目～3丁目、けやき台1丁目・2丁目、根)
- 6 七次台小学校区(七次台1丁目～4丁目、野口、西白井3丁目・4丁目、根、木の一部)
- 7 南山小学校区(南山1丁目～3丁目、堀込1丁目、笹塚1丁目～3丁目、復)
- 8 池の上小学校区(池の上1丁目～3丁目、堀込2丁目・3丁目、復、根)
- 9 桜台小学校区(桜台1丁目～5丁目、十余一の一部、清戸、谷田、神々廻の一部)

質問 2 事業所・店舗の営業形態について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 個人経営
- 2 法人経営

質問 3 事業所・店舗の従業員数について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 1～3人 | 3 11～20人 | 5 30人以上 |
| 2 4～10人 | 4 21～30人 | |

質問 4 事業所・店舗の営業年数について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 5年未満 | 3 11～20年 | 5 30年以上 |
| 2 5～10年 | 4 21～30年 | |

質問 5 経営者(代表者)の方の年齢について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 1 30歳未満 | 3 40歳代 | 5 60歳代 |
| 2 30歳代 | 4 50歳代 | 6 70歳以上 |

質問 6 事業所・店舗の土地建物の所有関係について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 土地・建物とも自己(会社)所有 | 3 土地のみ自己(会社)所有 |
| 2 建物のみ自己(会社)所有 | 4 土地・建物とも借地・借家 |

質問 7 主な業種について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------------------|
| 1 小売業 | 6 医療・福祉 |
| 2 卸売業 | 7 教育・学習支援 |
| 3 飲食業 | 8 サービス業 |
| 4 金融・保険業 | 9 その他(具体的な内容をご記入ください) |
| 5 不動産業 | 内容: _____ |

質問 8 主な客層について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

◆客層の性別

- 1 男性 2 女性 3 特になし

◆客層の年齢

- 1 20歳代以下 4 50歳代 7 特になし
2 30歳代 5 60歳代
3 40歳代 6 70歳代以上

質問 9 昨年と比較した経営状況について、それぞれの項目で 1 つ選んで番号に○をつけてください。
また、「6」については、将来の見通しについてお答えください。

1	売上高	増加	変わらない	減少
2	客数	増加	変わらない	減少
3	客単価	増加	変わらない	減少
4	利益	増加	変わらない	減少
5	従業員数	増加	変わらない	減少
6	将来の見通し	明るい	変わらない	暗い

質問 10 現在、経営上最も問題になっていることは何ですか。次の中から 3 つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 大型店・ディスカウントストア等の影響 | 9 消費者ニーズの変化 |
| 2 客数や売上の減少・伸び悩み | 10 仕入価格・原材料価格の上昇 |
| 3 経費の増加 | 11 取引先との関係 |
| 4 店舗などの老朽化 | 12 後継者問題 |
| 5 資金不足や資金調達 | 13 情報化への対応 |
| 6 景気低迷 | 14 商店会の吸引力の不足 |
| 7 同業他社・同業店との競争激化 | 15 駐車場・駐輪場の確保 |
| 8 立地環境の変化 | 16 その他（具体的な内容をご記入ください） |

内容：_____

質問 11 今後の経営方針についてどのようにお考えですか。次の中から 3 つまで 選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 業種・業態の転換 | 10 ディスカウント化 |
| 2 営業規模の拡大 | 11 フランチャイズチェーン等に参加 |
| 3 営業規模の縮小 | 12 現状維持 |
| 4 多店舗展開 | 13 廃業する |
| 5 客層の転換 | 14 わからない |
| 6 営業場所の移転（市内） | 15 特になし |
| 7 営業場所の移転（市外） | 16 その他（具体的な内容をご記入ください） |
| 8 専門店化 | 内容：_____ |
| 9 高級店化 | |

質問 1 2 事業所・店舗のホームページをお持ちですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 持っている
- 2 持っていないが、ショッピングサイトなどに登録している
- 3 いずれは作りたいと考えている
- 4 ホームページを作るノウハウがない
- 5 必要ない
- 6 その他（具体的な内容をご記入ください） 内容：_____

質問 1 3 人材の確保や活用について、どのようにお考えですか。次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 新規卒者の採用 | 7 障害者の採用 |
| 2 高齢者の雇用 | 8 外国人労働者の採用 |
| 3 非正規社員（パートなど）の活用 | 9 女性管理職の育成・登用 |
| 4 非正規社員の正社員への転換 | 10 特にない |
| 5 第二新卒者（※）の採用 | 11 その他（具体的な内容をご記入ください） |
| 6 中途採用者の活用 | 内容：_____ |

※第二新卒者…学校等を卒業して一旦就職したが、短期間（主に 1 年未満～3 年）のうちに転職を志す者

質問 1 4 白井市の商業施策に期待することは何ですか。次の中から 3 つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 公的融資制度による支援
- 2 情報化を推進するための支援
- 3 商業の振興計画の策定
- 4 イベント等の交流事業に対する支援
- 5 販売促進事業（販売時点情報管理システムなど）に対する支援
- 6 商店会等の組織や組織化に対する支援
- 7 人材育成に対する支援
- 8 専門家によるアドバイスや研修などの支援
- 9 商店会診断、財務診断などの充実
- 10 商店会の基盤施設整備（駐車場整備など）に対する支援
- 11 ファサード（建物の前面）整備による統一感のある街並み整備
- 12 空き店舗の活用支援
- 13 大型店誘致
- 14 その他（具体的な内容をご記入ください） 内容：_____

質問 1 5 今後白井市の商業はどうあるべきだとお考えですか。ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

